

告料)一圓、場所指定十錢増、特別面一圓八十錢。  
**關西中央新聞** 大阪市西區京町堀上通一丁目四一。(電)土佐堀一二二五、六八八六、六八八七、六八八八。創刊大正十五年十一月廿三日。合名會社。十萬圓。夕刊六頁。(社長)北尾清七。(副社長)北尾清。(專務)大郷伊兵衛。(理事兼主幹)吉良貞一。(編輯顧問)高田知一郎。(編輯)吉川榮藏。(經濟)砂田治雄。(政治)田中俊一。(事業)原田計清。(營部)中井猶吉。(廣

告)山本藤次郎。中路萬吉。(東京支局)渡邊隆。(社員)五十八名。(工場員)六十二名。(機械)池貝鐵工所、東京機械製高速度輪轉機各一、マリノニ形折疊附二、萬能活字鑄造機二。ステロ電氣、寫眞製版設備完備。(活字)七ボ、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通一圓二十錢、場所指定十錢増、特別面一圓八十錢。  
 昭和日本新聞 西區靱南通四

丁目一〇。(電)土佐堀三五五六。創刊昭和二年二月二十日。個人經營。十萬圓。夕刊四頁。(社主)山本清三郎。(社長)市來精之輔。(營業)橫尾康一。(廣告)目下仲藏。(東京支局)上野道也。(社員)四十五名。(工場員)四十五名。(機械)輪轉機二、平盤二。活字鑄造機、ステロあり。(活字)七半、十四字、百四十六行、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通一圓。特別面一圓八十錢。  
 大阪都新聞 天王寺區上之宮町一。(電)南一一八、一三一

〇。創刊昭和二年二月。個人經營。二十萬圓。朝刊四頁。日曜に夕刊四頁増頁。(社長)南陽勇。(副社長)小村力雄。(總務)南陽喜八。(編輯)本田三郎。(營部)東田正秀。(廣告)島田三郎。(機械)四半載輪轉機一、十六頁平盤二。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七半、十四字、百五十五行、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)一圓五十錢。



發行所 新報社

東京市東區橋本久保町一丁目二百三十三番地

支局所在地 名古屋 市岡

(三) 關東

東京を中心とする神奈川、埼玉千葉、茨城、群馬、栃木の六縣は純然たる東京紙の地盤であり、根據地である。殊に滿洲事變の勃發以來、東京の一流紙は斷然地方紙を壓迫し、その一二のものは一紙で此の六縣下に對し、よく二十萬近くの讀者を有するときは云はれるに至つた。されば至る處豊かな人口と富力との割合に、地方紙の伸びる餘地は殆んどなく、各地の競争状態も、以前は地元有力紙に對する東京紙の突進であつたが、今では地方紙は殆んど競争の圏外に置かれ、東朝對東日、ついででは時事、報知、讀賣、國民、中外、都等各紙の競争が頗る活氣に満ち、猛烈を極めてゐる、斯る状態の中にあつて、地方紙として頭角を現はしてゐるのは、横濱市の横濱貿易新報を第一とし、宇都宮の下野新聞、水戸のいはらき等これにつぐ。

神奈川縣

人、口、世帯數………

東京紙の領域として多年の間猛競争が續けられてゐたが昭和五年四月一日から東朝東日の二紙が従来の地方版を擴張して二頁の神奈川附録を添付し更に同年十月より購讀料を十錢値下するに及んで其の競争は一層深刻化し更に六年九月滿洲事變の勃發と共に各紙の勢力にも種々の消長を來すに至つた。その混戦の中にあつて流石に人口六十二萬の横濱市を地盤とする横濱貿易新報はよく東京紙に對抗し、市内は元より郡部に於ても全縣的に勢力を伸ばしてゐる。尙人口十一萬の横須賀市にも二三の新聞はあるが、何れも地理的乃至文化的關係から不振を免かれぬ又縣下の東京紙の勢力は、横濱市内と郡部とで事情を異にするが、概して東日、東朝を第一とし、報知、時事、讀賣、國民、

横濱貿易新報

中外、都、毎夕等これにつぐ。  
 區本町六ノ六一(電)本局一三一〇一三、四九五六、五〇〇三。創刊明治二十三年二月十一日。個人經營。朝刊八頁。(版數)五。(地方版)縣下特別版、縣下十一郡版。(社長)三宅馨。(主筆)森本宋。(社會)山本和久三。(政治)山田旬。(地方)竹内八十吉。(經濟)森本宋。(運動)伊東利康。(商況)沖山明一。(整理)矢田勝年。(販賣)小林忠平。(廣告、企畫)小高一朗。(庶務)岩田四郎。(東京支局)廣瀬保吉。(大阪支局)福田常雄。(社員)六十五名。(工場員)五十名。(機械)TKS式折式輪轉機二、邦文モノタイプ二、ステロ、寫眞製版設備あり。(活字)七・七五、十五字、一四二行、十二段。一箇月七十錢。(廣告料)普通一圓、場所指定二十錢増、特別面一圓五十錢。  
 六年十二月滿洲軍へ慰問金品を募集し慰問金三萬圓、慰問袋五萬個を送る。

横濱經濟日報

横濱市中

横濱毎日新聞

横濱市中區南仲通四ノ七三。創刊明治三十一年十二月。株式、二十萬圓。夕刊四頁。(社長)平島吉之助。

特に地方的娛樂趣味記事の特別附録及び羈糸貿易爲替關係等の特別號を發行す。又羈糸業に關する單行書籍發行計畫あり。

(主筆編輯)宮崎初哉。(營業)今井貞一。(機械)輪轉機二、平盤七。(活字)七、七五、十五字、百三十八行、十二段。一箇月五十五錢。(廣告料)七十五錢。

横濱船舶日報 横濱市山下町。(發行人)岩下憲人。

**武相新報**

横須賀市大瀧町一三。創刊明治廿七年五月。個人經營。十萬圓。朝刊四頁、夕刊四頁。(版數)二。(社長)荒尾慎一郎。(主筆)同。(編輯)荒尾哲(營業)荒尾ハナ。(東京支局)中田清。(機械)輪轉機一、平盤四。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七半、十四字、百二十行、十三段。一箇月五十錢。(廣告料)普通一圓、特別面二圓。(特設)代理部及事業部を有す。

**相模中央新聞**

横須賀市小川町三。創刊明治三十八年九月。個人經營。夕刊四頁。(社長)山本正三。(編輯)内山孝成。(營業)中尾健治。(廣告)小日向敬藏。(東京支局)青山晴一。(機械)平盤二、ステロあり。(活字)七半、百四十二行、十三段。一箇月五

十五錢。(廣告料)一圓、特別面一圓五十錢。

**軍港よる新報**

横須賀市深田町二四〇。創刊大正十一年十二月。個人經營。五萬圓。夕刊四頁。(社長)飯田三太郎。(主筆)樋口宅三郎。(營業)長野覺藏。(機械)平盤三。(活字)七半、十二段。一箇月六十錢。(廣告料)九十錢。

**相陽時事新聞**

横須賀市深田町三一七。(電)八〇五。創刊大正十五年四月二十五日。個人經營。民政系。(部數)七年九月一日現在千五百。(社長)最上勇雅。(社員)五名。(工場員)八名。(機械)十六頁ロール一。(活字)七、七五、十四字、八十行、十二段。一箇月四十錢。

**半島日報**

横須賀市沙留町。(發行人)吉田保春。民友新報 民友社發行。田浦町。(電)三五。創刊大正十二年七月。個人經營。二萬圓。夕刊。地方版(八王子市、川崎市、西部相模、横濱版)。(社長)安田美喜太郎。(編輯)伊告輪一虎。(社員)五十

二人。(工場員)二十一。(機械)平盤三。ステロ設備あり。(活字)七半、十五字、十三段。一箇月五十錢。

**東神日日新聞**

川崎市宮前四三。創刊大正十三年十月。夕刊二頁。(部數)六年九月十二日現在二千八百部。(社長)大友一男。(社員)九名。(工場員)六名。(機械)四六十二頁一。一箇月三十錢。(廣告料)普通二十錢、場所指定一圓。

**東海新報**

小田原町緑二ノ一五三。創刊明治二十八年八月一日。個人經營。夕刊四頁。(版數)二。(地方版)箱根版。(部數)六年現在三千五百部。(社長)井田忠明。(社長)同。(機械)平盤十六頁二。(活字)七、七五、十三字、十二段。一箇月五十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定九十錢、特別面一圓二十錢。

**豆相新聞**

小田原町新玉四ノ五七八。(發行人)川部潤三。東海朝日新聞 平塚市新宿一ノ二七八。創刊昭和二年十一月廿日。個人經營。一萬圓。朝刊二

頁。(部數)六年現在二千。(社長)窪田彌太郎。(社長)同。(機械)平盤一。(活字)九半、十三字、七十八行、十二段。一箇月三十錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定一圓、特別面八十錢。

**返葉日日新聞**

葉山町一色二千三百番地。創刊昭和五年五月。個人經營。千圓。夕刊四頁。(部數)昭和六年八月三十日現在二千三百。(社長)光澤正俊。(社長)同。(活字)九半、十二字、八十八行、十二段。(廣告料)普通五十錢、場所指定一圓、特別面一圓五十錢。

**關東日日新聞**

鎌倉町小町七八。(發行人)宮崎猛夫。關東六縣中地元新聞の最も不振の地である。到る處東京紙の侵略に放棄され、此地に獨立して新聞を經營する事は不可能であるかに見える。而して中心地の

**埼玉縣**

人口……一、四五九、一七三  
世帯數……三、六五、三五三  
關東六縣中地元新聞の最も不振の地である。到る處東京紙の侵略に放棄され、此地に獨立して新聞を經營する事は不可能であるかに見える。而して中心地の

浦和町から發行される二紙は共に隣縣群馬の新聞の兼營紙であつたが、此頃その一紙は獨立した。又人口三萬四千の川越市、川口町などからも獨立した小新聞が發行されるに至つた。

**新埼玉新聞**

新埼玉新聞社發行。浦和町一四三。(電)浦和三四〇。創刊大正十三年十一月廿日。株式。八千圓。朝刊四頁。(部數)七年現在六千部。(副社長)篠原頼象(專務)小笠原幸彦。(常務)中村金太郎。(東京支局)登丸榮一。(社員)廿名。(工場員)三十名。(機械)輪轉機一、平盤二四頁一。ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七半、十四字、百四十行、十三段。一箇月六十錢。(廣告料)普通一圓、場所指定五十錢増。從來篠原頼象君の個人經營であつたが七年五月現在の株式會社となる。

**武州新報**

上野新聞の姉妹紙。浦和町三九二。(電)二七二呼。創刊大正十三年七月。朝刊四頁。(社長)中島喜平。(社長)同。(副社長)平野唯義。(支配人)武井貞

次。(編輯)加藤茂。(營業)平野唯義。(社員)二十名。(工場員)同。(機械)平盤二。(活字)十三字、七十五行、十一段。一箇月五十錢。

**埼玉夕刊新聞**

川越市松郷四四五。創刊昭和三年六月一日。個人經營。夕刊小型二頁。(版數)二。(部數)七年八月三十一日現在二千二百部。(社長)内藤壯四郎。(社長)岡野金助。(主筆)同。(編輯)小池理。(營業)岩淵東洋。(社員)十一名。(工場員)五名。(機械)四六二。(活字)九半、十二字、四十二行、八段。一箇月五十錢。(廣告料)普通一圓、場所指定一圓二十錢。

**西武日報**

川越市。創刊昭和二年三月。個人經營。夕刊四頁。(社長)對崎彌平。(機械)平盤一。(活字)十二字、十二段。一箇月七十錢。(廣告料)一圓二十錢。

**埼玉日日新聞**

川口町一六六九。創刊昭和四年五月二十日。個人經營。五千圓。政友系。朝刊四頁。(社長)平野環。(編輯)同。(營業)川野敏夫。(機械)平盤二。

**千葉縣**

(活字)七、七五、十二段。一箇月五十錢。(廣告料)七十錢。

千葉縣は埼玉縣につぐ新聞經營難の地とされ、東京紙の侵入猛烈を極め、人口四萬九千の千葉市に二三獨立した新聞がある。

又北條町にも此頃獨立した新聞の發行を見たが、外來の勢力には抗すべくもない。縣全體としては古くから東日の地盤とされてゐたが、最近東朝大に據頭し、從來各紙とも三萬以上の固定讀者を得たるものなしと云ける同地に對し、六年五月東朝は一氣に九萬の讀者を得んとする計畫を立て各紙の脅威となつた。東朝、東日につぐものは時事で、報知も亦新たに專賣店を開設する等、大に見るべきものがある。尙右の外國民、毎夕、讀賣、中外等を加へた東京各紙の亂闘に販賣業者の疲弊甚しい。

**千葉毎日新聞**

千葉市吾妻町二丁目一二三〇。創刊明治三十二年四月。個人經營。四萬圓。朝刊四頁。夕刊(汽車便ある處にのみ配付)四頁。(副社長)五十嵐勝利。(支配人)營業)五十嵐理亮。(編輯)河野彦人。(廣告)岩立慶三郎。(東京支局)同。(機械)十六頁掛三、八頁掛一。ステロあり。(活字)十四字、十三段。一箇月六十錢。(廣告料)六十錢。副社長五十嵐重郎君七年六月二十五日逝く、享年六十四。

**房總新聞**

千葉市西院内一三六一。(電)九五七。創刊明治三十年十月、再刊昭和四年十一月十日。個人經營。五萬圓。朝刊四頁。(版數)二。(附録)毎週火曜日自動車版。(部數)七年九月一日現在五千九百部。(社長)菅谷貞太郎。(社長)同。(理事)山口素光、多田勇、石井久、川端傳橋。(編輯)社長兼務(編輯)多田勇。(政治)菅谷幸太郎。(經濟)橋本惠。(社會)小柴博士。(當局)社長兼務。(廣告)川端傳橋。(事

業)猿谷愛次郎。(代理)川井利一。(販賣)加藤秀夫。(運送)石渡三郎。(東京支局)徳富迪。(大阪支局)淺岡照久。(社員)二十三名。(工場員)十六名。(機械)十六頁掛平盤二、ステロ二、寫真版設備あり。(活字)七半、十五字、百三十五行、十二段。一箇月五十錢。(廣告料)普通一圓、場所指定二割増、特別面一圓五十錢。

千葉縣民新聞 千葉市千葉一八三。(電)一七八。創刊大正四年一月一日(九十九新報)昭和六年六月十三日改題。個人經營。朝刊小型四頁。(附錄)大總村報。(地方版)銚子、水産。(社長)伊藤生外。(支配人)村山謙三。(主筆)藤桐軒。(編輯)小林曾江。(營業)村山謙三。(販賣)白井良三。(社員)四十三名。(工場員)十三名。(機械)四六判十六頁一。(活字)九半、十二字、八十八行、九段。一箇月市内二十五錢、市外五十錢。

房總日日新聞 千葉市東院内一〇三八。(電)七七五、八二〇。創刊明治三十年十月一日。個人經營。朝刊四頁。(版數)二。(地方版)銚子、東葛、房州。(部數)七年一月二日現在千部。(社主)大立目直武。(社長)同。(主幹)細橋豐彦。(主筆)大久保貞。編輯局同。(政治)中島光利。(社會)佐久重雄。(警局)細橋豐彦。(廣告)黒田慶次郎。(地方)池田照弘。(販賣)太田七兵衛。(東京支

局)大立目直武。(社員)四二名。(工場員)十二名。(機械)平盤三、活字鑄造機一、ステロ一。(活字)七半、十五字、九十行、十三段。一箇月六十錢。(廣告料)一圓、場所指定一圓五十錢、特別面二圓(兼管)印刷事業、臨時一般印刷設備あり。

日刊千葉 日刊千葉新聞社發行千葉市長洲九〇七。創刊昭和四年三月。個人經營。政友系。夕刊小型四頁。(部數)六年九月十四日現在六千餘部。(社長)沼田市大郎。(機械)平盤二。(活字)九半、一箇月卅錢。(廣告料)六十錢。

日刊房州 北條町長須賀。(電)館山四二六。創刊昭和六年二月十一日。個人經營。五千五百圓。夕刊二頁。(部數)七年十月十三日現在三千五百部。(社主)瀧口亮三郎。(社長)瀧口薫。(主筆)竹内治。(編輯)安倍佐美。(營業)高橋喜三郎。(寫真)田中正。(工場)遠藤六夢。(販賣)石原福松。(社員)六名。(工場員)八名。(機械)四六、八頁ロール機械一、寫真版設備あり。(活字)九半、十三字、七十四行、十一段。一箇月三十錢。(廣告料)五十錢、特別面三倍。

日現在六千餘部。(社長)沼田市大郎。(機械)平盤二。(活字)九半、一箇月卅錢。(廣告料)六十錢。

千葉日日新聞 千葉市寒川長洲八八四。創刊昭和四年十二月。個人經營。朝刊小型四頁。(社長)宇佐見夏江。(機械)平盤一。(活字)舊五號、八段。一箇月三十五錢。(廣告料)五十錢。

房州新聞 北條町北條一五三五設備を有す。

### 茨城縣

▲人口……一、四七、九七  
▲世帯數……二、八、二〇

滿洲事變は此處でも完全に東京紙が地方紙を壓迫した。人口五萬の水戸市に發行されるいはらきは、永い間、東京各紙の壓迫下に、よく地元にも勢力を張り、福島、栃木の一部にも侵入して東京各紙進撃の目標は、等しくいはらきを凌駕する事にあつたものだが、その争鬪は既に終了したと稱される。東朝は七年三月參萬を突破したと言はれ、東日又これにつく。外に時事、報知、讀賣、國民あり、それ等の包圍を受けて地元紙は今や苦しき試練を受けつゝある。東京各紙の中でも、最も優勢なのは東朝、東日で、此の兩紙の地方

版各十一段。時事、報知、國民、讀賣が十段乃至九段。人員の整備配置も東朝、東日が他紙を抜く。併しこれ等各紙の競争は、ニュースの一つ二つの抜き合ひよりかも、販賣店の三十四名の讀者獲得に力點が置かれ、販賣網の完備、販賣力の強大な大資本に對しては如何ともなし難い

いはらき いはらき新聞社發行。水戸市上市南町一六。(電)五〇、三〇四、三三二、五八九、八五九、二八二。創刊明治二十四年七月。株式。八萬圓。朝刊六頁、夕刊四頁。(版數)三。(地方版)福島、下野。(社長)中崎憲。(取締役)萩谷敬一郎、佐島清兵衛、中井川浩。(同經理)關福園。(編輯)小山政。(取締役)須賀藤五郎。(營業幹部)松山久次郎、菊地重雄、近藤弘文。(社員)七十名。(機械)石川式輪轉機三。平盤四。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)十五字、十三段。一箇月一圓。(廣告料)普通八十錢、特別面二圓。(兼管)一般印刷。

■茨城縣民報社を第二工場とし一般印刷の營業をなす。  
■七年四月三日より十三段となる。

常總新聞 水戸市上市南三ノ九。創刊明治三十二年十一月。個人經營。政友系。朝刊六頁。(社長)渡邊弘。(編輯)福地徳。(營業)赤松豊三郎。(廣告)綿引喜太郎。(機械)輪轉機一、平盤二。ステロ、寫真版あり。(活字)七、七五、十五字、百三十五行、十二段。一箇月八十錢。(廣告料)八十錢。

茨城日報 水戸市上市並松町。創刊明治五年。個人經營。朝刊四頁。(社主)大塚徳太郎。(社長)同。(主筆)木村廣吉。(編輯)渡邊兵四郎。(營業)小野仁藏。(機械)平盤二。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七、七五、十五字、九十四行、十二段。一箇月六十錢。

茨城日日新聞 水戸市上市田見小路。(電)三五七、八八六。創刊昭和五年九月十日。個人經營。朝刊小型四頁。(部數)七年九月

現在五千部。(社主)伊藤平四郎。(社長)同。(副社長)伊藤武郎。(社員)支局共二十名。(工場員)十五名。(機械)平盤八頁三。(活字)九半、十三字、八段。一箇月五十錢。

■縣内のみの記事を掲載するを特色とす。

常南日報 土浦町三、〇五七。(電)四一七。創刊大正十五年八月卅一日。個人經營。一萬圓。朝刊小型四頁。(附錄)毎週日曜日(信用商店案内)(部數)七年現在三千三百部。(社主)西谷民家。(社長)同。(副社長)西谷幸一。(主筆)山崎一郎。(編輯)椎名織之助。(營業)岡田筑涯。(社員)十一名。(工場員)五名。(機械)ロール二。(活字)十二字、三十五行、六段。一箇月五十錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定八十錢、特別面一圓。

常南新聞 土浦町。(電)五〇二。創刊大正六年五月。個人經營。朝刊小型四頁。(部數)七年現在五千部餘。(社主)岩崎倉吉。(社長)同。(主筆)今井源次。(編輯)

### 群馬縣

▲人口……一、八六、〇八〇  
▲世帯數……三、七、〇三五

此處も全縣に亘つて東京各紙が浸潤し、地元新聞に地元人の執着なく、全縣讀量の八割以上を

で東京紙の侵入に委されてあると云はれる。それに地元紙の數比較的も多く、人口八萬五千の前橋市、六萬の高崎市、五萬三千の桐生市等を擁しつゝも、上毛新聞及び一二の外見るべきものがない。上毛新聞は大震災當時一時七萬も刷つた事があるが今は東日、東朝の侵入に追はれ往昔の偉容見るべくもない。右の外地元紙の注目すべきものには、東京紙との併讀を視つて紙數を増したと云はれる上毛日日新聞及び異色ある新聞として桐生市の兩毛織物新聞等がある。移入紙では東日、東朝、各三萬五千前後と云はれ、報知は一時破竹の勢ひであつたが、定價賣りで下向き、ついで讀賣、時事都、國民等優勢である。だが部數は東朝、東日に較べればずつと落ち、その最も多いものでも一萬數千、少ないものは三千前後と推定される。尙時事と報知を除き、此の地の東京各紙の大部分の販賣權は、東京根岸良吉君の掌握する處であつたが、昭

和五年、報知の擡頭に刺激されて、東日が澁川町に直營店を設けたのを手始めに、六年から七年にかけて東日が專賣店を新設し、各紙の販賣陣に動搖を齎らした。

**上毛新聞**

前橋市。(電)三〇、一九一、五一七。創刊明治十九年十一月。個人經營。朝刊四頁、夕刊四頁。(版數)二。(社主)篠原秀吉。(社長)同。(理事)大澤米造、石井辨造、奥田勇次郎、高島萬太郎。(主筆)白石一。(編輯)同。(經濟)佐藤泰男。(政治)小林景一郎。(整理)淺見五郎。(社會)岡田五迷。(通信)高畑弘男。(學藝)角田恒。(營局)樋口清太郎。(販賣)西川昇平。(廣告)長原彌一郎。(工務)權田時次。(庶務)營業局長兼務。(東京支局)野斗勝文。(大阪支局)松下眞馬。(社員)七十五名。(工場員)九十二名。(機械)津田式輪轉機二、平盤五。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七〇、十五字、百五十五行、十三段。一箇月七十五錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定十錢増、特別面一圓五十錢。

普通七十錢、場所指定十錢増、特別面一圓五十錢。

**上毛日日新聞**

前橋市堀川町五一。(電)九七八。創刊大正十五年九月一日。個人經營。朝刊四頁。(版數)一。政友系。朝刊四頁。(版數)一。(部數)七年九月現在八千六百三十部。(社主)石橋卓一。(社長)同。(主筆)笠原清忠。(編輯)同。(政治)今井富三。(經濟)藤田一郎。(營局)石橋卓一。(會計)石橋秋。(廣告)田中猪太郎。(販賣)日下部正良。(東京支局)鳴原完。(大阪支局)松田齊。(社員)四十八名。(工場員)十八名。(機械)東京機械製作輪轉機一、十六頁印刷機一、美濃版印刷機一、活字鑄造機一、ステロ設備あり。(活字)七半、十四字、百四十五行、十三段。一箇月五十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定一圓四十錢。(兼營)上毛日日興信所、群馬縣知事官房編纂群馬縣地圖發行、上毛電鐵會社電車內廣告一手取扱、縣内週聞新聞及上毛農林雜誌印刷發行、縣外日刊新聞印刷發行。

**上州新報**

前橋市曲輪町。(電)七三、五一。創刊明治二十年十一月二十九日。個人經營。朝刊四頁。(社主)高橋イト。(主筆)殿江浩。(機械)TKS式輪轉機一、平盤三、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七半、十五字、百四十二行、十二段。一箇月五十五錢。(廣告料)普通一圓、特別面一圓五十錢。

**群馬新聞**

前橋市堅町。(電)二九、四五〇。創刊明治三十二年十一月。株式。五萬圓。朝刊四頁。(社長)加藤徳重。(主筆)同。(編輯)松田徳松。(營業)關根貞治。(機械)平盤二、ステロあり。(活字)九半、十三字、百五十五行、十二段。一箇月五十五錢。(廣告料)普通一圓、特別二圓。

**上州夕刊**

上州夕刊新聞社發行。前橋市曲輪町一〇二。(電)二二三五。創刊昭和五年十一月十日。個人經營。夕刊四頁。(部數)七年九月十三日現在二千六百。(社主)千村吉太。(社長)同。(主筆)同。(編輯)中島金吾。(營業)同。(社員)二十三名。(工場員)十五

**關東日日新聞**

關日社發行。高崎市弓町七。(電)一一一五。創刊昭和二年五月廿四日。個人經營。三萬圓。政友機關。夕刊四頁。(版數)一。(附錄)日曜及經濟事報。(部數)七年現在九千五百部。(社主)岩井彌平。(社長)同。(主筆)阿久澤半平。(編輯)同。(營業)岩井美津。廣告)中坪力。(販賣)鈴木菊。(東京支局)青山晴一。(社員)十三名。(工場員)十一名。(機械)輪轉機一。活字鑄造機、ステロ設備あり。(活字)七半、十五字、百二十行、十二段。一箇月六十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定一圓、特別面一圓五十錢。(兼營)菊花模範培養所經營並に「菊と人」と云ふ雜誌經營。

**上野新聞**

高崎市本町六九。(電)七五七。創刊明治四十四年十一月。個人經營。朝刊四頁。(版數)一。(部數)七年六月一日現在七千二百。(社主)中島喜平。(社長)同。(支配人)清水甫之吉。(編輯)霜野長二。(營業)中島一郎。(東京支局)堂島正助。(社員)十四名。(工場員)廿二名。(機械)平盤二。ステロ設備二。(活字)九〇、十三字、八十行、十二段。一箇月五十錢。(廣告料)普通八十錢、場所指定一圓五十錢。

**新群馬日報**

高崎市成田町一八。(電)七五七。創刊昭和二年五月。個人經營。夕刊四頁。(社長)井田左内。(主筆)同。(編輯)根岸省三。(營業)坂尾長之助。(東京支局)柳澤算治。(社員)八名。(工場員)十一名。(機械)ロール一。ステロ設備あり。(活字)九〇、十四字、七十行、十二段。一箇月五十錢。

**上毛毎日新聞**

高崎市八島町三二ノ一。(電)七七四。創刊昭和六年一月三十日。個人經營。朝刊四頁。(社主)小茂田與八郎。(社長)同。(社員)支局共十一名。(工場員)七名。(機械)平盤一。一箇月三十錢。(兼營)藥品、食料品等の代理販賣。(特設)縣下温泉地其他(遊覽團體を募り相

互の連絡を圖りつゝある。

**しのめ新聞**

高崎市通町六四。創刊昭和五年一月廿日。個人經營。夕刊四頁。(社主)立川皓洋。(社長)同。(機械)平盤一。(活字)八〇、十二段。一箇月三十錢。

**高崎夕刊新聞**

高崎市本町一〇一。創刊昭和四年二月。個人經營。朝刊小型四頁。(社長)今井末松。(機械)平盤一。(活字)八〇、五段。一箇月二十五錢。(廣告料)一圓。

**上州毎日新聞**

高崎市新田町一〇。創刊昭和六年三月。個人經營。五百圓。朝刊小型四頁。(社長)宮下龜之進。(主筆)松田勇作。(編輯)宮下龜之進。(機械)平盤二。(活字)六段。一箇月三十錢。(廣告料)一圓五十錢。

**兩毛織物新聞**

桐生市宮本町一二六四。(電)八三〇、二一一。創刊大正三年。個人經營。三萬圓。朝刊四頁。(版數)一。(部數)七年現在七千部。(社主)楠淵勇次郎。(社長)同。(支配人)楠淵二三。(主幹)柳澤廣喜。

**兩毛毎日新聞**

桐生市宮本町一三九三。創刊昭和六年七月。個人經營。二千圓。夕刊四頁。(社長)伴田正三。(主筆)石田留松。(營業)關根喜一。(廣告)市村雄三。(機械)平盤一。(活字)十三段。一箇月五十錢。(廣告

料七十錢。  
**兩毛新聞** 桐生市本町六丁目。創刊昭和四年一月。個人經營。夕刊小型二頁。(社長)伊田益一。(主筆)瀧秀三。(營業)樋口一雄。(機械)平盤二。(活字)七半、八段。一箇月卅錢。(廣告料)五十錢。

**關東每日新聞** 伊勢崎町二〇五。創刊昭和三年八月。個人經營。朝刊四頁。(社長)齋藤文次郎。(營業)同。(機械)平盤一、十一段。一箇月五十錢。(廣告料)一圓。

**伊勢崎日日新聞** 伊勢崎町九五。創刊昭和三年七月四日。個人經營。五千圓。朝刊四頁。(版數)一。(部數)六年九月十六日現在三千五百部。(社長)岡部一郎。(社員)十二名。(工場員)十九名。(機械)平盤十六頁。(活字)九半、十六字、六十五行、八段。一箇月四十錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定一圓、特別面二圓。  
**上越日日新聞** 澁川町一ノ三〇五。創刊昭和六年四月。個人

### 栃木縣

東京各紙の混戦地で東朝、東日追いつ追はれつ二萬台を上下すると云はれ、ついで報知、都、讀賣各一萬二三千、時事と國民とはや、落日にあると見られてゐる。外に下野版を持つものに水戸のいはらきがあるが、昔日の面影なく、結城、下都賀方面にいさゝか入つてゐるに過ぎぬ。そこで地元新聞では、人口八萬一千の宇都宮市に發行される下野新聞は、地の利と傳統とによつて永らく全縣的に堅固な地盤を有してゐるが、滿洲事變などの影響から、今や太平の夢を許さぬ状態となつた。奮起一番を要する時である。下野新聞につ

いで、同じく宇都宮に下野日日、關東新聞あり、又人口四萬四千の足利市にも一二の新聞があるが、いづれも大をなすに至らぬ。

### 下野新聞

宇都宮市池上町。(電)一三六、二四〇、七、七〇〇、一一一〇、一二五〇。創刊明治十七年。株式。三十萬圓。朝刊四頁。夕刊四頁。(附録)月曜。(專務)川村直成。(編輯)同。(社會)松村貫一。(經濟)武井四郎。(地方)柳基一郎(調査)青木謙一。(教育運動)菅原理一。(青年)川又保。(警務)專務兼任。(廣告會計)東泉庸(販賣)田邊信平(庶務)印南喜一。(東京支局)橋本滿次郎(大阪支局)野澤善三郎。(機械)輪轉機二。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七半、十五字、百五十五行、十三段。一箇月八十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定五割増、特別面二圓。  
 大正五年主として青年團、處女會、軍人分會、學生其他の智育體育方面に關する諸般の施設を目的として創設せし青年部の

事業は頗る多方面に亘り常に此等計畫の尖端に立ちて斯界を指導し地方の開発振興に奮與せし所尠からず。  
 昨今各方面に高唱せらるる地方農村疲弊の對策の如きも夙に青年有力者を網羅せる農村審議會を組織し既に其第一回の會合を終へ遠からず更に第二回開催の舉を見んとしつゝあり。  
 下野美術展縣下十二勝推奨等は最近の計畫にかゝるもの。  
 關六年十月二十七日株主總會に於て六半年度下の貸借對照表、利益處分案等を附議可決した。當期純益金は一萬二千七百十六圓である。

貸借對照表

借方(圓以下切捨)	株 金	三〇〇,〇〇〇
積立 金	三六,〇六〇	
特別積立 金	三三,五〇〇	
善行表彰基金	二,五〇三	
圖書館設立基金	一,〇〇〇	
使用人退職基金	二八,九九八	
信 認 金	五,二九六	
有價證券代用信認金	八九〇	

未拂配當金	二,三三三
假 受 金	五,九八七
借 入 金	五六,九三八
未 拂 金	四,八四〇
掛買勘定	六,四九七
前期繰越金	一六,三一〇
當期利益金	一二,七一六
合 計	一一三,八九一

貸 方

未拂込株金	一〇〇,〇〇〇
地所及建物	一六三,七六〇
機械及活字	二二,二三五
公債證券	九四〇
受取手形及證書	二四,三五三
有價證券	一,四五〇
預り有價證券	八九〇
東京支局資産	一一三,二五九
大阪支局資産	二,三七九
定期預金	七八六
什 器	九,二〇四
前 拂 金	一,六〇五
振替貯金	五五
東京支局假勘定	三九九
大阪支局假勘定	一,二〇二
假 拂 金	四,二〇〇
當座預金	二,〇三四
現 金	一七三

取引先勘定	六三,二一七
未使用用品	一,七四〇
合 計	一一三,八九一

利益金處分

當期利益金	一二,七一六
前期繰越金	一六,三一〇
合 計	二九,〇二六

此の配當計算左の如し

積立 金	一,〇〇〇
配 當 金	一〇,〇〇〇
賞 與 金	一,〇〇〇
使用人退職基金	一,〇〇〇
後期繰越金	一六,〇二六

下野日日新聞 宇都宮市 塙田町一五一。創刊明治二十四年十月。個人經營。五萬圓。朝刊四頁。(社長)金澤源太郎。(顧問)新江寅。(編輯)大谷常太郎。(營業)山田靜雄。(機械)平盤三。ステロあり。(活字)七、七五、十五字、百三十五行、十二段。一箇月七十錢。(廣告料)七十錢。

夕刊しもつけ 宇都宮市大寬町二二三三。創刊大正十二年十月廿一日。個人經營。夕刊四頁。(社長)佐藤程壽。(主筆)吉澤春吉。(編輯)佐藤猛吼。(營業)布施白山。(機械)平盤二。(活字)八半、十三字、九十四行、十二段。一箇月三十錢。(廣告料)三十錢。

下野日報 宇都宮市橋田町六八六。創刊大正十三年十二月十日。個人經營。夕刊小型四頁。(社長)長谷川南山。(主筆)同。(編輯)坂本圭祐。(營業)川島勘一郎。(活字)舊、八段。一箇月三十五錢。(廣告料)五十錢。

夕刊足利新聞 足利新聞社發行。足利市本城三丁目。創刊昭和三年六月十一日。夕刊小型二頁。(社長)澤田金太郎。(主筆)堀込方一。(編輯)飯島光之丞。(營業)

須永弘。(廣告)加藤平藏。(機械)四六列十六頁一。(活字)九半、十四字、五十四行、八段。一箇月五十錢。(廣告料)五十錢。  
 純然たる小都市新聞にして兩毛毎日新聞社と兩毛夕刊新聞社とを昭和五年五月十二日合併し兩毛夕刊を改題せるもの。  
 夕刊足利日報 足利日報社發行。足利市伊勢町二二一。(電)六六七、八七九。創刊大正十五年四月。個人經營。夕刊小型四頁。(版數)二。(地方版)市内、兩毛。(部數)七年現在五千部。(社長)岡部新二郎。(社長)同。(主幹)小谷孝。(編輯)須摩德松。(營業)高橋武男。(社員)二十名。(活字)五號、十一字、五十一行。一箇月三十錢。

下野旭新聞 栃木町栃木一八八。創刊昭和二年五月一日。個人經營。夕刊小型二頁。(社長)戸田懋。(主筆)加藤憲樹。(機械)平盤一。(活字)舊、八段。一箇月四十錢。(廣告料)五十錢。

# (四) 東北

西は新潟、長野から、東は福島山形、宮城、岩手、秋田を経て青森に到る東北八縣は、關東につぐ東京紙の勢力範圍で、距離の遠近に従ひ厚薄はあるが、到る處に東京紙が侵入してゐる。

殊に滿洲事變以來は、大新聞、大機關の壓迫甚しく、それに農村の疲弊を加へて、地方の小新聞は益々やゝ悪くなつて來た。斯る情勢の間に、仙臺の河北新報はよく外來の勢力に拮抗し、不拔の地盤を擁して東北の覇者を以つて任ずると共に、名古屋、福岡、札幌等の有力紙と同じく、我國に於ける代表的地方新聞の一つとして重きをなしてゐる。

河北につぐ有力紙としては、新潟の新潟毎日、長野の信濃毎日新聞、秋田の秋田魁新報をはじめ、尙新潟に新潟新聞、長岡に北越新聞、長野に長野新聞、福島に福島民報、山形に山形新聞、盛岡に岩

手日報、青森に東奥日報あり、いづれもそれ／＼の地方に於いて固い地盤を持つてゐる。

## 福島縣

人口……一、五八、一五〇  
世帯數……二、六三、九六九

福島縣は東北に於ける民権自由發祥の地、そんな點から今でも新聞が一般から尊敬され、指導力を持つてゐる。併しその半面には激しい政黨争ひの爲めに新聞が犠牲になる事も少くない。例へば現在の福島民友新聞の如き、數年前政黨の爲め福島民友、福島毎日の二紙に分裂したのである。昭和六年再び合併したのである。第一中心地の福島市は人口四萬五千、此處に前記福島民友の外福島民報があつて全縣的に勢力を張つてゐる。政黨關係は民報が政友系で民友は民政系。農村の不振と東京紙の侵入には閉口してゐるが、民報は全縣下に夕刊の別配達をなし、民友は會津地方東京紙の勢力微弱な方向に

夕刊のみの分割賣りを試みてゐる。農村不況に機宜を得た策と云はれる。移入紙の第一は何と云つても東日、東朝で、東日には擴張紙が多いが東日十に對して東朝九と見られる。他の東京紙は此二紙に較べればずつと落ち、國民は七年七月から地方版を廢した程であり、時事は全盛期から見ればぐんと減り、報知は一時附録で相當に増加したが滿洲事變以來押されて來た。而して新進讀賣は獨り期待をかけられてゐる。外に地方からの移入紙に河北新報といはらきとがある。共に福島版を有し、いはらきは一と頃三四千も出した事があるが、今は下野版と寄合で一頁だから部數はずつと減つた。河北の福島版は之れに比すれば堂々たるもので、いはらきよりは多いと見られてゐる。

## 福島民報

福島市榮町廿一。  
(電)一四二、二五七、八二九、七八二、一〇七六。創刊明治二十三年八月。個人經營。十萬圓。朝刊四頁、夕刊四頁。(版數)三。

## 福島民友新聞

福島市大町七九。(電)四一、四三、四三二。創刊明治二十八年五月一日。株式。三十三萬圓。民政の機關。朝刊四頁、夕刊四頁。(部數)七年九月十五日現在二萬五千部。

(地方版)宮城。(社長)中目元治。(副社長)三瓶仙輔。(理事)中目武功。(主筆)同。(編輯)中目元治。(編次長)渡邊寛。(社會)永澤茂美。(經濟次長)箭内正五郎。(營業)古和口虎雄。(廣告)同。(同次長)阿部幸雄。(販賣次長)栗谷甫。(東京支局)三瓶仙輔。(大阪支局)木暮仁輔。(機械)折墨輪轉機二、平盤二。活字鑄造機、ステロ、寫眞版あり。(活字)七・七五、十五字、百四十一行、十二段。一箇月八十錢。(廣告料)普通八十錢、特別面一圓二十錢。七年春より全縣下に夕刊の別配達を行ふ。

五名。(工場員)三十二名。(機械)輪轉機二、フールド印刷機一。寫眞版設備あり。(活字)七半、十五字、百四十五行、十二段。一箇月七十五錢。(廣告料)普通八十錢、場所指定一圓、特別面一圓八十錢。

## 福島新聞

福島市上町十一。(電)六二一。創刊明治七年四月。個人經營。朝刊四頁。(部數)昭和七年現在一萬部。(社主)築田欽次郎。(社長)助川啓四郎。(理事)半谷眞雄、唐橋重政。(編輯)佐藤稔。(編部)渡邊文。(同次長)遠藤節。(營業)安部音九。(東京支局)瀧藤鹿之助。(社員)三十八名。(工場員)三十一名。(機械)マリノニ式輪轉機一、平盤一。活字鑄造機一、寫眞版機一。(活字)七半、十五字、百三十五行、十二段。一箇月六十錢。(廣告料)普通八十錢、場所指定一圓八十錢。

七年九月政友代議士助川啓四郎君との間に貸借契約成り理事制を設く。  
**岩代毎夕新聞** 郡山市柳町一

一八。(電)一七六。創刊昭和四年十二月十六日。五萬圓。政友會。夕刊四頁。(部數)七年九月十六日現在五千六百部。(社主)大沼秀義。(社長)同。(主幹)名木雄次。(主筆)鈴木榮二郎。(營業)坂口章藏。(社員)四十七名。(工場員)二十六名。(機械)平盤四六判二四頁一、同四六判十六頁二、美濃版フット一。ステロあり。(活字)七半、十四字、九十行、十三段。一箇月三十錢。(兼營)印刷業。

## 郡山新聞

郡山市堂前九。創刊昭和二年三月。個人經營。十五萬圓。民政黨。朝刊小型四頁。(社長)原孝吉。(主筆)鈴木脩一郎。(編輯)下河邊行雄。(營業)宇田寅三郎。(機械)平盤一。(活字)舊、八段。一箇月五十錢。(廣告料)七十錢。

## 郡山日日新聞

郡山市。社經營。郡山市。新會津 若松市大町三ノ五。創刊大正十二年十月一日。個人經營。夕刊四頁。(社長)高坂龍雄。(主筆)結城留吉。(營業)大泉政

雄。(機械)平盤一。(活字)舊、十二段。一箇月五十錢。(廣告料)五十錢。

## 會津日報

若松市甲賀町。(電)二八。創刊明治三十七年。個人經營。夕刊小型四頁。(部數)七年現在三千六百部。(社主)生龜藤吾。(社長)同。(編輯)芥川謙吾。現在三千二百九。(社主)川崎文治。(社長)同。(編輯)同。(營業)坂本忠治。(社員)五名。(工場員)十二名。(機械)平盤二。ステロ一。(活字)舊、十二字、四十五行、七段。一箇月三十錢。

## 磐城新聞

平町田町一六。創刊大正十年四月三日。個人經營。夕刊四頁。(社長)速沼龍輔。(主筆)柏木哲。(機械)平盤二。ステロあり。一箇月五十錢。(廣告料)

五十錢。

## 磐城時報

平町紺屋町。(電)四〇九、五〇二。創刊大正五年五月一日。個人經營。夕刊小型二頁。(社主)佐藤作平。(主幹)岡田弘成。(活字)舊、十三字、六十五行、七段。一箇月三十錢。(廣告料)五十錢。

## 東北毎日新聞

白河町。(電)三〇三。創刊大正九年五月廿六日。個人經營。二萬圓。朝刊小型四頁。(部數)七年九月一日現在二千五百部。(社主)大越軍三。(社長)同。(支配人)松本守雄。(編輯)藤川定治。(政經)金澤敬二郎。(社會)鹽田嘉一。(學藝)岡崎操。(營業)藤川定治。(廣告)橋周平。(販賣)中野清。(社員)十六名。(工場員)十二名。(機械)平盤二。(活字)八ボ、十五字、百行、八段。一箇月四十錢。(廣告料)普通六十錢、場所指定五十錢。(兼營)印刷業。(特設)二階會議室開放及公衆電話設備あり。

姊妹紙に須賀川毎日新聞あり。  
**白河新聞** 白河町愛宕町五一。

創刊大正十一年。個人經營。朝刊小型四頁。(社長)山本長三郎。(主筆)同。(機械)平盤一。(活字)舊、八段。一箇月四十錢。(廣告料)五十錢。

須賀川毎日新聞 (東北毎日新聞の姉妹紙)須賀川町。(電)四三。五。創刊昭和四年二月十一日。個人經營。一萬圓。朝刊小型四頁。(部數)七年九月一日現在千三百部。(社主)大越軍三。(社長)同。(支配人)金澤德二。(編輯)高久義(營業)田邊庄吉。(社員)十二名。(工場員)八名。(機械)平盤二。(活字)八ボ、十五字、百行、八段。一箇月四十錢。(廣告料)六十錢。

昭和時事新報 須賀川町。(電)須賀川三三八。創刊昭和二年十一月三日。政友會系。夕刊四頁。(版數)二。(部數)七年現在三千二百部。(社長)西山仙太郎。(主筆)横山藏之助。(編輯)阿部喜代司。(營業)近藤久伊。(社員)十名。(工場員)八名。(機械)廿四頁ロトル一、八頁一、四頁一。(活字)舊、十一字、六十行、十段。

テロ施設有り。(活字)七、七五、十五字、百三十六行、十二段。一箇月六十錢。(廣告料)普通八十錢、場所指定一圓二十錢。小野社長曰ふ——私の新聞社は私のものでありまして個人の社會研究機關の一とも見る事が出来ず。非營利的な、非資本主義的な特徴があるのが特徴です。

### 宮城縣

▲人口……一、四三、六四  
▲世帯數……一、七、六六

東北文化の中心地たる人口十九萬の仙臺市には我國代表的地方新聞の一つたる河北新報が發達した。その代り河北が殆んど獨占的位置にあり、他にも二三の有力紙があるが、それ等を完全に壓倒してゐる。東京各紙も幾度か巨額の擴張費を投じて侵略を試み或は此地に合資紙を置いたものもあつたが、河北の地盤は容易に動かすべくもない。河北は昭和四年十一月創業の偉人一力健治郎を亡つたが、後繼の

新社長よくその傳統を體し、益々積極的進出を策し、今や青森、福島、岩手の隣縣に侵入し、更に秋田にまで及ぼんとしてゐる。併し東朝、東日をはじめ報知、時事、讀賣、國民等も相當に入り、福島民報なども逆にな多少は入つてゐる。

八十錢、場所指定十錢増、特別面一圓二十錢。  
五年十一月新愛知、福日、北海タイムスと共に日本新聞聯盟を結成し記事材料の共同購入をしてゐる。尙、右聯盟結成後、北海タイムスとの間に販賣地域協定成り、河北は北海道を、タイムスは東北地方を、現狀以上積極的に擴張進出を絶對的になさざる事を申合せた。  
七年四月共同主催にて日支事變展覽會を開く。  
同五月十五日より夕刊三版制を實施した。  
同七月より我國に始めて夕刊に地方版を設け岩手縣版を發行す。  
同八月二百五十坪の新工場成り、新設五超高速機の中二台完成す。  
七年九月十五日より十日間健康祭を行ひ、これを機会に健康圖書館の設立を計畫した。

河北新報 仙臺市。(電)代表四一〇〇。創刊明治三十年一月十七日。個人經營。朝刊六頁、夕刊四頁。(版數)四。(附録)週刊河北くらぶ。(地方版)青森、福島、岩手、縣下版。(社主)一力次郎。(社長)同。(副社長)一力五郎。(編輯)一力五郎。整理)高橋儀藏。(通信)田中忠藏。(政治)大島俊。(社會)赤阪敬止。(營業)社長兼務。(廣告)米野伊勢。計課長)渡邊榮治。(東京支局)藤澤寛三。(大阪支局)佐々木忠策。(機械)高速度輪轉機二、マリノニ式輪轉機八。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七ボ、十五字、百五十五行、十三段。一箇月九十錢。(廣告料)

### 仙臺日日新聞

仙臺市東四番丁五五。(電)五〇四、八〇七、一七九〇。創刊明治四十一年十一月。個人經營。朝刊四頁。

### 東華新聞

仙臺市木町末無。(電)一三四〇、一七八四。創刊大正四年七月廿三日。個人經營。廿萬圓。朝刊四頁。(版數)二。(地方版)一種。(部數)六年九月一日現在約五千。(社主)小野秋子。(社長)小野平八郎。(編輯)小野和多理。(政治)菅野俊八郎。(社會)門馬昇。(地方)新田文衛。(營業)小野平吉郎。(廣告)阿部雅夫。(販賣)藤城喜一。(東京支局)鈴木邦三郎。(社員)八十餘名。(工場員)二十四名。(機械)平盤二、輪轉機一。活字鑄造機、ス

### 東北産業日報

宮城毎日新聞の改題)仙臺市東四番丁一〇。創刊大正十五年七月二十八日。個人經營。夕刊四頁。(社長)松浦增一。(主筆)池田益吉。(編輯)同。(營業)佐藤松策。(機械)輪轉機一、平盤一。(活字)九ボ、十二段。一箇月六十錢。(廣告料)七十錢。

### 日刊大仙臺

仙臺市定禪寺通橋丁。(電)二二八八。創刊昭和三年五月一日。個人經營。五千圓。朝刊四頁。(部數)昭和七年九月一日現在四千六百十三部。(社主)井上啓治。(社長)同。(主筆)生江田鶴彌。(編輯)同。(營業)野村胡東。(東京支局)中山成基。(社員)四十三名。(工場員)

### 東北タイムス

仙臺市東五番丁一。(電)一四〇三。創刊昭和五年十一月二十七日。個人經營。朝刊小型四頁。(部數)七年一月一日現在三千部。(社主)溝口忠次郎。(社長)同。(副社長)溝口忠吾(主筆)菅野恭平。(營業)社長擔當。(社員)二十名。(工場員)二十名。(機械)平盤二。鉛版あり。(活字)九ボ、十三字、五十五行、八段。一箇月三十錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定十錢増、特別面一圓。(兼營)普通一般の印刷。

### 土木建築時報

仙臺市東二番丁一六。(電)三二六一。創刊大正十五年一月一日。個人經營。三千圓。朝刊小型四頁。(附録)土木建築に關する研究雜誌。(部

### 石卷日日新聞

石卷町仲町四創刊大正元年九月。個人經營。朝刊四頁。(附録)毎水、日曜二頁。(地方版)三。(社長)松川鐵四郎。(主筆)佐藤露江。(營業)藤野寅吉。(機械)平盤二。ステロ設備あり。(活字)七半、十五字、百三十行、十二段。一箇月六十錢。(廣告料)六十錢。

### 日刊宮城

日刊宮城新聞社發行石卷町。(電)五五一。創刊昭和三年四月二十九日。個人經營。一萬圓。朝刊四頁。(部數)七年九月一日現在五千部。(社長)佐々木泰治。(副社長)佐々木綱

夫。(支配人)佐々木千里。(編輯)薄葉信。(社會)渡邊長成。(政治)星信雄。(經濟)佐々木四十一。(文藝)薄葉信。(營業)三宅三代吉。(廣告)同。(販賣)二階堂陸雄。(東京支局)馬場幸次郎。(社員)十二名。(工場員)九名。(機械)四六半切ロール二。ステロ一。(活字)九ボ、十三字、七十五行、十二段。一箇月五十錢。(廣告料)普通三十錢、場所指定四十五錢、特別面六十錢。

**鹽釜實業新報** 鹽釜新聞社發行。鹽釜町仁井町八六。創刊昭和三年九月九日。個人經營。五千圓。朝刊四頁。(版數)一。(附錄)日曜附錄。(部數)六年九月十三日現在二千部。(社主)西城正一。(社長)同。(編輯)遠藤忠。(機械)普通新聞版一。(活字)九ボ、十一字、九十一行、十一段。一箇月三十錢。(廣告料)普通二十五錢、場所指定二割増、特別面六十錢。

**陸羽日報** 鹽釜町小松崎四九。創刊大正十一年六月二十日。個人經營。朝刊小型四頁。(社長)志野逸郎。(主筆)伊藤清太郎。(機械)平盤一。(活字)舊、七段。一箇月六十錢。(廣告料)六十錢。

**東奥日日新聞** (仙北日日新聞の改題) 古川町。(電)二三。創刊昭和三年十月一日。個人經營。一萬圓。夕刊小型四頁。(版數)三。(部數)昭和七年九月十日現在三千五百部。(社主)青砥一郎。(社長)同。(編輯)岡村嘉一。(社會)渡邊哲夫。(經濟)海野吉之助。(營業)佐野文雄。(社員)十六名。(工場員)九名。(機械)十六面掛平盤二。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)八ボ、十五字、五十三行、八段。一箇月三十錢。(廣告料)五十錢。

**仙南日日新聞** 大河原町。創刊大正十年五月二十五日。個人經營。朝刊四頁。(部數)昭和六年八月末日現在七千六百部。(社長)庄司司一郎。(主筆)庄司猛太郎。(營業)同。(東京支局)赤松彦太郎。(社員)十名。(工場員)十五名。(機械)平盤ロール一。(活字)七牛、十五字、百五十五行、十二段。一箇月六十錢。(廣告料)普通四十錢、場所指定一割増、特別面六十錢。

**大氣新聞** 氣仙沼町三日町五七。創刊大正十五年五月二十七日。朝刊小型四頁。(社長)三浦一郎。(主筆)同。(營業)同。(機械)平盤四。(活字)九ボ、十五字、四十八行、八段。一箇月五十錢。(廣告料)十錢。

**岩手日報** 盛岡市内丸。(電)一八〇、一八一、一八二、六一七、一〇一四。創刊明治九年。株式。二十萬圓。朝刊四頁。夕刊四頁。(版數)二。(地方版)近縣版。(社長)太田孝太郎。(支配人)岩淵榮男。(主筆)後藤清郎。(編輯)同。(編輯)下村恒彌。(政治)小森秀。(經濟)小笠原正。(學藝)森德一。(整理)菱川香郎。(社會)松本政治。(校正)遠山滿左右。(營業)岩淵榮男。(廣告)田村敬造。(事業)及川樹助。

(販賣)岩淵榮男。(東京支局)同。(大阪支局)清島三郎。(社員)八十五名。(工場員)百二十名。(機械)石川式及片出輪轉機各一。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七、七五、十五字、百四十二行、十二段。一箇月八十五錢。(廣告料)普通八十錢。場所指定二割増。

**岩手毎日新聞** 盛岡市日影門外小路。(電)三七、一〇一五、八〇八。創刊明治三十二年二月廿二日。合資。朝刊四頁、夕刊四頁。(版數)一。(部數)昭和六年八月一日現在一萬四千三百部。(社主)中村治兵衛。(社長)新渡戸仙岳。(編輯)小野甫善。(營業)佐々木次郎。(東京支局)佐野博敏。(大阪支局)永田格太郎。(社員)四十名。(工場員)四十二名。(機械)石川式輪轉機一、平盤二。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七ボ、十五字、百五十六行、十三段。一箇月八十五錢。(廣告料)普

通八十錢、場所指定十錢増、特別面一圓五十錢。(特設)赤刷機の設備あり。

**岩手中央新聞** 花巻町川口。創刊大正十四年十一月十五日。合資。五千五百圓。朝刊二頁。(社長)小田島金三。(主筆)鎌田彦兵衛。(機械)平盤二。(活字)舊、十一字、六十三行、十二段。一箇月三十五錢。(廣告料)八十錢。

**岩手タイムス** 花巻町川口。創刊昭和二年八月二十七日。匿名組合。二萬圓。朝刊二頁。(社長)清見浩平。(機械)四六三十二倍平盤一、菊八一。(活字)舊、十二字、六十三行、十一段。一箇月三十五錢。(廣告料)八十錢。

**東北民論** 釜石町第二地割八。(電)二〇五。創刊大正十四年十月三十一日。株式。五萬圓。朝刊四頁。(部數)七年現在三千部。(社長)加茂久一郎。(副社長)渡邊珪次。(編輯)深口金一郎。(營業)同。

**磐井毎夕** 一ノ關町上大槻街。創刊大正四年六月一日。個人經營。二千圓。夕刊二頁。(社長)阿部時一。(主筆)跡部一雄。(機械)平盤一。(活字)舊、十二段。一箇月三十五錢。(廣告料)八十錢。

**宮古新聞** 下閉伊郡山口村鴨崎八。創刊昭和三年二月十八日(旬刊)。昭和三年十月廿日(日刊)。個人經營。五千圓。夕刊小型二頁。(社長)小國善平。(機械)平盤二。(活字)九ボ、十段。一箇月五十錢。(廣告料)三十錢。

**青森縣** 青森市。人口……八七、九二四。世帯數……一四、三九一。地理的關係から東京紙の脅威は比較的稀薄であるが最近は仙臺から河北新報の虎視眈々たるあり。更に北海タイムス、秋田新報等も侵入してゐる。その中であつて人口七萬七千の青森市を地盤として東奥日報が發行

人口の密度は北海道につぐ稀薄地で、文化の程度もあまり高くない。従つて新聞は概して不振を免れないが、人口六萬二千の盛岡市を地盤とする岩手日報は縣下に固い地盤を有し、岩手毎日新聞これに對峙してゐる。移入紙は東京各紙の外河北新報が入つてゐる。



され、可也に成功してゐる。尙ほ此地に夕刊紙の青森日報がある。又弘前市(人口四萬三千)及び八戸市(人口五萬三千)からもそれ〴〵一二の新聞が発行されてゐるが全縣的に勢力を示すに至らない。

東奥日報

青森市大字大野字長島三ノ二。(電)長四三、二五〇、三九四、一〇四三。創刊明治二十一年十二月六日、株式十萬圓。朝刊四頁、夕刊四頁。(版數)朝刊二、夕刊二。(附錄)毎日日本紙四頁大の『サンデー東奥』添付。(社長)山田金次郎。(主筆)同。(編輯)取締役工藤規。政治)宮川善五郎。(經濟)鈴木武一。(社會)竹内俊吉(調査)長谷川虎次郎。(整理)工藤規(兼)。(地方)杉森文雄。(檢閲)小林長三郎。(寫眞)小島二郎。(營業)取締役武田永孚。(工局)取締役島口初太郎。(印刷業部)伊藤正人。(販賣)工藤文雄。(廣告)武田永孚(兼)。(東京支局)藤田義一。(社員)八十一名。(工場員)八十四名。(機械)TKS

青森日報

折式輪轉機二、同上赤刷機二、平盤五。自動鑄造機一(林榮社製)、カスチング二、自動製版機一、凸版、亞鉛版、寫眞銅版の製版設備あり。(活字)印刷業部用各種活字、新聞用七半、一五字、一四五行、一二段。一箇月八五錢。(廣告料)普通五〇錢、場所指定五割増。(兼營)一般印刷事業經營、毎年『東奥年鑑』發行。滿洲派遣軍人家族に新聞無料寄贈す。

青森市柳町五十一

(電)三九五、二七三。創刊明治十三年六月。個人經營。民政系。夕刊四頁。(社長)工藤鐵男。(副社長)淺井潔。(編輯)菅原傳之助。(政治)中田三雄。(社會)柿崎西松。(經濟)幸林定一。(學藝)福士四郎。(營業)鳴海助太郎。(東京支局)藤野保三。(機械)石川式輪轉一、平盤三。ステロ、寫眞版あり。(活字)七半、一五字、百五十七行、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通五十錢、特別面五割増。六年三月七ボ十三段となる。

弘前新聞

別面七十錢。弘前市元大町四〇。創刊大正四年二月九日。個人經營。二萬圓。朝刊小型四頁。(社長)成田彦太郎。(主筆)一戸捷一。(營業)成田祐。(機械)平盤一。(活字)舊、九段。一ヶ月六十錢。(廣告料)四十錢。

八戸毎日新聞

八戸市常泉下。(電)三四六、五二六。創刊大正十年九月。株式。二萬圓。朝刊四頁。(版數)一。(部數)七年現在三千八百部。(社長)武藤勝美。(主筆)同。(編輯)川井昌平。(營業)中村誠一。(東京支局)小松吉太郎。(大阪支局)岡本太郎。(社員)二十五名。(工場員)二十名。(機械)平盤二。ステロ設備あり。寫眞版目下準備中。(活字)七半、一五字、八十七行、十二段。一箇月五十錢。(廣告料)廿五錢、場所指定五十錢、特別面七十錢。社屋建築輪轉機添付の計畫有はちのへ新聞 八戸市。(電)五二二。創刊明治廿三年十二月八日。個人經營。四萬圓。夕刊

青森報知新聞

青森市大字安方町一一五。(電)三九七。創刊昭和二年四月十六日。個人經營。二萬圓。夕刊小型四頁。(部數)七年九月現在三千五百部。(社長)關精一。(社長)同。(副社長)關德次郎。(編輯)次長)松森文雄。(整理)八木橋康正。(營業)關谷一雄。(社員)三十名。(工場員)十六名。(機械)四六判十六頁、四六判四頁各一。(活字)九ボ、十四字、五十行、九段。一箇月三十錢。(廣告料)三十錢。

山形縣

山形縣は人口の割に新聞の數が多く、且つ中心地が人口六萬三千の山形市の外、四萬四千七百の米澤市、三萬三千の鶴岡市及酒田港等の各地に分裂し、其上東京紙の壓迫が可也に烈しい爲め、地元新聞には甚だ不利である。併し山形市の山形新聞は全縣的に勢力あり、相當成績を擧げてゐる。

山形新聞

山形自由新聞社發行。山形市七日町四七一。(電)六三、四六五、五九〇、六九六、九八四。創刊明治九年九月一日。株式。十萬圓。朝夕八頁。(版數)朝刊三、夕刊三。(地方版)莊内、村山置賜、市内。(部數)七年九月一日現在四萬八千部。(社長)服部敬吉。(專務)服部敬雄。(主筆)庄司貞夫。(編輯)同。(整理)高嶋米吉。(政治)遠藤岩吉。(經濟)武田幸三。(社會)今糸甲子

四頁。(版數)一。(部數)七年現在六千。(社主)鈴木惣吉。(社長)同。(支配人)後藤金三郎。(編輯)奈須川葆光。(政治)佐々木徳藏。(社會)接待雄司。(經濟)瀧澤芳美。(運動)下田政吉。(營業)大島武三郎。(廣告)山田徳助。企業)後藤金三郎。(販賣)三浦藤吉。(東京支局)鈴木國三郎。(社員)三十二人。(工場員)二十人。(機械)平盤四十六頁二。ステロあり。(活字)七半、一五字、八十四行、十二段。一箇月五十錢。(廣告料)普通二十錢、場所指定三十錢。

黒石新報

黒石町。(電)二二八、七五。創刊大正十四年十二月五日。夕刊四頁。(部數)七年九月十日現在千部。(社主)長谷川忠藏。(社長)同。(主筆)同。(社員)十五名。(機械)一。(活字)九ボ。一箇月四十錢。(廣告料)五十錢。

河南タイムス

大鰐町。創刊昭和六年十一月二十日。個人經營。三千圓。朝刊二頁。(社長)長利彌之助。(主筆)澤田久太郎。(編輯)平川力。(營業)澤田

久太郎

(機械)平盤一。(活字)九ボ、十一段。一ヶ月四十錢。(廣告料)三十錢。

十和田新聞

三本木町。(電)六一。創刊大正十三年九月。個人經營。二萬圓。政友系。朝刊四頁。(版數)隔日刊行。(附錄)三本木興信所報、八戸興信所報、文藝雜誌『みきの』、十和田湖宣傳雜誌『十和田湖』。(部數)七年現在千七百部内外。(社主)小笠原八十美。(社長)本多浩治。(主筆)山本兵榮。(營業)柴田徳右衛門。(社員)二十一名。(工場員)十四名。(機械)菊版八頁、四六八頁各一。(活字)舊、十一字、四十四行或は六十二行、十段或は十二段。一ヶ月二十錢。(廣告料)普通三十錢、場所指定五割増、特別面四十五錢。(兼營)一般活版印刷業、十和田湖案内所、及び興信所あり。

圖元來十和田湖宣傳を主意として發行せるものにして、隨時十和田湖遊覽案内書及び宣傳號發行す。

別面七十錢

弘前市元大町四〇。創刊大正四年二月九日。個人經營。二萬圓。朝刊小型四頁。(社長)成田彦太郎。(主筆)一戸捷一。(營業)成田祐。(機械)平盤一。(活字)舊、九段。一ヶ月六十錢。(廣告料)四十錢。

八戸毎日新聞

八戸市常泉下。(電)三四六、五二六。創刊大正十年九月。株式。二萬圓。朝刊四頁。(版數)一。(部數)七年現在三千八百部。(社長)武藤勝美。(主筆)同。(編輯)川井昌平。(營業)中村誠一。(東京支局)小松吉太郎。(大阪支局)岡本太郎。(社員)二十五名。(工場員)二十名。(機械)平盤二。ステロ設備あり。寫眞版目下準備中。(活字)七半、一五字、八十七行、十二段。一箇月五十錢。(廣告料)廿五錢、場所指定五十錢、特別面七十錢。社屋建築輪轉機添付の計畫有はちのへ新聞 八戸市。(電)五二二。創刊明治廿三年十二月八日。個人經營。四萬圓。夕刊

三。(通信)菊地五郎。(寫眞)柴田保重。(營業)新關太右衛門。(廣告)小川光三。(販賣)村山義平。(經理)五十嵐源吉。(庶務)深瀬安。(事業)堀田隆。(東京支局)渡部彦四郎。(大阪支局)松下兵馬。(社員)百五十名。(工場員)五十五名。(機械)マリノニ式輪轉機二、平盤二。萬能活字鑄造機一、ステロ三、寫眞版設備あり。(活字)七ボ、一五字、百五十五行、十三段。一ヶ月八十五錢。(廣告料)普通一圓、場所指定一圓二十錢、特別面一圓五十錢。

山形縣産業調査所、山形新聞讀者保險相談所を設置す。六年十月十七日第二回商工振興祭を主催。参加五百餘名、七十餘組に達す。六年十一月山形聯隊出征に際し柴田、今糸兩社員を滿洲へ特派す。七年一月「霞城軍滿洲派遣ラフ」を發行全讀者へ贈る。七年五月北日本最初のエアロページエント軍事飛行大會を開

く、飛行機三台、パラシュエータ  
一参加、廿二聯隊全員出勤盛観  
を極む。

日刊山形

山形新聞社發行  
山形市香澄町八幡石五八(電)  
一〇七、五六七。創刊明治廿三  
年四月一日。株式。八萬圓。朝  
刊四頁、夕刊四頁。(版數)二。  
(附録)隔月縮附録。(地方版)庄  
内、置賜。(社長)大石泰正。(編  
局)渡邊忠左衛門。(整理)結城  
健三。(政治)赤谷達。(學藝)後  
藤太内。(社會)飯塚定一。(運動)  
小野不二男。(總務局)渡邊仲次  
郎。(廣告)石川幸助。(外交)生  
熊金太郎。(販賣)片岡政太郎。  
(東京支局)重永昇。(大阪支局)  
加藤安雄。(機械)内國製輪轉機  
二、ハンド一、萬能鑄造機一、  
ステロ二、寫眞製版機二。(活字)  
七ボ、十五字、百五十五行、十  
三段。一ヶ月八十五錢。(廣告料)  
普通一圓、場所指定二割増、特  
別面五割増。

山形民報 山形市山形驛前大通  
七年七月工場其他に種々の問  
題を生じたがやがて解決した。

り。(電)三八六、七七五。創刊  
明治三十二年四月。個人經營。  
十萬圓。民政系。夕刊四頁。版  
數)二。(地方版)米澤、酒田、最  
上版(月五回)。(部數)七年一月  
一日現在八千五百部。(社主)齋  
藤庄之助。(社長)同。(主幹)齋  
藤仁。(主筆)同。(編輯)河合油  
吉。(政治)菊池健次郎。(社會經  
濟)齋藤稔。(通信)丹野金示。  
(整理)丹野敬治。(營業兼廣告)  
齋藤利。(事業)石山榮。(工務)  
山本清吉。東京支局)渡部五郎。  
(大阪支局)小林幹雄。(社員)三  
十五名。(工場員)二十五名(機  
械)平盤二。ステロ、寫眞版設  
備あり。(活字)七半、十五字、  
百二十行、十二段。一ヶ月六十  
錢。(廣告料)普通五十錢、場所  
指定三十錢増、特別面一圓(兼  
營)代理部にて胡麻の精、ラザ  
オ、安胎散、棧釜其他を販賣す。

新山形

山形市榮町大通。創刊  
大正九年十月一日。匿名組合。  
五萬圓。夕刊四頁。(社主)菅野  
彦吉。(社長)同。(編輯)澁谷智  
(營業)小松久兵衛。(機械)平盤

兩羽朝日新聞

酒田驛前(電)  
五四七、七二三。創刊大正十  
年十月廿日。株式。六萬圓。朝  
刊四頁、夕刊四頁。(版數)二。  
(附録)日曜附録(地方版)秋田、  
最北。(部數)七年八月廿日現在  
六千五百。(社主)阿部鐵太郎。  
(社長)同。(支配人)佐藤茂藏。  
(編輯)伊藤直次。(營業)小林萬  
吉。(廣告)長谷川喜一。(販賣)  
岩淵武一。(社會)兵藤專吉。(東  
京支局)村瀨留治郎。(大阪支局)  
松下兵馬。(社員)廿六名。(工場  
員)廿四名。(機械)高速度一、  
平盤二。活字鑄造機、ステロ、  
寫眞版設備あり。(活字)八ボ、  
十四字、百行、十二段。一ヶ月  
七十錢。(廣告料)普通五十錢、  
場所指定一圓。

酒田新聞

酒田町上内匠町九五  
(電)二四四。創刊明治廿三年五  
月。匿名。五萬圓。夕刊四頁。  
(部數)昭和六年五月廿日現在二  
千二百部。(社長)池田藤彌。(主

酒田新報

酒田町下中町三一。  
創刊大正十一年十一月廿七日。  
匿名出資。一萬圓。朝刊四頁。  
(部數)六年九月十日現在三千五  
百部。(社主)笹原定治郎。(社長)  
平田吉郎。(主筆)長澤虎治郎。  
(編輯)北橋良彌。(營業)三島得  
郎。(東京支局)村瀨留治郎。(社  
員)二十五名。(機械)平盤ロ  
ル、ステロあり。(活字)七半、  
十五字、十二段。一ヶ月六十錢。  
(廣告料)普通五十錢、場所指定  
二割増、特別面一圓。

東北日日新聞

酒田町。創刊  
昭和二年。個人經營。一萬圓。  
朝刊四頁。(社長)本間多三男、  
(主事)石上秀橘。(營業)伊藤松

團。(廣告)大沼直松。(機械)平  
盤二。(活字)舊、十二段。一ヶ  
月六十錢。(廣告料)五十錢。

米澤新聞

米澤市門東町下ノ丁  
二九九七。(電)三三三。創刊明  
治四十五年五月。個人經營。夕  
刊四頁。(主幹)石倉憲吉。(理事)  
吉川吉藏。(營業)高野新吉。(東  
京支局)宮本甚之助。(機械)平盤  
二、ステロあり。(活字)九ボ、  
十三字、百二十二行、十二段。  
一ヶ月六十錢。(廣告料)普通七  
十錢、特別七割増。

夕刊よねざは

米澤市越後番  
匠町三三三八。創刊大正二年五  
月。個人經營。民政系。夕刊四  
頁。(社長)高島兵衛。(主筆)小  
川繁。(編輯)澁谷信一。(營業)  
栗林昭行。(廣告)佐藤寅太郎。  
(機械)平盤二、ステロあり。活  
字)舊、十一字、百行、十二段。  
一ヶ月六十錢。(廣告料)五十錢。

米澤朝報

米澤市立町四三〇六  
創刊明治四十五年六月。個人經  
營。朝刊二頁。(社長)高野義雄  
(主筆)岡田重壽。

鶴岡日報 鶴岡市若葉町。(電)  
五一三、六五六。創刊大正三年

九月一日。株式。二萬六千圓。  
民政系。夕刊四頁。部數七年九  
月十日現在三千三百部。(社長)  
五十嵐喜一郎。(常務)佐藤仁左  
衛門。(支配人)齋藤治。(主幹)  
山口成吉。(編輯)同。(營業)齋  
藤菊治。(社員)廿九名。(工場員)  
十七名。(機械)輪轉機一。(活字)  
七半。

七年三月新聞聯合に加盟す。  
莊内新報 鶴岡市馬場町三日町  
創刊明治三十七年。合資。三萬  
圓。朝刊四頁。(社長)平田吉郎。

(主筆)長澤虎治郎。(編輯)北橋  
良彌。(營業)笹原定治郎。(廣告)  
長岡直充。(機械)平盤一。(活字)  
七ボ、十二段。一ヶ月七十錢。  
(廣告料)普通五十錢。  
鶴岡新聞 鶴岡市馬場町。創刊  
大正十年。個人經營。(社長)加  
藤惣七。(主筆)佐藤壽郎。

秋田縣

人口………九七、七六  
世帯數………一六七、九五  
秋田縣の新聞中心地は、秋田市  
(人口五萬一千)に限られて居り

秋田魁新報

秋田市大町  
十四。(電)一五〇、四九五、三  
五一、三〇四。創刊明治七年二  
月。株式。三十萬圓。朝刊四頁、  
夕刊四頁。(版數)三。(附録)土  
曜サキカケ。(部數)七年現在五  
萬部。(社長)安藤和風。(專務)  
中村重惇。(常務)安藤和風。(主  
筆)同。(編輯)皆川哲雄。(編部)  
石井清幸。(整理、經濟、調査)武  
埜祐吉。(社會、地方)洞城利喜。  
(政治、計畫)深浦宗壽。(速記)三  
宅昌一。(警局)中村重惇(検査、  
總務)佐藤竹之助。(東京支局)井

最近一二の地方にも新聞の發行  
を見るに至つたがさしたる勢力  
はない。秋田市の秋田魁新報は  
古い傳統と固い地盤とを有し最  
も有力とされ、本紙の民政系に  
對し政友系の秋田新聞は六年五  
月秋田時事新報を合併して秋田  
旭新聞に更生した。秋田魁は文  
人安藤和風君を社長に頂き活氣  
ある經營振りを示してゐる。某  
官憲方面の推定によれば秋田魁  
斷然多く、移入紙は東朝、東日  
を第一として、報知、時事これ  
につぐ。

秋田旭新聞

秋田市下長  
町二。(電)九六〇、九六一。  
創刊明治四十四年九月十一日。  
共同經營。十五萬圓。朝刊四頁。  
(專務理事)小西傳助。(理事)加  
賀谷東十郎。(顧問)中村千代松。  
(主筆)加賀谷東十郎。(編輯)櫻  
田直治。(同次長)中島耕一。(政  
治)船木英治郎。(社會)淺野四  
郎。(經濟)羽川喜代治。(營業)加  
賀谷東十郎。(機械)内外國製輪  
轉機各一。活字鑄造機、ステロ、  
寫眞版設備あり。(活字)七ボ、  
十五字、百五十五行、十三段。  
一ヶ月五十錢。(廣告料)普通六  
十錢、特別面九十錢。

秋田毎日新聞 秋田市大町二

丁目七。政友系。朝刊四頁。(社長)熊井又八郎。(編輯)鎌田一也。

羽後新報

横手町大町上丁。(電)二七。創刊明治廿八年八月。株式。五萬圓。朝刊四頁。(版數)一。(部數)七年七月一日現在四千七百部。(社長)芳賀恒介。(常務)芳賀匡。(編輯)坂本恭藏。(營業)芳賀隆一。(東京支局)林省三。(社員)十七名。(工場員)三十二名。(機械)平盤三、ステロ設備あり。(活字)五號、十二字、七十二行、十一段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通六十錢、場所指定五割増。

北鹿新聞

大館町二六六。(電)二四三。創刊大正七年十月十六日。株式。一萬圓。朝刊四頁。(部數)七年現在四千部。(社長)泉民家。(編輯)前小屋收二郎。(營業)工藤謙太郎。(社員)二十三名。(工場員)十五名。(機械)四六十六頁奥村式二色刷一、四六八頁一、他二台。(活字)九ボ、

十二字、六十行、九段。一ヶ月三十五錢。(廣告料)特別面四十錢。(兼營)活版印刷。

新潟縣

人口... 世帯數...

新潟縣は全國でも有數の大縣だが、地理的關係から新潟市(人口十二萬五千)、長岡市(人口五萬七千)、高田市(人口三萬)及び佐渡の四箇所に新聞中心地が分裂し且つ新聞の數が多數である爲め、人口の割に圖抜けて大きな新聞はない。併し新潟市の新潟毎日新聞、新潟新聞、長岡市の北越新報等は、いづれも地方新聞の雄であり、新潟毎日の政友系に對し他の二紙は民政系だが、何れも政黨の消長によつて勢力の動搖するが如き事はない尙右につくものに新潟に新潟時事、長岡に越佐新報、高田に高田新聞等がある。移入紙では、東朝、東日最も多く、次は時事報知、最近では讀賣の進出目覺ましい、蓋し六年八月上越線の

開通と共に東京各紙の侵入愈々加はり、此處に一大混戦が展開され、地元紙にとつて大なる脅威となつた。その結果地元紙の一流のものは益々中央紙を眞似るやうになり、新潟新聞などは夕刊二版制をとり、移入紙に對抗してゐる。

新潟新聞

新潟市西堀前通。(電)一四八〇、三四〇、四二八、一七六九。創刊明治十年四月七日。株式。二十萬圓。民政系。朝刊四頁、夕刊四頁、日曜朝刊六頁。(版數)朝刊三、夕刊二、(附録)日曜附録。(社長)山田助作。(専務取締役)羽入雪太郎。(主筆)山田毅城。(編輯)高橋友治郎。(編輯主事)釜田孝平。(營業主事)佐藤新次郎。(營業主事)大野新吉。(東京支局)阪口誠吉。(大阪支局)井上敏行。(社員)四十四名。(工場員)五十名。(機械)東京機械輪轉機二、四六判十六頁機械一。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七ボ、十五字、百五十行、十三段。一ヶ月九十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定五割増、特

別面二圓。(兼營)代理部、普通印刷部。

新潟毎日新聞

新潟市東仲通一番町。(電)五一〇、八三八、一六九一、一八四九、二一一二。創刊明治四十三年三月。匿名組合。二十萬圓。政友會。朝刊四頁、夕刊六頁。(地方版)二。(専務理事)小柳調平。(主筆)淺海琴一。(編輯)古川哲治。(營業)田中正治。(廣告)川崎新吉。(東京支局)同。(機械)石川式輪轉機二、同折式二、平盤一。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七ボ、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月九十錢。(廣告料)普通七十錢、特別面二圓。

新潟時事新聞

新潟市西堀通六番町。(電)六六一、一七三七、二七三六。創刊大正十二年二月十七日。株式。十五萬圓。政友會。朝刊四頁、夕刊四頁。

新潟毎夕新聞

新潟市西堀前七。(電)一四〇五。創刊大正十五年六月。株式。十六萬圓。民政系。夕刊四頁。(版數)三。(附録)水曜版。(部數)七年現在二萬八千五百部。(社長)吉川大介。(副社長)佐藤芳男。(支配人)長井鴻一。(主幹)吉川大介。(編輯)遠藤榮一。(政治兼經濟)上村吉太郎。(社會)清水茂。(文藝)中村倉村。(通信)河野弘。(營業)吉川宇多。(新聞)長田浪吉。(廣告)藤村芳三。(經理)今井松三。(東京支局)堂嶋正助。(社員)三

北越新報

長岡市坂ノ上町。(電)六一、六六、一〇八、五三〇、一一八四。創刊明治十四年六月九日。株式。二十萬圓。朝刊六頁、夕刊四頁。(版數)三。

越佐新報

長岡市荒屋敷町。創刊明治三十三年五月。株式。十五萬圓。朝刊四頁、夕刊四頁。(社長)藤井浩然。(副社長)猪爪巴。(専務)今成幸一。(主筆)藤井浩然。(編輯)猪爪巴。(廣告)太田仁一郎。(事業)神田富次郎。(販賣)今成幸一。(東京支局)加藤賴司。(大阪支局)落合正兵衛。(社員)社内二十六名、支局十九

長岡日報

長岡市觀光院町。(電)一一〇六。創刊大正五年十一月二十八日。株式。五萬圓。政友會。夕刊四頁。(部數)七年九月十五日現在七千五百部。(社長)村山浪治郎。(専務)渡邊藤造。(常務)川上貞一郎。(主筆)同。(營業)關川善三郎。(廣告)北村龍次郎。(販賣)小林幸太郎。(東京支局)村瀨留次郎。(社員)二十三名。(工場員)二十一名。(機械)平盤十六頁三。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七・七五、十三字、百二十行、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定一圓二十錢。(兼營)印刷業。

高田新聞

高田市本町三丁目。創刊明治十六年四月。個人經營。民政黨。朝刊四頁、夕刊

十三名。(工場員)八十六名。(機械)輪轉機一、平盤三。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七ボ、十五字、百三十五行、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定一圓、特別面一圓五十錢。(兼營)週刊「新潟日曜新聞」。

(社長)廣井一。(常務)小池誠吉郎。(主筆)川上法助。(編輯)西方稻吉。(編輯主事)林梧樓、小林昌司、佐藤留吉郎。(營業)常務兼任。(庶務、販賣)山崎九郎二。(廣告)今井德太郎。(印刷)岩瀬直藏。(東京支局)小野喜一。(大阪支局)大林茂雄。(社員)五十五名。(工場員)二百五十名。(機械)第一高速度輪轉機一、折疊式輪轉機二、アオリ輪轉機一、平版ロール五。自動鑄造機二、カスチング二、ステロ整版機、寫眞複寫器二。(活字)七ボ、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月九十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定二圓、特別面二圓。(兼營)印刷業。

名。(工場員)五十一名。(機械)津田式輪轉機一、平盤八。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七・七五、十五字、百卅五行、十二段。一ヶ月九十五錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定二割増、特別面二圓。(兼營)一般の印刷業。

二頁。(版數)三。(主幹)中村武一。(主筆)星野良平。(編輯)伊藤豐三。(營業)佐藤淳平。(廣告)山川友三郎。(機械)内國製輪轉機一、平盤三。ステロ、寫真版設備あり。(活字)七半、十五字、十二段。一ヶ月八十錢。(廣告料)六十五錢。

### 高田日報

高田市本町四丁目五〇。創刊明治四十年七月。

個人經營。政友會。朝刊四頁、夕刊二頁。(社長)丸山豊治郎。(主幹)武田徳三郎。(顧問)中村又七郎。(編輯)大井一星。(支配人)袖山治助。(營業)猪股久治郎。(廣告)平田健一。(販賣)栗原健吉。(機械)マリノニ輪轉一、平盤一。ステロあり。(活字)七半、十五字、百三十行、十二段。一ヶ月八十錢。(廣告料)普通六十五錢。特別面一圓五十錢。七年九月讀賣新聞と併賣する事となり、兩紙にて一圓となる。

### 越後新聞

高田市馬出町。創刊明治四十五年。合資。一萬圓。夕刊四頁。(社長)五十嵐彌吾八。(主筆)坂井義正。(編輯)岩井義光。(營業)谷種吉。(廣告)

杉田包治。(機械)内國製輪轉機一、平盤三。ステロあり。(活字)七・七五、十五字、百十二行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)六十錢。

(社員)十二名。(工場員)十六名。(機械)四六平盤二、フット一。鑄造機一、ステロ一。(活字)七半、十五字、百二十四行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通六十錢。場所指定二倍、特別面三倍。(兼營)諸印刷物。

### 高田時事新聞

高田市仲町三丁目。個人經營。一萬三千圓。朝刊小型四頁。(社長)神岡辰次郎。(機械)平盤一。(活字)七、九段。一ヶ月五十錢。(廣告料)六十五錢。

柏崎日報 柏崎町本町四丁目。創刊明治三十三年五月十日。個人經營。朝刊四頁。(社主)桑山クニ。(社長)同。(支配人)久我政治。(主筆)足立活郎。(營業)支配人兼務。(東京支局)林省三。(社員)十名。(工場員)二十一名。(機械)平盤十六頁二、菊四二。活字鑄造機、ステロの設備あり。(活字)七半、十五字、百四十五行、十二段。一ヶ月七十錢。(廣告料)普通六十錢。場所指定一圓特別面一圓五十錢。

一ヶ月七十五錢、郵送七十五錢。(廣告料)普通七十錢。

### 上越日報

(新愛知の地方附録)高田市仲町六丁目。創刊大正十一年六月。朝刊二頁。(社長)大島吉。(主筆)伊藤竹三郎。(編輯)田中惣二郎。(營業)同。(機械)平盤二。(活字)八、十五字、百二十行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)六十錢。(兼營)普通印刷代理部。

新發田新聞 新發田町字竹町。創刊明治四十一年一月一日。個人經營。朝刊四頁。(社長)土田亦次郎。(編輯)長谷川賢造。(營業)大沼信太郎。(廣告)高橋留吉。(機械)輪轉機一、平盤其他四。ステロあり。(活字)七・七五、十五字、百三十五行、十二段。

佐渡毎日新聞 佐渡郡相川町。(電)六一。創刊昭和五年七月一日。二萬圓。政友系。夕刊四頁。(社主)高屋治介。(社長)同。(主筆)大澤城東。(編輯)山田巖(營業)藤澤幾次郎。(工場員)十五名。(機械)平盤二。(活字)十三字、八十七行、十二段。一ヶ月地元七十錢、以外八十錢。

### 柏崎日日新聞

柏崎町比角。(電)一一〇。創刊昭和三年七月十日。株式。二萬圓。朝刊四頁。(部數)七年八月末日現在三千部(社長)池田喜一。(專務)押谷孝(支配人)芥田久儀。(主筆)井上幸次郎。(編輯)岡本省吾。(營業)芥田久儀。(東京支局)柳澤篁治。

佐渡日報 佐渡郡相川町八百屋町。創刊大正三年八月二十五日。個人經營。民政系。朝刊四頁。(社長)淺香寛。(主筆)土田光方。(營業)本間丘三。(機械)平盤一。

### 越後日日新聞

(北信毎日新聞の改題)三條町。(休刊中近く再刊の由)。

野球、麻雀、釣魚等の大會は本社の特占。

野球、麻雀、釣魚等の大會は本社の特占。

聞、信濃時事がある。人口三萬五千の上田市は東京紙と長野紙の挾撃を受けて不振。次に移入紙は東京に近い關係から關東地方についての有力な東京紙の地盤とされ、中央線に沿ふ木曾から伊那及び松本方面には名古屋の新聞も相當に入つてゐる。七年六月現在の松本市に於ける移入紙の推定部數は、東日四千五百、東朝三千二百、報知千六百、時事八百五十、信濃毎日三千、長野新聞三百五十、新愛知八百五十、長野新聞六百と云はれる。但し東日には約二千の擴張紙があると思はれる。尙東日では七年春松本市の松林堂の改題を以て始めとして各地に專賣店を急設する等、從來の方針を一變し、縣下一帯の東日系販賣店を硬化せしめた。

桐生悠々。(編局)青山三澤精英。(營業)新井寛三。(東京支局)西澤圭。(社員)八十六名。(工場員)百二十二名。(機械)東京機械高速度輪轉機一、マリノニ式三。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備。字母製造。(活字)七半、十五字、十三段。一箇月九十錢。(廣告料)普通一圓、場所指定二圓五十錢。(兼營)出版部及臨時印刷部。

ステロあり。(活字)九、十二字、百十六行、十二段。一ヶ月八十錢。(廣告料)七十錢。

### 新佐渡

佐渡郡河原町。創刊大正四年八月。個人經營。朝刊小型四頁。(社長)森守藏。(編輯)古城順平。(營業)中山泰次郎。(機械)平盤一。(活字)七半、九段。一ヶ月七十錢。(廣告料)五十錢。

長野縣人は一體に議論好きだと云はれる。それがこの縣の新聞國となる原因の一つでもある。併し富の分配比較的平衡を得、教育も平均して高く、人口多く産業も盛んで、最近農村疲弊の聲を聞くが、新聞國たるべき種々の條件は充分具はつてゐる。新聞中心地は人口七萬四千の長野市で、此處に信濃毎日新聞、長野新聞あり、全縣的に勢力を持つてゐる。殊に前者は、全國的にも有数の地方新聞の一つに數へられ、販賣部數も三四萬と推定される。長野市については人口七萬二千の松本市に信濃民報、信濃日報あり、又上諏訪に南信日日新聞、飯田町に南信新

聞、信濃時事がある。人口三萬五千の上田市は東京紙と長野紙の挾撃を受けて不振。次に移入紙は東京に近い關係から關東地方についての有力な東京紙の地盤とされ、中央線に沿ふ木曾から伊那及び松本方面には名古屋の新聞も相當に入つてゐる。七年六月現在の松本市に於ける移入紙の推定部數は、東日四千五百、東朝三千二百、報知千六百、時事八百五十、信濃毎日三千、長野新聞三百五十、新愛知八百五十、長野新聞六百と云はれる。但し東日には約二千の擴張紙があると思はれる。尙東日では七年春松本市の松林堂の改題を以て始めとして各地に專賣店を急設する等、從來の方針を一變し、縣下一帯の東日系販賣店を硬化せしめた。

七年春創刊六十年記念として一萬三千餘圓を提供し、景品二萬點の讀者福引を催し同時に信毎家庭重寶を全讀者に贈呈した。

### 佐渡タイムス

佐渡郡兩津町。夷二百六十番地一〇四。(電)夷九。創刊大正十四年十一月十六日。個人經營。五千圓。政友會系。朝刊四頁。(版數)一。(部數)七年現在一千五百部。(社主)小杉忠一。(社長)同。(主幹)仲川十左衛門。(編輯)小杉忠一。營業)川崎仁作。(社員)十三名。(工場員)七名。(機械)平盤一。ステロ一あり。(活字)八半、十四字、七十五行、十二段。一ヶ月七十錢(郵稅共)。(廣告料)普通七十錢。場所指定一圓、特別面一圓五十錢。(兼營)代理部を設け佐渡郡内の物産を取扱ひ中央市場に之を紹介宣傳に努む東京出張所主任甲斐政二郎、園恭、

長野縣人は一體に議論好きだと云はれる。それがこの縣の新聞國となる原因の一つでもある。併し富の分配比較的平衡を得、教育も平均して高く、人口多く産業も盛んで、最近農村疲弊の聲を聞くが、新聞國たるべき種々の條件は充分具はつてゐる。新聞中心地は人口七萬四千の長野市で、此處に信濃毎日新聞、長野新聞あり、全縣的に勢力を持つてゐる。殊に前者は、全國的にも有数の地方新聞の一つに數へられ、販賣部數も三四萬と推定される。長野市については人口七萬二千の松本市に信濃民報、信濃日報あり、又上諏訪に南信日日新聞、飯田町に南信新

七年春創刊六十年記念として一萬三千餘圓を提供し、景品二萬點の讀者福引を催し同時に信毎家庭重寶を全讀者に贈呈した。

七年春創刊六十年記念として一萬三千餘圓を提供し、景品二萬點の讀者福引を催し同時に信毎家庭重寶を全讀者に贈呈した。

### 長野縣

人口、口……一、七、七、二、八

世界數……三、七、八、七

信濃毎日新聞 長野市南縣町六五七。(電)一一〇、二四〇、二九三、三七七。創刊明治六年七月。株式。三十萬圓。朝刊六頁、夕刊四頁。版數、夕二、朝三。(地方版)南信、北信。(常務)小坂武雄(社長代理)。(主筆)

七年春創刊六十年記念として一萬三千餘圓を提供し、景品二萬點の讀者福引を催し同時に信毎家庭重寶を全讀者に贈呈した。

### 長野新聞

長野市旭町乙一。(電)二五、五二五、一〇九五。創刊明治三十二年四月三日。株式。六萬三千圓。朝刊四頁、夕刊四頁。(社長)山本慎平。(支配人)長政孝。(主筆)矢ヶ崎賢次。(編局)酒井敬重。(政治)岩崎憲。(營業)酒井敬重。(販賣)青木常雲。(廣告)廣田寛一。(東京支局)山田不二夫。(大阪支局)松林喜八郎。(社員)五十六名。(工場員)五十三名。(機械)東京機械製マリノニ式二、平盤三。活字

七年春創刊六十年記念として一萬三千餘圓を提供し、景品二萬點の讀者福引を催し同時に信毎家庭重寶を全讀者に贈呈した。

七年春創刊六十年記念として一萬三千餘圓を提供し、景品二萬點の讀者福引を催し同時に信毎家庭重寶を全讀者に贈呈した。

七年春創刊六十年記念として一萬三千餘圓を提供し、景品二萬點の讀者福引を催し同時に信毎家庭重寶を全讀者に贈呈した。

七年春創刊六十年記念として一萬三千餘圓を提供し、景品二萬點の讀者福引を催し同時に信毎家庭重寶を全讀者に贈呈した。

七年春創刊六十年記念として一萬三千餘圓を提供し、景品二萬點の讀者福引を催し同時に信毎家庭重寶を全讀者に贈呈した。

七年春創刊六十年記念として一萬三千餘圓を提供し、景品二萬點の讀者福引を催し同時に信毎家庭重寶を全讀者に贈呈した。

七年春創刊六十年記念として一萬三千餘圓を提供し、景品二萬點の讀者福引を催し同時に信毎家庭重寶を全讀者に贈呈した。

鑄造機二、寫眞製版機二、凸版製版機一、コッピ機二、鉛版鑄造機三、鉛版仕上機三。(活字)七半、十五字、百四十七行、十二段。一箇月八十錢。(廣告料)四十五錢、特別面九十錢、雜報欄一圓三十錢、赤刷一圓八十錢。(兼營)活版印刷、新聞活字鑄造替を引受く。

**信濃日日新聞**

長野市縣町四五。(電)三七、八三八。創刊明治十八年二月十一日。株式三萬圓。朝刊四頁。(取締役會長)中山武三郎。(主幹)羽生田源三。(編輯)宮下政之助。(同次長)宮澤惠一郎、小林注吉。(營部)酒井義徳。(廣告)小林義明。(販賣)丸山兼輔。(工場)黒岩正義。(東京支局)勝田重治郎。(大阪支局)井上環。(機械)金津式輪轉機一、平盤二、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七半、十五字、百四十行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通四十五錢、特別面九十錢。

**信濃民報**

松本市大字筑摩一九五番地。一。(電)二五、一〇九四。創刊明治三十二年八月。

株式、十二萬圓。夕刊四頁。(社長)三澤眞澄。(支配人)藤澤千里。(主幹)小松秀一。(編輯)上原元英。(編輯)山崎公夫。(營部)藤澤千里。(會計)上原元英。(東京支局)岩立慶三郎。(機械)輪轉機一、平盤二。字母、ステロあり。(活字)八ボ、十五字、百三十行、十二段。一箇月八十錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定十錢増し、特別面倍價。

**信濃日報**

松本市大名町七四。(電)六〇五、六六、五七八。六六〇。創刊明治五年十月。個人經營。民政黨。夕刊四頁。(代表者)副社長)百瀬渡。(主幹)降旗徳彌。(支配人)樋口馨。(編輯)山田彦作。(營部)小峰徳水。(廣告)樋口馨。(庶務)手塚松平。(機械)津田式輪轉機一、平盤三。字母、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)八ボ、十五字、百三十行、十二段。一ヶ月七十錢。(廣告料)普通五十錢、特別面一圓。

**南信中央新聞**

松本市地藏清水八。(電)一三九〇。創刊大正

**信濃新報**

松本市。創刊明治十四年四月三日。個人經營。朝刊小型四頁。(社長)大島卓爾。(機械)平盤一。(活字)舊、八段。一ヶ月四十五錢。(廣告料)五十錢。

**松本新聞**

松本市。創刊大正九年二月一日。個人經營。朝刊小型四頁。(社長)小原輝美。(機械)平盤一。(活字)舊、八段。一ヶ月五十錢。(廣告料)五十錢。

**信州報知新聞**

松本市。創刊大正十三年八月十日。個人經營。朝刊小型四頁。(社長)丸山榮次。(機械)平盤一。(活字)舊、六段。一ヶ月五十錢。(廣告料)五十錢。

**新信濃**

(新愛知の經營)松本市新伊勢町。創刊大正五年九月。朝刊二頁。(社長)大島宇吉。(機械)平盤一。(活字)舊、十二段。

**北信毎日新聞**

上田市。(電)一〇、九三〇。創刊明治三

**信濃時事**

信濃時事新聞株式會社發行。飯田町六三〇。(電)飯田二七〇、五四七。創刊大正四年八月一日。株式。五萬圓。民政黨。夕刊四頁。(社長)遠山秀景。(主幹)山下惠市郎。(主筆)久保田邦治。(編輯)大原桑村。(營業)山下惠。(東京支局)松本利充。大阪支局)西高信。(社員)五十八名。(工場員)三十二名。(機械)輪轉機一。(活字)七半、十五字、百四十二行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定一圓五十錢、特別面二圓。

**信濃大衆新聞**

飯田町。創刊大正十五年二月廿日。株式。三萬圓。無黨派支持。夕刊四頁。(部數)六年六月十三日現在三、六五〇。(社長)水野正勝。(主筆)山田阿水。(編輯)林武雄。(東京支局)馬場幸治郎。(社員)二十六名。(工場員)十四名。(機械)平盤一、ステロ流込機一。(活字)七、七五、十五字、八二行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)三十錢。

**産業日日新聞**

飯田町。創刊

**湖龍日報**

上諏訪町。(電)三四

**信濃タイムス**

上田タイムスの改題)上田市大字上田五六九二。(電)八七五。創刊大正十年二月十一日。個人經營。一萬圓。政友系。夕刊四頁。(部數)昭和七年一月一日現在五千部。(社長)橋本榮太郎。(社長)同。(主筆)荒井柳蛙。(編輯)若林光晴。(營部)橋本きん子。(東京支局)瀧澤七郎。(社員)十二名。(工場員)十五名。(機械)平盤二。活字鑄造機、ステロの設備あり。(活字)七半、十五字、九十二行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)

**南信新聞**

飯田町七一三。(電)一二九、五五一。創刊明治三十四年十二月。株式。五萬圓。政友會。夕刊四頁。(社長)田中太三郎。(事務)林雅次。(支配人)前島貫一。(主筆)池田傳之助。(編輯)小林實三郎。(營業)前島貫一。(廣告)前島琢三。(販賣)白岡仲治。(東京支局)山田豊。(大阪支局)佐々木里一。(社員)二十二名。(工場員)十五名。(機械)本田式輪轉機一。寫眞版設備あり。(活字)七半、十五字、百四十行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定二十錢、特別面一圓。

**上田毎日新聞**

上田市。創刊大正十五年九月。個人經營。夕刊小型四頁。(社長)永井政茂。(主筆)同。(編輯)山浦徳平。(營業)兒玉清雄。(機械)平盤三。(活字)九ボ、十五字、十段。一ヶ月四十錢。(廣告料)五十錢。

**普通四十錢、場所指定八十錢、特別面八十錢。**

七年九月十五日。上田タイムスを改題す。

**輪轉機設備計畫中。**

普通四十錢、場所指定八十錢、特別面八十錢。

七年九月十五日。上田タイムスを改題す。

輪轉機設備計畫中。

普通四十錢、場所指定八十錢、特別面八十錢。

七年九月十五日。上田タイムスを改題す。

輪轉機設備計畫中。

普通四十錢、場所指定八十錢、特別面八十錢。

七年九月十五日。上田タイムスを改題す。

輪轉機設備計畫中。

二、創刊大正六年十二月十二日。個人經營。立憲湖龍同志會機關。夕刊小型四頁。(版數)一。(部數)七年九月一日現在四、六〇〇。(社長)竹松仙吉。(社長)同。社員)十八名。(工場員)十二名。(機械)H型平盤一。(活字)八、十三字、六十行、九段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定一圓、特別面一圓四十錢。(特設大集會場(收容人員約一千名)。

**信陽新聞** 上諏訪町。創刊明治四十年十二月。個人經營。夕刊小型四頁。(版數)一。(部數)六年九月十二日現在一、二〇〇。(社長)小口貫一。(常務)金十久雄。(主筆)山崎公夫。(東京支局)和田理三郎。(大阪支局)山口昇(機械)平盤二。(活字)七、七五、九段。一ヶ月六十錢。

湖國新報 下諏訪町。創刊大正十二年六月二十七日。個人經營。朝刊小型四頁。(社長)河西耕二(機械)平盤一。(活字)舊、八段。一ヶ月七十錢。

美すす日報 大町一〇九。創刊昭和五年六月。個人經營。夕刊小型四頁。(社長)石原梅男(社長)同。(營業)原山浦次郎。(機械)平盤一。(活字)九、十、十二字、四十行、七段。一ヶ月三十錢。(廣告料)五十錢。

信越新聞 大町。創刊大正十四年二月十一日。個人經營。朝刊小型一頁。(社長)山岸理一。(機械)平盤一。(活字)舊、三段。一ヶ月三十錢(廣告料)三十錢。

信陽日日新聞 野澤町一三三。創刊大正十四年。合資。二萬圓。朝刊小型四頁。(社長)木下武彦(編輯)相馬白夜。(廣告)小林善一。(機械)平盤一。(活字)八、八段。一ヶ月四十錢。(廣告料)五十錢。

**(五) 東海**

**愛知縣**

人口……二、五七、四三

中央蠶絲 諏訪郡川岸村。創刊明治四十二年四月二十二日。共同出資。朝刊小型四頁。(社長)伊藤妻五郎。(機械)平盤一。(活字)舊、九段。一ヶ月一圓。

**信濃新聞** 諏訪郡平野村岡谷三

九一四。(電)四七六。創刊大正十四年八月三日。個人經營。五千圓。夕刊小型四頁。(附錄)農村號「純農村」月一回二頁。(部數)昭和七年三月一日現在五千部。(社長)太田孝作。(社長)同。(主幹)平林芳勝。(主筆)同。營業)竹村正治。(社員)十九名。(工場員)六名。(機械)平盤一。(活字)九、九、十二字、五十行、九段。一ヶ月七十錢。(廣告料)普通八十錢、場所指定一割増、特別面倍額。

**信州日日新聞** 諏訪郡平野村。

創刊明治四十三年十一月三日。個人經營。一萬五千圓。夕刊小型四頁(社長)八木彦男。(社長)同。(編輯)鳥羽聖。(機械)平盤二。(活字)舊、八段。一ヶ月五十錢。(廣告料)二十五錢。

**伊那毎日新聞** 伊那町。(電)四三〇。創刊昭和三年九月。個

人經營。朝刊四頁。(社長)保田將一。(社長)同。(主筆)小池文武。(東京支局)吉瀬才市郎。(社員)十二名。(工場員)十三名。(機械)菊判全判及四六三十二頁各一。ステロあり。(活字)七、七、半、十五字、九十行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)六十錢。

**伊那日報** 伊那町。創刊明治四十五年四月。株式。五萬圓。夕刊四頁。(社長)鹽原述。(主筆)宮崎巖雄。(編輯)中島光一郎。(營業)鹽原述。(機械)平盤五。(活字)八、半、十四字、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)六十錢。

**南信毎日新聞** 伊那町。創刊大正三年十一月一日。共同出資。朝刊四頁。(社長)山田織太郎。(機械)平盤一。(活字)七、七五、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)五十錢。

**信濃民友新聞** 伊那町古町。

(電)三五五。創刊大正十五年九月二日。匿名組合。一萬五千圓。夕刊小型四頁。(部數)七年現在八千五百部。(社長)野溝勝。(社長)同。(副社長)那須朱市。(專務)同。(支配人)野溝久子。(主

筆)唐木美代造。(編輯)同。(社)會)濱崎秀司。(政治、經濟)北原要。(營業)森芳雄。(販賣)馬場愛之助。(廣告)北澤忠助。(東京支局)横芳郎。(大阪支局)入間輝三。(社員)十六名。(工場員)十五名。(機械)名古屋活字社製造四六判二。寫真版機一。(活字)七、半、十五字、六十行、九段。(廣告料)普通五十錢、場所指定一圓、特別面各種倍額。

**高原日日新聞** 上伊那郡赤穂村。

創刊大正十四年五月十日。個人經營。二萬圓。夕刊小型四頁。(社長)木下織太郎。(社長)同。(編輯)唐澤文一。(營業)伊藤正芳。(機械)平盤二。(活字)舊、十三字、六十行、九段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通五十錢。

**中信毎日新聞** 岩村田町

創刊明治四十一年九月一日。個人經營。十萬圓。夕刊四頁。(版數)三。(社長)中澤菊太郎。(主筆)酒井靜夫。(編輯)同。(營業)中澤今朝雄。(廣告)中澤榮助。(機械)マリノニ式輪轉機一。鑄造、ステロ、寫真版の設備あり。(活字)七、半、十五字、百四十二

愛知、山梨、静岡、岐阜、三重の五縣を包含する東海地方は、静岡縣の西部を分水嶺として東は東京紙、西は大阪紙の勢力圏内に屬し、その大阪紙の勢力圏内には、中部日本の新聞中心地として東京大阪につぐ日本に於ける三大中心地の一つたる名古屋があり、此地に、新愛知及び名古屋新聞の二大紙がある。此の二紙は、單に地元の愛知縣のみならず、岐阜、静岡、三重の一部から、更に遠くは和歌山、滋賀、奈良、長野、福井、石川、富山にまで及び、我國地方新聞中の第一流を以て推され、その設備、紙幅内容等、東京大阪の大新聞に比較して殆んど遜色がない。

此の二紙に較べては大分規模は違ふが、併し地方紙として地元を勢力を振ふものに、津市に伊勢新聞、静岡市に静岡民友、静岡新報、岐阜市に岐阜日日新聞、甲府市に山梨日日新聞等あり、それら、固い地盤を有してゐる。

**世帯數……五二、四六**

愛知縣は全屈屈指の大縣である上に、人口九十萬の名古屋市、九萬八千の豊橋市、六萬五千の岡崎市、四萬二千の一宮市等を包含し、教育程度も高く、富力もある。新聞の發達は當然と稱すべく、名古屋市には前掲二紙の外に、名古屋毎日新聞、愛知新聞等の諸紙がある。併し何と云つても偉大なのは新愛知と名古屋新聞で、新愛知は政友系に屬し、後者に比ぶれば市部よりも縣外に驚くべき勢力を張り、名古屋新聞は民政系で市内に充實した讀者層を有してゐる。

**新愛知** 新愛知新聞社發行、

名古屋市西區御幸本町通二丁目二四。(電)本局一〇一六、二九。創刊明治廿一年七月。合資會社。一、五〇〇、〇〇〇圓。朝刊十頁。夕刊四頁。(版數)七。(附錄)家庭シナイイチ。(地方版)岐阜日報、三重日報、上越日報、北國日報、新福井日報、京都附録、大和旭新聞、滑賀附録、駿遠日報、富山タイムス、新信濃、駿河新聞、兩丹タイムス。(社長)大島宇吉。(支配人)大島慶治郎。(總務)大島一郎。(主幹)田中齊。(編輯)同。經濟)同。(工局、事業)金森辰五郎。(校正)長谷川良平。(政治)保見國治。(社會)岡本計吉。(商況)

而して兩紙の販賣部數は、合せて三十萬と云はれ、或ひは四十萬と云はれる。かくして兩紙はお互ひに猛競争を續けてゐるが同時に共同の敵として大阪紙に對抗し、最近では名古屋市内及び縣外の一部に於ては、寧ろ大阪紙を壓迫しつゝあるとさへ見られるに至つた。大阪毎日が多年姉妹關係にあつた名古屋毎日を手離したのなごもその一現象とされる。而して名古屋市内の

加藤秋。(通信)乙部勇男。(地方版)佐藤至善。(速記)福田秀雄。(編輯)岡田伊三郎。(販賣)小原實。(廣告)岡田伊三郎。(會計)伊藤敏男。(東京支局)勝田重太郎(大阪支局)山崎兼次郎。(社員)二五四名。(工場員)二三五名。(機械)佛國觀マリンニ式一、東京機械式輪轉機五、高速度輪轉機四、内國製折式輪轉機二。活字鑄造機三、モノタイプ六、コッビー機三、鋳版仕上機二、寫真製版機三、凸版製版機三、鉛版鑄造機三、斷裁器三。(活字)七、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月七十五錢。(廣告料)普通一圓五十錢、特別面二圓。五月十一日、河北新報、福岡日日新聞、北海タイムスと共に日本新聞聯盟を結成した。目的は記事材料の共同購入にある。

■六年九月購買者の希望感想を募集する事により廣告蒐集に新機軸を開く。

■販賣店有志の計畫になる大島社長の壽像成り十月十七日贈呈除幕式を行つた。

### 名古屋新聞

名古屋市中區西川端町一ノ五。(電)代表中二一五、創刊明治三十九年十一月三日。株式合資。壹百五萬圓。朝刊十頁、夕刊四頁。(版數)八。(地方版)市内、尾張、三河、岐阜縣、東濃毎日、三重縣A、B、靜岡縣A、B、飯田新聞、長野縣、石川富山、福井縣、京都滋賀A、B。(社主)小山松壽。(社長)與良松三郎。(副社長)小林海音。(専務理事)森一兵。(主幹)柴田

義勝。(編輯)柴田義勝。(整理)山本周二。(學藝)三田儀雄。(經濟)山内長幹。(社會)松村靜雄。(政治)村田直治。(校正)高田芳三郎。(商況)河路和三郎。(地方)廣橋學。(警局)森一兵。(廣告)同。(事業)須江孟雄。(販賣)梅田茂。(經理)三輪章。(東京支局)大宮伍三郎。(大阪支局)工藤愷夫。(機械)名古屋新聞式超高速度輪轉機四、マリノニ式輪轉機七。活字鑄造機五、字母整備、寫真製版機二、凸版製版機一、モノタイプ四、コッビー機三、鉛版鑄造機四、鉛版仕上機三。(活字)七、十五字、百五十五行、十三段。一箇月七十五錢(夕刊配達區域八十錢)。(廣告料)普通一圓五十錢、特別面二圓。(兼營)中部日本大觀(年刊)(最近一年間の主要事項)主なるもの展覽會八月二十五日、二科展十一月十七日、院展十二月一日より十日まで、中部一府九縣副業博覽會。

■昭和七年七月三十一日第十八回株主總會を開き次の貸借對照表、利益處分案を承認した。

第十九營業期貸借對照表  
自六年十二月一日至七年五月三十一日(圓以下切捨)

資產の部	負債の部
新聞購價	資本金
土地、建物、機械、什器	一、〇五〇、〇〇〇
有價證券、保證金	社債金
七、一六、九三六	三四四、六二五
貯藏品	諸積立金
二、一、三一九	三、八〇〇
貸付金	諸預り金
五八、五九三	七二、五〇九
受取手形	借入金
四六、九〇〇	一六〇、五八八
假出金	支拂手形
六九、五六二	二一六、三九一
未收金	未拂金
二、五六〇	二六、四三八
販賣、廣告勘定	前期繰越金
三六三、八七六	二、七五〇
銀行預金、振替貯金、現金	當期純益金
四六、九四三	一、六七五
合計	合計
一、八七八、七八〇	一、八七八、七八〇

### 第十九營業期損益計算書

損失の部	營業支出
當期純益金	七九五、五七〇
前期繰越金	一、六七五
合計後期繰越金	七九七、二四五
利益の部	營業收入
當期總益金	七九三、四七〇
當期總損金	三、七七五
差引當期純益金	七九七、二四五
前期繰越金	二、七五〇
合計後期繰越金	四、四二六

■六年十月一日より二頁を増頁す。

■同年暮五年計畫の紙數倍加運動を起し、理事梅田君を販賣部長に、専務理事森君を廣告部長兼務とした。

■七年三月理事梅田君を慰問使として上海に送る。

■滿洲事變一周年を記念すべく七年秋日滿商業飛行を發表した

### 名古屋毎日新聞

名古屋市中區新榮町三丁目。(電)中三二五〇、三二五二。創刊明治

### 愛知新聞

名古屋市中區小

八年八月。株式。拾七萬圓。夕刊四頁。(版數)三。(社長)野村浩司。(支配人)坂野謙次郎。(主筆)武市雄圖。(編輯總務)奥村文吉。(編輯長)小塚備三。(經濟)松田昇一。(政治)横井太郎(商況)柴田專之助。(調査)伊藤茂雄。(社會)平井虎雄。(廣告)兼坂野謙次郎。(販賣兼事業)高橋藤男。(庶務)渡邊義郎。(東京支局)佐久間東四郎。(大阪支局)萩原一雄。(社員)四十一名。(工場員)四十二名。(機械)マリノニ式輪轉機一、TKS輪轉機一、藤木式輪轉折出機二、平盤十六頁一。活字鑄造機三、寫真製版機二、凸版製版機一、コッビー機二、鉛版鑄造機二、仕上機一。(活字)七、十五字、百四十四行、十三段。一ヶ月五十錢、特價四十錢。(廣告料)普通壹圓、場所指定一割増、特別面壹圓五拾錢。

■昭和七年版「中京名鑑」發行。

■七年四月前常務野村浩司君大毎の持株全部を買収し社長となす。

林町一八。(電)中七〇一七三。創刊明治三十三年三月。個人經營。貳拾萬圓。夕刊四頁。(部數)七年八月三十日現在壹萬五千枚(社長)續木壽三郎。(主筆)横田宗次郎。(編輯)同。(社會)中野史朗。(政治)山田政郎。(經濟)早川友吉。(運動)岡田雪心。(警部)齋藤吉良。(廣告)入山留吉。(會計)岡田常三郎。(販賣)成瀬仙太郎。(製版)稻垣乙吉。(印刷)鶴岡孝藏。(東京支局)村瀬留次郎。(大阪支局)萩野八郎。(社員)二五名。(工場員)三五名。(機械)平盤能力一時間壹千枚四、輪轉機同壹萬貳千枚一。活字鑄造機ステロ、寫真版設備有。(活字)七、十五字、百四十三行、十二段。一ヶ月四十五錢。(廣告料)普通八十錢、場所指定二圓、特別面一圓十錢。

■七年六月體育獎勵のため全國中等學校より成る第二十八回東海學生相撲大會を開催し宮殿下の御台覽を仰ぐ。

■同三月全市の一流商店百五十名を以て本社廣告團體を組織し愛友會と命名し三月十一日向陽

### 名古屋日日新聞

名古屋市中區門前町五丁目四四。創刊大正四年六月。個人經營。民政黨。朝刊四頁。(社主)松本忠雄。(社長)同。(主筆)太田好治(編輯)同。(警部)南澤利興。(機械)金津式輪轉一。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七、七五、十五字、百四十五行、十二段。一ヶ月四十五錢。(廣告料)七十錢。

■同三月市社會課と共に名古屋市方面委員協力し出征軍人家族慰安金募集の爲め大日本大角力を舉行せり。

名古屋日報 名古屋市中區西瓦町六三。(電)中三〇二〇。創刊大正二年九月二日。朝刊四頁。(版數)二。(部數)七年現在八千部。(社主)稻垣一朗。(社長)同。(副社長)奥田庄吉。(主幹)高木翠峰。(編輯)下洞玉峰。(營業)稻垣一朗。(東京支局)古川文治郎。(社員)三十五名。(工場員)四十名。(機械)平盤二。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七、七五、十五字、百三十

行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通八十錢、場所指定一圓五十錢、特別面一圓四十錢。  
**名古屋夕刊新聞** 名古屋市中區千種町野代田八ノ一。創刊大正十五年九月九日。個人經營。朝刊四頁。(社長)春日井豊。主筆)小山田武男。(編輯)三浦延治。(營業)近藤松一。(廣告)竹内晃。(機械)平盤二。(活字)舊、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)五十錢。  
**中京每夕新聞** 名古屋市中區南伊勢町二丁目六。創刊大正四年十二月。個人經營。一萬圓。朝刊小型四頁、夕刊小型四頁。(社長)川村金雄。(主筆)山田善術。(營業)伊東瀧次郎。(廣告)水谷嘉七。(機械)平盤六。(活字)八、八段。一ヶ月四十錢。(廣告料)六十錢。  
**名古屋米濱日報** 名古屋商況合名會社發行。名古屋市中區米濱町三。創刊明治四十二年七月一日。合名一萬二千圓。夕刊四頁。(版數)一。(附錄)相場の一部。(部數)昭和六年九月十四日現在一二、二〇〇部。(社主)

大野善三郎。(社長)夏目直一。(主筆)船橋又吉。(編輯)井上東陽。(營業)兒島市郎。(社員)十三名。(工場員)十八名。(機械)平盤四。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備有り。(活字)九ボ、十四字、七十五行、八段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通三十錢、場所指定六十錢、特別面九十錢。(兼營)活版印刷。  
**新朝報** 豊橋市中八町一四〇。(電)二〇〇六。創刊明治三十二年十一月三日。團體經營。五萬圓。政友會。朝刊四頁。(社長)鈴木五六。(支配人)山本新三郎。(主筆)山口光國。(編輯)河合陸郎。(營業)岩瀬系平。(東京支局)太田卯藤治。(社員)拾壹名。(工場員)拾五名。(機械)拾六頁平盤貳。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備有り。(活字)七半、十五字、百四十三行、拾貳段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定壹圓、特別面倍額  
**東海朝日新聞** 豊橋市中八町一六。(電)三三〇九、三五〇一。創刊大正十一年十一月廿三日。個人經營。拾五萬圓。夕刊

四頁。(社主)岡田實。(社長)同。(編輯)山澄央川。(社會)金子茂。(市政)眞田眞。(文藝)鈴木柿青。(經業)奥田二郎。(東京支局)稻垣四方雄。(大阪支局)加藤安雄。(工場員)十一名。(機械)平盤三。ステロ、寫真版設備有り。(活字)八ボ、十四字、百三十五行、十二段。一ヶ月五十錢。  
**豊橋新報** 豊橋市中八町。(電)三三一七。創刊大正十年十二月二十日。株式。五萬圓。朝刊四頁。(部數)七年八月末日現在七千五百。(社主)近藤健吉。(社長)大口喜六。(副社長)白井貞次郎。(專務)安藤角次郎。(常務)加藤發太郎。(支配人)齊藤彌八。(主幹)近藤健吉。(主筆)近藤鹿堂。(編輯)關口孤帆。(營業)岡田武(東京支局)宮本甚之助。(大阪支局)江口俊助。(社員)三十五名。(工場員)九名。(機械)平盤一。(活字)七半、十五字、百二十行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通六十錢、記事一圓、特別面一圓二十錢。  
**參陽新報** 豊橋市四八町三八。創刊明治三十二年二月十一日。

株式。朝刊四頁。(社長)高橋小十郎。(主筆)白井千。(編輯)内田惣次郎。(營業)社長兼務。(廣告、販賣)竹下輔三郎。(機械)平盤二。ステロあり。(活字)七、七五、十五字、百三十七行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)七十錢。  
**豊橋日日新聞** 豊橋市松葉町一九八。創刊大正六年二月。個人經營。五萬圓。朝刊小型四頁。(社長)中村幸四郎。(編輯)倉光康次郎。(營業)石積保雄。(廣告)丹羽重雄。(機械)平盤二。(活字)九ボ、八段。一ヶ月三十錢。(廣告料)七十錢。  
**新三河** 新三河新聞社發行。岡崎市康生町七五三ノ一。(電)六七六。創刊明治二十八年六月一日。個人經營。三萬圓。朝刊四頁。(版數)一。(附錄)一日、十五日、婦人と子供。(地方版)日曜日發行、幅豆附錄、加茂附錄、二頁宛。(部數)七年九月一日現在六千五百餘。(社主)小田庄三郎。(社長)同。(主筆)同。(編輯)鈴木金一。(政治)太田光二。經濟)左右田義一。(社會)鈴木金

一。(營業)藤田靜哉。(廣告)同。(事業)杉山吉弘。(販賣)鈴木徳治。(東京支局)宮本甚之助。(社員)十八名。(工場員)十四名。(機械)平盤三。ステロ、寫真版設備有り。(活字)七、七半、十五字、百三十五行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定二割増、特別面一圓五十錢。(兼營)印刷部、代理部、單行本發行。  
**滿洲國建國當日滿洲國國旗を**作成し六千五百の全讀者に贈呈す。  
**岡崎朝報** 岡崎市康生町六九。創刊明治三十四年六月十日。個人經營。朝刊四頁。(版數)一。(社長)竹内京治。(編輯)井上儀三郎。(營業)清水雷音。(東京支局)柳澤篁治。(大阪支局)津川喜圓。(社員)十六名。(工場員)三十五名。(機械)十六頁平盤三。ステロ、寫真版完備。(活字)七、七五、十五字、百三十五行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定五割増、特別面一圓五十錢。

**三河日報** 岡崎市康生町六八一。創刊大正十三年八月十三日。個人經營。民政黨。夕刊四頁。(社主)岡田太良次郎。(社長)同。(主筆)同。(編輯)深見龍一。(營業)上田祐太郎。(廣告)鈴木徳治。(機械)平盤二。(活字)七半、十五字、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)五十錢。  
**尾州新聞** 一宮市下浦町一八。創刊大正十一年四月二十五日。個人經營。四千五百圓。夕刊小型二頁。(社長)中村義雄。(主筆)林庄兵衛。(編輯)社長兼務。(營業)住田鏡一。(廣告)森正茂。(機械)平盤一。(活字)舊、八段。一ヶ月三十錢。(廣告料)八十錢。  
**知多新聞** 半田町北條壹。(電)七三。創刊明治三十一年一月十日。合資。四萬圓。夕刊小型四頁。(社長)日比格。(主筆)明田祐重。(編輯)稻田裕。(營業)中川三郎。(廣告)澤田廣次。(社員)八名。(工場員)十二名。(機械)平盤一。(活字)舊、十二字、六十四行、八段。一ヶ月二十五錢。(廣告料)三十錢。  
**尾三新聞** 西尾町天王二一。創

刊大正五年六月五日。個人經營。一萬圓。朝刊小型二頁。(社主)青山愛次郎。(社長)同。(主筆)大池義逸。(營業)牧伊之助。(機械)平盤二。(活字)舊、八段。一ヶ月二十五錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定一圓四十錢、特別面一圓。  
**山梨縣**  
 ▲人口……………三三、〇三三  
 ▲世帯數……………一三、〇三三  
 山梨縣は東京紙の勢力範圍に屬し、縣も小さいので地元紙の大きさをなすものがない。併し中心地は人口七萬九千の甲府市に限定され、此處に發行される四五の新報の中、山梨日日の如きは相當の成績を擧げてゐる。移入紙では東日、東朝が斷然多く、報知、時事、國民、讀賣これにつぐ。今一種の參考資料として地元紙及び移入紙の推定販賣部數を掲げれば次の如くである。但しこれ等の數字はそのまゝに信ずべきものでない事勿論である  
 A、某官憲方面の推定

地元紙	山梨日日新聞	二〇、〇〇〇	
	山梨毎日新聞	一〇、〇〇〇	
	山梨民報	四、四〇〇	
	山梨民友新聞	三、〇〇〇	
	甲州時報	二、四〇〇	
移入紙	東京日日新聞	九、四〇〇	
	東京朝日新聞	九、〇〇〇	
	報知新聞	五、〇〇〇	
	時事新聞	四、〇〇〇	
	國民新聞	二、七〇〇	
	東京每夕新聞	一、五〇〇	
	中外商業新報	一、〇〇〇	
B、某新聞關係業者の推定	地元紙	山梨日日新聞	二一、〇〇〇
	山梨毎日新聞	七、八〇〇	
	山梨民報	二、一〇〇	
	山梨民友新聞	一、八〇〇	
	甲州時報	一、五〇〇	
	移入紙	東京日日新聞	一一、二〇〇
	東京朝日新聞	一〇、一〇〇	
	報知新聞	四、七〇〇	
	時事新聞	三、二〇〇	



國民新聞 二、三〇〇  
 讀賣新聞 一、八〇〇  
 東京毎夕新聞 五八〇  
 中外商業新報 五二〇  
 都新聞 四五〇  
 萬朝報 二七〇  
 大阪毎日新聞 三二〇  
 大阪朝日新聞 二七〇

此縣の販賣界の一特色は、不況の爲めに新聞が安賣りされる事であつて、東京新聞の一流處でさへ五十銭、六十銭が大部分を占め、殆んど定價で賣れるものはなく、地元紙の如き、何れも四頁紙が四十銭、三十銭、二十銭、甚しいのは十五銭などといふのさへもある有様である。

**山梨日日新聞** 甲府市百石丁二八八。(電)一四、一二三四、二二〇〇。創刊明治五年二月。株式。十二萬圓。朝刊四頁。(社長)野口二郎。(主筆)中田敏雄。(編輯)同。(聯絡)八卷榮一(政治)野田威。(社會)小泉義幸。(學藝)寺田重雄。(警部)清水富士平。(廣告)深澤直次郎。(販賣)荻野源治郎。(工務)笠井金二郎。(印刷)刑部輔也。(東京支局)林

省三。(機械)内國製輪轉機二、平盤二。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七半、十五字、百四十六行、十二段。一ヶ月五十五錢。(廣告料)普通一圓、特別面二圓五十錢。(兼營)一般印刷。

**山梨毎日新聞** 甲府市紅梅町二。(電)五七三、一二二二、六一〇。創刊明治四十一年四月。個人經營。朝刊四頁。(社長)保坂政治郎。(編輯)佐野謙。(營業)矢澤清治。(廣告)篠原宗平。(東京支局)岸本吉太郎。大阪支局)松田清。(機械)内國製輪轉機一。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七、七五、十五字、百二十二行、十二段。一ヶ月五十五錢。(廣告料)普通七十錢、特別面一圓八十錢。

**山梨民報** 甲府市錦町十二。(電)一六六。創刊明治二十七年二月十一日。個人經營。朝刊四頁。(社長)原進太郎。(社長)同。(副社長)平野雷次郎。(政經)桐丸一。(社會)齋藤榮。(營業)窪田巖。(廣告)赤池弘毅。(企畫)窪田甲子郎。(東京支局)三枝嶺三郎。(社員)二十三名。(工場員)十九名。(機械)石川式色刷輪轉

機一。(活字)七半、十五字、百四十六行、十二段。一ヶ月五十五錢。(廣告料)普通壹圓、場所指定五割増、特別面貳圓。

**峽中日報** (山梨時事新報の改題) 甲府市錦町一八。(電)一七一。創刊明治二十一年六月。株式。三萬圓。朝刊四頁。(社長)古屋重雄。(主幹)石原德榮。(編輯)同。(政治)鈴木郁之助。(社會)土井武由。(警部)社長兼任。(總務)尾澤茂。(販賣)河西熊雄。(廣告)岡田功。(企畫)窪田巖。(東京支社)古川秀造。(機械)マノニ式輪轉機一。ステロあり。(活字)七半、十五字、百四十行、十二段。一ヶ月五十五錢。(廣告料)普通一圓、特別面二圓。

**山梨民友新聞** 甲府市櫻町二。(電)八九〇、一一八九。創刊大正八年二月十一日。個人經營。十萬圓。朝刊四頁。(社長)上野亮一。(社長)小泉義親。(編輯)三浦正之。(廣告)小田切幸太郎。(工場)菅澤正。(印刷)市川初太郎。(東京支局)中田清(大阪支

局)加藤安雄。(機械)輪轉機一、平盤一。ステロあり。(活字)七半、十五字、百四十五行、十二段。一ヶ月五十五錢。(廣告料)普通七十錢、特別面二圓。

**甲州時報** 甲府市深町二五七。朝刊四頁。民政系。(社長)若尾鐵次郎。(主筆)渡邊貫二。

**静岡縣**

静岡縣は東京、大阪兩勢力の分岐點でその一部には名古屋の新縣である上に、人口十三萬六千の静岡市をはじめ、濱松、清水、沼津等の諸市を包含し、富力もあり、交通も便利なところから地元新聞にも静岡新報、静岡民友の二紙が発達した。けれども滿洲事變以來、何處も同じく東朝、東日の侵入愈々急となり。静岡民友の如きも、その壓迫に端を發して内部的に紛擾を起した程である。静岡市の販賣系統は、江川系、江崎系に分れ、前

者は朝日を主として静岡新報、中外商業を扱ひ、後者は東日を主として静岡民友を扱つてゐる縣内では、東部から殊に伊豆方面へかけて東日斷然優勢と云はれ、時事も亦東部に勢力あるが全體的には東朝、東日の隆昌に對して報知、時事、國民は下向きであり、讀賣は近來めき〜と勢力を伸して來た。

**静岡民友新聞** 静岡市七間町。(電)二五、三五五、八三四。創刊明治廿三年十月二十日。株式。二十萬圓。朝刊四頁。夕刊四頁。(版數)一。(附錄)昭和六年七月より昭和七年末まで東海道五十三次原形九枚綴。(部數)昭和六年九月十四日現在二六、六八〇部。(社長)永田善三郎(總支配人)大石光之助。(常務)江崎銀衛。(支配人)岡部與作。(主筆)小杉潔。(編輯)瀧榮次。(通信)内野啓造。(販賣)國武忍。(廣告)須永藤吉。(經理)岡部與作。(工務)藤見芳太郎。(東京支局)本間隆。(大阪支局)須田達雄。(社員)八十六名。(機械)マノニ式二。活字鑄造機、ステ

ロ、寫眞版設備あり。(活字)七半、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月八十五錢。(廣告料)普通八十五錢、場所指定二十錢増、特別面倍額。(兼營)代理部。

**静岡新報** 静岡市吳服町三丁目一。(電)二二、二五三、一五一三、三五六。創刊明治二十六年一月。株式合資。十八萬圓。政友會。朝刊四頁、夕刊四頁。(社長)松浦昂。(專務)江河勝太郎(取締役)宮本雄一郎。(主筆)寺崎乙治郎。(主幹)野中芳藏。(支配人)兼營局)黒柳芳藏。(事業)大石森太郎。(政經)山口晴盈(社會)松井政六。(販賣)江河勝太郎。(東京支局)井上忠太郎。(大阪支局)山口正。(機械)外國製マノニ式輪轉機一、内國製折疊式輪轉機一。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七、七五、十五字、百三十六行、十二段。一ヶ月八十五錢。(廣告料)八十錢。

**濱松新聞**

市鷹匠町。朝刊四頁。(社長)大島吉吉。濱松印刷株式會社發行。濱松市田町。(電)四一。一五二九。創刊明治三十四年一月一日。株式。二萬圓。朝刊四頁。(版數)二。(部數)六年八月六日現在二萬六千部。(專務副社長)天辰正吉。(主筆)同。(論說委員)中村初藏。(編輯)會田忠(政治)和田德太郎。(經濟)同。(社會)渡邊藤四郎。(事業)鈴木吉次。(販賣)高木江珉。(會計庶務)平野邦司。(東京支局)平山長佐久。(大阪支局)永田格太郎。(社員)五十七名。(工場員)三十八名。(機械)輪轉機一、平盤二。ステロ設備あり。(活字)七、七五、十五字、百四十四行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通五十錢。場所指定一圓、特別面一圓。(兼營)濱松市公報其他。

**駿遠日日新聞** 濱松市元城町四六。(電)二六二六。創刊大正

四年九月一日。合資。三萬圓。夕刊四頁。(部數)七年現在一萬二千枚。(理事)松浦鏡太郎。中村重吉。(編輯)高橋歌之介(營業)玉越賢作。(廣告)鈴木儀一。(大阪支局)永田格太郎。(社員)三十五名。(工場員)十五名。(機械)平盤二。(活字)七半、十五字、百八十八行、十二段。一ヶ月六十錢。廣告料一圓。

**共立新聞** 濱松市東伊場町。創刊大正十五年一月一日。個人經營。二萬圓。夕刊四頁。(社長)白井天城。(社長)同。(編輯)大角貞次。(營業)鈴木靜瀨。(廣告)太田進。(機械)平盤二。ステロ一。(活字)舊、十一字、六十五行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)一圓。(兼營)普通印刷物及雜誌。

**東静岡日日新聞**

沼津市城内。

(電)二八五、一二七五。創刊昭和二年九月廿三日。個人經營。夕刊四頁。(社主)井上彰。(社長)同。(主筆)竹内四郎。(編輯)川北恭平。(營業)竹内太郎。(東京支局)藤井昌夫。(社員)四十一名。(工場員)二十九名。(機械)平盤二。ステロあり。(活字)七ボ、十五字、百四十行、十三段。一ヶ月六十錢。(廣告料)八十錢。

**沼津毎日新聞** 沼津市上土町一五四。創刊大正十五年一月十三日。個人經營。(機械)平盤二。(活字)七ボ、十五字、十三段。一ヶ月六十錢。(廣告料)八十錢。

六年四月前社長八田忠秋君より清水行之助君に賣渡し、清水君の友人高木惠太郎君が經營の任に當り紙面の刷新、機械の購入等を行つたが、其後不明。

**清水日日新聞** 清水市辻一〇七三。(電)七一九。創刊大正十二年一月五日。個人經營。貳萬圓。夕刊四頁。(附録)文藝新聞月一回。(地方版)姉妹紙日刊四頁。岳南毎夕新聞。(部數)七年十月三十日現在八千五百部。(社主)若林今朝一(社長)同。(副社長)川島肇。(主筆)伴傳。(編輯)同。(政治)同。(經濟)室伏一。(社會)清水儀人。(運動)芦川政春。(文藝)若杉雄三郎。(營業)西島蘭策、高木清。(東京支局)望月源次。(大阪支局)永井格太郎。(社員)二十八名。(工場員)十一名。(機械)平盤二。ステロ、寫眞版あり。(活字)七ボ、十五字、百五十行、十三段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通八十錢、場所指定倍額。(兼營)代理部、下部鐵泉其の他販賣、清水市年鑑其の他單行本發行。

**駿遠タイムス** 焼津町焼津北八五ノ八。創刊大正十二年五月一日。匿名組合。壹萬圓。朝刊小型四頁。(版數)一。(部數)七年九月十日現在二千二百部。(社主)高富義一。(社長)同。(主筆)同。(編輯)青島鏡吉。(營業)川口徳治。(東京支局)今宿利三郎。(社員)十二名。(工場員)六名。(機械)四六判一。(活字)舊、十二字、五十行、八段。一ヶ月四十錢。(廣告料)五十錢。

**伊豆日報** 三島町。創刊昭和二年二月。個人經營。二萬圓。夕刊二頁。(社長)和田庄五郎。(主筆)植松喬。(編輯)同。(營業)秋津宇一郎。(機械)平盤二。(活字)九ボ、十二段。一ヶ月四十錢。(廣告料)八十錢。

### 岐阜縣

人口……一、二七六、四五三  
世帯數……三、三五〇、〇三三

岐阜縣は大阪と名古屋の挾撃を受け、地元の新報は頗る不利、守勢の位置を脱する事が出来な。例へば、大朝、大毎の夕刊(正午頃締切)と、新愛知、名古屋の夕刊(午後四時頃締切)は何れも午後六時頃岐阜市内に配達される。これに對して岐阜の新報の夕刊は四時だから二時間早い譯であるが、中央政界の記事では到底名古屋に對抗出来ない。又朝刊は大阪紙は午後九時頃締切のもの、名古屋紙は午後十二時頃締切のものが配達され、之れに對しては地種主義で行くより外はない。地種では流石に移入紙の地方版よりも紙面が大であるから負ける事はな

### 岐阜日日新聞

岐阜市今小町。(電)四五九、二八、一七三五、一五。創刊明治十四年四月。個人經營。朝刊四頁、夕刊四頁。(附録)婦人と子供、日日便覽。(地方版)東濃、飛騨。(社主)高橋嘉津美。(社長)同。(専務理事)青木九十六。(編輯、主幹理事)宮脇朝民。(編輯)小木曾旭晃。(速記)宮部二郎。(社會)淺野久藏。(政治)竹中元彦。(經濟)額繼英司。(校正)小森大三。(營業)關應陽。(販賣)青木大治。(外勤)馬場繁次郎。(廣告)關應陽。(東京支局)佐藤駒太郎。(大阪支局)淺岡照久。(社員)二十五名。(工場員)三十五名。(機械)津田式折疊輪轉機二、平盤二。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。

り。(活字)七、七五、十五字、百四十一行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通一圓、特別面一圓五十錢。

創刊五十周年を迎へ縣下民間五十年以上勤続者に純銀盃、結婚五十年以上の老夫婦二千五百組へ壽盃を贈呈し、記念出版「濃飛の誇り」を全愛讀者へ贈呈、勤続社員を表彰式を行ふ、猶ほ軍事慰問金一萬三千餘圓、鐵兜獻納金二萬圓を應募し當局へ献納、其他縣下船津町大火、中津町大水害に多額の義捐金を應募好成绩を擧ぐ。

大正二年以來社長として活躍した匹田銳吉君は七年四月その位置を退き社主高橋嘉津美君が社長に就任した。高橋君は慶應の出身、父子二代の社長である。専務理事の青木君は四十年の勤続者。

### 岐阜新聞

岐阜市朝日町三(電)一三二、九七五、一四八二一九六〇、二五五五、一。創刊明治二十一年十一月。個人經營。二萬五千圓。夕刊四頁。(社長)清寛(副社長)西尾孝一。(理事)

武藤啓二郎。(主筆兼編輯)木下章。(工務局)福井眞司。(政治)高橋義正。(社會)白木薫。(經濟)安並正榮。(文藝)川出善之助。(營業)西尾孝一。(廣告)武藤啓二郎。(販賣)倉井唯一。(外交)別府久造。(工務部)淺野源七。(機械)金津式輪轉二、平盤二。字母、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七ボ、十五字、百五十行、十三段。一ヶ月三十五錢。(廣告料)普通一圓、特別面一圓五十錢。清社長代議士に當選し、清君の義兄西尾君専ら經營の衝に當る。

**岐阜民友新聞** 岐阜市泉町四七。創刊大正十五年一月一日。個人經營。五萬圓。夕刊四頁。(版數)一。(附録)日曜日附録。(部數)六年八月末日現在七千五百。(社主)菅井好治。(社長)同。(編輯)渡邊晴彦。(營業)同。(大阪支局)井上命賢。(社員)十三名。(工場員)十六名。(平盤)二。(活字)舊、十一字、百行、十二段。一ヶ月四十錢。(廣告料)普通一圓二十錢、場所指定一圓五十錢、特別面一圓九十錢。

### 岐阜毎日新聞

岐阜市高野町。創刊大正十二年。個人經營。夕刊四頁。(社長)今田虎一。(編輯)梶志郎。(營業)栗田治一。(機械)平盤一。(活字)舊、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)五十錢。

**岐阜毎夕新聞** 岐阜市御室町。創刊大正五年八月十五日。個人經營。夕刊二頁。(社長)森儀一。(編輯)瀧川源治。(營業)玉田喜助。(機械)平盤一。(活字)舊、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)五十錢。

### 美濃大正新聞

美濃新聞社發行。大垣市竹島町一。(電)一五二、六二〇。創刊明治三十五年十一月。個人經營。朝刊四頁。(社主)木村作次郎。(社長)同。(専務)坂東英一。(主筆)青山松任。(編輯)木村鐸四郎。(政治)木村公平。(經濟)後藤俊久。(社會)上田秀陽。(運動)川合光三郎。(企劃)久保田樂人。(營業)坂東英一。(廣告)淺野宇三郎。(販賣)石原一三。(會計)坂東たか。(東京支局)北村智好。(大阪支局)田村佐太郎。(社員)二十二名。(工場員)三十一名。(機械)

### 飛騨毎日新聞

高山町宇三町。創刊明治四十二年十二月。個人經營。夕刊四頁。(社長)編輯)江野喜代吉。(機械)平盤二。(活字)九ボ、十三字、九十行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)五十錢。

**高山日日新聞** 高山町。創刊明治三年。個人經營。夕刊四頁。(社長)船阪元吉。

### 三重縣

人口……一、一七六、四五三

▼世帯数……三五七〇六

三重縣は大體に於て名古屋の新開の勢力圏内で、大阪の新聞も多数に入つてゐる。それに地元新聞は數が多く、不利であるが、人口五萬六千の津市を根據とする伊勢新聞は古くから固い地盤を有し、全縣的に勢力がある。又四日市市(同五萬一千)、松坂町等も新聞の小中心地となつてゐるが有力なものはない。伊賀地方は殆んど大阪紙の天下で僅かに伊勢新聞が入り、名古屋の新聞は殆んど入つてゐない。

伊勢新聞

津市丸之内本町津二〇六ノ六。(電)一一、一五、六〇〇、六〇一、八七〇。創刊明治十一年一月十七日。株式。參拾萬圓。朝刊四頁、夕刊四頁。(版數)五。(附録)日曜附録、特別附録、臨時附録。(社長)松本吉晴。(常務)志田周三郎。(支配人)松本英郎。(編輯)森勇。(外交)鈴木友次郎。(整理)中島達源。(商況)海野幸左衛門。(廣告)關安。(東京支局)松本治雄。(大阪支局)櫻井彌太郎。(社員)二七六名。(工場員)七八名。(機

械)TKS式輪轉機三、平盤印刷機九、石版印刷機。字母設備整備、萬年鑄造機二、活字鑄造機三、寫眞製版機一、凸版製版機一、コッビー機二、鉛鑄込機二、鉛版仕上機二、罫線機一。(活字)七ボ、一五字、百五十五行、十三段。一ヶ月八十錢。(廣告料)普通八十錢、特別面貳圓。昭和七年創刊五十五周年を迎ふ。

三重日報

(新愛知の經營)津市下部田町一四二四ノ一。(電)三七二。創刊大正三年。朝刊二頁。(版數)一(部數)七年現在六萬。(社長)大島宇吉。(新愛知三重支局長)原秀英。(社員)九名。一ヶ月二十錢。(廣告料)普通裏面五十錢、同表面六十錢、特別面一圓。備考 實體は新愛知三重縣版なり、但し保證金を納め獨立社の形式をとれり、印刷は新愛知本社に於てなす。

伊勢朝日新聞

津市伊豫町。(電)一四七九。創刊大正十二年七月。個人經營。朝刊四頁。(社長)池村幸太郎。(社長)同。(編輯)池村湖月。(營業)社長兼。(機

械)平盤一活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七半、十五字、百二十行、十一段。

三重日日新聞

四日市市四谷新町。(電)一一一〇、七〇二。創刊大正十三年一月一日。個人經營。五萬圓。夕刊四頁。(版數)二。(部數)六年九月十二日現在八千三百部。(社長)杉浦國吉。(編輯)中田新吉。(整理、通信)杉浦史基雄。(社會)柴田義雄。(營業)杉浦國吉。(東京支局)北村智好。(社員)三十二名。(工場員)三十名。(機械)タムソン式内國製平盤二。コッビー、ステロ、寫眞製版機、活字鑄造機各一。(活字)九ボ、十三字、百五十五行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定一圓五十錢、特別面二圓。(兼營)印刷出版部。

勢州毎日新聞

四日市市新丁(電)七〇。創刊明治三十二年十一月十四日。合資會社。八千圓。朝刊四頁。(社長)伊坂秀五郎。(代表社員)末廣定。(營業)中原正行。(大阪支局)藤上四郎。(社

員)二十五名。(工場員)十五名。(機械)平盤二。ステロ、寫眞版設備あり。(活字)八ボ、十四字、百二十行、十二段。一ヶ月七十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定一割増し、特別面二圓。

四日市商業新聞

四日市市新町。創刊明治四十二年八月三十一日。個人經營。朝刊四頁。(社長)島海善衛。(編輯)飯下健治。(營業)清水九一郎。(機械)平盤一。(活字)舊、十四字、百二十行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)六十錢。

伊勢日日新聞

松阪町大字港町二三八。(電)一三一。創刊大正十二年七月。個人經營。三萬圓。夕刊四頁。(社長)宮岡利一。(理事)櫻井祐吉。(編輯)松田啓三郎。(營業)辻與之助。(販賣)辻與市郎。(廣告)土佐正次郎。(東京支局)小林二郎。(大阪支局)原義一。(社員)三十五名。(工場員)二十名。(機械)平盤二。(活字)舊、十一字、五十八行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通五十錢、特別面一圓。七年創刊第十周年を迎へて更

に業務の擴張を計畫中。

南勢新聞

松阪町大字松阪殿町一三四八。創刊明治三十年十月十日。個人經營。二萬圓。朝刊四頁。(社長)松井龜治郎。(編輯)伊豆倉文郎。(營業)久野晴太郎。(機械)平盤二。ステロ小型あり。(活字)舊、十二字、九十行、十一段。一ヶ月五十五錢。(廣告料)五十五錢。

松坂新聞

松坂町本町。創刊大正十四年四月。個人經營。朝刊小型四頁。(部數)昭和六年九月現在二千部。(社長)池田景彦。(社長)同。(編輯)濱地治良平。(營業)中西佐太郎。(社員)廿七名。(機械)普通手刷十六頁機械一。ステロ、寫眞版設備あり。(活字)舊、十一字、四十五行、九段。一ヶ月四十五錢。(廣告料)普通六十錢、特別指定一圓。

公正新聞

松阪町大字白粉町四百二十一。創刊昭和二年十二月(旬刊)日刊昭和五年二月三日。個人經營。二萬圓。民政黨。夕刊小型四頁。(版數)一。(部數)六年九月十五日現在六千五百。(社長)奥野市松。(社長)同。(社

員)十五名。(工場員)十一名。(機械)八頁ロール二。ステロあり。(活字)舊、十二字、六十行、八段。一ヶ月三十五錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定七十錢、特別面一圓。

三重愛國新聞

松阪町新町八九〇。創刊昭和六年二月。朝刊小型四頁。(社長)太田才吉。(機械)二十六頁機一。(活字)十二字、八段。一ヶ月四十五錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定一圓五十錢。

伊勢朝報

宇治山田市岩淵町。創刊明治三十二年三月十三日。株式。五萬圓。朝刊四頁。(社長)西田一雄。(主筆)井川定之助。(營業)中川經三郎。(機械)平盤四。(活字)舊、十二段。一ヶ月五十五錢。(廣告料)六十錢。

神都日報

宇治山田市岡本町。創刊明治四十年四月十日。朝刊小型二頁。(社長)土屋逸郎。(機械)平盤一。(活字)舊、八段。一ヶ月五十錢。

伊勢商工新聞

宇治山田市。創刊大正十二年。個人經營。朝刊小型四頁。(社長)花川喜代七。

八段。一ヶ月二十錢。

桑陽新報

桑名町寺町。(電)一〇二〇。創刊昭和五年六月廿三日。個人經營。壹萬圓。朝刊四頁。(版數)一。(部數)七年現在五千部。(社長)若松榮逸。(社長)芳井庸一。(主筆)鈴木元治郎。(主筆)伊藤孝。(編輯)同。(政治)三井章。(經濟)伊藤孝。(社會)川崎政義。(營業)高木明。(廣告)山田林平(印刷)小林富次郎。(販賣)北村一郎。(東京支局)西良太郎。(社員)二十二名。(工場員)八名。(機械)十六頁平盤二。(活字)七、七五、十五字、八十五行、十三段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定一圓、特別面二圓。(兼營)印刷業。

伊勢新報

桑名町堤原。(電)六〇九。創刊明治卅五年。共同經營。參萬圓。朝刊四頁。(部數)昭和七年七月二十五日現在四千七百枚。(社長)丹羽喜一。(社長)館重。(支配人)沼清。(主筆)岡

本陸造。(編輯)同。(編輯)小林兼坂。(營業)赤塚幸太郎。(營業)水谷長次。(社員)十二名。(工場員)三十名。(機械)十六頁平盤三。(活字)舊、十一字、九十六行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通三十錢、場所指定四十錢、特別面六十錢。

民衆時報

桑名町大北町二。(電)九四三。創刊大正十五年二月十一日。個人經營。朝刊四頁。(社長)田中辰三郎。(社長)同。(主筆)同。(營業)伊藤峯夫。(販賣)鈴木岩男。(社員)十三名。(工場員)十一名。(機械)平盤十六頁二、六頁一。(活字)八半、十五字、百四十行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通八十錢、場所指定一圓二十錢、特別面一圓六十錢。(兼營)臨時部一般印刷。

桑名商況新報

桑名町桑名。創刊明治三十二年十二月十二日。個人經營。朝刊小型四頁。(機械)

平盤四。(活字)舊、九段。一ヶ月五十錢。(廣告料)五十錢。  
**三重合同新聞** 上野町。(電)五二三。創刊明治四十一年七月。個人經營。一萬圓。夕刊四頁。(版數)二。(附錄)日曜附錄。(部數)七年四月一日現在五千部。(社長)北泉清(副社長)筒井信郎。(主筆)社長(編輯)永井淳藏。(營業)松井三郎。(東京支局)北森俊一。(大阪支局)北泉勝臣。(社員)十九名。(工場員)十二名。(機械)十六頁機二。ステロ有り。(活字)十一字、十二段。一ヶ月四十錢。  
 朝夕新聞を刊行すべく計畫中。

**伊賀日報** 上野町丸の内。創刊明治三十二年十二月廿三日。個人經營。朝刊二頁。(社長)山内京。(機械)平盤二。(活字)舊、十段。一ヶ月三十二錢。(廣告料)二十五錢。

**伊賀新報** 上野支藩町。創刊昭和三年三月二十一日。朝刊二頁。(社長)房川純之助。(機械)平盤一。(活字)九ボ、十一段。一ヶ月三十五錢。(廣告料)二十錢。

**伊賀實業新聞** 上野町丸の内。創刊昭和三年十二月二十五日。個人經營。五千圓。夕刊二頁。(社長)大津熊男。(編輯)同。機械)平盤二。(活字)九ボ、十五字、百三十五行、十一段。一ヶ月三十錢。(廣告料)二十四錢。

**昭和日日新聞** 上野町忍町。創刊昭和二年五月十二日。民政黨系。朝刊小型二頁。個人經營。(社長)安川晴夫。(機械)平盤一。(活字)七、七五、十五字、七十行、八段。一ヶ月四十錢。(廣告料)普通二十錢。

**紀南新報** 末本町五八八。創刊明治三十五年三月十四日。個人經營。夕刊四頁。(社長)武上千代之丞。(主筆)同。(營業)松田辰一。(機械)平盤一。(活字)舊、十一段。一ヶ月六十錢。(廣告料)六十錢。

**南海新報** 尾鷲町中井浦。創刊大正七年一月二十七日。個人經營。朝刊四頁。(社長)肥田俊夫。(營業)如地稔。(機械)平盤一。(活字)舊、十一段。一ヶ月五十錢。(廣告料)六十錢。

### (六) 北陸

石川、福井、富山の北陸三縣は大體に於て大阪紙及び名古屋紙の勢力範圍に屬し、東京新聞は富山縣を境として、その東に限られ、以西の各地には極めて少數しか入つてゐない。即ち東海道に於ける静岡縣の西部が此處では富山縣となつてゐる。斯る情勢の間にあつて、地元新聞として最も有力とせられるのは金澤市の北國新聞で、同市の北陸毎日新聞、富山市の富山日報、北陸タイムスこれにつく。併しこれ等の諸紙も、滿洲事變以來大阪紙の壓迫を受けて益々やう悪くなつた事には變りはなく、右以外の小新聞、殊に福井縣などでは、とりわけそれが著しいやうである。

### 石川縣

人口………七六、八三五  
 世帯數………一五、〇八四  
 石川縣は小縣ながら新聞中心地

は唯一の金澤市に限られ、而も同市は北陸文化の中心として十五萬七千の人口を擁する處から新聞が比較的に發達した。けれども大體に於て大阪紙と名古屋紙の壓迫を免かれず多少は縣外に進出しても、大をなすべく地の利に恵まれてゐない。北國新聞は歴史ある有力紙で、堅實な地盤を有し、隣縣の一部にも進出してゐる。北陸毎日には民政黨で勢力これにつき、先には永井柳太郎君を社長に頂き活氣ある經營振りを示してゐる。東京紙は極めて少ないが、讀賣、中外、報知、時事、東朝、東日等が入つてゐる。

### 北國新聞

金澤市南町。(電)二、二〇二。四〇四、四一四。創刊明治二十六年八月。個人經營。十五萬圓。朝刊六頁。夕刊四頁。(社長)林政武。(理事長)飯尾次郎三郎。(理事)嵯峨六合美。(主筆)鴨居悠。(編輯)同。(越中新聞主幹)小泉左右治。社會)岡谷清次郎。(經濟)濱中長平。(地方)山岸忠恕。(政治)本山清嗣。(聯絡)窪田俊一郎。(營

局)林繁。(印局)山田仁三郎。(事業)窪田俊一郎。(東京支局)吉藤初三郎。(大阪支局)橋安久。機械)東京機械製輪轉機一、津田式色刷輪轉機一、平盤二。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七ボ、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月八十錢。(廣告料)普通一圓、場所指定二割増、特別面一圓五十錢、記事挿入一圓八十錢。(兼營)越中新聞(高岡市)

七年二月十一日より十三段となる。  
 同三月鎌田千代三郎君を上海に特派した。

### 北陸毎日新聞

金澤市南町四十一。(電)八七、三〇〇。一六〇。創刊明治三十三年五月八日。株式。拾萬圓。朝刊六頁、夕刊四頁。(版數)二。(部數)七年九月十五日現在參萬部。(副社長)櫻井兵五郎。(専務)高木八良。(主筆、編局)藏内正太郎。(編輯局參事、社會)飯野慶次。

(整理)藤野伊一。(地方)兵地榮一。(經濟)重利俊一。(政治)毛藤一雄。(社會、次長)島嶽秀雄。(校正)松本文造。(取締役、營局)淺野平成。(營局長、販賣)瀨尾雅太郎。(廣告)岸實。(東京支局)宮澤由三郎。(大阪支局)田村音松。(社員)五十一名。(工場員)七十五名。(機械)金津式輪轉一、津田式輪轉印刷機一、平盤一。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七ボ、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月八十錢。(廣告料)普通一圓、場所指定二割増、特別面一圓五十錢、記事一圓八十錢。

滿洲事變以來工場擴張の必要に迫られ輪轉機一臺を増設した

### 金澤新報

北陸タイムスの經營)金澤市南町六二。(電)三七〇〇、八四、三七四五。創刊大正八年七月三日。個人經營。夕刊四頁。(社主)田中清文。(社長)同。(支配人)竹村才一。(編輯)辻豊二。(政治)北田虎松。(軍務)眞岸辰雄。(社會)越田宇一。(速記、地方)奥村初太郎。(司法、鐵道)小幡兵明。(營業)竹村才

一。(販賣)中木秀三。(外交)多田成二。(廣告)上阪兵作。(庶務)酒井伊三郎。(東京支局)齋藤俊一。(大阪支局)清島三郎。(社員)七十二名。(工場員)三十名。(機械)佛國製輪轉機一、平盤一。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七半、十五字、百四十二行、十二段。一ヶ月四十五錢。(廣告料)普通一圓、場所指定一圓八十錢、特別面一圓五十錢。

### 北國夕刊新聞

金澤市驛前通り。(電)二八二二、三一五〇。創刊大正十年四月二十六日。個人經營。十萬圓。夕刊四頁。(社主)出口至仁三郎。(社長)出口伊佐男。(副社長)土井三郎。(編局)同。(政治經濟)津川春國。(營局)土井三郎。(廣告)高澤善愛。(東京支局)船戶岩男。(大阪支局)青木清治。(社員)五十名。(工場員)二十五名。(機械)本田製輪轉機一、平盤三。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)九ボ、十二字、百二十行、十二段。一ヶ月四十五錢。(廣告料)普通一圓、場所指定二割高。

(發行物)書籍、大本開祖傳、春は呼びかける。(兼營)加賀白土工業所。  
**北國日報** (新愛知の姉妹紙)。金澤市博勢町六十五。創刊大正三年十二月一日。合資會社。政友系。朝刊四頁。(版數)二。(社長)大島宇吉。(主幹)佐々木義一。(營業)村中甚次郎。(機械)十六頁ズリ四。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)八半、十四字、百三十五行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)一圓。(兼營)電柱廣告及電鐵内廣告取次芳告社。

### 北國日日新聞

金澤市安江町七九。創刊大正八年。個人經營。三萬圓。朝刊二頁。(社長)能村仁太郎。(廣告)關芳夫。(機械)平盤一。(活字)七、七五、十三段。一ヶ月四十錢。(廣告料)一圓。

### 金澤商報

金澤市西町四番町八。創刊大正三年三月九日。個人經營。五千圓。夕刊小型四頁。(社長)岡本吉次郎。(主筆)岩田外嗣郎。(編輯)小杉久藏。(營業)龜田次郎。(廣告)舟木菊次郎。(機械)平盤二。(活字)舊、八段。

一ヶ月三十八錢。(廣告料)二十  
五錢。  
金澤絹糸日報 金澤市博勢町  
八〇。創刊大正九年。個人經營。  
二萬圓。朝刊小型四頁。(主筆)  
土屋周善。(活字)舊、七段。(廣  
告料)三十錢。

### 福井縣

▼人口……………六二、四四  
▼世帯數……………一三、三六  
福井縣は人口全國でも終りから  
五番目の小縣だが、物資豊富に  
して産額も多いところから、新  
聞の数が割合に多く、且つ大阪  
紙及び名古屋紙の侵入急なる爲  
め、地元新聞の大をなすものが  
ない。殊に滿洲事變以來大阪紙  
の壓迫を受ける事甚だしく政友  
系の福井日報の如き七年四月十  
六日第九百四十六號を最後と  
して廢刊の餘儀なきに至つた。  
また若狭の小濱から出てゐた若  
狭新聞は月刊雜誌「若越」と姿を  
變へた。斯して何れも移入紙の  
強壓にあへぎ、人口六萬四千の  
中心地福井市に於の獨立經營の

### 福井新聞

福井市佐佳枝中  
町一〇〇。(電)一一八、二四四、  
外ニ豫約専用電話。創刊三十二  
年八月。株式。四萬圓。朝刊四  
頁、夕刊四頁。(部數)七年現在  
二萬四千八百部。(社長)今村七  
平。(顧問)土生彰。(編輯)藤田  
貞造。(政治)竹内與右衛門。(社  
會)加藤廣。(營業)小島鐵治郎。  
(廣告)南部兼吉。(販賣)鈴木喜  
兵衛。(寫眞製版)大倉太左衛門。  
(東京支局)渡邊利正。(社員)四

### 新福井日報

(新愛知の經  
營)福井市佐佳枝中町八七。(電)  
七一一、三四七、二二五四。創  
刊大正十三年。朝刊四頁。(版數)  
一。(社長)大島宇吉。(主幹)藤  
野稔。(營業)村中甚太郎。(社員)  
三十名。(工場員)四十名。(機械)  
輪轉機一。(活字)七半、十五字、  
八十三行、十二段。  
北陸タイムス 武生町幸。(電)  
二二四。創刊大正六年十一月。  
合資。一萬圓。夕刊二頁。(部數)  
七年現在一千三百部。(社主)森  
上齋五郎。(社長)同。(支配人)  
平野游。(主筆)宮原義雄。(社員)

### 北陸中央新聞

武生町幸。創  
刊大正十四年八月二十日。個人  
經營。夕刊二頁。(活字)舊、十  
二字、六十行、十一段。一ヶ月  
三十錢。

### 敦賀新聞

敦賀町大島一〇七。  
(電)四五三。創刊明治四十一年  
十月。個人經營。夕刊二頁。但  
毎日曜四頁。(社長)大崎喜藏。

(主筆)小林玉山。(營業)赤塚敬  
太郎。(機械)十六頁一。ステロ  
設備あり。(活字)八、五、十二字  
九十五行、十一段。一ヶ月四十  
錢。(廣告料)五十錢。特別面一  
圓。  
敦賀時事新聞 敦賀町北津内  
一八三。創刊昭和三年。個人經  
營。夕刊小型四頁。(社長)小名  
清藏。(機械)平盤一。(活字)舊、  
九段。一ヶ月五十錢。(廣告料)  
四十錢。

### みくに新聞

三國町末廣一四。  
創刊明治三十七年六月。株式。  
一萬圓。朝刊四頁。(社長)濃畑  
三郎。(主筆)江戸肇。(編輯)牧  
野和夫。(營業)小川康政。(廣告)  
北島三郎兵衛。(機械)平盤二。  
(活字)舊、十三字、九十行、十段。  
福井日報の廢刊により從來二  
頁新聞であつたが四頁に増頁し  
た。

### 北陸日出新聞

三國町元新二  
三。創刊昭和六年。(發行人)大  
木幸之助。

### 嶺南新聞

小濱町。(電)三五三。  
四五五。創刊大正十年。個人經  
營。政友會。夕刊小型二頁。部

數七年九月十三日現在二千四百  
(社主)山田兵二。(社長)同。(支  
配人)小林庄次郎。(主筆)同。(編  
部)笠原兼良。(營業)支配人兼  
務。(社員)十八名。(工場員)十  
二名。(機械)平盤一。(活字)舊、  
十三字、六十行、十段。一ヶ月  
三十錢。(廣告料)普通五錢、場所  
指定倍額。

### 富山縣

▼人口……………七六、九三  
▼世帯數……………一五、六一

富山縣は東京紙と大阪紙との分  
水嶺だが、東京紙の勢力は大阪  
紙に較べてやゝ薄く、大阪紙に  
拮抗するものは名古屋の新愛知  
であり、續いては金澤の北國新  
聞である。地元紙は人口七萬五  
千の富山市を中心として。此處  
に富山日報及北陸タイムスの二  
有力紙があり、更に高岡市(人  
口五萬一千)を地盤として高岡  
新聞がある。概して此縣は移入  
紙の脅威を受けること比較的  
薄い。

### 富山日報

富山市總曲輪二

十三名。(工場員)三十三名。(機  
械)津田式輪轉機折疊式一、平  
盤一。萬年自動鑄造機二、寫眞  
版、凸版製版等完備。(活字)七  
ボ、十五字、百五十五行、十三  
段。一ヶ月七十錢。(廣告料)普  
通五十錢、場所指定七十錢、特  
別面一圓、記事一圓五十錢。  
北陸操觚界の古老にして漢詩  
人として知られてゐる前主筆土  
生彰君は七年辭して顧問となり  
武生町長となつた。併し福井餘  
滴は依然として執筆してゐる。

### 新福井日報

(新愛知の經  
營)福井市佐佳枝中町八七。(電)  
七一一、三四七、二二五四。創  
刊大正十三年。朝刊四頁。(版數)  
一。(社長)大島宇吉。(主幹)藤  
野稔。(營業)村中甚太郎。(社員)  
三十名。(工場員)四十名。(機械)  
輪轉機一。(活字)七半、十五字、  
八十三行、十二段。  
北陸タイムス 武生町幸。(電)  
二二四。創刊大正六年十一月。  
合資。一萬圓。夕刊二頁。(部數)  
七年現在一千三百部。(社主)森  
上齋五郎。(社長)同。(支配人)  
平野游。(主筆)宮原義雄。(社員)

### 北陸中央新聞

武生町幸。創  
刊大正十四年八月二十日。個人  
經營。夕刊二頁。(活字)舊、十  
二字、六十行、十一段。一ヶ月  
三十錢。

### 敦賀新聞

敦賀町大島一〇七。  
(電)四五三。創刊明治四十一年  
十月。個人經營。夕刊二頁。但  
毎日曜四頁。(社長)大崎喜藏。

五五。(電)四一四一、四一四二、  
四八二五。創刊明治十七年一月。  
株式。五千圓。立憲民政黨。朝  
刊四頁、夕刊四頁。(社長)寺島  
權藏。(事務長)葭村喜三松。(主  
筆)横山四郎右衛門。(政治)高松  
治三郎。(社會)山原正利。(廣告)  
五十嵐喜重。(販賣)八幡松平。  
(出納)榮喜平。(東京支局)堀克  
己。(大阪支局)浮田金次。(社員)  
四十名。(工場員)四十一名。(機  
械)內國製輪轉四、平盤三。活字  
鑄造機、ステロ、寫眞版設備あ  
り。(活字)七ボ、十五字、百五  
十五行、十三段。一ヶ月八十錢。  
(廣告料)普通一圓、場所指定二  
割増、特別面二圓。  
昭和七年十月十七日創業五十  
周年記念祝賀會を舉行す。

### 北陸タイムス

富山市總  
曲輪三九九。(電)二三七七、四  
六六六、三三〇一。創刊明治四  
十一年十一月。個人經營。五十  
萬圓朝刊四頁、夕刊四頁。(社長)  
田中清文。(副社長)有川俊臣。  
(主幹)營局)鍋田祥平。(編輯)  
北野庄吉。(政治)澁谷謙三。(社  
會)佐伯虎太郎。(速記)袖田爲

### 富山タイムス

(新愛知  
の經營)富山市總曲輪四八四。  
(電)二四九三、五一六一、三九  
九五。創刊大正九年十月。朝刊  
四頁。(社主)大島宇吉。(主幹)  
寺田仙之助。(編輯)村井清貞。  
(營業)寺田仙之助。(東京支局)  
松下兵馬。(大阪支局)齋藤松三。

(社員)五十一名。(工場員)二十八名。(機械)輪轉機一。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七・七五、十五字、百三十三行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通六十錢、場所指定一圓二十錢、特別面一圓。(兼管)出版部、代理部、印刷部等。

**富山時事新報** 富山市泉町一

朝刊四頁。(社長)村井太一。

**高岡新報** 高岡市末廣町九

六四。(電)四三、四四、四五、六八七、七九一。創刊明治十九年五月。株式。四萬圓。朝刊四頁、夕刊四頁。(社長)木津太郎平。(監査兼管)平野初之助。

(主筆、編輯)村井信夫。(編輯)田島清二郎。(政治)筑波俊延。(經濟)川崎直作。(廣告)安田勝太郎。(會計)池田宗之。(機械)津田式輪轉一、マリノニ式輪轉一、平盤一。ステロ、字母、寫真版設備あり。(活字)七・七五、十五字、百三十六行、十二段。一ヶ月七十錢。(廣告料)普通一圓、特別面二圓。  
 六年創刊四十五周年を迎へ代理部を新設した。

前社長山田久太郎君七年五月六日逝く、享年六十。  
**越中新聞** (北國新聞の經營)高岡市堀上町九〇〇。創刊大正十二年五月一日。個人經營。朝刊四頁。(社長)林政武。(主幹)小泉左右治。(主筆)加藤祐策。(編輯)上子三郎。(管部)米島常作。(東京支局)吉藤初三郎。(大阪支局)橋安久。(機械)輪轉一。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七・七五、十五字、十三段。一ヶ月四十錢。(廣告料)六十錢。  
 七年二月十一日より七・七五十三段となる。

**高岡日報** 高岡市一番町二五。(電)四六六。創刊明治三十四年個人協同。夕刊小型四頁。(社主)中村松太郎。(主幹)神初八太郎。(主筆)河崎直作。(機械)平盤機二。(活字)舊、六段。一ヶ月三十錢。(廣告料)三十錢。

**(七) 關西**

滋賀、京都、奈良、兵庫、和歌

山の關西五府縣は東京紙の關東地方に於けるが如く、大阪新聞の純然たる根據地であるが、圈内には神戸、京都等の大都市を包含する爲め、全國でも有数の大地方新聞たる神戸の神戸新聞、神戸又新報、京都の京都日出新聞、京都日日新聞が発達し、それら發行地にも勢力あるのみならず、他府縣にも侵入して、大阪新聞と競争する場合も少くない。又滋賀、奈良方面には名古屋の新聞も入つてゐる。尙六年八月一日神戸新聞、大阪時事新報、京都日日新聞の三社が合同して三都合同新聞株式會社を起した事は斯界の注目を惹いた

**滋賀縣**

▲人、口………六九、六三三  
 ▲世帯數………一四、九三三  
 滋賀縣は大體に於て大阪紙——即ち大朝、大毎の勢力下にある。そこへ名古屋の新愛知、及び名古屋新聞、及び京都の京都日日等が入つてゐる。地元新聞は割合に數は多いが大をなすものはない、中であつて、大津市(人

地元紙	一〇、一五五
近江新報	一〇、一五五
江州日日新聞	九、五六一
日刊近江	四、六八五
江州時事	二、七〇〇
滋賀民報	二、四五〇
長濱新報	二、二一五
江州中央新聞	一、四六八
湖國新聞	一、二六五
昭和新報	一、二〇〇
昭和新報	一、一八五
近江日報	一、〇五〇
淡海日日新聞	一、〇三五
滋賀日報	一、〇〇〇
移入紙	
大阪朝日新聞	三〇、一四一
大阪毎日新聞	二九、〇〇八
新愛知	六、一三一
京都日日新聞	三、五一九
名古屋新聞	一、九一二
京都日出新聞	三、八三
人類愛善新聞	三、八二

中外商業新報 二七一  
 讀賣新聞 二二九  
 大阪時事新報 二三八  
 天理時報 一四九  
 報知新聞 一一六  
 中外日報 一〇五  
 以上の數字は、元よりそのまゝ、信ずべきではないが、多少の參考にはなる。即ち移入紙合計七萬餘に對して、地元紙の合計は四萬餘となり、移入紙の大部分は大朝、大毎の占むるところである。

**近江新報** 大津市伊勢屋町。

(電)三、九七五。創刊明治廿三年二月十一日。個人經營。十五萬圓。朝刊四頁。(版數)二。(附録)日曜附録二頁。(社長)平井光三郎。(副社長)橋本二郎。(理事)喜多尾明昌。(總務部)同。(編輯)河合鐵三、草野一郎平、小山房三。(營業)長井愛之助、西川健二郎。(廣告次長)川西伊勢夫。(工務)廣瀬留吉。(會計)中谷英市。(東京支局)福岡喜三郎。(大阪支局)田村秀峰。(社員)六十名。(工場員)二十名。(機械)津田式輪轉機二、平盤一。活字

**江州日日新聞** 大津市

鑄造機ステロ、寫真版設備あり。(活字)七・七五、十五字、百三十四行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通一圓。特別面二圓。上小唐崎町五。(電)九九、七八四。創刊大正十年十月。株式。二十萬圓。夕刊四頁。(版數)二。(部數)七年現在一萬。(社長)中村七右衛門。(主幹)北野龜次郎。(主筆)森田憲二郎。(編輯代理)北野龜次郎。(政治)森田憲二郎。(經濟)志賀圓乘。(社會)木村貞治。(營業)北野龜次郎。(廣告)澤田三定。(販賣)和田誠一。(會計)中村進。(東京支局)松本七五郎。(大阪支局)松下兵馬。(社員)二十八名。(工場員)三十五名。(機械)輪轉一、平盤三。(活字)七・七五、十五字、百三十五行、十二段。一ヶ月四十錢。(廣告料)普通一圓、場所指定一圓五十錢。特別面二圓。(兼管)各種出版物印刷。

社屋建築及び八年一月より十三段制採用、活字七ボに改革の管。  
**近江民報** 近江民衆社、近江通

**江州商業新報** 迅報社發行。

大津市白玉町角。創刊明治十年。個人經營。朝刊小型四頁。(社長)野崎範次。(機械)六頁一、八頁一、外美濃半紙各一。(活字)舊十六字、四十四行、四段。一ヶ月四十錢。(廣告料)二十錢。  
**滋賀日日新聞** 大津市境町一九。小型二頁。(社長)青山嘉二郎。(編輯)堤助太郎。

**滋賀日報** 大津市大工町五。小型日刊。(社長)北野龜次郎。  
**江州中央新聞** 彦根町連着五。創刊大正十五年。個人經營。夕刊四頁。(社長)陌間萬助。(編輯)吉川一郎。(機械)平盤一。(活字)七・七五、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)一圓。  
**日刊近江新聞** 彦根町石ヶ崎五〇。(電)九六一。創刊昭和五

**淡海日日新聞** 彦根町勘定六。

創刊昭和六年十一月二十五日。個人經營。夕刊小型四頁。(版數)一。(部數)七年現在二千五百部。(社主)山口晋一。(社長)細田葵堂。(副社長)草野萬隆。(主筆)細田葵堂。(編輯)岡田傳吉。(營業)西村源太郎。(社員)十一名。(工場)十四名。(機械)四六八頁。平盤二。(活字)十二字、四十二行、八段。一ヶ月二十五錢。(廣告料)普通六十錢、場所指定一圓二十錢。特別面一圓二十錢。(兼管)一般印刷物。

**彦根日報** 彦根町大字三番。(電)七一八。創刊大正十四年三月廿日。個人經營。二萬五千圓。(部數)六年九月卅日現在三千五百。(社主)津田兼吉。(社長)水波廣。(主幹)水波白龍。(主筆)

鹽原荒村。(社員)八名。(工場員)八名。(機械)平盤十六頁、八頁一、四頁一。(活字)舊、十二字、六十行、九段。一ヶ月二十五錢。(廣告料)五十錢。特別面一圓五十錢。

湖國新聞 彦根町本六九。小型四頁。(社長)山口晋一。(編輯)長坂寛二。

昭和新報 彦根町四番三二。小型四頁。(社長)末廣重五郎。

滋賀民報 長濱町大字南吳服。創刊明治四十年五月。個人經營。夕刊小型四頁。(社主)川村秀明。(社長)同。(機械)平盤一。(活字)舊、十三字、六十行、七段。一ヶ月四十錢。(廣告料)七十錢。

長濱新報 長濱町北門前四ノ八。小型四頁。(社長)山口三太郎。(編輯)同。

近江每夕新聞 長濱町大字宮五〇。(電)六二三。創刊昭和四年三月七日。合資一萬圓。政友會。夕刊四頁。(版數)一。(部數)七年一月一日現在五千部。(社

主)笹原司馬太郎。(社長)堤彌平。(副社長)堤明。(支配人)木村爲藏。(編輯)木村知。(營業)渡邊燕村、速水喜之助。(社員)十二名。(工場員)一名。(機械)平盤二。(活字)十三字、八十行、十一段。(一ヶ月)四十錢。(廣告料)普通八十錢。特別面一圓五十錢。

昭和新報 長濱町南吳服一七二。小型二頁。(社長)百々元之助。(編輯)西村常次郎。

近江時報 長濱町八幡五七。創刊大正十五年。個人經營。夕刊小型四頁。(社長)中村耕三郎。(編輯)同。(機械)平盤一。(活字)舊、七段。一ヶ月四十錢。(廣告料)一圓。

近江日報 長濱町高田五二。小型二頁。(社長)吉田時太郎。(編輯)同。

江州時事 八日市町金屋五三二。小型二頁。(社長)山口晋一。(編輯)雲下一人。

▲世帯數………三六、三〇三  
京都府は大阪新聞の領域だが、人口七十六萬五千の京都市を地盤として、京都日出版、京都日日の二大勢力が發達し、京華日報などもこれに追いつつある。而して各紙は猛烈な競争を行つてゐるが、それ／＼特色を持ち、共同の敵として大阪紙に對抗してゐる。そして市内では餘り遜色を見ないが、郡部方面では到底その敵でなく、大朝、大毎の跳梁に委されてある。尙兩丹方面では地理的關係から二三小新聞の獨立せるものあり、舞鶴の丹州時報、綾部の丹波毎日などは小ながらそれ／＼固い地盤を有してゐる。尙、府下主要新聞につき、某官憲方面の推定發行部數は次の如くである。元よりそのまゝ信ずべきではないが掲げておく。

京都經濟新報	七、〇〇〇
明治新聞	五、〇〇〇
イブキ商報	四、〇〇〇
文化時報	三、五〇〇
近畿日日新聞	三、二〇〇
相互太陽新聞	三、〇〇〇
京都毎日新聞	三、〇〇〇
京都日曜新聞	三、〇〇〇
日本建築新聞	一、〇〇〇
毎夕新聞	一、〇〇〇
京都府下の分	
丹州時報	七、三〇〇
兩丹タイムス	三、三〇〇
北丹時報	二、〇〇〇
山陰民報	二、〇〇〇
新舞鶴時報	一、八〇〇
三丹新日報	一、四〇〇
丹波毎日新聞	一、三〇〇
日刊兩丹日報	一、二〇〇
京都日出新聞 株式會社	
日出新聞社發行 京都市上京區烏丸通夷川北入。(電)上二一、一三、二五―三〇、四〇〇一、	
創刊明治十二年六月。株式、五十萬圓。朝刊四頁。夕刊四頁。(附錄)毎日「日曜日出」。(社長)後川文藏。後川春之助(取締役)井上利助、大澤徳太郎、山田	

▲人口………一、五三、八三三

### 京都府

茂助。(機械)獨逸製高速輪轉機二、折式色刷輪轉二。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七ボ、十五字、百五十六行、十三段。一ヶ月七十錢。(廣告料)普通一圓十錢。特別面一圓八十錢。(特設)日出會館。六年十二月二十二日前社長後川文藏君逝く。

京都日日新聞 三都合同新聞株式會社發行。京都市烏丸通竹屋町上ル大倉町。(電)上三六、三七、三八、三九、四〇、四八、四九、五〇。創刊明治四十五年二月十一日。株式。五十萬圓。朝刊四頁、夕刊四頁。(版數)四。(附錄)日曜附録二頁、ウキクリ一四頁。(社長)進藤信義。(常務兼主幹)山根文雄。(編輯)猪股平三郎。(編局次長)白石古京。(營局)片岡暉。(東京支局)酒井謙吉。(社員)百三十五名。(工場員)九十名。(機械)京

式高速度輪轉機一、マリノニ折式輪轉機三。色刷設備あり。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七ボ、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月七十

十錢。(廣告料)普通一圓十錢、特別面二圓二十錢。  
昭和五年大阪時事、神戸新聞と共にラスト結成す。  
七年夏岡崎公園に空中文化博覽會を開く。

京華日報 京都市中京區富小路三條北入。創刊明治三十二年二月十五日。個人經營。夕刊四頁。(社長)吉弘茂義。(營業)江羅直三郎。(編輯)村上忠平。(廣告)竹内彌太郎。(東京支局)秋元弘。(大阪支局)松本三郎。(機械)輪轉機二。鑄造機四、ステロ二。(活字)七半、十五字、百四十行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通八十錢。特別面一圓二十錢。

中外日報 京都市東山區七條橋畔。(電)祇園一七八七。創刊明治十年九月十八日。個人經營。十萬圓。朝刊小型四頁。(社主)眞溪渡骨。(社長)同。(編局)荒木一道。(營局)長谷川義一郎。(東京支局)關藤耕村。(大阪支局)三浦參玄河。(社員)四十八名。(工場員)九名。(機械)四六判口一ル三。(活字)八ボ、十四字、

九十行、十段。一ヶ月七十錢。(廣告料)普通五十錢、特別面一圓。

京都日報 京都市四條通河原町東入眞町七九。(電)本局四二一〇、六四。創刊大正二年八月五日。三萬五千圓。朝刊小型四頁。(附錄)月二回關西舞踊通信。(社主)大久保喜三郎。(社長)同。(支配人)更谷房治。(主幹)楠田季吉(主筆)棚橋慶治。(編輯)森友長。(營業)鷹田一己。(東京支局)大久保重三郎。(大阪支局)前川和平。(社員)廿三名。(工場員)十四名。(機械)平盤二。活字鑄造機、寫眞版設備あり。(活字)九ボ、十二字、六十五行。九段。一ヶ月四十錢。(廣告料)普通九十錢。特別面一圓廿錢。

明治新聞 伏見區伏見町三柄向七四一。創刊明治四十年九月六日。個人經營。十萬圓。朝刊四頁。(社長)中野種一郎。(主幹)藤井音次郎。(編輯)皆川修道。(機械)平盤二。(活字)九ボ、十五字、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)六十錢。

文化時報 京都市猪熊通梅小路

上ル。(電)下一五九、四七四一。創刊大正十二年二月一日。夕刊四頁。(社長)堤淨祐。(支配人)清水祐之。(編輯)萩原健信。(營業)三好徳之助。(東京支局)近藤玄定。(社員)十五名。(工場員)二十名。(機械)平盤廿四頁二、十六頁一、八頁二。(活字)八ボ、十四字、六十五行、十一段。一ヶ月七十錢。

京都經濟新報 京都市下京區東洞院通四條上ル阪東屋町六六四。創刊大正十年六月二十五日。株式。十二萬圓。朝刊小型八頁。(取締役社長)神田喜三。(取締役)田中榮二郎、伴良太郎。(機械)平盤六。(活字)舊、十四字、九段。

七年六月二十八日次の如き第二十二期營業報告を承認利益分配案を可決した。  
貸借對照表(圓以下切捨)  
資産の部  
未拂込株金 四五、〇〇〇  
土地建物 五六、七七一  
機械工具 六、九二四  
活字込物 一、三二二  
什器備品 六八四

保證金	七四〇
組合持分	二、一二五
當座預金	一五六
信用組合預金	一五、三一
振替貯金	一九
賣掛金	三二七
現金	一〇
計	一二九、三九三
負債の部	
株金	一一〇、〇〇〇
法定積立金	四、八〇〇
使用人恩給積立金	一九二
前期繰越金	三一五
前期利益金	四、〇八五
計	一二九、三九三
損益計算書	
自六年十二月至七年五月	
収入の部	
賣上代金	一九、一八〇
廣告代金	三、八〇〇
雑収入	六八〇
計	二三、六六三
支出の部	
原紙及諸材料	五、〇二二
營業費	三、五五五
給料工賃	四、八八九
編輯費	七〇四
税金公費	八八九

雜損債引	一六
活字込物償却金	五〇〇
機械工具償却金	一、五〇〇
土地建物償却金	二、五〇〇
當期利益金	四、〇八五
計	二三、六六三
利益金分配案	
前期繰越金	三一五
當期利益金	四、〇八五
計	四、四〇〇
之ヲ左ノ通分配ス	
法定積立金	三〇〇
株主配當金(年八朱)	三、〇〇〇
役員賞與金	五〇〇
後期繰込金	六〇〇
計	六〇〇

新三町通五條上ル柿本町五八八  
夕刊二頁。(社長)今村大吉。(發行人)堀美雄。

京都毎日新聞 京都市東山區  
澁谷通本町東入。創刊大正十二年二月十一日。五萬圓。政友會。夕刊二頁。(部數)六年八月三十一日現在五千部。(社長)鈴木吉之助。(社長)同。(主幹)福田稔。(編輯)岡本經厚。(營業)谷本留吉。(社員)十名。(工場員)十二名。(機械)平盤二。(活字)九半、十二字、百行、十二段。一ヶ月三十五錢。(廣告料)普通一圓、場所指定一圓五十錢、特別面二圓。

關西毎日新聞 京都市左京區  
新當小路。(電)上一七二。創刊昭和三年十一月一日。個人經營。朝刊小型四頁。(社長)八木重太郎。(主幹)井上榮次郎。(主筆)吉村次郎。(機械)十六頁二。(活字)十三字、四十五行、八段。一ヶ月三十錢。(廣告料)普通五十錢。場所指定一圓。

イブキ商報 京都市下京區  
丸通綾小路南入二帖半敷。夕刊小型四頁。(社長)伊吹平助。

(發行人)廣瀬伍三郎。

日本建築新聞 京都市上京區  
柳形通り出町西入三榮町。夕刊小型二頁。(社長)常田新九郎。

每夕新聞 京都市伏見區京町三丁目。(電)二七。創刊昭和二年八月二十六日。個人。五千圓。夕刊小型四頁。(版數)一。(部數)七年現在三千五百部。(社長)根來清一。(主幹)大槻實藏。(社會)清水寛。(政治)大野木三太郎。(營業)清水直造。(大阪支局)佐藤幸三郎。(社員)十一名。(工場員)六名。(機械)平盤二。(活字)舊、十二字、四十八行、八段。一箇月三十錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定一圓、特別面一圓。

相互太陽新聞 京都市伏見區  
下板橋町五八一。小型四頁。(社長)青山嘉二郎。(發行人)西川政次郎。

京都市民日報 (休刊中)京都市上京區下、森通仁和寺街道上二八ノ二。(社長)西村力。

丹州時報 舞鶴町堀上町。  
創刊明治三十六年十二月十日。株式。五萬圓。夕刊四頁。(專

務)河田孝行。(編輯)山下石藏。(廣告)石井民之助。(機械)小型輪轉機一、平盤二。ステロあり。(活字)八半、十二字、百行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)七十錢。

■七年二月從來兼營してゐた丹波毎日新聞を分離した。

新舞鶴時報 新舞鶴町濱七七七。創刊昭和四年九月。個人經營。夕刊四頁。(版數)一。(地方版)兩丹日々新聞。(部數)六年九月十五日現在一〇、〇〇〇部。(社長)刑部元且。(社長)同。(社員)四十名。(工場員)二十名。(機械)平盤印刷機二。(活字)八半、十四字、七十行、十二段。一ヶ月四十錢。(廣告料)普通八十錢、場所指定二圓、特別面二圓。

■六年七月新舞鶴に本社を有せし「兩丹日報」社と合同し、ついで綾部町に本社を有する兩丹日日新聞社姉妹社として經營す。

三丹新日報 府下宮津町本町七五八。夕刊二頁。(社長)三井長右衛門。(發行人)唐澤憲澄。

兩丹毎日 府下宮津町鶴賀二

〇七〇。夕刊四頁。(社長)金久保。

丹波毎日新聞 府下綾部町(電)二〇四、二六六。創刊大正十一年十二月。匿名組合。二萬圓。朝刊二頁。夕刊四頁。(社長)飯田兼治郎。(社長)同。(支配人)遠坂龍一郎。(主幹)飯田利三郎。(編輯)金久保。(營業)山口武三。(東京支局)尾崎孝子。(大阪支局)橋安久。(社員)二十二名。(工場)十三名。(機械)平盤十六頁二。ステロあり。(活字)七半、十五字、百三十行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通二十錢、場所指定四十錢、特別面一圓。(兼營)日刊山陰民報。(京都府福知山町)朝夕刊六頁。(廣告)共載す。日刊歌壇新報(東京市牛込區新小川町)

■從來丹州時報の兼營であつたが七年二月分離す。

■七年十一月三日より夕刊の外朝刊二頁を發行す。

兩丹日日 (新舞鶴時報の姉妹紙)兩丹日日新聞社發行。綾部町。(電)二六五。創刊昭和六年

九月十日。獨自經營。夕刊四頁。(版數)四。(地方版)京都。福知山。(部數)七年現在、四千九百一十五部。(社長)白波瀨理一郎。(社長)同。(副社長)志達康之助。(專務)同。(主幹)白波瀨理一郎。(營業)仲野民藏。(京都支局)磯貝義一。(社員)二十二名。(工場)十一名。(活字)七半、十五字、八十五行、十三段。一ヶ月三十五錢。

山陰民報 (丹波毎日新聞の經營)府下福知山町。(電)六七〇。創刊昭和七年二月十一日。朝刊四頁。夕刊二頁。(社長)飯田兼治郎。(支配人)村上義雄。(主幹)飯田利三郎。(主筆)關進。(編輯)吉田三郎。(營業)北野一男。(東京支局)尾崎孝子。(大阪支局)橋安久。(社員)十名。(工場)十三名。(機械)平盤十六頁二。ステロ有り。(活字)七半、十五字、百三十行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通二十錢、場所指定四十錢、特別面一圓。

■廣告は丹波毎日新聞と共載。日刊兩丹日報 府下福知山町

京町一二。夕刊四頁。(社長)武藤武平。(發行人)一瀬喜重。

太平樂 府下福知山町内記六丁目八八。夕刊二頁。(社長)藤本兼。

兩丹タイムス 府下加佐郡中筋村字引土三一。(電)四六八。創刊昭和六年七月二十六日。匿名組合。一萬圓。夕刊四頁。(版數)一。(地方版)福知山版。(部數)七年九月一日現在四千六百部。(編輯)伊賀秀。(營業)志達康之助。(社員)十三名。(工場)十二名。(機械)十六頁一。(活字)七半、十五字、百四十行、十三段。一ヶ月四十錢。(廣告料)普通六十錢、場所指定八十錢、特別面八十錢。(兼營)代理部にて賣藥筆墨文具。

北丹時報 府下熊野郡久美濱町一一八八。夕刊四頁。(社長)糸井益治。

丹後朝日新聞 府下中郡峰山町郷元二四ノ一。夕刊四頁。(社長)藤本兼。(發行人)明地伊勢男。



### 奈良縣

世帯數……… 二〇、〇三三  
人口……… 五九六、三三五

奈良縣は我國でも最小縣の一つである上に大阪新聞の純然たる領域であり、且つ名古屋の新愛知なども入つてゐる爲め、地元新聞は頗る不振恰も關東に於ける埼玉縣の如き觀がある。大朝、大毎は大軌電車により奈良市及び沿線へ午前一時の新聞電車で六版を送る。新愛知は大和旭と合賣してゐる。その中にあつて輪轉印刷をするもの奈良市（人口五萬二千）の大和日報たゞ一紙。尙移入紙の部數に就き、某方面の推定によれば大朝、大毎各二萬乃至二萬二三千、新愛知三千五六百見當とある。但しこれは時によつて變化する事無論である。

### 大和日報

奈良市角振町二。  
創刊明治廿五年三月一日。合名會社。五萬圓。政友系。夕刊四頁。（部數）六年八月三十一日現在八千六百部。（社主）福井甚三。（社長）同。（編局）森家飛鶴。（社

會）杉浦橋一。（政治）森家飛鶴。（經濟）福田富彌。（營部）山下秀松。（廣告）同。（事業）山岸壽惠。（販賣）淺倉潤一。（東京支局）高島萬太郎。（社員）三十七名（工場員）十六名。（機械）半截輪轉機西川式一。ステロ設備あり。（活字）七、七五、十五字、百三十五行、十二段、一ヶ月五十五錢。（廣告料）普通一圓。場所指定三十錢増。特別面一圓五十錢。大和毎日新聞 奈良市小西町。（電）八五〇。創刊大正十二年一月廿一日。個人經營。政友會。朝刊四頁。（地方版）週刊縣下各地版。（社主）岩本正吉。（社長）同。（主筆）同。（編輯）福井宇一郎。（硬派）真村桂三。（軟派）岡田正男。（營業）吉村吉三郎。（東京支局）高島萬太郎。（大阪支局）井上命驗。（社員）二十二名。（工場）十八名。（機械）平盤十六名。活字鑄造機。ステロ、寫眞版設備有り。（活字）七、七五、十五字、百三十五行、十二段。一ヶ月五十錢。（廣告料）普通七十錢。場所指定二割増。特別面倍額。

市内有志訪問マラソン競走、素人園藝大會、市内商店活動寫眞撮影等をなす。  
奈良新聞 奈良市池ノ町。創刊明治三十一年八月。個人經營。民政黨。朝刊四頁。（社長）赤堀自助。（編輯）赤堀秀雄。（營業）赤堀和郎。（廣告）藤田勝次郎。（機械）平盤二。（活字）七、七五、十五字、百三十八行、十二段。一ヶ月五十五錢（廣告料）七十錢。大和旭 大和旭新聞社發行（新愛知の經營）奈良市三條今井町。（電）五九九。合資會社。政友系。朝刊二頁。（社長）大島宇吉。（主筆）江端豊信。（機械）平盤。關西經濟日報 奈良市下三條町五十一。（電）四二四。創刊昭和四年十二月七日。個人經營。朝刊小型十二頁。（部數）七年十二月末日現在五千部。（社主）鶴田久雄。（社員）五名。（工場）五名。（活字）九、十四字、三十五行、五段。一ヶ月五十錢。（廣告料）普通五十錢。特別面一圓。關西商業興信所。  
大和民友新聞 奈良市油留木町二八。創刊昭和六年。朝刊四

頁。（社長）北浦圭太郎。（主筆）同。（發行人）松倉政義。  
日刊大和 日刊大和新聞社發行。五條町六六二。創刊昭和二年七月二十五日。個人經營。一萬圓。民政黨。夕刊四頁。（版數）二。（部數）七年八月末日現在三千部。（社主）松本長逸。（社長）同。（主幹）山本勇。（主筆）松本長逸。（編輯）山本勇。（營業）樋口次男。（社員）七名。（工場）五名。（機械）十六頁平盤二。六頁二。ステロあり。（活字）九、十三字、七十行、十二段。一ヶ月五十錢。（廣告料）普通五十錢。特別面一圓。  
中和新聞 高田町本町六。（電）三四三。創刊大正十二年九月十日。個人經營。三萬圓。夕刊小型四頁。（版數）二。（部數）七年十月現在六千部。（社主）木村弘。（社長）同。（專務）石田善次。（支配人）同。（主幹）木村弘。（編輯）同。（營業）石田善次。（社員）十六名。（工場）二十名。（機械）平盤二。（活字）七、七五、十四字、四十五行、九段。一ヶ月三十錢。（廣告料）普通五十錢。場所指定

六十錢。  
日乃出新聞 郡山町。（電）三六一。創刊大正十四年。個人經營。一十圓。夕刊二頁。（版數）一。（附錄）兒童文藝。（部數）七年十月現在三千部。（社主）前川光史。（社長）同。（大阪支局）湯淺喜一。（社員）五名。（工場員）八名。（機械）平盤一。（活字）七、七五、十五字、七十五行、十二段。一ヶ月三十錢。（廣告料）普通五十錢。特別面一圓。

### 兵庫縣

人口……… 二、六四六、〇三二  
世帯數……… 五六三、五九九  
兵庫縣は關東の神奈川縣に似た位置にある。併し此處は全國一の大縣で、人口は神奈川縣より約百萬も多い爲め、大阪紙對神戸紙の對戦は、東京紙對横濱紙の對戦よりも稍大規模である。神戸市は人口七十八萬七千、此處を根據として神戸又神、神戸新聞の二大紙が發達し、互ひに猛競争を續けると同時に大阪紙に對抗してゐる。尙神戸新聞は六年八月大阪時事新報と合同し

て互に聯繫をとる事となつた。神戸の外姫路市（人口六萬二千）豊岡町等も一小中心地の形をなしてゐるが特記する程のものはない。  
神戸新聞 三都合同新聞株式會社神戸支店發行。神戸市榮町六丁目六十一。（電）元町一五乃至二一及二三。創刊明治三十一年二月十一日。株式。五十萬圓。朝刊八頁、夕刊四頁。（版數）六。（附錄）明石附錄。（地方版）阪神、播州、但丹、姫路明石版。（社長）進藤信義。（常務）和田恒彦。（主幹）同。（編局）宮本卯一。（整理）松末盛計。（政治）酒井正之助。（經濟）片山誠二。（事業）岡太郎吉。（社會）局長兼務。（營局）向井勸兵衛。（販賣）加藤芳助。（工務）友國東二郎。（會計）武田三郎二。（廣告）局長兼務。（東京支局）酒井讓吉。（大阪支局）目下缺員。（機械）神戸式高速度輪轉機二、マリノニ式輪轉機三、萬能モノタイプ二。ステロ寫眞製版設備あり。（活字）七、十五字、百二十四行、十三段。一ヶ月八十錢。（廣告料）普通一

圓二十錢。場所指定倍額及十錢増。  
六年九月時事新報との間にニュースの交換、専用電話活用の協約成る。  
同十月十四日東京會館に三都新聞會社成立披露會を開く、出席者三百六十餘名に及ぶ。  
神戸又新日報 神戸市神戸區榮町六丁目。（電）元町五〇一五五。創刊明治十七年。株式。四十萬圓。朝刊四頁。夕刊八頁。（版數）五。（附錄）明石附錄。淡路附錄。播磨附錄。（地方版）ABCDE版。（社長）間野了。（副社長）松田政之。（專務）佐藤章。（支配人）石丸兵内。（主筆）岡成志。（編局）松本豊三。（整理）同。（經濟）北莊三郎。（社會）一安琢美。（校正）首藤登。（政事）菊池一男。（美術）佐々木雄之助。（營局）佐藤章。（廣告）野崎隆一。（庶務）増田安次。（販賣）局長兼任。（東京支局）野崎隆一。（大阪支局）杉森與平次。（社員）二百餘名。（工場員）八十名。（機械）高速度輪轉機二、マリノニ三、萬能鑄造機二。ステロ、寫

眞版設備あり。（活字）七、七五、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月八十錢。（廣告料）普通一圓廿錢。場所指定五十錢増。  
七年六月三十日株主總會の結果社長に古手川忠助君、支配人は石丸兵内君就任す。  
同七月三十日古手川忠助社長に就任僅か一ヶ月にて辭任し、八月二十五日副社長總務局長間野了君後任となる。  
神戸日日新聞 神戸市湊東區楠町七丁目三三ノ一。創刊大正十一年一月四日。株式。十二萬圓。夕刊四頁。（版數）三。（附錄）米穀相場表、株式相場表、生糸相場表。（地方版）東播、淡路、有馬、明姫。（部數）昭和七年八月一日現在五三、二五一。（社長）岡田定信。（編局）梅本憲一郎。（社會）綿谷孝太郎。（經濟）池田米治。（政治）野田信吾。（美術）松井長平。（營局）井澤進。（廣告）山下太三郎。（販賣）河野正一。（工場員）峰尾英一。（東京支局）飛鳥江亮智。（大阪支局）遠藤信一。（社員）四十四名。（工場員）四十四名。（機

備あり。(活字)七半、十四字、百四十七行、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通一圓、場所指定十錢増、特別面倍額。

**神戸タイムス** 神戸市花隈町一〇九。創刊昭和三年三月十六日。合資會社。七萬圓。夕刊四頁。(版數)二版。(社長)舟橋靜一。(主筆)梅田梅次郎。(編輯)德大寺康武。(廣告)津田四郎。(機械)マリノニ式大型印刷機一、補助十六頁平盤印刷機一。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七半、十五字、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)一圓。

**兵神日報** 神戸市淡西區島上町。(電)兵庫一〇一三。創刊明治廿九年十月一日。個人經營。參萬圓。夕刊四頁。(版數)二。(部數)七年九月十日現在約七千部。(社主)島田淳郎。(社長)同。(副社長)森本和一郎。(主幹)竹安寅男。(主筆)中道政二。(社員)七名。(工場員)二十名。(機械)十六頁三、八頁二。(活字)九ボ、十二字、百行、十二段。一ヶ月八

十五錢。(廣告料)普通四十錢、特別面一圓。  
 ■七年一萬號を迎ふ。神戸市優良店員表彰、神戸市著名商店便覽發行。  
**神戸米肥市場日報** 神戸市淡西區松屋町一四。(電)兵庫二二六〇、二六〇。創刊大正四年。株式。四萬圓。夕刊四頁。(社長)平松力松。(編輯)國廣藤五郎。(社員)十九名。(工場員)十六名。(機械)小型輪轉機一、十六頁平盤二。  
 ■七年六月二十八日株主總會を開き資本金十萬圓を四萬圓に減資する事を決議した。但し減資の六萬圓の申五萬圓は未拂込金にして之れを切り棄て、一萬圓は土地及建物の評價損に充當した。

**神戸ヘラルド・エンド・大阪ガゼット** (英字紙)神戸大阪プレス社發行。神戸市浪花町十四。(電)三宮九八一。創刊明治廿二年七月十七日。株式。十萬圓。朝刊六頁。(社長)ドグラス・エム・ヤング。(機械)三。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。

歐文六段。一ヶ月二圓。(廣告料)普通一時四圓五十錢。  
 ザ・ジャパン・クロニクル (英字紙)三宮市。創刊明治三十二年七月十七日。八頁。個人經營。(社長)ドグラス・ジョージ・ヤング。(主筆)エー・モルガン・ヤング。(機械)十臺、ライノタイプ五。(活字)歐文七段。一ヶ月三圓。(廣告料)一時三圓五十錢。(兼營)印刷業。

**中國日日新聞** 姫路市東紺屋町。(電)五一〇、九三五、一〇一九、一九三三。創刊明治四十五年三月。株式。二十萬圓。夕刊四頁。(版數)二。(附錄)隣郡各附錄。(部數)昭和七年九月二十日現在。一四、五〇〇。(社長)内田義男。(專務)瀬川武雄。(常務)山本兼太郎。(支配人)瀬川武雄。(主幹)梶秀也。(主筆)黒澤和郎。(編輯)梶秀也。(社會)黒澤和郎。(經濟)淺邊和吉。(政治)高馬増太郎。(速記)良本敬。(營業)山本兼太郎。(會計)淺田榮治。(販賣)中村芳雄。(廣告)山本兼太郎。(大阪支局)松下兵馬。(社員)五十八名。(工場

員)四十五名。(機械)佛國マリノニ式輪轉機一、内國製平盤二。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七半、十五字、百四十五行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通一圓、場所指定一割増、特別面倍額。  
**關西日日新聞** 明石市弓町。創刊明治三十八年八月。株式。三萬圓。朝刊四頁、夕刊二頁。(社長)福田正俊。(主筆)同。(編輯)長田正一。(營業)藤原政雄。(機械)平盤三。(活字)七半、十五字、百二十行、十二段。一ヶ月五十五錢。(廣告料)五十錢。  
 ■昭和四年三月三木町に美養毎日新聞を創刊す。

**三丹日日新聞** 豊岡町。創刊昭和三年十月三十日。株式。六萬圓。夕刊四頁。(地方版)丹波日日新聞、丹後日日新聞。(社長)澤田敬三。(主筆)武田一三。(編輯)中山仁平。(營業)四村俊一。(廣告)上田庫一。(機械)佛國マリノニ式高速度輪轉機一、外平盤二。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七半、十五字、十二段。一ヶ月五十五

**日刊但馬日報** 株式會社但馬日報社。豊岡町。(電)五一九。創刊大正十年十二月一日。株式。一萬五千圓。夕刊四頁。(部數)七年九月現在三千八百。(社長)林義夫。(專務)武居貞一。(主幹)林義夫。(主筆)英保五郎。(編輯)同。(編輯係)西川輝夫。(營業)市田武夫。(事業)竹中正夫。(計畫)天谷榮。(東京支局)小林莊助。(大阪支局)藤井壽賀夫。(社員)三十二名。(工場員)十二名。(機械)十六頁二、四頁一。(活字)七半、十五字、百四十行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定五割増、特別面倍額。

**美養毎日新聞** 關西日日新聞の經營)三木町福井千六百六十二。創刊昭和三年四月三日。個人經營。五千圓位。夕刊二頁。(部數)六年九月一日現在一千部。(社主)福田正俊。(社長)同。(主幹)石川利右衛門。(編輯)同。(工場員)十一名。(機械)平盤二。(活字)七、七五、十五字、十二段。一ヶ月三十五錢。(廣告料)一圓

**淡路新聞** 洲本町幸町七八。(電)六五。創刊明治十年四月。從業員組合。三萬圓。夕刊四頁。(版數)一。(附錄)大阪、神戸附錄。(部數)七年現在四千五百。(組合代表)前川正美。(主幹)片山瀧園。(主筆)同。(編輯)前川正美。(政治經濟)片山瀧園。(社會)數内梅生。(營業)片山注連吉。(廣告)山野新七。(會計)片山注連吉。(販賣)同。(大阪支局)石川昂。(社員)二十八名。(工場員)十八名。(機械)平盤十六頁三、手押六頁二。ステロ設備あり。(活字)九半、十二字、六十三行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通九十錢、場所指定三倍、特別面二倍。

**淡路日日新聞** (淡路又新日報の改題)淡路又新日報社發行。洲本町。創刊大正七年一月。個人經營。四萬圓。朝刊小型四頁。(版數)一。(部數)六年八月末日現在五千二百部。(社長)堀口勝。(機械)平盤ロール二。スモロー及び製版設備あり。(活字)七半、十四字、七十行、九段。一ヶ月三

**淡路新報** 洲本町常盤二四一五。創刊昭和二年。個人經營。六千圓。朝刊小型二頁。(社長)上坂武夫。(主筆)赤木覺市。(機械)平盤二。(活字)舊、八段。一ヶ月四十錢。(廣告料)一圓。

**南海日日新聞** (阿淡日報の改題)淡川日報社發行。三原郡志知村。(電)廿一。創刊大正十四年十二月。個人經營。一萬圓。朝刊四頁。(附錄)三原郡聯合農會時報(月刊)。(地方版)徳島板野。(部數)七年十月一日現在三千八百部。(社主)土居角平。(社長)辻村嘉一。(副社長)片山伊平。(主幹)辻村文八。(主筆)安立清雄。(編輯)辻村嘉一。(營業)片山伊平。(社員)十二名。(工場)十八名。(機械)十六頁一、八頁一。ステロ設備あり。(活字)舊、十一字、九十三行、十二段。一ヶ月四十錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定二割増、特別面一圓。

**和歌山縣**

▲人口………八三、七四八  
 ▲世帯數………一七、四五五  
 和歌山縣は大阪新聞の領域である上に、地元新聞の数が人口の割りに多く、且つ小中心地が散在する爲め、大をなすものがない。併し人口十一萬七千の和歌山市を根據とする和歌山日日新聞及び和歌山新報は全縣的に讀者を持つてゐる。

**和歌山日日新聞** 和歌山市四番丁一。(電)六八五、一九二八。創刊明治四十五年七月。株式。八萬圓(全額拂込)。夕刊四頁。(附錄)コードモ附録(毎週土曜日)。(社長)山崎傳之助。(副社長)山崎稔。(主筆)土井天民。

(編輯)岡本繁一。(營業)山崎珍。(東京支局)松浦信八。(大阪支局)笛津吾一。(社員)十四名。(工場員)三十三名。(機械)輪轉機一、平盤六。ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七半、十五字、百四十五行、十二段。一ヶ月四十五錢。(廣告料)一圓、特別面一圓五十錢。(兼營)印刷業。

**和歌山新報** 和歌山市本町四丁目。(電)五四〇、一七六七。創刊明治廿五年八月一日。匿名。六萬圓。朝刊四頁。(社主)三井茂。(社長)同。(主幹)同。(主筆)松本週造。(編輯)上田常隆。(政治經濟)同。(社會)松本朱像。(警局)三井茂。(廣告)信定紀一郎。(販賣)奥田義教。(機械)石川式輪轉二。活字鑄造機、ステロあり。(活字)七半、十五字、百四十行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定一圓。

**和歌山日報** 和歌山市小人町一。創刊大正十一年四月十八日。個人經營。六萬圓。朝刊四頁。(社長)津田清次。(主筆)藤田義之。(編輯)河野九民。(營業)山

脇重太郎。(機械)平盤三。(活字)七・七五、十二段。一ヶ月四十五錢。(廣告料)七十五錢。

**紀伊毎日新聞** 和歌山市八番町八。創刊明治二十六年二月十七日。個人經營。五萬八千圓。朝刊四頁。(社長)毛利清雅。(編輯)三木魚心。(營業)毛利清。(機械)輪轉一、平盤一。(活字)七・七五、十二段。一ヶ月四十五錢。(廣告料)七十五錢。

**虎城日報** 和歌山市茶屋ノ町四。創刊大正五年八月七日。個人經營。一萬五千圓。朝刊四頁。(社長)角谷肇之助。(機械)平盤三。(活字)七・七五、十二段。(電)一七三。創刊明治四十四年二月十一日。個人經營。朝刊四頁。(部數)七年現在八、〇〇〇。(社主)小山邦松。(社長)同。(主幹)玉井源治。(主筆)同。(編輯)同。(政治)同。(社會)楠本定一。(文藝)熊本正一。(營業)小林義一。(廣告)小山米次郎。(販賣)線崎朝太郎。(社員)三十四名。(工場員)十六名。(機械)輪轉機一、四六平盤一。ステロあり。

**紀伊新報** 田邊町中屋敷。(電)一七三。創刊明治四十四年二月十一日。個人經營。朝刊四頁。(部數)七年現在八、〇〇〇。(社主)小山邦松。(社長)同。(主幹)玉井源治。(主筆)同。(編輯)同。(政治)同。(社會)楠本定一。(文藝)熊本正一。(營業)小林義一。(廣告)小山米次郎。(販賣)線崎朝太郎。(社員)三十四名。(工場員)十六名。(機械)輪轉機一、四六平盤一。ステロあり。

(活字)九半、十三字、一百二十行、十二段。一ヶ月五十五錢。(廣告料)普通二十五錢、場所指定五十錢、特別面五十錢。

**熊野太陽** 田邊町。(電)五一五。創刊大正十二年九月廿四日。社員合資。二萬五千圓。朝刊四頁。(社長)室井嚴。(主筆)同。(編輯)田安徳太郎。(政治經濟)同。(社會)有本定雄。(學藝)室井月男。(營業)田淵幸三郎。(廣告)同。(販賣)室井勝。(企業)阪本佐一。(地方販賣)栗栖徳藏。(大阪支局)上村弘。(社員)十四名。(工場員)十五名。(機械)佛國マニロー式輪轉機一、平盤機一。ステロ設備あり。(活字)九半、十二字、百二十行、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通廿五錢、場所指定五割増、特別面五十錢。

**熊野新報** 新宮町。創刊明治十九年十二月一日。個人經營。二萬圓。夕刊四頁。(社長)倉本盛三郎。(編輯)永廣健吉。(營業)荒木サキ。(機械)平盤一。(活字)舊、十一段。一ヶ月七十錢。(廣告料)二十錢。

**熊野毎日新聞** 新宮町五九六。創刊大正二年三月二十七日。個人經營。六千五百圓。夕刊四頁。(社長)榎本廣太郎(主筆)山本正一。(編輯)榎本清。(機械)平盤一。(活字)舊、十一段。一ヶ月七十錢。(廣告料)五十錢。

**民聲日報** 新宮町。創刊明治四十三年。個人經營。夕刊四頁。(社長)天野日出吉。(主筆)谷瀬利一。(廣告)貴志淳一。(機械)

卅三年四月五日。個人經營。三萬圓。夕刊四頁。(部數)六年八月卅日現在三千五百部。(社主)池田晋。(社長)同。(主筆)西田黒潮。(東京支局)鈴木一三。(社員)一〇名。(工場員)一八名。(機械)十六頁平盤一、八頁一、六頁一。(活字)九半、十三字、百行、十二段。一ヶ月七十錢。(廣告料)五十錢。(兼營)普通印刷。

### (八) 四國

德島、香川、愛媛、高知の四國四縣は、中國地方と共に、關西地方に次ぐ大阪新聞の地盤である。従つて到る處大阪紙の侵入の爲めに悩まされざるはなく、殊に上海事變以來それが甚だしい。僅かに土佐の高知新聞あたりが地理的關係の爲めにその壓迫から緩和されてゐる。又四國でも香川縣方面には大阪新聞の外岡山の新聞も相當侵入しつつある模様である。

### 徳島縣

▼人口………七六、五四  
▼世帯數………一四、五四  
大阪新聞の侵入烈しく地元紙の大をなす事困難であるが、新聞の数が少ない爲め、人口九萬の徳島市を根拠とする徳島日日、徳島毎日の二紙は相當堅固な地盤を有し、全縣的に讀まれてゐる。右の地元紙の販賣部數、及び移入紙の部數につき某官憲方面の推定を參考までに示せば次の如くである。

平盤一。(活字)舊、十段。一ヶ月五十錢。(廣告料)二十錢。

**紀南新聞** 日高郡御坊町。創刊明治三十五年五月三十日。個人經營。四萬圓。朝刊四頁。(版數)一。(部數)昭和六年九月現在四千五百部。(社主)堅田三千穂。(社長)同。(主幹)雜賀勢次郎。(主筆)吉田完一郎。(營業)津野仲輔。(社員)十九名。(工場員)十一名。(機械)平盤十六頁一。(活字)舊、十二字、八十行、十一段。一ヶ月五十五錢。(廣告料)二十五錢。

**日高新報** 御坊町蘭二七一。創刊昭和三年。個人經營。六千圓。朝刊四頁。(社長)井上豊太郎。(主筆)茶山太一郎。(編輯)崎山宗界。(營業)大炭菊次郎。(機械)平盤一。(活字)七半、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)三十五錢。

**又新日刊** 高野口町。(電)十六、十九。創刊大正十二年五月五日。個人經營。二萬圓。政友會。夕刊四頁。(部數)七年十二月末日現在五千六百部の見込。(社主)南方仙羊。(社長)同。(副社

長)森田秀雄。(主幹)山本福太郎。(主筆)北村恒春。(編輯)坪井徳一。(營業)井浦定一。(大阪支局)小南友一。(社員)十一名。(工場員)七名。(機械)平盤二。(活字)舊、十一字、七十五行、十二段。一ヶ月五十五錢。(廣告料)普通二錢、場所指定倍額、特別面倍額。

**紀北日日新報** 粉河町。(電)一一五。創刊大正六年六月九日。個人經營。五萬圓。夕刊四頁。(社主)山田旭。(社長)同。(副社長)山田稔。(主幹)吉原曉村。(主筆)田中吞舟。(編輯)同。(社員)七名。(工場員)九名。(機械)十六頁平盤二、八頁二。ステロあり。(活字)九半、十三字、百行、十二段。一ヶ月五十五錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定二圓。

**日刊南海時報** 南海時報社發行。箕島町。(電)一三七。創刊大正十二年三月十一日。個人經營。二萬圓。夕刊四頁。(版數)一。(部數)七年九月十五日現在二千一百三十部。(社主)官本久満男。(社長)同。(專務)馬々田寅之助。(常務)江川清一。(支配

人)溝端幸。(主幹)宮本久満男。(主筆)生駒鹿造。(營業)岡田儀一。(社員)九名。(工場員)十三名。(機械)平盤ロール菊四、菊八、四六十六頁各一。(活字)舊、十二字、九六行、十一段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通十錢、特別面十五錢。(兼營)活版印刷一切、其他附帶事業一切。

七年は十周年紀念として讀者廣告主優待觀劇會、新録活字、大園遊會、附近町村記念賣出し、善行者表彰等をなす。

**二日新報** 串本町。(電)一〇五。創刊昭和二年一月一日。匿名組合。一萬圓。夕刊四頁。(版數)二。(社主)大西英隆。(社長)同。(編輯)神田肅。(社會)前田喜太郎。(政治)稻葉廣。(營業)大平紀輝。(社員)八名。(工場員)十三名。(機械)平盤ロール三。一ヶ月五十錢。

**黒洋新聞** 串本町九六三。創刊昭和二年。個人經營。夕刊二頁。(社長)小西順吉。(主筆)中地貞。(機械)平盤一。(活字)舊、十三段。一ヶ月五十錢。

地元紙の販賣部数

徳島毎日新聞 二二、〇〇〇  
 徳島日日新聞 二一、〇〇〇  
 徳島時報 五〇〇  
 移入主要新聞  
 大阪朝日新聞 七、七〇〇  
 大阪毎日新聞 七、八〇〇  
 大阪時事新報 一、二〇〇  
 神戸米肥日報 六〇  
 人類愛善新聞 五五  
 萬朝報 五〇  
 東京朝日新聞 二〇  
**徳島毎日新聞** 徳島市寺島町九十三番屋敷。(電)五、五〇、一、二三五、一八九二。創刊明治三十一年六月十五日。株式。七萬圓。朝刊十頁。(版数)一。(地方版)香川版一頁。(部数)六年九月十日現在四萬七千五百餘部。(社長)多田爲太郎。(主幹)井上一。(主筆)同。(編局)同。(政治)炭谷松三。(整理)小西英夫。(社會)坂本宗一郎。(寫眞)仁木萬之助。(庶務、會計)三浦善助。(廣告)土橋二郎。(販賣)秋田文吉。(東京、大阪支局)梅本締吉。(社員)一百三十七名。(工場員)五十五名。(機械)高連

徳島日日新聞

徳島日日新聞

徳島市富田浦町。(電)二四、九三三、一二三三、一七二五。創刊明治九年四月。株式。十五萬圓。朝刊六頁、夕刊四頁。(版数)二。(社長)松島圓。(副社長)市原理之。(専務)森依信。(常務)高橋盛二。(主幹)市原理二。(編局)同。編輯)高木正一。(營業)高橋盛二。

徳島時報

徳島市八百屋町南側四八。書刊四頁。(社長)弘田修作。(主筆)弘田作治。

徳島新聞

(休刊中)徳島市大道一丁目。創刊昭和五年二月三日。個人經營。三萬圓。朝刊四頁。(版数)二版。(部数)昭和六年六月現在八、〇〇〇部。(社主)湊次郎。(社長)同。(東京支局)芦野保三。(大阪支局)大林茂雄。(機械)全列輪轉機一。(活名)七半、十四字、十三段。

香川縣

人口………七三、八二六  
 世帯數………一、〇一、五三  
 此處も大阪新聞の侵入急であるが、殊に七年二月上海事變に善通寺第(〇〇)團が出動したのを機に大朝、大毎が大擴張を行つたので地元新聞は愈々やり悪くなつた。それに對岸岡山からは中國民報が最近新聞輸送船まで設備して入つて来る。即ち午後十一時切の朝刊が午前三時に高松市に到着する。併し新聞の数が少ない爲め人口八萬の高松市を根據として四國民報、香川新聞の二紙が全縣的に勢力を維持してゐる。尙此縣の各紙販賣部数につき某官憲方面の推定は下の如くである。元より数字はそのまゝ信ずべきではないが参考までに掲げる。

地 元 紙  
 香川新聞 五、一三〇  
 四國民報 五、〇一三  
 移 入 紙  
 大阪朝日 一四、八二四  
 大阪毎日 一三、九八八

大阪時事

讀賣新聞 三、四六四  
 時事新報 一五〇  
 報知新聞 五〇  
 中國民報 四、五一六  
 山陽新報 八一六  
 徳島毎日 六五〇  
 海南新聞 五八一

四國民報

高松市西内町。(電)二一、八五一。創刊明治三十五年十一月三日。個人經營。八萬圓。朝刊四頁、夕刊四頁。(地方版)愛媛徳島、臺灣。(社長)瀬尾等。(主幹)東山半之助。(編局)安徳作太郎。(總務局長兼編輯)石川要。(社會)圓山屯。(速記)笠井政一。(通信)池添辰次郎。(政治)村尾鶴吉。(學藝)景山文藏。(醫局)水野正義。(廣告)加島彌太郎。(會計)水野正義。(販賣)宮本秀天。(用度)蓮井新太郎。(東京支局)松本七五郎。(大阪支局)木谷要吉。(社員)三十七名。(工場員)五十一名。(機械)マリノニ全紙型輪轉色刷機一、十六、ベイチ平盤一、八ベイチ機二。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備完備。(活字)七、七五

香川新報

高松市濱ノ一ノ十五字、百三十七行、十二段、一ヶ月七十五錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定倍額。  
 従來八萬圓の株式組織であつたが七年九月個人組織に改め、政友會機關の看板を撤回し、社長今井浩三、常務藤田金三郎君辭任、元社長の瀬尾等君が社長となり東山營業局長を主幹として全權を委任した。

愛媛縣

前編輯長佐々木章君上海事變に出征し、元四國民報主筆和田藤君編輯長として入社し、後佐々木凱旋し三四の同志と共に連袂退社す。

愛媛縣は人口四國第一で教育普及し富力もあり、可也に活氣を呈してゐる。併し大阪紙の侵入急な上に政争烈しく、爲めに新聞勢力が幾つにも分裂され、四國には珍らしく新聞の数が多し地元紙の中最も有力とせられるのは人口八萬二千の松山市を根據とする海南新聞、愛媛新報の二紙で、伊豫新報これにつぐ。尙又人口四萬四千の宇和島市を根據とする南豫時事新聞も近時潑刺たる勢ひを示してゐる。

海南新聞 松山市南堀端町十七。(電)八七一、一六八、一八二、一三九五。創刊明治九年九月。株式。十四萬圓。朝刊四頁、夕刊四頁。(版数)五。(地方版)南豫、東豫、香川版。(副社長)香

川和男。(常務)玉井喜久馬。(支配人)進藤喜四郎。(主筆取締役)水口正一。(編局)同。(政治)吉田音五郎。(社會)達川久吉。(經濟)佐治文吾。(地方)佐伯浩輝。(校正)桑原一郎。(寫眞)藤澤治郎。(醫局)進藤喜四郎。(廣告)大倉由高。(販賣)金川繁。(會計)田邊治壽。(事業)宮内嘉綱。(東京支局)今井喜藏。(大阪支局主任)永井米逸。(機械)折疊式輪轉機二、外國製平盤一、鉛版編込機二、活字鑄造機一、寫眞製版機一、凸版製版機一。(活字)七半、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月七十二錢。(廣告料)普通八十錢。特別面一圓六十錢。  
 六年十月前社長香川熊太郎君松山市長に選舉さる。  
 七年一月三十日より二月三日に亘り松山今治兩市に於て滿蒙事變展覽會を開き收益金全部を飛行機愛媛號製作醜金に献金せり。  
 同二月四日愛媛縣の招聘に依り來松したる新渡戸稻造氏の時局に關する不謹慎なる放言に對

し連日糾弾し全在郷軍人會の  
 駭起となり帝國在郷軍人評議會  
 の公開席上に於て新渡戸氏の陳  
 謝によりて解決せり。

同二月九日松山歩兵第二十二  
 聯隊將兵慰安のため米國ローラ  
 ー會社製七球ラヂオ機同贈取料  
 永久無料權と共に寄贈せり。

同三月十日松山市に於て新滿  
 洲國建國記念と陸軍記念日祝賀  
 のため時局大展覽會を開催せり

**愛媛新報** 松山市一番町。  
 (電)五三、四七六。創刊明治二  
 十年十月七日。株式。十五萬圓。  
 民政黨。朝刊四頁、夕刊四頁。  
 (版數)二。(地方版)地方、中央。  
 (部數)七年十一月現在一萬五千  
 部。(社長)安藤音三郎。(支配  
 人)野島勝之丞。(主筆兼編局)  
 大野彌兵衛。(政治)高橋貞義。  
 (經濟)大野彌兵衛。(社會)西村  
 章。(督局)野島勝之丞。(廣告)  
 同。(販賣)高橋憲一。(經理)近  
 藤荒太郎。(東京支局)佐野親弘。  
 (大阪支局)西谷清雄。(社員)六  
 十四名。(工場員)三十二名。(機  
 械)折疊式輪轉機一、舊式同一。機  
 活字鑄造機、ステロ、寫眞版設

備あり。(活字)七ボ、十五字、  
 百五十五行、十三段。一ヶ月七  
 十錢。(廣告料)普通八十錢。揚  
 所指定一圓六十錢、特別面一圓  
 六十錢。  
 六年十二月十三日改組とす。  
 事業部を設け、講堂に於て講  
 演會音楽會等を催す。

**伊豫新報** 松山市大手町一  
 丁目。(電)九〇三、五二二、七八  
 二。創刊大正十四年二月八日。  
 株式。六萬圓。政友會。夕刊四  
 頁。(版數)二。(附錄)月一回。  
 (社長)大本貞太郎。(專務)三好  
 庄太郎。(支配人)安井隆。(主  
 筆)西山鐵三郎。(編輯)同。(營  
 業)安井隆。(東京支局)馬場幸  
 治郎。(大阪支局)永田格太郎。  
 (社員)六十四名。(工場員)三十  
 二名。(機械)輪轉機二。電氣銅  
 版、凸版設備あり。(活字)七半、  
 十四字、十三段。一ヶ月四十八  
 錢。(廣告料)普通八十錢、場所  
 指定倍額、特別面一圓六十錢。  
**愛媛朝報** 松山市南端町。創  
 刊大正十五年。個人經營。二萬  
 圓。朝刊小型四頁。(社長)栗本  
 諒二。(主筆)栗本昭。(編輯)栗

本報。(營業)岩川傳。(廣告)辻  
 一夫。(機械)平盤二。(活字)八  
 半、八段。一ヶ月三十五錢。廣  
 告料八十錢。

**南豫時事新聞** 宇和島市  
 丸ノ内一。(電)四四、一〇六、一  
 六四、六〇八。創刊明治三十五  
 年三月五日。個人經營。十萬圓。  
 朝刊四頁。(版數)二。(附錄)日  
 曜附錄。(部數)昭和六年九月一  
 日現在九、五〇六部。(社主)山村  
 豊次郎。(代表社員專務、主筆)井  
 上雄馬。(常務)久留島豊。(編  
 部)小泉源吉。(督部)黒岩徳。(東  
 京支局)祖上祐三。(大阪支局)坂  
 井豊之。(社員)二五名。(工場  
 員)二二名。(機械)輪轉機一、平  
 盤二。ステロ、寫眞版設備あり。  
 (活字)七半、十四字、百四十四  
 行十三段。一ヶ月六十錢。(廣告  
 料)普通八十錢、場所指定一圓六  
 十錢、特別面一圓六十錢。  
 六年六月創刊三十周年を迎ふ  
**愛媛日日新聞** 今治市大字藏  
 敷五六番地ノ一。創刊昭和三  
 年五月二十二日。個人經營。四  
 千五百圓。夕刊小型二頁又は四  
 頁。(社長)赤尾宜政。(主筆)同。

印刷輪轉機一、同普通輪轉機一。  
 自動萬年活字鑄造機一、整版機  
 一、コッピ二臺等完備。寫眞  
 製版機、吉松式腐蝕機、凸版製  
 版設備あり。(活字)七ボ、十五  
 字、百五十五行、十三段。一ヶ  
 月七十錢。(廣告料)普通六十錢。  
 場所指定九十錢、特別面九十錢。  
 七年二月竹崎記者を上海に特  
 派す。

**土陽新聞** 高知市本町三一  
 五。(電)一三七五、一三七六、一  
 三七七、一三七八。創刊明治十  
 年。株式。八萬圓。政友系。朝  
 刊四頁、夕刊四頁。(社長)橋田  
 早苗。(取締役)野中楠吉、吉村  
 近次。(常務)高橋直通、中川恒  
 之。(主筆)千頭亨。(編局)中川  
 恒之。(編輯)和田知求。(政治經  
 濟)淺井茂猪。(地方)山崎在。(營  
 局)高橋直通。(廣告)同。(販賣)  
 小笠原高義。(會計)野村寅太郎。  
 (東京支局)栗尾結城。(大阪支  
 局)井上環。(社員)六十名。(工  
 場員)五十一名。(機械)石川式折  
 式色刷一、石川式普通機一、内  
 國製平盤二。活字鑄造機、ステ  
 ロ、寫眞版完備。(活字)七半、十

(編輯)牧野猛。(營業)土屋英一。  
 (機械)平盤八頁一、四頁一。(活  
 字)八半、十四字、五十行、八段。  
 一ヶ月三十錢。(廣告料)二圓。  
**今治時報** 今治市榮町六三〇。  
 創刊大正十四年三月五日。個人  
 經營。夕刊小型二頁。(社長)竹  
 內博三郎。(主筆)同。(營業)寄  
 能勝一。(機械)平盤一。(活字)  
 七、七五、八段。一ヶ月三十錢。  
 (廣告料)一圓。

**伊豫毎夕新聞** 今治市二番町  
 一六九。創刊昭和四年八月十三  
 日。個人經營。夕刊小型二頁。  
 (社長)村上忠臣。(機械)平盤一。  
 (活字)舊、八段。一ヶ月三十錢。  
 (廣告料)六十錢。

**八幡濱毎夕新聞** 八幡濱町。  
 創刊大正十五年二月一日。個人  
 經營。一萬圓。政友會。夕刊小  
 型四頁。(版數)一。(部數)六年  
 八月末日現在一千五百部。(社  
 主)川尻茂平。(社長)同。(支配  
 人)二宮恒一。(督部)瀧野新吉。  
 (社員)十名。(工場員)十二名。  
 (機械)平盤八頁一。(活字)七、七  
 五、十五字、五十行、八段。一ヶ月  
 五十錢。(廣告料)普通三十錢。

鳥取、鳥根、岡山、廣島、山口  
 の中國五縣は關西地方につぐ大阪  
 新聞の根據地で、到る處に大阪新  
 聞が侵入してゐる。併し廣島、岡  
 山等は大縣であり、又廣島、吳、  
 岡山、下關等の大都市が點在する  
 ので、各地に相當の新聞が發達し  
 た。中であつて最も有力とせられ  
 るのは岡山市の中國民報、山陽新  
 報、廣島市の中國新聞、藝備日日  
 新聞等で、下關市の關門日日新聞  
 松江市の松陽新報等これにつぐ。  
 而して廣島、岡山等の新聞は他縣  
 にまで進出し紙面の體裁規模等に  
 於て地方紙中の一流に伍するもの  
 である。

### (九) 中國

五字、百四十五行、十二段。一ヶ  
 月六十五錢。(廣告料)普通六十  
 錢、場所指定九十錢、特別面九  
 十錢。

### 鳥取縣

人口………四八、三六六  
 世帯數………九、七二九

場所指定五十錢、特別面七十錢。  
 (兼營)三瓶新聞、西郡農報兼營、  
 新聞雜誌專門印刷。

**八幡濱日日新聞** 八幡濱町。  
 (電)五二四。創刊昭和五年八月  
 一日。個人。貳千五百圓。民政  
 系。夕刊小型四頁。(版數)一。  
 (部數)七年九月十二日現在五〇  
 〇。(社主)坂本高積。(社長)同。  
 (主幹)宮川寒六。(主筆)同。(營  
 業)山本重國。(社員)四名。(工  
 場員)七名。(機械)菊版八頁一。  
 (活字)七、七五、十五字、五十行、  
 八段。一ヶ月五十錢。(廣告料)  
 普通六十錢、場所指定倍額。

**民友新聞** 民友社發行。西條  
 町四軒町五百。創刊昭和三年十  
 月一日。個人經營。一萬圓。夕  
 刊小型二頁。(社長)森本茂馬。  
 (主筆)同。(編輯)多田克道。(營  
 業)内田薫。(機械)電動力使用  
 平盤二。(活字)舊、十一字、四十  
 二行、八段。一ヶ月三十錢。(廣  
 告料)一圓。

### 高知縣

人口………七八、一五三  
 世帯數………一五、三九七

### 高知新聞

大阪紙の脅威を受けること比較  
 的に少なく且つ人口九萬七千の  
 高知市を中心として高知新聞、  
 土陽新聞のたゞ二つしかない爲  
 め、永らく經營は比較的樂とせ  
 られてゐたが、偶々土陽新聞の  
 蹶跌があつて、同紙は高知新聞  
 の經營に移つたので、今や新聞  
 は二つであるが、全縣下は高知  
 新聞によつて統一せられ四國唯  
 一の新聞樂土の觀がある。

### 高知新聞

人口………四八、三六六  
 世帯數………九、七二九

全国での最小縣である上に新聞中心地が鳥取(人口三萬七千)、米子(人口三萬三千)の二市に分れてゐる爲め、地元新聞は不振を免れない。それに大阪紙が其日の未明に着く有様である。大朝、大毎の二紙は勢力殆んど伯仲の間にあり、絶えず猛競争を續け、更に岡山から中國民報が侵入し、地元紙の脅威である。次に地元新聞及び移入紙の販賣部数につき、某官憲方面の推定する處を参考までに示せば次の如くである。

地元紙

因伯時報 六、〇〇〇  
鳥取新報 五、三〇〇  
山陰日日新聞 三、五〇〇  
移入紙

大阪朝日 一〇、〇〇〇  
大阪毎日 一〇、〇〇〇  
大阪時事 五〇〇  
中國民報 三、〇〇〇  
松陽新報 四四〇  
山陽新報 三〇〇  
因伯時報 鳥取市西町三一  
九。(電)一三六、八一六。創刊明治二十五年二月六日。株式。十

鳥取新報

鳥取市鍛冶町一段となる。  
三。(電)一四、七四二。創刊明治十六年六月。株式。十萬圓。民政系。朝刊四頁。(社長)下田勘次。(支配人)眞島信茂。(主筆兼編輯)萩原直正。(編輯顧問)佐藤忠。(通信)福井誠正。(政治)三枝信二。(社會)大倉恒敏。(廣告)松浦喜美松。(庶務)小倉光次。(販賣)竹田梅藏。(寫眞)高橋晋二。(機械)津田式輪轉機

山陰日日新聞

米子市。(電)二二五、五四〇。創刊明治四十年十一月三日。株式。二十五萬圓。朝刊六頁。(社長)三好榮次郎。(副社長)門脇孝一。(支配人、主幹)織田收。(編輯)同。(政治)高本毅。(通信)古藤政一。(整理)桂木敏夫。(社會)松本静夫。(營業)支配人(工場)宅和勇吉。(會計)吉岡善野。(販賣)田上高次。(廣告)河津好憲。(營業)湖幸次郎。(東京支局)四日市長。(大阪支局)谷良男。(機械)輪轉機一、平盤二。ステロ、寫眞版設備あり。(活字)九ボ、十四字、百二十八行、十二段。一ヶ月七十錢。(廣告料)普通一圓。場所指定一圓五十錢。

松陽新報

松江市殿町。(電)三三、七八一、三六九、四七二。創刊明治三十四年十一月。個人經營。三十五萬圓。朝刊四頁、夕刊四頁。(社主)岡崎國臣。(副社長、營業、事業)勝部本右衛門。(主筆)松井廣吉。(編輯)同。(社會)米村敏。(通信)錦織謙。(營業)長兼經理)曾田吉右衛門。(機械)TKS式輪轉機二、内國製レリテストニユース色刷輪轉一、平盤四。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七・七五、十五字、百四十行、十二段。一ヶ月八十五錢。(廣告料)普通七十

島根縣

山陰毎夕新聞 (中國民報の經營)米子市。夕刊四頁。十三段。

山陰新聞

松江市白湯本町五八。(電)一六三、一三七。創刊明治十五年五月。株式。十萬圓。朝刊四頁。(附録)日曜附録二頁。(常務)水津直太郎。(主筆)岸田蒔夫。(編輯)同。(營業)森脇善之助。(機械)マリノニ式輪轉機一、平盤三、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七・七五、十五字、百四十行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通六十錢、特別面一圓五十錢。

七年五月一日より二ヶ月間創立五十年記念として讀者福引を催す。

同五月二十一日より創刊五十年記念としてKNO式テレヴィジョンの實驗公開講演會を開く。同八月岸田主筆辭任し、野津無字氏之に代る。

山陰朝日新聞 益田町。朝刊四頁。(社長)瀨藤勇市。

岡山縣

人口……一、三三、九六三  
世帯數……二、七四、九二五  
此處も大阪紙の侵入猛烈だが、

中國民報

岡山市東中山下四〇。(電)代表三三〇〇。創刊明治廿五年七月。株式。三十萬圓。朝刊八頁、夕刊四頁。(版數)四。(附録)美州新報、山陰毎夕新聞、大廣島。(地方版)岡山、郡部、藝備、四國、兵庫、綜合版。(部數)七年十月一日現在十萬七千四百二十部。(社長)柿原政一郎。(常務)浜増庸一。(常務理事)大森豊吉、宮岸如空、押村獎。(編輯)郡山辰巳。(編輯主事)大島秀雄、佐藤幸一、鶴岡榮治郎。(論說)金木博治。(地方)西村繁次郎。(政治)福田陽一。

(經濟)片山次郎。(社會)山本樵。(校正)駒井武夫。(學藝)郡山辰巳。(通信)田邊哲郎。(寫部)片山純一。(營業)山下梅太。(工務局)那須澤吉。(廣告)櫻間賢治。(販賣)高祖岩二。(經濟)虫明重夫。(印刷)國府武志。(サービス)渡邊靜雄。(事業)星島季四郎。(東京支社)田中常人。(大阪支社)岡林光海。(社員)三百二十一名。(工場員)百四十四名。普通印刷部四十六名。(機械)高速度輪轉機一、輪轉機折式二、輪轉機マリノニ式二。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七ボ、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月八十錢。(廣告料)普通一圓。場所指定十錢、特別面二圓。赤刷三圓。

昭和七年三月下旬東京三越にて中國四國十縣特産品陳列會並に名勝展覽會を開く、昭和八年三月に第二回を開催の豫定。  
七年一月宮岸、大森、押村の三君常務理事となる。  
同三月岡山姫路兩縣隊區出身の戦死者遺族に對し五十圓づゝ五百五十圓を贈つた。

山陽新報

岡山市西中山下一五四。(電)二、三〇三、九二〇、一二九三、一八四二。創刊明治十二年一月。匿名組合。五萬圓。朝刊八頁、夕刊四頁。(地方版)縣下、四國、藝備、山陰。(社主)高橋浦助。(專務)高見章夫。(編輯)杉山榮。(副編輯)谷龍太郎。(中央通信係)井下與三郎。(經濟係)池田元藏。(寫眞係)金友藏太郎。(社會係)京野助太郎。(地方通信係)周藤二郎。(校正)正本新。(營業)高原榮藏。(廣告係)松田卓。(印刷係)内田

同年四月十日年中行事の商工祭を行った。  
同五月新聞輸送船を建造し四國方面の記事締切を午後十一時迄延長し、又朝刊は岡山を零時發三時高松着、各地へ輸送早朝配達する事となる。  
同五月東京機械に十二萬機を注文す。  
同六月米子市より姉妹紙山陰毎夕新聞(夕刊十三段四頁)を發行す。

八年三月岡山城にて四十周年記念博覽會開設の計畫あり。

鶴松。(會計係)平井信次。(販賣係)平井鑄久治。(庶務用度係)澁江龜人。(東京支局)神原啓一。(大阪支局)永嶺信恒。(機械)高速度輪轉機一、最新折疊式輪轉機三。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七ボ、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月八十錢。(廣告料)普通一圓、特別面二圓。(兼營)活版、印刷、石版等(地圖郷土誌等發行)(特設)切符印刷工場を有し全國的に鐵道、自動車等の切符製作。縣下及隣縣に亘り滿蒙事情講演及映畫會、ポスター展、スポーツ博覽會等を主催す。

■六年十月四日新活字を以つて十三段となる。

■六年暮東京機械製作の折疊式輪轉機成る。

### 岡山新聞

岡山市柿屋町。創刊大正五年十二月。株式。五萬圓。夕刊四頁。(社長)赤澤寛一。(事務)岡本信一。(編輯)丸尾博。(營業)神林團二。(廣告)阿部甚市。(機械)内國製マ式輪轉一、平盤二。活字鑄造機、テロあり。(活字)七・七五、十五

字、百四十行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)一圓。

### 岡山日日新聞

岡山市内山下。(電)二、二八七、三二一。創刊大正十二年一月十二日。株式。三萬圓。夕刊四頁。(部數)七年九月十八日現在八、七〇〇。(社長)西崎佐吉。(事務)荻野悅男。(支配人)井上伯一。(主筆)西崎一流。(編輯)同。(政治)安藤謙一。(經濟)坪田勇。(社會)今井兼定。(市政主任)金元熊男。(當局)井上伯一。(廣告)松本豊吉。(計畫)羽根岡仁平治。(販賣)根岸保祐。(庶務課長)高岡二男。(東京支局)馬場幸次郎。(大阪支局)木谷要一。(社員)二十七名。(工場員)二十三名。(機械)輪轉機一、平盤刷一。ステロ、寫真版設備あり。(活字)七・七五、百三十五行、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通七十五錢、場所指定一圓、特別面一圓。

### 津山朝日新聞

津山市田町三八。(電)四〇九。創刊明治四十四年九月一日。個人經營。五萬

圓。夕刊小型四頁。(版數)一。

(附錄)每週八頁講談附錄。(部數)七年九月一日現在五千六百部。(社主)福田卓也。(社長)同。(副社長)福田且次郎。(主幹)福田卓也。(編輯)飯田三富郎。(營業)三輪惠三郎。(社員)三十六名。(工場員)二十三名。(機械)平盤十六頁三、同八頁一、同四頁一。(活字)十二字、四十三行、八段。一ヶ月三十五錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定二十錢、特別面六十五錢。

### 津山毎日新聞

津山市西寺町一。(電)二五九。創刊大正十年五月二日。合資。五千圓。夕刊小型四頁。(社主)荒木龍治郎。(社長)同。(副社長)鹽山壽。(主幹)飯島三郎。(主筆)鹽山壽。(編輯)同。(營業)鹽山馬治郎。(社員)三十八名。(工場員)二十五名。一ヶ月三十五錢。(廣告料)五錢。

### 美作民報

津山市田町六八。小型四頁。(持主)坂本倫市。備讀民報 宇野町。(電)三三三。創刊昭和三年七月一日。個人所有。朝刊夕刊小型四頁。(社主)

## 廣島縣

▲人口……一、六五二、二八七  
▲世帯數……三〇、八九七

山田平次郎。(社長)同。(支配人)難波恒夫。(主幹)草薙進。(社員)十三名。(工場員)十五名。(機械)平盤三。一ヶ月三十錢。

中國時事新聞 玉島町柏島四七。小型四頁。(持主)小幡利一。

廣島縣は中國一の大縣である上に、人口二十七萬の廣島市、十九萬の吳市等を包含するので、二三の有力な地元新聞が発達した。即ち廣島市の中國新聞、藝備日日新聞、吳市の吳日日新聞等がそれだ。此頃の不況は此處でも深刻だが、尙よく鞏固な地盤を擁し藝備日日、中國新聞の如きは數種の地方版を發行して隣縣の一部に侵入してゐる。併し右三紙の外にはさまで有力なものはなく、大阪新聞の壓迫と有力地元新聞の脅威の下に伸びかねてゐる。尙大阪紙は七海販賣部長の就任以來大毎の進出物凄く、縣下では斷然大毎軍の優勢

が稱へられる。外に地方紙では中國民報が多少入つてゐる模様である。次に七年夏藝備日日と吳日日との合併問題が起つたが種々の故障の爲めに實現を見るに至らなかつた。尙廣島縣では大正八年以來廣告税が實施され年三千五百圓乃至四千圓の稅收入があつたが、大正十五年來惡税として撤廢運動が續けられ、昭和五年十一月十二日終に縣會で廢止と決定した。本縣發行の日報紙(七年九月二十日現在)二十種、有保證金月三回以上發行するのは三十七種に及ぶ。

### 中國新聞

廣島市上流川町。(電)三、五〇〇一、五〇〇三。創刊明治二十五年五月五日。合名。三十萬圓。朝刊八頁、夕刊四頁。(版數)五版。(地方版)吳、備後、防長、島根、市内版。(部數)六年一月一日現在十五萬部。(代表社員)山本三朗。(社長)同。(副社長)山本實一。(主筆)中町國吉。(編輯)同。(編輯兼政治)上野卓爾。(地方)藤井義三郎。(社會)調査)小迫周藏。(學藝)笠井明士。(經濟)後藤實。(當局)田中

秀二。(庶務兼會計)林保登。(營業)伊藤三郎。(廣告課)横田彌太郎。(販賣課)横山隆二。(東京支局)栗田元榮。(社員)約二百五十名。(工場員)約百八十名。(機械)中國式電光超高速度輪轉機二、東京機械製輪轉普通二、折式三、平盤五。萬年鑄造機四、萬能鑄造機一、カスチング二、寫真版設備あり。(活字)七ボ、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月八十錢。(廣告料)普通一圓、場所指定一圓三十錢、特別面二圓。(兼營)吳新聞(四頁)。

### 藝備日日新聞

早速社發行。廣島市大手町二丁目廿三。(電)八、九一八、三二九一。創刊明治九年二月。合資。廿萬圓。朝刊八頁、夕刊四頁。(版數)三。(地方版)吳、安藝、備後、市内、縣外。純販賣七年十月五日現在八萬二千。(理事長)手島喜久太。(主筆)關根重憲。(編輯)法安雅次。(政治)藤井俊。(社會)長井

誠之。(運動)勝矢誠三。(經濟)梶川關次郎。(學藝)歌島藤次郎。(校正)熊野音次郎。(當局)渡邊俊雄。(事業)大谷義夫。(廣告)佐々木治三。(販賣)藤井友次郎。(會計)阪本又一。(東京支局)香名秋次。(大阪支局)竹田津吾一。(社員)編四七名、警三九名。(地方出張)支、通九八名。(工場員)男九二名、女二八名。(機械)內國製藝備式輪轉機二、同平盤印刷機二。字母整備、萬年鑄造機二、普通鑄造機四、字母製版機一、寫真製版機一、凸版製版機二、コッピ一機四。(活字)七ボ、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月七十錢。(廣告料)普通一圓、特別面二圓。(兼營)吳日報。

### 廣島日日新聞

廣島市下柳町。(電)代表三六八八。創刊明治廿五年七月。個人經營。朝刊

四頁。(版數)二。(部數)七年現在一、〇〇〇。(社主)松岡松市。(社長)同。(支配人)高場音次。(主筆)津田廣次郎。(編輯)中谷春朗。(政治)榎谷好夫。(社會)外輪香一。(經濟)白木幸三。(營業)大下龍一。(東京支局)渡邊司郎。(大阪支局)山田良三。(社員)二十七名。(工場員)四十六名。(機械)十六、ベージュ三、臨時部八ページ一。ステロ、設備あり。(活字)七ボ、十五字、九十行、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通八十錢、場所指定倍額。(兼營)吳公論。

### 朝鮮平壤府に七年十月一日より支局を新設す。

廣島新聞 廣島市銀山町十一。創刊明治四十二年。個人經營。夕刊四頁。(版數)三。(附錄)株式版、織物版、土木建築版。(社主)山本米三。(社長)同。(主筆)渡邊俊雄。(編輯)清定梅二。(營業)大塚貞男。(廣告)西川照三。(機械)平盤十六頁一、同八頁二。(活字)七半、十五字、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)五十錢。

廣島日報 廣島市銀山町。(電)

三六八八。創刊大正九年十二月廿日。個人經營。朝刊四頁、夕刊二頁。(版數)二。(部數)七年九月十日現在六千枚。(社主)松岡松市。(社長)世良和一。(主幹)白木修三。(編輯)新谷好郎。(營業)世良和一。(東京支局)高島萬太郎。(機械)十六頁二、六頁四。(活字)七、十五字、百卅行、十三段。一ヶ月六十錢。

**廣島毎日新聞** (吳日日新聞の經營) 廣島市猿樂町八九。創刊大正七年十二月。個人經營。朝夕刊八頁。(主幹)渡邊敬直。(廣告)牧野仁三郎。(機械)吳日日新聞に同じ。(活字)七、十五字、百五十六行、十三段。一ヶ月六十五錢。(廣告料)普通九十錢。特別面一圓二十錢。

**昭和新報** 廣島市南竹屋町。創刊昭和五年九月十七日。(社長)伊藤松市。

**吳日日新聞** 吳市堺川通三ノ一。(電)三三九、一四九、八一七。創刊明治四十二年。株式。十二萬五千圓。朝刊四頁、夕刊四頁。(版數)二。(社長)吉田益三。(支配人)岸和田勝。(編局)西村正雄。(營局)出本伊之助。(廣告)中村忠孝。(販賣)鈴木龜一。(東京支局)塚脇十三。(大阪支局)永嶺信恒。(社員)百八十名。(工場員)六十五名。(機械)色刷輪轉機二、平盤二。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七、十五字、百五十六行、十三段。一ヶ月六十五錢。(廣告料)普通一圓、場所指定三十錢、特別面一圓二十錢。(兼營)廣島毎日新聞。

西村正雄。(營局)出本伊之助。(廣告)中村忠孝。(販賣)鈴木龜一。(東京支局)塚脇十三。(大阪支局)永嶺信恒。(社員)百八十名。(工場員)六十五名。(機械)色刷輪轉機二、平盤二。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七、十五字、百五十六行、十三段。一ヶ月六十五錢。(廣告料)普通一圓、場所指定三十錢、特別面一圓二十錢。(兼營)廣島毎日新聞。

二名。(機械)菊八平盤一、十六頁平盤一。ステロあり。(活字)七、十五字、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)三十錢。

**吳新聞** (中國新聞の經營) 吳市岩方通三丁目一八。(電)二一四、一五八〇。朝刊四頁。(社長)山本三朗。(編輯)次田正良。(營業)築藤一。(活字)七、十五字、十三段。一ヶ月八十錢(母紙共)。

**吳公論** (廣島日日新聞の經營) 吳市中通三丁目。創刊明治三十九年六月。個人經營。五萬圓。政友會。夕刊四頁。(社長)松岡松市。(機械)廣島日日新聞に同じ。(活字)七、十五字、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)九十錢。

**吳每夕新聞** 吳市岩方通三丁目。創刊昭和七年九月二十一日。(持主)原米一。(發行人)熊野音次郎。

**軍港日日新聞** 吳市岩方通三丁目一七。創刊昭和七年七月二十五日。(持主)中野米吉。(發行人)小澤大槌。

市堺川通六丁目九。(發行人)中野米吉。(持主)大橋武同。

**山陽日日新聞** 尾道市久保町六八一。(電)四一。創刊明治三十一年六月二十一日。個人經營。十萬圓。夕刊四頁。(部數)七年現在一萬二千部。(社主)秋田熊次郎。(社長)同。(副社長)秋田只夫。(主幹)同。(主筆)豊田哲二。(編輯)川上實。(營業)小川源吉。(廣告)秋田得男。(販賣)妹尾德造。(東京支局)日比野良三。(大阪支局)大村弘。(社員)五十四人。(機械)輪轉機一、平盤五。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七、十五字、百四十四行、十二段。一ヶ月六十錢。(兼營)印刷業。

■近く一萬號を迎ふ。

**備後時事** 備後時事新報社發行。尾道市十四日町。創刊明治三十八年八月。個人經營。一萬八千圓。夕刊四頁。(版數)二。(地方版)岡山、福山。(部數)七年現在四千三百部。(社主)岩本梅太郎。(主幹)岩本正。(主筆)小林清香。(編輯)山口芳美。(營業)貞政勘藏。(東京支局)赤松

彦太郎。(大阪支局)加藤安雄。(社員)二名。(工場)二名。(機械)平盤十六頁三。(活字)七、十六字、百六十五行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通三十錢。場所指定六錢。特別面十二錢。

**福山大日報** 福山市延廣町乙三五八。創刊大正四年十二月三十一日。個人經營。三萬圓。夕刊二頁。(社長)近藤復巳兒。(主筆)石岡操。(機械)平盤三。(活字)七、七五、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)五錢。

**廣島每朝新聞** 安佐郡原村東原六九四。創刊昭和七年六月九日。(發行人)若狭八重藏。

**廣島中國新聞** 安佐郡原村東原。(社長)大野眞佐見。

**廣島赤新聞** 庄原町一〇五三。創刊昭和七年七月二十八日。(發行人)原井壽。(持主)高須賀茂。

山口縣

山口縣は大阪新聞の外に福岡、廣島の新聞も入り、それに地元

新聞の數頗る多くして興亡常なく、概して不振を免かれないが、人口九萬八千の下關市から發行される關門日日新聞最も有力とされ、昭和四年十二月福岡日日の分身として發行された關門毎夕新聞これにつぐ。又縣廳所在地の山口市(人口三萬二千)には防長新聞あり、これ亦相當地盤を有してゐる。

**關門日日新聞** 下關市東南部町三三。(電)四六一、七九六、一七五六、二一四〇。創刊明治十三年一月七日。個人經營。朝刊八頁、夕刊四頁。(社主)末光鐵之助。(社長)同。(副社長)河村峰太郎。(主筆)加藤七五郎。(營業)河村峰太郎。(東京支局)河野馬喜佐。(大阪支局)安滿長三郎。(社員)百十名。(工場員)四十九名。(機械)輪轉機四、平盤二。鑄造機四、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七、十五字、百五十四行、十三段。一ヶ月八十五錢。(廣告料)普通八十錢、場所指定二割増、特別面一圓五十錢。

**關門每夕新聞** (福岡日日新聞の經營) 下關市西之端町二八。創刊明治二十三年。個人經營。夕刊四頁。(社長)河野二郎。(編輯)戸波敬太郎。(機械)津田式輪轉機一。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七、十五字、百三十九行、十二段。一ヶ月九十錢。(廣告料)七十錢。

日合賣紙)下關市西之端町。(電)二四七〇、七三七、一九八六。創刊昭和四年十二月十九日。個人經營。五萬圓。夕刊四頁。(版數)一。(部數)七年現在三萬一千。(社主)柳山次郎。(社長)同。(編局)同。(政治)西藤辰雄。(經濟)山本一樹。(營局)山本政則。(販賣)同。(廣告)吉富只助。(東京支局)三澤猛混。(大阪支局)坂口廣次郎。(社員)二十五名。(工場員)二十名。(機械)マリノニ一式輪轉機一、平盤一。寫眞版設備あり。(活字)七、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月三十錢。(廣告料)普通七十錢、特別面一圓。

**馬關毎日新聞** (九州日報の經營) 下關市西之端町二八。創刊明治二十三年。個人經營。夕刊四頁。(社長)河野二郎。(編輯)戸波敬太郎。(機械)津田式輪轉機一。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七、十五字、百三十九行、十二段。一ヶ月九十錢。(廣告料)七十錢。

**關門報知新聞** 下關市赤間町。(電)二一六五、一六七七。創刊大正五年二月十一日。合資。三萬圓。朝刊四頁。(版數)三。(部數)七年九月十五日現在一二、〇〇〇。(社主)川西定雄。(社長)同。(副社長)川西ツネ。(主筆)松江八郎。(編輯)同。(社會)原梅吉。(政治)二葉幸次郎。(經濟)山根昌式。(營業)川西ツネ。(廣告)池永敏夫。(販賣)初村一夫。(東京支局)和田理三郎。(社員)四十五名。(工場員)二十五名。(機械)平盤二。ステロ設備あり。(活字)七、十五字、百五十行、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定二割増。

■六年十二月十九日より十三段となる。

**關門毎日** 關門毎日新聞社發行。下關市西南部町本道。(電)二九九、一〇。個人經營。二萬圓。朝刊四頁。(附錄)第二版每週火曜(株式通報)。(部數)七年九月十五日現在二八〇〇。(社長)向野義男。(主筆)同。(編輯)鶴田千秋。(營業)野上一浪。(東京支局)活田兼市。(大阪支局)



内田鎮一。(社員)八名。(工場員)二十五名。(機械)普通印刷機五。寫真版設備あり。(活字)十五字、八十六行、十三段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定一圓、特別面一圓。

**自由日報** 下關市神宮司町。創刊昭和四年八月一日。個人經營。一萬圓。夕刊四頁。(社員)野口ユウ。(社長)同。(編輯)小谷友市。(機械)ロール平盤三。ステロ設備あり。(活字)七・七五、十五字、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)七十錢。

**新關門** 下關市園田町五四。創刊昭和三年。合資。五千圓。朝刊四頁。(社長)夏秋茂。(機械)平盤二。(活字)八・八、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)七十錢。

**日刊西日本** 日刊西日本新聞社發行。下關市東南部町一六三。創刊昭和二年十一月。個人經營。夕刊二頁。(版數)二。(部數)昭和六年九月十五日現在一萬五千部。(社長)小森園勇。(機械)十六頁平盤三、八頁同一。(活字)七・七五、十五字、八十八行、十二

段。一ヶ月三十錢。(廣告料)六十錢。

**商通時報** 商業通信社發行。下關市東南部町一五八。(電)一八八。一四六五。創刊昭和二年十二月。株式。二十萬圓。夕刊四頁なれども不定。(社員)服部順之助。(社長)山本啓式。(副社長)山元數潔。(事務)矢野正清。(主筆)山本啓式。(編輯)矢野正清。(社會)倉重千代之助。(經濟)矢野意樹。(警局)山元數照。(部長)山根勝美。(社員)十五名。(工場員)二十五名。(機械)菊版八頁二。

**防長新聞** 山口市大字後河原。(電)一〇一、四〇二。創刊明治十七年七月十五日。合資。三萬圓。夕刊四頁。(社員)吉富寅太。(社長)同。(顧問)弘中武一。(相談役)吉富靜三郎。(支配人)中村勉彌。(主幹)高山廉。(主筆)同。(編輯)定村杏三。(社會)同。(政治)吉田伴二。(警局)中村勉彌。(廣告)川本幸治。(販賣)津森平太郎。(會計)佐々木直一。(東京支局)北村智好。(大阪支局)清島三郎。(社員)二

十名。(工場員)二十二名。(機械)石川式輪轉機一、平盤十六頁掛二。寫真製版機一、鉛版鑄込機一、仕上機一。(活字)七・七五、十五字、百四十行、十二段。一ヶ月七十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定二割増、特別面一圓四十錢。(兼營)代理部經營。

**山口日報** 山口市荒高町。創刊昭和五年十一月。個人經營。一萬圓。夕刊小型四頁。(部數)六年九月十二日現在一千二百部。(社長)清水多一郎。(社長)同。(社員)七名。(工場員)七名。(機械)ロール平盤一。(活字)九・九、十二字、五十二行、九段。一ヶ月三十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定一圓二十錢、特別面一圓四十錢。

**宇部日報** 宇部市。(電)二九〇、九六八。創刊大正五年九月。個人經營。政友系。夕刊四頁。(部數)昭和七年九月一日現在三千五百枚。(社長)森隆孝。(社長)同。(主筆)同。(警局)同。(東京支局)水谷新次郎。(大阪支局)平井亮三。(社員)十五名。(工場員)十五名。機械十六頁。平盤

二。ステロあり。(活字)八・八、十三字、十三段。一ヶ月六十錢。(廣告料)五十錢。(兼營)代理部設置。  
 七年三月二十日宇部日日新聞より防長民友新聞となり、更に同年八月二十五日に宇部日報と改題す。

**宇部時報** 宇部市常盤通一丁目。創刊明治四十五年七月十五日。個人經營。一萬圓。夕刊四頁。(編輯)杉谷敏一。(機械)十六頁一。(活字)八・五、十二字、七十七行、十三段。一ヶ月六十五錢。(廣告料)二十錢。

**防長新報** 宇部市大字沖宇部五五一。創刊昭和七年六月十日。個人經營。四頁。(部數)昭和七年八月末日現在三千部。(社長)吉村幸作。(社長)同。(編輯)田中尚敏。(營業)藤村一美。(活字)十五字、八十八行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定一圓、特別面一圓五十錢。  
 發行日尚ほ淺く八年春より機械据付け印刷工場を設くべく準備中。

長周日日新聞

萩市土原。創刊大正十五年十一月二十六日。個人經營。二萬圓。朝刊四頁。(社長)横山直造。(社長)同。(機械)平盤二。(活字)八・八、十四字、九十五行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)六十錢。(兼營)雜印刷。

長州新聞

萩市唐樋町。創刊明治四十四年。朝刊小型四頁。株式。二萬圓。(社長)鈴木美徳。(主幹)上野竹造。(機械)平盤二。(活字)舊。八段。一ヶ月五十錢。(廣告料)五十錢。

防長日報

萩市川島三二六。創刊昭和四年。個人經營。夕刊四頁。(社長)長野一馬。

日本太郎

萩市江向。(電)二八二。創刊大正七年一月一日。個人經營。一萬圓。小型四頁。(社長)栗屋芳亮。(社員)四名。(工場員)四名。(機械)寸延六頁一。(活字)十二字、四十三行、八段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定一圓。

關門毎日新聞

防府町。(電)四八一。創刊昭和七年一月一日。個人經營。一萬五千圓。朝刊四

頁。(部數)七年九月十日現在二〇〇〇。(社員)今津隆士。(社長)同。(副社長)安井トモ。(支配人)安井清悟。(主筆)萩崎備千。(社員)十二名。(工場員)三十名。(機械)輪轉機一、動力モーター機一。(活字)十五字、八十四行、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通三圓、場所指定十圓、特別面二十圓。

**佐波民報** 防府町。創刊昭和五年七月十五日。個人經營。政友。夕刊二頁。(部數)六年九月十日現在千五百部。(社長)素村福太郎。(社長)山根梅市。(社員)七名。(工場員)七名。(機械)十六頁平盤一。ステロ設備あり。(活字)九・九、十三字、七十四行、十二段。一ヶ月四十錢。(廣告料)普通六十錢、特別面一圓二十錢。

**防府公新聞** 佐波郡防府町三田尻四六九。創刊大正十五年五月一日。朝刊四頁。(社長)西村常三。(機械)十六頁外三。(活字)七・七五、十五字、八十行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)六十錢。

**徳山日日新聞** 徳山町。創刊

大正十一年二月。個人經營。五萬圓。朝刊四頁。(版數)三版。(地方版)柳井版、防府版、熊毛版。(部數)昭和六年九月十日現在一萬五千部。(社長)山本喜裕。(編輯)堀尾武夫。(社員)十八名。(工場員)十五名。(機械)平盤四。字母、ステロあり。(活字)八・八、十二字、八十五行、十二段。一ヶ月四十錢。(兼營)代理部。

**岩國毎日** 岩國町。(電)一六五。創刊大正十二年八月三日。個人經營。一萬圓。小型二頁。(部數)七年現在二、五〇〇。(社長)吉田喜平。(社長)同。(工場員)十名。(機械)平盤二。(活字)八・八、十三字、四十行、六段。一ヶ月三十五錢。(廣告料)普通三十錢、特別面二圓。(兼營)大阪毎日新聞岩國通信所、關門日日新聞岩國支局。

**防長毎日新聞** 厚狹町三三。創刊昭和元年。個人經營。一萬圓。朝刊四頁。(社長)道城讓。(機械)平盤二。(活字)七・七五、十二段。一ヶ月六十五錢。(廣告料)六十錢。

大阪新聞の勢力は、九州に於ても到底無視する事を許さず、その偉大なる壓力は、各地に於て地元紙の脅威となつてゐる。即ち、大

毒鼓

柳井町。(電)三五五。創刊大正十年二月十一日。個人經營。三千圓。政友系。小型四頁。(地方版)朝鮮、大島。(部數)七年九月一日現在五千。(社長)上杉久吉。(社長)同。(事務)上杉憲治。(支配人)加屋宗一。(主筆)津田厚。(編輯)上杉玉舟。(營業)加屋宗一。(機械)八頁一。(活字)十二字、四十二行、八段。一ヶ月十五錢。(廣告料)普通一圓、場所指定三倍。

**關西時事新報** 長府町金谷八五。四頁。(持主)夏秋義。(編輯)太田秀生。  
**關西時事評論** 豊浦郡小月村一七一。四頁。(持主)夏秋義。(編輯)黒木修一。

九州

附 沖繩

大阪新聞の勢力は、九州に於ても到底無視する事を許さず、その偉大なる壓力は、各地に於て地元紙の脅威となつてゐる。即ち、大

毎、大朝とも、それ、その門司支局に於て、大毎は西部毎日、大朝は九州朝日を印刷し、九州全土に對して侵略の陣を布き、僅かに南端鹿兒島方面に於て、地理的關係から稍稀薄となつてゐるに過ぎない。

而して九州には、福岡市を第一として、熊本市、鹿兒島市、大分市、長崎市等の新聞中心地あり、稠密な人口と、盛んな産業と、至便な交通機關等の好條件の下に、有力な地元新聞が発達し、稀れに見る新聞國を現出してゐる。

それ等の地元新聞中にあつて、最も有力とせられるのは福岡市の福岡日日新聞で、縣内は勿論、長崎、佐賀より、扱ては熊本、宮崎、鹿兒島等にまで合資紙を持ち、山口縣に姉妹紙を經營し、沖繩、臺灣から、朝鮮方面にまで多くの部數を出してゐる。地方新聞としては、新愛知、北海タイムスと共に、第一流に位し、其光輝ある歴史的、背景に加へて、最近の活躍が目すべきものがある。福岡に於て福日に對抗するものに九州日報がある。前者の政友系なるに對してこ

れは民政系に屬し、佐賀、長崎から山口縣に侵入し、これも榮ある傳統の下に大新聞の貫録を見せてゐる。

第二中心地の熊本市には九州新聞、九州日日新聞の二有力紙あり全縣下から福岡、鹿兒島、宮崎の一部に侵入してゐる。更に第三中心地の鹿兒島市には鹿兒島新聞、鹿兒島朝日新聞の二紙、第四中心地の大分市と長崎市には前者に豊州新報、大分新聞、後者に長崎日日新聞あり、いづれも地方新聞中の録々である。

### 福岡縣

人口、口……二、五七、二九  
世帯數……四六、四七

福岡縣は兵庫縣及び愛知縣に匹敵する大縣で、人口の密度は東京、大阪、神奈川につぐ。福岡市の人口二十二萬八千、九州新聞王國の第一中心地として早くから異數の發達をなし、此處に福日、九日の二紙が成長した。此の兩紙は、名古屋に於ける新愛知と名古屋新聞の立場に酷似

し、お互ひに競争を續けながら、共同の敵として大阪紙に對抗せねばならぬ。福岡の二紙が非常に發達した爲め他の諸紙は殆んど伸びる餘地がなく、新聞の數は非常に多いが、門司市(人口十萬八千)の門司新報、小倉市(人口八萬八千)の小倉新報、東洋民報などの外特記する程のものはない。

### 福岡日日新聞

福岡市下營園九八四。(電)四〇〇一四  
〇〇八、及二〇二一。創刊明治十年十二月。合資。一百萬圓。朝刊十頁、夕刊四頁。(附録)關門毎夕新聞、長崎民友新聞、佐世保民友新聞、日州新聞、熊本日日新聞、佐野日報。(地方版)中國、北九州、筑豊、福岡市内、筑後、大分、熊本、鹿兒島、佐賀、長崎、滿鮮、近縣共通版。(副社長)永江眞郷。(編局)菊竹淳。(編局副局長)阿部暢太郎。(社會)中野景雄。(地方)田中一慶。(外交)池田貞記。(事業)齊田耕陽。(經濟、商況)大槻不二男。(學藝)黒田靜男。(調査)原義秀。(通信)新村吾一。(校正)竹林巖。

(家庭)加藤壽太郎。(營局、庶務)原田徳次郎。(販賣)上野秀雄。(廣告)吉武龜次郎。(會計)喜入達郎。(工場長)古原熊三郎。(東京常置員)光永眞三。(大阪常置員)能島進。(社員)二百名。(工場員)百八十名。(機械)高速度輪轉機獨逸製五、(内時速七萬刷三、八萬刷一、十三萬刷一)マリノニ式輪轉機四、萬能鑄造機十(内タイプライター會社製三、林榮社製七)、手廻し鑄造機五、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七ボ、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月八十五錢。(廣告料)普通一圓、場所指定二十錢増。特別面一圓八十錢。(特設)東京福岡間専用電話社内に設置、同上電送寫眞機同上、傳書鳩機械全部コンペリア。

滿洲事變の慰問金十萬二千四百一圓六十九錢となる。  
滿洲事變突發以來七年二月二十九日までに號外發行二百〇九回に及ぶ。  
七年春東京への寫眞電送に發信機を設備した爲め大朝大毎より滿鮮よりの寫眞を二時間内外

### 九州日報

福岡市天神町。(電)六二〇〇一六二〇四、及二七一一、四七八。創刊明治二十年八月十五日。株式。六十萬圓。國民同盟。朝刊十二頁、夕刊二頁。(代表取締役)河野二郎。(編輯)神保榮。(總務局長)中野泰介。(庶務)戸波敬太郎。(會計)德重得藏。(廣告)永津常泰。(販賣)廣瀬高嘉。(東京支社兼大阪支局)松島直養。(社員)一百名。(工場員)一百二十名。(機械)高速度輪轉機二、マリノニ式三。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七ボ、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月八十五錢。(廣告料)普通一圓、場所指定雜報二、五〇。商況一、八〇。特別面一、八〇。(發售)佐

### 門司新報

門司市西本町一丁目。(電)二九、一四五八、一四九。創刊明治二十五年四月。個人經營。政友派。朝刊八頁。社主)毛里保太郎。(社長)同。(編輯主事)田中又吉、吉田祝重。(營業主事兼會計)秋吉寅象。廣告)倉持絹介。(東京支局)船戶岩男。(大阪支局)竹中徳一。(社員)二十六名。(工場員)三十四

### 門司新報

門司市舊門司一丁目。寫眞版設備あり。(活字)七、七五、十五字、百三十五行、十二段。一ヶ月八十錢。(廣告料)普通八十錢、特別一圓五十錢、雜報一圓八十錢。  
門司市舊門司一丁目。三〇〇。(電)代表番號一二七五。創刊大正三年四月一日。個人組織。八萬圓。民政系。朝刊四頁。(附録)臨時附録。(地方版)福岡、下關、小倉、若松、八幡、中津市等並に田川、築上、京都各郡に於て本紙同様の各地版發行。部數)七年現在約二萬。(社主)梅月瀨太郎。(社長)同。(主筆)社長兼務、(編輯)大塚惟義。(婦人部)梅月貞。(營部)石田兵七郎。(會計)伊澤三郎。(庶務)永松滿壽恵。(廣告)木村勝。(東京支局)宮本甚之助。(大阪支局)前田武雄。(社員)二十五名。(工場員)三十名。(機械)平盤六。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七、七五、十五字、百二十行、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通八十錢。場所指定一圓八十錢、特別

### 小倉新報

小倉市堺町。創刊明治二十四年七月。個人經營。十萬圓。朝夕刊六頁。(版數)五。(地方版)佐賀、久留米、八幡、下關。(部數)七年現在八千五百。(社主)畑野源一郎。(社長)同。(副社長)稻富金次。(支配人)田中爲三郎。(主幹)秋武一二三。(編輯)山崎成人。(營業)福田龜雄。(東京支局)太田卯藤治。(大阪支局)坂口廣次郎。(社員)二十一名。(工場員)五十三名。(機械)輪轉機一、平盤十六頁三。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七ボ、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月七十五錢。  
七年中に更に活字鑄造機二臺購入の豫定。  
七年四月輪轉一臺を購入す。  
小倉市大阪町十丁目。創刊大正十三年四月八日。理事制。二十五萬圓。朝刊四頁。(代表)森松仁七郎。(主筆)木下衛。(編輯)白石學。(營業)有田謙藏。(廣告)川口明。(機械)輪轉機一、平盤二。(活字)七半、

### 東洋民報

十五字、十二段。一ヶ月六十錢。  
(廣告料)八十錢。

九州報知新聞 小倉市米町三丁目六二。創刊大正六年十月一日。個人經營。四萬圓。政友會。朝刊四頁。(社長)峯松數太郎。(社長)同。(主筆)川西弘太郎。(編輯)田中尙敏。(營業)山田喜次郎。(廣告)村上好臣。(機械)東京築地製平盤二。ステロ設備あり。(活字)七・七五、十五字、百三十六行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通七十錢、特別面一圓。

九州毎日新聞 八幡市通町六丁目。創刊大正八年八月二日。個人經營。三萬圓。政友派。朝刊四頁。(地方版)九州朝日新聞、九州民報、小倉毎日新聞、嘉穂毎日新聞、直方日日新聞、西海日日新聞。(社長)利岡香堂。(社長)同。(主筆)野村稔。(營業)松岡隆。(廣告)同。(事業)松井唯雄。(東京支局)相田理三郎。(大阪支局)山口昇。(社員)十八名。(工場員)廿名。(機械)平盤二、八頁一。ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七・七五、十五

字、一百行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通八十錢、場所指定一圓、特別面一圓廿錢。毎月「學校と家庭」と題する冊子發行。一回二萬部全市學童に無料配布。  
八幡新報 八幡市國見町一丁目。創刊明治四十一年。個人經營。朝刊四頁。(社長)白石竹吾。(主筆)藤井勝次郎。(編輯)正田國哉。(營業)吉永秀吉。(廣告)藤本茂。(機械)平盤二。(活字)七・七五、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)八十錢。

國民朝報 八幡市榮町四丁目。創刊大正十一年三月一日。個人經營。朝刊四頁。(社長)百武久兵衛。(社長)同。(編輯)野村芳稔。(營業)百武徹直。(機械)平盤三。(活字)七・七五、十五字、百三十五行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)八十錢。

九州民報 (九州毎日新聞の經營)若松市濱五番町。創刊大正九年八月。個人經營。政友會。朝刊四頁。(社長)石崎敏行。(東京支局)四日市長。(機械)平盤二。寫眞版の設備あり。(活字)七・七五、十五字、百三十八行、十二段。(廣告料)普通八十錢、場所指定一圓、特別面一圓廿錢。

七・七五、十五字、百三十八行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通八十錢。

筑後新聞 (九州日日新聞社支社)久留米市莊島町二五三。創刊明治三十二年八月。朝刊十二頁。(社長)赤星不羈士。(營業)上野俊藏。(廣告)菊池博基。(機械)九州日日新聞と同じ。(活字)七・二五、十五字、百五十行、十三段。一ヶ月九十錢。(廣告料)九州日日と併載、普通八十錢、特別面一圓五十錢。

久留米毎日新聞 久留米市日吉町。創刊大正七年五月十八日。個人經營。夕刊四頁。(社長)松井一郎。(社長)同。(主筆)中川清五郎。(編輯)國分健太郎。(營業)山下岩雄。(廣告)市島眞次。(機械)ロール一。ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七・七五、十五字、百三十五行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通四錢、場所指定六錢、記事割込六錢。

九州朝日 九州朝日新聞社發行。久留米市南蕪西町。(電)一〇二八。創刊大正二年四月。個人經營。二萬圓。政友系。朝刊四頁。(社長)高崎鬼佛。(營業)市村種男。(廣告)大村喜六。(機械)平盤二。(活字)七・七五、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)八十錢。

四頁。(社長)大森三郎。(社長)同。(事務)松田重人。(主筆)吉村雅路。(編輯)同。(廣告)松田重人。(東京支局)岡田燈聲。(大阪支局)上村弘。(社員)三十名。(工場員)二十五名。(機械)平盤二。(活字)八半、十四字、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通八十錢、場所指定一圓、特別面一圓二十錢。

大牟田毎日新聞 大牟田市不知火町。創刊明治四十年四月。個人經營。六萬圓。朝刊四頁。(社長)平山喜録。(機械)平盤一。(活字)七・七五、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)六十錢。

筑豊新聞 直方市東殿町九八六。創刊明治四十五年六月二十六日。個人經營。五萬圓。民政系。朝刊四頁。部數六年九月十三日現在一萬三千。(社長)藤廣久吉。(編輯)蜂谷滋南。(營業)山本徹郎。(社員)八名。(工場員)十二名。(機械)平盤二。(活字)七半、十五字、九十行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定一圓二十錢、特別面二圓。

昭和五年八月土地百八十三坪五合を買収社屋并に工場等二萬五千圓を投じ引續き平盤一臺購入活字全部七半に改鑄す。

筑豊日日新聞 直方市七二八。創刊大正七年八月。個人經營。朝刊四頁。(社長)田尻繁雄。(機械)平盤一。(活字)七・七五、十五字、百三十五行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)八十錢。

北九州新報 伊田町二二三。創刊大正四年六月一日。個人經營。五萬圓。民政黨。朝刊四頁。(版數)一。(附錄)月三回乃至五回。(部數)七年九月一日現在一萬二千部。(社長)宮城務人。(社長)同。(主筆)宮城可之。(營業)穂東守徳。(社員)四十五名。(工場員)十五名。(機械)平盤一。(活字)七半、十五字、八十四行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通八十錢、特別面一圓五十錢。(兼營)代理部にて各地藥品の販賣。(昭和七年五月より)

大正十三年大分縣中津市に營業本部を設置し大分縣二市七郡及び福岡縣六市九郡に支社支局

を有す。

九州新報 九新社發行。飯塚市住吉町。(電)四四。創刊昭和二年七月三十日。個人經營。民政黨。夕刊四頁。(版數)二。(地方版)八幡、久留米。(部數)七年八月三十一日現在千二百部。(社長)岡部兼吉。(社長)同。(主筆)同。(營業)同。(社員)七名。(工場員)十五名。(機械)十六頁。平盤二。ステロ設備あり。(活字)七・五、十五字、八十行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通一圓五十錢、特別面一圓八十錢。

筑陽日日新聞 飯塚市四一八。創刊大正三年十月。個人經營。一萬五千圓。立憲政友會。朝刊四頁。(社長)田中保藏。(主筆)高橋登。(編輯)景山一。(營業)吉原春一。(廣告)堀原玄信。(機械)十六頁パラソス引平盤二。ステロ設備あり。(活字)七・七五、十五字、百三十行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)八十錢。

戸畑又新日報 戸畑市東本町一丁目。創刊大正九年六月一日。個人經營。一萬五千圓。政友系。

### 佐賀縣

人口………六九、五五五  
世帯數………一八、七六

朝刊四頁。(社長)高崎鬼佛。(營業)市村種男。(廣告)大村喜六。(機械)平盤二。(活字)七・七五、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)八十錢。

佐賀縣は縣が小さい上に福岡紙及び大阪紙の侵入烈しく、地元紙の不振を免かれない。中にあって佐賀市(人口四萬六千)の肥前日日新聞は最も有力とせられてゐるが、六年七月終に福岡日日の附録紙となり、佐賀日報と改題した。大阪二紙は昭和五年二月まで長崎、佐賀兩縣共通版を本紙に添へてゐるが、後分離獨立させた。大毎、大朝、福日の三紙は巴狀戦を呈してゐる。

### 佐賀日報

(福岡日日の附録紙)。佐賀市松原町中の小路。(電)一四五、一八五。創刊大正十一年一月一日。夕刊六頁。(社長)田中恭平。(主筆)牧瀬新三。(編輯)同。(營業)三輪豊二。(政

### 佐賀毎日新聞

(九州日報の經營)佐賀市松原町一〇五。(電)三二一、八三〇。創刊明治四十五年七月廿二日。九州日報を母社とす朝刊十頁、夕刊四頁。(版數)一部數七年現在三萬六千餘部。(支配人)島崎雅臣。編輯)瀬戸米作。(營業)森田輝海。(社員)十名。(機械)九州日報と同じ。(活字)七半、十五字、百五十六行、十三段。一ヶ月八十五錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定八十錢、特別面一圓。佐賀新聞 佐賀市唐入町一九。(電)三三三、三八。創刊明治十七年八月。個人所有。朝刊四頁。(社長)大野秀幹。(社長)野口藤

三。(副社長)大野秀幹。(主筆)秋永三郎。(編輯)大石今朝六。(政治經濟)同。(社會)杉町次郎。(營業)石橋彌作。(廣告)中尾和三。(販賣)石橋彌作。(東京支局)栗田貞一郎。(大阪支局)阪口孝次郎。(社員)二十四名(工場員)三十八名。(機械)十六頁平盤ロール二、同外二。ステロ設備アリ。(活字)九ボ、十四字、百七行、十一段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通五十錢、特別面二倍。

登記公告掲載、縣公報印刷、

佐賀日日新聞 佐賀市松原町百六十五。(電)二八三。創刊大正十四年七月二十六日。個人經營。夕刊小型四頁。(地方版)佐賀、唐津。(社主)江口嘉六。社長)同。(編輯)金子政吉。(營業)古場訂一。(廣告)藤井留吉。(販賣)松田義教。(東京支局)緒方淺一。(社員)三十二名。(機械)平盤動力掛ロール二。(活字)七ボ、十五字、百十五行、十一段。一ヶ月三十錢。(廣告料)普通五十錢、特別面一圓。

佐賀商報 佐賀市松原町三五。

創刊明治三十四年八月一日。合資。二萬圓。夕刊小型四頁。部數)七年現在一、〇〇〇部。(社長)久池井良吾。(編輯主任)原口利八。(會計主任)澁谷純三。(社員)九名。(工場員)十名。(機械)ロール三。(活字)十五字、三十七行、五段。一ヶ月二十五錢。廣告料(十錢)。

唐津日日新聞 唐津市。創刊明治二十九年六月廿一日。合資會社。一萬二千五百圓。政友會系。朝刊四頁。(版數)二。(附錄)二頁大月曜附錄。(部數)六年九月十日現在四千部。(社主)富永鏗之助。(社長)同。(支配人)松尾正男。(主筆)古館勲。(營業)北村定七。(東京支局)石田周藏。(大阪支局)中村嘉勲。(社員)十五名。(工場員)二十名。(機械)深道式十六頁平盤二。(活字)七、五、五、十五字、八十行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定五割増、特別面一圓二十錢。

七年六月十日前原町に姉妹紙隔日刊糸島日報を創刊した。

隔日刊糸島日報を創刊した。

唐津時事新聞 唐津市。(電)

長崎縣

四〇七、五一。創刊大正十一年三月三日。個人經營。一萬圓。夕刊小型四頁。(版數)一。(部數)七年一月一日現在千五百部。(社主)小關世男雄。(社長)同。(副社長)吉岡時彌。(主幹)坂本又一。(編輯)同。(營業)吉岡時彌。(社員)十名。(工場員)二十名。(機械)平盤二。(活字)六號、十五字、五十八行、八段。一ヶ月三十錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定一圓、特別面一圓二十錢。(兼營)書籍印刷物。

長崎縣へは大阪紙と福岡の新聞とが侵入してゐる。即ち福岡日日は長崎の長崎民友、佐世保の佐世保民友を附録紙とし、九州日報は佐世保新報を附録紙としてゐる。併し人口二十萬四千の長崎市、十三萬三千の佐世保市等を包含するので、地元新聞にも相當有力なものがあつて、長崎市の如きは九州に於ける一新聞

長崎日日新聞

長崎市島町二。(電)五九、三二九、二〇七、二一〇九、二三一〇。創刊明治二十二年九月二日。株式。三萬五千圓。民政系。朝刊四頁、夕刊四頁。(版數)夕刊一、朝刊三。(附錄)日曜附錄。(地方版)佐世保版(佐世保新聞)。(社長)佐々野當章。(副社長)則元卯太郎。(主筆)中島榮一郎。(編輯)中島榮一郎。(整理)渡邊篤三郎。(社會)瀬戸崎半吾。(政治)松本勝。(經濟)大戸清太郎。(校正)中村勝一郎。(營業)桑野實三。(廣告)同。(會計)北川泰弘。(工務)吉田清三郎。(販賣)赤尾悟。(東京支局)里見謹吾。(大阪支局)浮田金次。(社員)四十名。(工場員)八十名。(機械)マリノニ一式輪轉二。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備有り。(活字)七ボ、十五字、百五十五

長崎新聞

長崎玉江町三丁目四。(電)一八一、二二〇五、二三五〇。創刊明治三十八年一月十八日。株式。十萬圓。朝刊四頁、夕刊四頁。(版數)三。(附錄)日曜夕刊、日曜附錄。(社長)橋本辰二郎。(專務)永野廣。(總顧問)森肇。(主筆)同。(編輯)近藤南山。(政治)同。(社會)大庭耀。(經濟)米山秀磨。(通信)久世東贊。(寫眞)小宮九八郎。(校正)荒木半山。(營業)永野廣。(會計)清水鐵之助。(販賣)渡邊孝一郎。(廣告)榎原哲夫。(工場長)竹村長植。(印刷)南定次郎。(東京支局)酒井謙吉。(大阪支局)清島三郎。(社員)五十四名。(工場員)六十五名。(機械)內國器マリノニ式輪轉二、內國

東洋日の出新聞

長崎市千馬町二ノ一。創刊明治三十五年一月一日。個人經營。十萬圓。朝刊四頁、夕刊二頁。(版數)二。(地方版)島原每朝新聞。(社主)金子克己。(社長)同。(主筆)同。(編輯)宇都宮小次郎。(營業)長野國視。(廣告)山口廣太郎。(機械)輪轉機一、平盤一。ステロあり。(活字)七半、十五字、百四十行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)一圓。

七ボイント新活字を以て六年十一月一日より十三段となる。

製平盤一。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七ボ、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月七十五錢。(廣告料)普通一圓、特別面二圓。

七ボイント新活字を以て六年十一月一日より十三段となる。

市千馬町二ノ一。創刊明治三十五年一月一日。個人經營。十萬圓。朝刊四頁、夕刊二頁。(版數)二。(地方版)島原每朝新聞。(社主)金子克己。(社長)同。(主筆)同。(編輯)宇都宮小次郎。(營業)長野國視。(廣告)山口廣太郎。(機械)輪轉機一、平盤一。ステロあり。(活字)七半、十五字、百四十行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)一圓。

長崎民友新聞

福岡日日新聞の經營)長崎市大浦町二二。(電)二四二〇、二三六一、一四七三。創刊大正十三年十一月廿四日。個人經營。十萬圓。政友會。夕刊四頁。(社主)楠山次郎。(社長)西岡竹次郎。(總務)千原芳策。(編輯)草間鼎。(營業)久松靜太郎。(廣告)同。

長崎每日新聞

軍港新聞の姉妹紙)長崎市小川町七。創刊昭和三年十一月一日。個人經營。朝刊四頁。(社長)阿野幸之助。(營業)永田章壽。(活字)七・七五、十二段。一ヶ月五十錢。(廣

軍港新聞

佐世保市天満町二。(電)六三、三九。創刊明治三十七年十月。合資。四萬圓。朝刊四頁、夕刊二頁。(社長)長醫秀夫。(業務執行社員)近藤德壽。(主筆)編輯)北島榮助。(編輯)次長)渡邊國廣。(營業)北島綱一。(廣告)同。(機械)內國製輪轉一、平盤二。ステロあり。(活字)七・七五、十五字、百三十五行、十二段。一ヶ月八十錢。(廣告料)普通八十錢、特別面一圓五十錢。(兼營)長崎日日新聞。

佐世保市相生町三。創刊明治四十四年四月二十一日。個人經營。四萬五千圓。夕刊四頁。(社長)永安愨。(主筆)濱村四太郎。(編輯)甘露寺與一郎。(營業)井上爲藏。(廣告)宇佐見爲藏。(機械)內國製輪轉一、平盤二。ステロあり。(活字)七半、十五字、百三十五行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)一圓。

佐世保民友新聞 (福岡日日新聞の經營)佐世保市濱田町六一。創刊大正十四年六月。朝刊

四頁。(社長)西岡竹次郎。(機  
械)輪轉機一、平盤一。(活字)七  
半、十二段。一ヶ月四十錢。(廣  
告料)一圓。

佐世保新報

(九州日報の刷替  
版)佐世保市本島町。(電)四七。  
創刊明治廿六年六月三日。個人  
經營。朝刊十二頁、夕刊四頁。(社  
主)淺藤十郎。(社長)同。(主幹)  
高島喜一。(主筆)江口禮四郎(編  
局)高島喜一。(營業)松永靜夫。  
印刷は九州日報に託し毎日三  
頁を佐世保版とす。

佐世保新聞

(長崎日日新聞の  
切替版)佐世保市島瀬町。創刊  
大正十二年九月六日。朝刊四頁。  
(活字)七、十三段。

島原新聞

島原町四四一。創刊  
大正二年八月十五日。個人經營。  
七千圓。朝刊四頁。(社長)清水  
繁三。(主筆)吉田音二郎。(編  
輯)清水治代。(營業)同。(廣告)  
下田金一郎。(機械)平盤一。(活  
字)七、七五、十二段。一ヶ月六  
十錢。(廣告料)五十錢。

長崎島原毎日新聞

島原町  
二百四十一。創刊明治三十七年  
六月十三日。個人經營。朝刊四

頁。(社長)金森安治郎。(編輯)  
山田有明。(機械)平盤一。ステ  
ロあり。(活字)七、七五、十五  
字、十二段。一ヶ月六十五錢。  
(廣告料)八十錢。

島原時事新聞

島原町一千二  
百八十六。創刊大正九年十月十  
七日。個人經營。一萬圓。朝刊  
四頁。(社長)古川篁一。(主筆)  
本田只松。(編輯)野田加壽雄。  
(機械)平盤一。(活字)七、七五、  
十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)  
四十錢。

島原每朝新聞

(東洋日の出新  
聞の姉妹紙)島原町七八四。創  
刊大正十三年五月二十三日。個  
人經營。一萬圓。政友會。朝刊  
四頁、夕刊二頁。(社主)贊田五  
十二。(社長)同。(社員)八名。  
(機械)輪轉機一。(活字)七、七  
五、十二段。一ヶ月六十錢。(廣  
告料)普通八十錢。場所指定一  
圓五十錢。

肥前新聞

東彼杵郡早岐町。  
(電)一一二。創刊大正十二年三  
月十日。個人經營。一萬二千五  
百圓。朝夕刊小型六頁。(版數)  
三。(地方版)佐世保、藤杵。

九州日日新聞

別面一圓五十錢。  
熊本市上  
通町五丁目四十二。(電)一三三、  
二二〇一一二二〇四。創刊明治  
十五年三月。個人經營。民政黨。  
朝刊八頁、夕刊四頁。(地方版)  
筑後新聞、鹿兒島版、宮崎版、  
大分版、佐賀版。(監督)山田珠  
一。(社長)宇野政行。(主筆)後  
藤祐太郎。(編輯)植山矢一。(廣  
告、作業)草野造。(販賣)村本  
武。(會計)梅田生一。(庶務)河  
内山東雄。(秘書)清水喜平。(機  
械)マリノニ式輪轉一、TKS  
式三、博文館式一。活字鑄造機、  
ステロ、寫眞版設備あり。(活字)  
七、二五、十五字、百五十行、十  
三段。一ヶ月九十錢。(廣告料)  
八十錢。特別面一圓五十錢。(兼  
營)筑後新聞。

大熊本新聞

熊本市光琳寺町。  
創刊大正七年八月。個人經營。  
夕刊四頁。(社長)本田猛登。(機  
械)平盤一。(活字)九、十一  
段。一ヶ月六十錢。(廣告料)五  
十錢。

九州毎夕新聞

熊本市櫻町。  
創刊大正十年九月。個人經營。  
夕刊四頁。(社長)福田秀藏。(機  
械)平盤一。(活字)九、十二  
段。一ヶ月六十錢。(廣告料)六  
十錢。

肥後日日新聞

熊本市妙鉢寺  
町。創刊大正十五年七月。個人  
經營。朝刊四頁。(社長)上田光  
雄。(活字)舊、十段。一ヶ月五  
十錢。

熊本日日新聞

(新九州の改  
題)(福岡日日の附録紙)。熊本  
市黒髪町八四。創刊大正十年。  
個人經營。夕刊四頁。(社長)角  
田時夫。(編輯)同。(營業)宮脇  
與吉。(廣告)末永哲夫。(機械)  
平盤一。(活字)七、七五、十二  
段。一ヶ月六十錢。

(部數)昭和七年九月一日現在八  
千六百。(社主)杉光喜一。(社  
長)同。(副社長)岩永圓三郎。  
(主筆)杉光秋翠。(編輯)太田新  
三郎。(營業)宮本峯三。(庶務)  
吉村久枝。(社員)七名。(工場  
員)十八名。(機械)四六四頁一、  
同八頁一、一六頁一。(活字)九  
ボ、十三字、五十行、八段。一  
ヶ月三十錢。(廣告料)普通一圓、  
場所指定一圓五十錢、特別面一  
圓五十錢。

對馬日日新聞

對馬國嚴原町。  
創刊明治三十六年九月。個人經  
營。朝刊四頁。(社長)松尾鐵次。  
(機械)平盤三。(活字)舊、十二  
字、七十三行、九段。一ヶ月五  
十錢。

熊本縣

人口……一、五三、九六三  
世帯數……二、五、三五  
熊本縣は新聞中心地が幾つにも  
分裂して居らない爲めに、可成  
に有力な新聞が發展した。即ち  
人口十六萬四千の熊本市に九州  
新聞及び九州日日新聞あり、共

に全縣下から福岡、鹿兒島、宮  
崎、大分、佐賀等の一部に侵入  
してゐる。その代りそれ等各地  
の新聞も逆に此方へ移入され、  
殊に福岡日日の如きは熊本に附  
録紙を有してゐる。大阪新聞の  
勢力はやゝ薄らいでゐるが尙侮  
り難いものがある。

九州新聞

熊本市花畑町三  
十一。(電)三三〇、二五〇〇一  
二五〇五。創刊明治三十九年二  
月。株式。三十萬圓。政友系。  
朝刊八頁、夕刊四頁。(社長)高  
木第四郎。(取締役主幹)高木亮。  
(編輯)吉田響鳴。(政治)高田次  
郎。(整理)松村正人。(社會)豊  
福一喜。(地方)藤川精忠。(經  
濟)千場榮次。(家庭、學藝)平  
島澄雄。(運動)山本美直。(校  
正)田邊桂造。(相場)養田伊次  
郎。(廣告)松裕資。(販賣)治部  
虎次郎。(東京支局)山田豊。(大  
阪支局)清島三郎。(機械)折疊  
式輪轉機二、輪轉一、平盤一。  
活字鑄造機、ステロ、寫眞版設  
備あり。(活字)七、七五、十五字、  
百四十五行、十二段。一ヶ月九  
十錢。(廣告料)普通八十錢。特

宮崎縣

人口……七、六〇、四七  
世帯數……一、四八、〇〇六  
宮崎縣は人口稀薄、交通不便の  
爲め永らく新聞不振の地とされ  
てゐた。併し其後、日州新聞、  
宮崎時事新聞などの擡頭により  
幾分活氣を呈したが、最近は一  
般の經濟不況、滿洲事變の影響  
などから、地元新聞の困憊愈々  
急を告げ、之れに反して大阪紙  
及福岡日日、鹿兒島新聞などの  
侵入が烈しくなつた。新聞中心  
地は宮崎市(人口五萬四千)、都  
城市(人口三萬五千)及び昭和八  
年から市制を布く延岡町(人口  
四萬餘)の三つで、中でも宮崎  
市には三種の新聞があるが、獨  
立經營のものは宮崎時事と一  
種だけで、日州新聞は福岡の附  
録紙となり、宮崎新聞は鹿兒島  
新聞の刷替版たるに過ぎない。  
移入紙では大毎、大朝ほど大差  
なく、福日これにつき、最近で  
は九州日日及び九州日報なども  
一部に侵入しつつある。地元新

宮崎時事新聞

宮崎市高  
千穂通二丁目。(電)一九七、五  
六四、八一三、八四八、九一三。  
創刊昭和二年九月。個人經營。

九州日日新聞

別面一圓五十錢。  
熊本市上  
通町五丁目四十二。(電)一三三、  
二二〇一一二二〇四。創刊明治  
十五年三月。個人經營。民政黨。  
朝刊八頁、夕刊四頁。(地方版)  
筑後新聞、鹿兒島版、宮崎版、  
大分版、佐賀版。(監督)山田珠  
一。(社長)宇野政行。(主筆)後  
藤祐太郎。(編輯)植山矢一。(廣  
告、作業)草野造。(販賣)村本  
武。(會計)梅田生一。(庶務)河  
内山東雄。(秘書)清水喜平。(機  
械)マリノニ式輪轉一、TKS  
式三、博文館式一。活字鑄造機、  
ステロ、寫眞版設備あり。(活字)  
七、二五、十五字、百五十行、十  
三段。一ヶ月九十錢。(廣告料)  
八十錢。特別面一圓五十錢。(兼  
營)筑後新聞。

熊本毎夕新聞

熊本市鹽屋町  
三番丁二一。創刊明治三十一年  
五月。株式。一萬圓。夕刊小型  
四頁。(社長)石田忠太郎。(編  
輯)石川仁生次。(營業)石田忠  
太郎。(機械)平盤三。ステロあ

朝刊四頁、夕刊四頁。(版數)三版。(社長)益繁太郎。(主筆)山田正。(社員)二十八名。(工場員)二十五名。(機械)津田式輪轉機一、平盤二。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七半、十五字、八十五行、十二段。一ヶ月七十五錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定五割増、赤刷十割増。

**日州新聞**

(福岡日日の附録)宮崎市旭通四五。(電)七六九。創刊明治廿四年八月。個人經營。五十萬圓。夕刊四頁。(版數)二。(部數)七年十月一日現在二萬五千部。(社主)森由己雄。(社長)日高不羈夫。(理事)濱田國幹。(編局)橋本武彦。(編輯)山本千太郎。(政治)阿部善作。(社會)木脇富高。(營業)山下市次。(東京支局)淨田金次。(社員)二十八名。(工場員)二十二名。(機械)輪轉機一。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七半、十五字、百五十二行、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定二割増、特別面一圓四十錢。

**宮崎新聞**

(鹿兒島新聞の刷替版)宮崎市仲町。創刊大正五年九月。組合。朝刊八頁。(社主)兒玉實良。(社長)同。(主筆)津田武。(主筆)同。(編輯)大迫兼弘。(營業)同。(機械)鹿兒島新聞と同じ。(活字)七半、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月八十五錢。(廣告料)普通七十錢、特別面一圓。雜報欄一圓廿錢。

**延岡新聞**

延岡市。(電)二六〇。創刊大正十一年十一月廿三日。個人經營。貳萬圓。夕刊四頁。(版數)三。(部數)七年十一月末日現在六千八百。(社主)佐藤和七郎。(社長)同。(副社長)向井耕作。(主筆)佐藤天風。(編局)同。(自治)和泉清。(經濟)城田陽夫。(教育學藝)向井耕作。(地方)屋田健之助。(營業)甲斐直水。(販賣)平川浪風。(廣告)甲斐直水。(社員)十八名。(工場員)十六名。(機械)平盤十六頁二。(活字)七半、十五字、八十五行、十二段。一ヶ月六十錢。

中央廣告を拒絶。  
宮崎日報(日向新聞の改題)大。

分日報の刷替版)延岡町一二五。創刊七年四月。朝刊四頁。夕刊二頁。

日向新聞として創刊せるも約四ヶ月にして休刊し、七年九月宮崎日報と改題して發行す。

**三州日日新聞**

都城市中原町四〇二八。創刊大正八年。個人經營。三萬圓。朝刊四頁。(版數)一。(部數)六年九月十日現在二、二〇〇部。(社主)川越實。(社長)同。(主筆)松木盛芳。(主筆)川越實。(編輯)松木盛芳。(機械)平盤一。(活字)七、七五、十五字、六十三行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通四十錢、場所指定八十錢、特別面一圓二十錢。

**都城號外新聞**

都城市八幡五四。日刊二頁。(社長)水久保甚作。(編輯)吉田匠。

**鹿兒島縣**

人口……一、五五、七〇〇  
世帯數……三三、〇八

鹿兒島は大縣である上に、新聞の数が少ないので、經營は餘程樂である。それに土地が偏して

ある爲め、守るによく、人口十三萬七千の鹿兒島市に、鹿兒島新聞、鹿兒島朝日新聞の二紙が発達し、前者の如きは隣縣宮崎にも相當に侵入してゐる。そして久しく平和の夢を食つてゐたが、財界不況に加へて、近時福岡日あたりが鹿兒島毎日新聞を合資紙として虎視眈々たるあり、或は九州日日の鹿兒島版等油断のならない時代となつた。

**鹿兒島新聞**

鹿兒島市山下町一七一。(電)二〇、五〇四。九二二。創刊明治十四年二月一日。匿名組合。政友會。朝刊八頁。(版數)七。(社長)兒玉實良。(主筆)津田武。(編局)寺師宗一。(各部長)牧清虎、五代貞直、永井喜。(營業)富田重治。(各部長)宇田貞安、千知岩徳太郎。有村慶藏。(東京支局)渡邊政太郎。(大阪支局)永峰信恒。(機械)高速度一、輪轉機二、平盤十二、石版三。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七半、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月八十五錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定案白欄三

行一回一圓五十錢、特別面一圓二十錢、雜報欄一圓六十錢。(兼營)宮崎新聞、夕刊鹿兒島新聞。創刊六年十一月二十八日創刊五十周年記念祝賀式を舉行した。

**鹿兒島朝日新聞**

鹿兒島市易居町二。(電)代表番號二二〇〇。加入五線。創刊明治三十三年二月十一日。株式。拾萬五千圓。朝刊八頁。(版數)六。(地方版)五種。(社長)藤武喜助。(編局)藤坂貞盛。(政治)中條正文。(社會)辰元作穂。(經濟)藤田親義。(縣政)石原森吉。(通信)緒方正雄。(外交)牧三之丞。(學藝)白男川敬藏。(速記)神野仙吉。(運動)田中早苗。(校正)稻留藤吉。(營業)青木榮熊。(廣告)平井義彦。(販賣)坂元伊太郎。(會計)溝口岩次郎。(收入)堤庄司。(東京支局)河内時中。(大阪支局長兼務)平井義彦。(機械)內國製輪轉機色刷折疊式二、平盤印刷機三。萬年自動鑄造機一外二。字母設備整備。寫真製版機一。凸版製版機一。吉松式腐蝕機一。蒸氣コッピ一機二。瓦斯コッピ一機一。鉛版鑄込機

二。(活字)七半十五字。百五十五行、十三段。一ヶ月八十五錢。(廣告料)普通七十錢、相場欄一圓四十錢、特別面一圓二十錢。雜報欄一圓六十錢。

**鹿兒島每夕新聞**

鹿兒島市山下町八四。創刊昭和四年個人經營十萬圓。夕刊四頁。(社長)鎌田道明。(編輯)唐鎌司。(營業)小島清文。(廣告)榮繁男。(機械)輪轉機一、平盤一。(活字)七、七五、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)五十錢。

**鹿兒島每日新聞**

(福岡日日の合資紙)鹿兒島市樋口町二八。創刊昭和六年四月五日。個人經營。三十萬圓。政友系。夕刊四頁。(版數)一。(部數)六年九月十三日現在一萬部。(社員)二八名。(工場員)二二名。(機械)石川式輪轉機一。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七半、十五字、百五十四行、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通七十錢、雜報欄割込一圓四十錢、特別面一圓。夕刊鹿兒島商報(鹿兒島新聞の經營)鹿兒島市山下町百七

**大分縣**

人口……一、六〇、三〇〇  
世帯數……一六、三二八

十一。創刊大正六年十一月十四日。夕刊小型四頁。(活字)七半、八段。一ヶ月十五錢。(廣告料)二十錢。

大分市は人口五萬七千、九州に於ける新聞中心地の一つとして此處に、豊州新報、大分新聞の二紙が相競ひ、第三位を占むるものに、野依秀市君の經營にかかる大分日日新聞がある。豊州と大分は、全縣的に固い地盤を有し、愛媛、宮崎、福岡、熊本の一部に侵入してゐる。その代り、他からも各地の新聞が入り殊に大阪紙と福日及び熊本の新開の侵入は著しい。人口四萬三千の別府市は此縣での第二新聞中心地で、二三の新聞が発行されてゐる。概して人口の割に新聞の数が非常に多く、群小新聞は爲めに經營難を免かれない。

**豊州新報**

大分市荷揚町二。(電)五、五五〇、七二七、一七八。

八三二。創刊明治十九年四月十九日。個人組織。立憲政友會。朝刊四頁。夕刊四頁。(版數)四。(附録)週刊「カテイホウシウ」。(社主)長野潔。(社長)同。(理事)溝部啓三郎。(主筆)荒木貞雄。(編局)高畑一策。(外交)加藤久。(整理)高畑一策。(調査)大城秀之助。(社會)大塚基比古。(政治)阿南堅石。(經濟)伊藤正男。(校正)佐藤熊雄。(學藝)稻富百郎。(運動)麻生靖雄。(速記)森崎寅男。(營業)溝部啓三郎。(會計)同。(廣告)後藤藤太(販賣)植木槌松。(庶務)飯田三千男。(東京支局)西村藤夫。(大阪支局)安満長三郎。(社員)百三十名。(工場)八十五名。(機械)內國製石川式輪轉機二、內國製平盤印刷機二、活字鑄造機三、寫真製版機一、凸版製版機一、コッピ一機二、鉛版鑄込機二、鉛版仕上機二。(活字)七半、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月八十五錢。(廣告料)普通一圓。場所指定二圓。特別面二圓。七年四月一日より姉妹紙中津豊州新報を發行す。

同五月一日第二回廣告祭を行ふ。參加一千。

大分新聞 大分市碩田橋通六〇。代表一〇。社内各部私設電話完備。創刊明治二十二年六月一日。個人經營。立憲政黨。朝刊四頁、夕刊四頁。版數四。附錄(每週日曜)も大分新聞發行。(地方版)中津。別府。(社主)大澤征夫。(社長)同。(理事)兼督局御手洗三太郎。(主筆)兼編局東清次郎。(整理)飯倉士郎。(政治)田中保。(社會)佐藤謙平。(經濟)橋本伸一郎。(運動)渡邊秀郎。(校正)渡邊幸男。(寫真)泉定男。(廣告)本郷晋。(會計)御手洗清八。(庶務兼用)田北宗平。(販賣)安田寛夫。(工務)笠木寛吉。(印刷)佐藤福太郎。(東京支局)松浦清平。(大阪支局)竹田澤吾一。(社員)百二十七名。(工場員)五十六名。(機械)澤田式輪轉機一、石川式輪轉機一、平盤二。活字鑄造機、ステロ、寫真版全部完備。(活字)七ボ、十五字、百五十三行、十三段。一ヶ月八十五錢。(廣告料)普通一圓、場所指定十錢増、特

別面普通三倍。大分日日新聞 大分市唐人町一、二〇七。(電)四三〇、七二八。創刊明治四十四年九月一日。個人經營。政友會。朝刊四頁、夕刊四頁。版數三。(附錄)日曜附錄(我等の新聞)。(部數)七年現在三六、〇〇〇。(社長)野依秀市。(副社長)後藤哲造。(專務)南敦雄。(編局)原田薫。(整理)池末登喜。(政治)河野勝。(經濟兼社會)浦山保壽。(學藝兼體育)衛藤又彦。(速記)宮原峰一郎。(校正)衛藤等。(通信)前田武夫。(司法)高山光彦。(寫真)藤本正春。(督局)池田穰。(販賣兼計畫)同。(廣告)梶原久繼。(會計)久保宗司。(發送)平田善八。(工務)金子榮藏。(印刷)秦秀雄。(東京支局)清水久行。(大阪支局)木暮仁輔。(社員)四十五名。(工場員)五十三名。(機械)獨乙式輪轉一、內國製同一。(增設中)平版四頁掛二。活字鑄造機二、コッピ一機二、鉛版仕上機二、字母完備。鉛版鑄込機二。(活字)七ボ、十五字、百五十三行、十三段。一ヶ月八十

五錢。(廣告料)普通一圓、場所指定二倍、特別面同。(兼營)中津日日新聞。七年二月八日より七ボ十三段となる。

大分日報 大分市勢家七五、一〇一。(電)一一七、一三二五。創刊大正十一年五月。個人經營。夕刊四頁。(社主)植木榮助。(社長)同。(主幹)戸田弘毅。(編局)網中幸義。(政治)神崎俊鴻。(社會)西英一。(廣告庶務)佐藤貞市。(會計)牧慎一。(外交)神崎豊生。(東京支局)佐藤儀一。(大阪支局)吉田健三。(社員)三十八名。(工場員)五十六名。(機械)佛國式マルノニ輪轉機一、平盤十六頁二、八頁一。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七・七五、十五字、百四十行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通一圓、場所指定倍額。(兼營)白杵日報。宮崎日報。尙印刷部に於ては十一種類の日刊月刊等の定期刊行物を印刷しつ、あり。

一萬圓。民政系。夕刊四頁。(版數)一。(社主)鹽澤政明。(社長)山西保。(編輯)同。(營業)後藤數見。(機械)平盤二。(活字)七・七五、十五字、十二段。一ヶ月七十錢。(廣告料)五十錢。

大分今日新聞 大分市縣廳電停前。(電)一二七〇。創刊昭和六年九月二十日。貳萬圓。朝刊小型四頁。(部數)七年九月現在五千五百。(社主)若山三峰。(社長)同。(主幹)佐藤卓見。(主筆)社長兼務。(編輯)主幹兼務。(整理)本山安夫。(婦人)本山しげ子。(營業)若山みどり。(社員)十名。(工場)五名。(機械)平盤一。寫真版あり。(活字)十六字、五十五行、八段。一ヶ月三十錢。(廣告料)普通一圓、特別面倍額。創刊以來市政、縣政の改革を叫ぶ。

民政新報 大分市大分四九一。創刊大正十三年一月。個人經營。

日刊大分朝日 大分朝日新聞社發行。大分市新川。創刊昭和四年十二月五日。個人經營。五萬圓。朝刊二頁。(版數)三。(地方版)日田朝日。(部數)昭和六年九月十五日現在三、八〇〇部。(社主)青木宏。(社長)同。(社

員)二十名。(工場員)二十一名。(機械)平盤二。(活字)舊、十四字、九十八行、十二段。一ヶ月三十錢。(廣告料)普通廿錢、場所指定五十錢、特別面一圓。(兼營)大分朝日印刷部。書籍出版。七三二。創刊昭和四年。個人經營。朝刊四頁。(社長)川本新。中津日日新聞 (大分日日新聞の經營)大分市唐人町。創刊大正八年五月。朝刊四頁、夕刊四頁。(社長)野依秀市。(主幹)島田増藏。(活字)七ボ、十三段。中津新聞 (大分新聞の經營)大分市荷上町六〇。創刊大正六年。朝刊四頁、夕刊四頁。(社長)大津征夫。

大分夕刊 大分市。創刊昭和六年。夕刊四頁。(社長)永木宗平。溫泉タイムス 別府市。(電)一一〇三。創刊大正五年八月六日。個人經營。十萬圓。夕刊六頁。(版數)二。(地方版)佐伯新報。(社主)伊藤徳兵衛。(社長)同。(主幹)伊藤通雄。(主筆)伊藤文也。(編局)同。(政治)滝本律。(社會)武宮久憲。(理事)三ヶ尻保。(營業)後藤一。(東京支局)矢野林。大阪支局)稻垣四方雄。(機械)平盤十六頁二。ステロあり。(活字)七半、十五字、百四十三行、十二段。一ヶ月六十五錢。(廣告料)普通一圓、特別面二圓。(兼營)代理部。種々なる物品の販賣を爲す。

大別府新聞 別府市旭通三丁目一一七。創刊大正八年三月二十一日。個人經營。三萬圓。政友會。朝刊四頁。(部數)六年七月三十日現在四、七〇〇部。(社長)原田耕馬。(編輯)安東功。(營業)安村千三。(東京支局)川口松郎。(社員)卅五名。(工場員)廿八名。(機械)平盤ロール二。ステロ、寫真版設備あり。(活字)七・七五、十五字、百十行、十二段。一ヶ月七十錢。(廣告料)普通八十錢、場所指定倍額。

別府新報 別府市田湯。(電)六〇二。創刊大正十一年三月。個人經營。五千圓。民政系。夕刊四頁。(版數)一。(部數)七年九月十日現在八千部。(社主)鹽澤正次。(社長)山西保。(主幹)磯野金作。(主筆)富田五六丸。(編輯)社長兼任。(編輯)野柴健一。(社會)橋本貞一。(督局)磯野金作。(會計)生野ミサヲ。(東京支局)赤石五郎。(大阪支局)松本一郎。(社員)三十八名。(工場員)二十一名。(機械)平盤十六頁二、十二頁一。(活字)七半

大分日日新聞 (大分日日新聞の經營)大分市唐人町。創刊大正八年五月。朝刊四頁、夕刊四頁。(社長)野依秀市。(主幹)島田増藏。(活字)七ボ、十三段。中津新聞 (大分新聞の經營)大分市荷上町六〇。創刊大正六年。朝刊四頁、夕刊四頁。(社長)大津征夫。

別府新報 別府市田湯。(電)六〇二。創刊大正十一年三月。個人經營。五千圓。民政系。夕刊四頁。(版數)一。(部數)七年九月十日現在八千部。(社主)鹽澤正次。(社長)山西保。(主幹)磯野金作。(主筆)富田五六丸。(編輯)社長兼任。(編輯)野柴健一。(社會)橋本貞一。(督局)磯野金作。(會計)生野ミサヲ。(東京支局)赤石五郎。(大阪支局)松本一郎。(社員)三十八名。(工場員)二十一名。(機械)平盤十六頁二、十二頁一。(活字)七半

別府新報 別府市田湯。(電)六〇二。創刊大正十一年三月。個人經營。五千圓。民政系。夕刊四頁。(版數)一。(部數)七年九月十日現在八千部。(社主)鹽澤正次。(社長)山西保。(主幹)磯野金作。(主筆)富田五六丸。(編輯)社長兼任。(編輯)野柴健一。(社會)橋本貞一。(督局)磯野金作。(會計)生野ミサヲ。(東京支局)赤石五郎。(大阪支局)松本一郎。(社員)三十八名。(工場員)二十一名。(機械)平盤十六頁二、十二頁一。(活字)七半

別府日日新聞 別府市。創刊昭和六年。朝刊四頁。(社長)市原秀吉。

別府日日新聞 別府市。創刊昭和六年。朝刊四頁。(社長)市原秀吉。

別府日日新聞 別府市。創刊昭和六年。朝刊四頁。(社長)市原秀吉。

別府日日新聞 別府市。創刊昭和六年。朝刊四頁。(社長)市原秀吉。

別府日日新聞 別府市。創刊昭和六年。朝刊四頁。(社長)市原秀吉。

中津實業新聞

中津市牛神本町。創刊昭和四年四月一日。個人獨立。朝刊小型四頁。(附録)學校版。(地方版)宇佐、耶馬溪、築土、行橋、高田、長衛版。(部數)七年九月一日現在二千部。(社主)山本竹堂。(社長)同。(副社長)山本竹軒。(機械)平盤十六頁二、八頁三、ハンド一。(活字)五號、十五字。一ヶ月五十錢。

中津豐州新報

豐州新報の姉妹紙)中津市京町。創刊昭和七年四月一日。朝刊八頁。(社長)長野潔。

日田朝日

(日刊大分朝日の姉妹紙)日田町大字庄手。(電)四三九。創刊昭和五年五月一日。個人經營。(朝刊)二頁。(部數)七年九月十二日現在一千部。(社主)岩里良三。(社長)同。(主幹)梅村彰。(社員)四名。(工場員)四名。(活字)六號、十四字。百行、十二段。一ヶ月四十錢。(廣告料)普通三十錢、場所指定特別一圓。

六年滿洲軍慰問金募集活動寫真大會を催す

本紙は全紙面中毎日四段乃至五段日田のニュースを入れ約束の下に大分市に發行の大分朝日との姉妹社なり、社員中二名は大分朝日にありて活動す。本紙は收支償ふ丈の營業方針にして廣告等を申込以外に積極的に出でず、社長の趣味的立場から意志發表の機關と一面日田郡の福利増進をモットーとす。

日田新聞

日田町。(電)四三七。創刊昭和五年九月十日。個人經營。政友會。夕刊二頁。(地方版)小國、玖珠。(部數)七年十月末日現在三千部。(社長)安部默平。(編輯)寺本清。(警局)執行秀雄。(社員)七名。(工場員)五名。(機械)平盤八頁一。(活字)舊、十三字、七十行、九段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通十錢、場所指定二十錢、特別面一圓。年中行事として春季體育大會及思想善導講演演說旅行團等の催しをなす。

白杵毎日新聞

(別府毎夕新聞の經營)白杵町。創刊昭和三年。個人經營。朝刊四頁。(社長)南波保。(別府毎夕新聞にて印刷)一ヶ月七十錢。

日刊佐伯新報

(温泉タイムスの經營)佐伯新報社發行。佐伯町字仲町。創刊大正十二年一月。朝刊四頁。(部數)六年九月二十日現在五百五十乃至千部。(社主)山内季藏。(社員)六名。(活字)十五字、八十行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)二十錢。白杵日報(大分日報の姉妹紙)白杵町。(社長)植木榮助。朝刊四頁。

沖繩縣

▲人口……五七、五九  
▼世帯數……二、三、三、四  
沖繩縣は人口も少なく、富力も低く特に交通が不便だから新聞の不振は免かれない。現在那覇市(人口六萬)に三新聞あり、外に休刊して最近消息不明の一紙(日刊沖繩毎日)がある。移入紙

琉球新報

那覇市東町四ノ三二。(電)四一。創刊明治廿六年九月十五日。匿名組合。十萬圓。朝刊四頁。(部數)七年八月現在五千八百部。(社長)太田朝敷。(主筆)又吉康和。(編輯)長嶺將快。(營業)仲尾次政調。(社員)二十五名。(工場員)二十五名。(機械)シリンダー二。鑄造機一。ステロ一、寫眞版設備あり。(活字)七、十五字、八十行、十三段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通二十錢、場所指定四十錢、特別面四十錢。

沖繩朝日新聞

那覇市西本町四ノ二〇。創刊大正四年十一月十日。個人經營。三萬圓。(社長)當眞嗣合。(主筆)同。(編輯)高嶺朝光。(營業)渡慶次朝義。(廣告)嘉教良得。(機械)平盤二。(活字)七、七五、十五字、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)二十錢。

沖繩日日新聞

那覇市。創刊昭和六年十一月三日。(社長)竹下文隆。(機械)マリノニ式輪轉

七年三月マリノニ式輪轉機を移入す

北海道

附樺太

▲人口……二、八三、三三  
▼世帯數……五、九、七、五、八

人口の密度は全國最下位だが數は東京、大阪につき、此處を根據として他縣に攻め入る事は困難だが、防備はやり易い立場にある。殊に東京からは隔絶してゐるので東京紙はさしたる脅威とならぬ。たゞ地域廣大にして交通不便、濃密な販賣網を布く事困難だが、ままとまつた一領域を形作つてゐる爲め二三の有力紙が發達した。而して北海道の新聞中心地は次の六市で、前の三市が大きな中心地、次の三市はやゝ小さな中心地である。

Table with 2 columns: City (札幌, 小樽, 函館) and Population (人口, 世帯數)

旭川

▲人口……一四、八、九〇  
▼世帯數……五、八、五、五

尙右の外、帶廣、根室等の町も一小中心地の形をなしてゐる。北海道第一にして我國地方新聞の一流たる北海タイムスは札幌に發行され、是に對抗する小樽新聞は小樽に發行される。共に全道から樺太及内地に侵入し、他の地元新聞とは格段の差を示してゐる。北海タイムスは部數少くも八萬と推定する向あり、此頃は旭川方面に擴張を試みたり、或は渡島、後志方面に積極的態度を見せたりしてゐるが、何にしても其の勢力は一路進展の経路を辿らんとしつゝある。函館には函館新聞、函館毎日新聞、函館日日新聞等がある。販賣などに無理な競争をやり、又札幌、小樽などのやうに勢力が集中されてゐない爲め、圖破抜けて大をなすものはないが、函館新聞は主として函館市内に勢力を集中し、部數も萬を下らない。函館、函日の兩紙は、市内よりも郡部に主力を置き、函毎は最近組織を變更し、北海タイムスから社長を

迎へ兩社提携の色濃厚となる。次の中心地旭川には旭川新聞及び北海日日新聞あり、後者の消極的なるに對して前者は積極的であり、最近東北北海道方面に頻りに進出をなし、更に中央部即ち空知支廳方面にもその傾きを示してゐる。室蘭の室蘭毎日北海タイムスと東京紙の外、地元にししたる競争紙がなく、部數は八千五百と推定される。釧路の釧路新聞も地元で競争紙を持たないが此處では小樽新聞の侵入烈しく、北海タイムスこれにつき、兩紙の移入部數は合せて五千部前後と見られる。之れに對して東京紙は遙かに少く、最も多いと云はれる東日、東朝と雖も合せて千を出でぬであらう。

Table with 2 columns: Newspaper Name and Circulation (北海タイムス, 小樽新聞, 報知新聞, 東京朝日新聞, 讀賣新聞, 東京日日新聞)

北海タイムス

札幌市大通西三ノ六。(電)本社十六本支局卅本。創刊明治十七年。株式八十萬圓。朝刊八頁、夕刊四頁。(相談役)東武。(社長)阿部良夫。(常務)柏岡常勝。(取締役支配人)山口喜一。(編輯)長内清。(整理、通信)同。(政經)佐藤守四郎。(社會、事業)河合七郎。(警局)瀨川山吾。(販賣)同。(廣告)高橋常次郎。(會計)瀧本靜良。(印刷局助役)武田雪治。(機械)時速十三萬輪轉三、内國製マリノニ式輪轉機七。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七、十五字、百五十六行、十三段。一ヶ月一圓。(廣告料)普通一圓二十錢、特別面一圓五十錢。

五年十一月十五日、河北、新愛知、福日と共に日本新聞聯盟を結成す。目的は小説、文藝、家庭記事、時事評論其他新聞に



必要記事の共同購入にある。  
 五年十二月、讀賣新聞と販賣通信協定成る。即ち販賣から政治經濟社會關係の特種をタイムスに送り、タイムスは販賣網を讀賣の爲めに活用せしめるにある。

日本新聞聯盟結成後、河北との間に販賣地域協定成り、河北は北海道を、タイムスは東北を現狀以上積極的擴張進出を絶對的になさざる旨申合せた。  
 七年九月東京支局主任佐藤守四郎君は前政經部長岡田天洞君の函館毎日社長に就任の後をつぎ政經部長となる。

札幌毎日新聞 札幌市南八條西四丁目。(電)四五九二。創刊大正十四年二月二十八日。個人經營。五萬圓。政友會系。夕刊小型四頁。(社長)吉田重貞。(副社長)吉田重春。(支配人)同。(主筆)古川富士夫。(編輯)遠藤勝馬。(營業)松井好洋。(社員)三十名。(工場)四十名。(機械)平盤三。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七ポ、十五字、六十七行、九段。一箇

月五十錢。(廣告料)普通七十錢、場所指定一圓、特別面一圓二十錢。

小樽新聞 小樽市港町一六。(電)代表一五〇〇。創刊明治二十六年五月八日。株式。四十六萬圓。朝刊八頁、夕刊四頁。(地方版)樺太、各地、東北、中部、札幌。(社長)上田壽久。(專務)平野文安。(常務)矢上以久三郎。平澤亮造。嘉納虎太郎。(編輯)平野文安。(編輯)嘉納虎太郎。(整理)西島元甫。(社會)前整理工藤梅次郎。(政治)袴田泰二。(經濟)甲斐昇。(商況)飯田義一。(通信)高木長作。(調査)宮城伸助。(營局)矢上以久三郎。(廣告)本田龍。(販賣)同。(廣告)盛田穰。(經理)石野榮治。(企畫)兼工場長池島賢造。(東京支局)矢上以久三郎。(大阪支局)森下禎三。(社員)百七十八名。(工場員)百四十七名。(機械)獨逸アルバート高速機二臺連結一。マリノニ式輪轉機五。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七ポ、十五字、百五十六行十三段。一ヶ月一圓。(廣告料)

普通一圓二十錢、場所指定二十錢増、特別面二圓五十錢。  
 七年一月滿蒙、シベリア朝鮮地圖を配布す。  
 同三月最新滿洲地圖を頒布す  
 同月趣味娛樂の爲め日曜二頁増頁す。  
 同四月童話と家庭講話を全道に巡講す。  
 澄宮殿下御來道に際し寫眞を獻上し、御台覽寫眞を謹寫し公開す。  
 同十一月創刊四十年記念讀者大福引をたす。

北門日報

小樽市稻穂町西六丁目九。創刊大正六年八月一日。株式。十萬圓。夕刊四頁。(版數)二。(附錄)月四回ホーム手帳。(專務)山内信也。(社員)二十三名。(工場員)十五名。(機械)東京機械輪轉機一。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七ポ、十五字、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通一圓、場所指定一圓廿錢。  
 七年創刊十五周年を迎へ七ポ十三段となる。

函館新聞

函館市地蔵町。

函館毎日新聞

函館市鶴岡町一。(電)三四八、三〇三〇。一九〇四。創刊明治十一年一月七日。株式。三十萬圓。朝刊六頁、夕刊四頁。(版數)三。(部數)七年十月五日現在三萬四千七百。(社長)岡田次雄。(副社長)田村明吉。(專務)宮崎芳作。(常務)中谷龜次郎。(支配人)行友憲一。(取締役兼編輯)竹内武夫。(外交)片上喬雄。(整理)八谷繁次郎。(地方)大淵幸三(商況)阿部金衛。(營局)長谷川光

函館日日新聞

函館市蓬萊町百五十五。(電)一五八九、二四九九。創刊大正七年四月五日。個人經營。十萬圓。夕刊六

一。(廣告)荻原照弘。(販賣)長谷川光一。(東京支局)漆原一衛。(大阪支局)松下兵馬。(社員)五十二名。(工場員)七十六名。(機械)折疊式內國製輪轉機一、石川式輪轉機二。字母設備整、活字鑄造機一、コッピ一機三、鉛版鑄造機二、同仕上機二、寫眞版一。(活字)七ポ、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通一圓、特別面一圓五十錢。  
 六年十一月前社長金澤彦作君引退し田村明吉社長となる。  
 七年八月北海タイムス政經部長岡田次雄(天洞)君を社長に迎へ前社長田村明吉君は副社長となり支配人には北海タイムス旭川支局長竹内武夫君を迎へ、同紙との提携機運濃厚となる。  
 社屋新築、工場改善の上株式募集の模様である。  
 同九月株式會社に組織變更の計畫成る。

北海商報

函館市豊川町一。(電)六六七。創刊明治卅一年三月一日。株式。一萬七千五百圓。

頁。(附錄)家庭、婦人、子供、文藝、キネマ。(社主)太刀川善吉。(社長)同。(支配人)佐藤勸三郎。(主筆)齊藤虎之助。(編輯)同。(政治)岡川香風。(經濟)岡山貞吉。(社會)高橋掬太郎。(企畫)村山幸太郎。(營局)佐藤勸三郎(廣告)伊藤米藏。(庶務)藤田正三郎。(大阪支局)片岡房太。(社員)五十四名。(工場員)三十名。(機械)マリノニ輪轉機一、活字鑄造機二、ステロ一、寫眞版一。(活字)七ポ、十五字、百五十四行、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通五十錢、特別面一圓。  
 北海新聞 函館市若松町八四。創刊明治七年一月一日。個人經營。三萬圓。夕刊六頁。(社主)大橋富一郎。(社長)同。(副社長)青木信治。(編輯)同。(廣告)築館高民。(機械)平盤十六頁一。ステロあり。(活字)七半、十三段。一ヶ月五十錢。(廣告料)一圓五十錢。

旭川新聞

旭川市三條通九丁目左一二號。(電)三三三四、三一三六、三四六六、三二一五。創刊大正四年十月一日。個人經營。朝刊八頁、夕刊四頁。(版數)二。(地方版)各地、十勝。(部數)七年十月一日現在三萬二千三百四十。(社主)田中秋聲。(社長)同。

夕刊四頁。(部數)昭和七年九月十二日現在三九五〇。(社長)大川原善藏(專務)富永格五郎。(社員)廿八名。(機械)平盤五。(活字)十一字、七五行、十三段。一ヶ月市内五十錢、地方六十五錢。(廣告料)普通四十錢、場所指定七十錢、特別面八十錢。(兼營)印刷業。  
 函館商報 函館市大町一九、二〇。(電)七七六。創刊明治廿五年五月。個人經營。夕刊四頁。(社主)中井松治郎。(社長)同。(編輯)大久保謙。(營業)佐々木文次郎。(社員)八名。(工場員)十五名。(機械)平盤二。(活字)舊、十三字、七十三行、十段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定七十錢、特別面一圓。(兼營)印刷業。

(編輯)昇季雄。(經濟)山下龍門。(政治)前田義徳。(調査兼事業)小林幸太郎。(社會)山木力。(營局)大森照藏。(經理兼庶務)笠原康。(庶務)野宮熊之進。(販賣)伊部始。(整版)福田富治。(輪轉工場主任)小林國治。(東京支局)西部健而。(大阪支局)松下兵馬。(社員)五十七名。(工場員)三十八名。(機械)東京機械製作所製最新折式輪轉機一、石川式輪轉機一。日本タイプライター一萬能活字鑄造機、東京機械自働ステロ機、寫眞版凸版設備あり。(活字)七ポ、十五字、百五十七行、十三段。一ヶ月九十錢。(廣告料)普通一圓、指定料五十錢、特別面一圓五十錢。(兼營)出版部、上川支廳旭川市役所、公文取扱。  
 滿洲派遣〇〇〇團に山木社會部長を從軍せしむ。  
 駐支落合支隊の爲に慰問袋二千個を贈る。  
 愛國北海道建設費寄附募集並に演藝大會を開き純益を寄附  
 七年五月一日より朝刊六頁を八頁とし朝夕刊十二頁となり、

輪轉機を増設す。  
北海日日新聞 旭川市  
七條通七丁目。創刊大正六年十一月。個人經營。五萬圓。夕刊八頁。(社長)大竹郷朗。(理事)永見茂。(編輯)平野慶一郎。營業部)小林倉造。(廣告)野口義壽。(機械)金津式輪轉機一。ステロあり。(活字)七半、十三段。一ヶ月七十五錢。(廣告料)一圓。

北都毎日新聞 旭川市一條通六丁目。創刊大正十三年三月。個人經營。七千圓。政友系。朝刊八頁。(版數)二。(附録)日曜附録。(部數)六年三月末日現在六千部。(社主)岩崎石夫。(社長)同。(主幹)松原滋二。(編輯)杉本康夫。(營業)堀田鐵朗。(東京支局)高島萬太郎。(社員)三十八名。(工場員)十七名。機械)平盤二。(活字)八半、十四字、六十三行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通一圓、場所指定二割増。

旭川毎日新聞 旭川市三條廿一丁目右一。創刊昭和元年十一月五日。十萬圓。夕刊六頁。(版數)三。(社主)五十嵐兵五郎。

(社長)同。(主筆)阿部忠吉。(營業)工藤良一。(東京支局)松本正夫。(大阪支局)野田澤四郎。(機械)十六頁掛四、號外用一。(活字)七半、一ヶ月五十錢。(特設)社屋二百四十坪、敷地四百八十六坪を有す。  
副業として工作物の製作所の外牧場農場を有す。  
七年創刊五周年を迎へ新機械新活字を購入す。

室蘭毎日新聞 室蘭市海岸町卅三。(電)二二九、三〇四、七四三、七三。創刊明治四十年四月一日。個人經營。五萬圓。夕刊六頁。(附録)大衆讀物號、家庭婦人號。(部數)七年現在一萬六千七百部。(社主)鈴木要吉。(社長)同。(主筆)谷村金次郎。(編輯)同。(政治)工藤順藏。(經濟)増田直喜。(通信)上戸喜一。社會)渡邊一雄。(調査)勝浦良男。(營業)鐵尾鶴吉。(製版)三矢口初藏。(印刷)小井關初藏。(東京支局)赤松彦太郎。(社員)六十四名。(工場員)七十五名。(機械)內國製輪轉機一、內國製平盤印刷機二、活字鑄造機一、コッピ

一機二、鉛版鑄造機二、鉛版仕上機二。(活字)七ボ、十五字、百五十四行、十三版。一ヶ月七十錢。(廣告料)普通六十錢、場所指定一圓五十錢。  
最近に於て本社諸事業中最も大なるものは、北海道開拓史料展覽會の開催、郷土史物語の出版、經濟振興週間の催し等にして、何れも地方的人氣の焦點たり。

室蘭新報 室蘭市公園町。創刊昭和二年十月。個人經營。三萬五千圓。夕刊四頁。(版數)二。(社長)田代三郎。(副社長)岩田鐵臣。(主筆)同。(編輯)同。(營業)島貫三太郎。(機械)平盤五、ステロ設備あり。(活字)七半、十五字、百二十三行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)九十錢。  
釧路新聞 釧路市大町二丁目。(電)四、一五、七五五、九〇七。創刊明治三十五年七月二十五日。合資。三萬圓。朝刊四頁、夕刊四頁。(版數)一。(部數)七年九月十日現在一萬二千。(社長)遠藤清一。(編輯)齋藤秀

三。(政經)矢島三郎。(社會)波多野英一郎。(調査)井上尙陸。(文藝)吉田仁磨。(通信)熊谷行通。(營業)遠藤清一。(販賣)大原宗次郎。(廣告)浦野傳。(會計)近藤定一。(東京支局)原田柳二。(大阪支局)同。(社員)三十二名。(工場員)三十五名。(機械)マリノニー式輪轉機一、活字鑄造機一、ステロ二、寫眞設備一。(活字)七ボ、十五字、百五十二行、十三段。一ヶ月一圓。(廣告料)普通八十錢、特別面一圓二十錢。  
釧路日日新聞 釧路市西舞舞二十三。創刊大正五年八月三十日。合資。三萬圓。朝刊四頁。(社長)渡邊源四郎。(主筆)相神登吉。(編輯)中村武。(營業)仙北屋憲三。(廣告)松島常吉。(機械)平盤三。ステロあり。(活字)七半、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)八十錢。  
釧路實業新聞 釧路市浦見町三。創刊大正十三年二月七日。個人經營。五萬圓。朝刊四頁。(社長)半田銚治。(主筆)山本其八。(編輯)岡部勤一。(營業)若林三太郎。(機械)平盤一。ス

備あり。(活字)十四字、百三十三行、十二段。一ヶ月市内六十錢、地方七十錢。  
根室新聞 根室町有磯町。創刊明治二十二年九月。株式。一萬五千圓。夕刊四頁。(社長)兼古萬吉。(主筆)石黒林太郎。(機械)平盤一。(活字)八ボ、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)四十錢。  
宗谷新報 稚内町本通北三。(電)代表二。創刊明治三十六年七月十五日。個人經營。五萬圓。夕刊四頁。(地方版)利禮、頓別、宗谷。(部數)七年現在八千五百部。(社主)岡田義胤。(社長)同。(常務)山田榮一。(編輯)社長兼務。(營業)山田榮一。(東京支局)赤松彦太郎。(大阪支局)西谷唯雄。(社員)二十一。(工場員)十三名。(機械)菊版廿四面掛、四六十六面掛、美濃一枚かけ各二。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七半、十五字、九十八行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通三十錢、場所指定二倍、特別面一圓。

テロ設備あり。(活字)八半。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通一圓、指定三割増。  
十勝新報 帶廣町西三條九丁目。(電)三四。創刊昭和二年五月。株式。三萬六千圓。民政黨。夕刊四頁。(部數)七年現在三千七百部。(社長)早坂英雄。(副社長)野村文吉。(事務)早坂英雄。(編輯)山黒政則。(編輯)土岐且元。(營業)渡邊金藏。(東京支局)原田柳二。(大阪支局)大林成二。(社員)十八名。(工場員)廿三名。(機械)輪轉機一、平盤二。ステロ寫眞版あり。(活字)七半、十五字、百四十行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定一圓、特別面一圓五十錢。

十勝新聞 帶廣町。(電)四四。創刊明治四十二年。個人經營。五萬圓。夕刊四頁。(附録)婦人と家庭。(部數)七年末日現在三千八百。(社主)日景安太郎。(社長)同。(副社長)日景瑞東。(主筆)同。(編輯)同。(營業)同。(東京支局)赤澤政助。(大阪支局)福井薫。(社員)五十五名。(工場員)十八名。(機械)平盤二。ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七半、十四字、百三十七行、十三段。一ヶ月七十錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定一圓、特別面一圓五十錢。  
根室日報 根室町大字彌榮町二丁目。(電)一四三。創刊大正十四年十一月。株式。五萬圓。民政黨。朝刊四頁。(部數)七年九月一日現在三千二百部。(社長)小池仁郎。(副社長)本城文雄。(支配人)小野寺六郎。(編輯)安住逸夫。(商業經濟部)武政喜作。(社會部)岸田道郎。(營業)小野寺六郎。(會計主任)下村久勝。(外交主任)加藤徳三郎。(東京支局)原田柳二。(社員)二十六名。(工場員)十七名。(機械)平盤二。ステロ、寫眞版設

備あり。(活字)十四字、百三十三行、十二段。一ヶ月市内六十錢、地方七十錢。  
根室新聞 根室町有磯町。創刊明治二十二年九月。株式。一萬五千圓。夕刊四頁。(社長)兼古萬吉。(主筆)石黒林太郎。(機械)平盤一。(活字)八ボ、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)四十錢。  
宗谷新報 稚内町本通北三。(電)代表二。創刊明治三十六年七月十五日。個人經營。五萬圓。夕刊四頁。(地方版)利禮、頓別、宗谷。(部數)七年現在八千五百部。(社主)岡田義胤。(社長)同。(常務)山田榮一。(編輯)社長兼務。(營業)山田榮一。(東京支局)赤松彦太郎。(大阪支局)西谷唯雄。(社員)二十一。(工場員)十三名。(機械)菊版廿四面掛、四六十六面掛、美濃一枚かけ各二。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七半、十五字、九十八行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通三十錢、場所指定二倍、特別面一圓。

留萌新聞 留萌町留萌百三十。創刊大正十二年十月十八日。個人經營。二千圓。政友派。夕刊小型四頁。(社長)佐藤孝司。(主筆)山川安太郎。(營業)鳴海治八。(活字)舊、十四字、四十五行、九段。一ヶ月四十錢。(廣告料)四十錢。  
留萌日日新聞 留萌町南大通り。創刊大正十三年八月三十一日。個人經營。朝刊四頁。(社長)城川徹郎。(活字)八ボ、十五字、八十二行、十二段。一ヶ月市内五十錢、地方六十五錢。(廣告料)普通一圓、場所指定一圓五十錢。  
留萌實業新聞 留萌町。創刊大正十四年。個人經營。朝刊四頁。(社長)鈴木兵亮。(主筆)岩下美之助。(機械)平盤二。(活字)九ボ。  
北見新聞 野付牛。創刊明治四十五年三月。個人經營。民政系。夕刊四頁。(社長)千葉兵藏。(支配人)三浦慶吉。(編輯)永井勝次郎。(營業)景家良藏。(廣告)石橋鐵一。(機械)平盤二。(活字)九ボ。一ヶ月六十錢。(廣告料)六十錢。

留萌新聞 留萌町留萌百三十。創刊大正十二年十月十八日。個人經營。二千圓。政友派。夕刊小型四頁。(社長)佐藤孝司。(主筆)山川安太郎。(營業)鳴海治八。(活字)舊、十四字、四十五行、九段。一ヶ月四十錢。(廣告料)四十錢。  
留萌日日新聞 留萌町南大通り。創刊大正十三年八月三十一日。個人經營。朝刊四頁。(社長)城川徹郎。(活字)八ボ、十五字、八十二行、十二段。一ヶ月市内五十錢、地方六十五錢。(廣告料)普通一圓、場所指定一圓五十錢。  
留萌實業新聞 留萌町。創刊大正十四年。個人經營。朝刊四頁。(社長)鈴木兵亮。(主筆)岩下美之助。(機械)平盤二。(活字)九ボ。  
北見新聞 野付牛。創刊明治四十五年三月。個人經營。民政系。夕刊四頁。(社長)千葉兵藏。(支配人)三浦慶吉。(編輯)永井勝次郎。(營業)景家良藏。(廣告)石橋鐵一。(機械)平盤二。(活字)九ボ。一ヶ月六十錢。(廣告料)六十錢。

留萌新聞 留萌町留萌百三十。創刊大正十二年十月十八日。個人經營。二千圓。政友派。夕刊小型四頁。(社長)佐藤孝司。(主筆)山川安太郎。(營業)鳴海治八。(活字)舊、十四字、四十五行、九段。一ヶ月四十錢。(廣告料)四十錢。  
留萌日日新聞 留萌町南大通り。創刊大正十三年八月三十一日。個人經營。朝刊四頁。(社長)城川徹郎。(活字)八ボ、十五字、八十二行、十二段。一ヶ月市内五十錢、地方六十五錢。(廣告料)普通一圓、場所指定一圓五十錢。  
留萌實業新聞 留萌町。創刊大正十四年。個人經營。朝刊四頁。(社長)鈴木兵亮。(主筆)岩下美之助。(機械)平盤二。(活字)九ボ。  
北見新聞 野付牛。創刊明治四十五年三月。個人經營。民政系。夕刊四頁。(社長)千葉兵藏。(支配人)三浦慶吉。(編輯)永井勝次郎。(營業)景家良藏。(廣告)石橋鐵一。(機械)平盤二。(活字)九ボ。一ヶ月六十錢。(廣告料)六十錢。

なよろ新聞 名寄町二條通南

八丁。創刊大正九年九月九日。個人經營。朝刊四頁。(社長)岡田新一。(營業)佐藤政雄。(機械)平盤二。(活字)舊、十一字、九十六行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)八十錢。

天鹽中央新聞 羽幌町。創刊

大正十一年五月二十三日。個人經營。一萬圓。夕刊小型四頁。(社長)市川孜。(營業)内山金藏。(機械)平盤三。(活字)十二字、四十三行、七段。一ヶ月五十錢。(廣告料)一圓。

苫小牧毎日新聞 苫小町。小

型四頁。(兼營)印刷業。

### 樺太

人口.....二五、一八七

世帯數.....五、九八七

樺太は人口に比較して新聞の數極めて多く、それに北海道方面からの移入紙もあり、東京からも入り、地元紙の大をなすものがない。新聞中心地は豊原、大泊、真岡等に分れ中であつて最も有力とせられるのは豊原町の

樺太日日新聞、真岡町の樺太時

事等である。次に木材工業地として注目されつゝある敷香町につき地元紙及び移入紙の情況を見るに、地元紙として敷香時報、敷香新聞の二紙あり。後者は最近活版紙となつたもので問題でないが、前者は發行部數約千二百で小ながらに相當成績を挙げ、移入紙は七年九月某日の調べによれば

- 北海タイムス 一〇〇
- 小樽新聞 七〇
- 樺太日日新聞 六〇
- 東京朝日新聞 八五
- 時事新報 五五
- 報知新聞 五〇
- 東京日日 三〇

とある。但し同地に通信員を有するものは東朝、時事、北海ムス、小樽の四紙で、報知と東京日は未設置である。

樺太日日新聞 豊原町大通。(電)二二一〇、二二一一、二二一二、二四一〇。創刊明治四十年八月二十一日。個人經營。八萬圓。朝刊四頁、夕刊四頁。(社長)沖島謙三。(副社長)太田

鎮雄。(主事)加藤源吾。(主筆)代理)福家勇。(編輯)小林金三。(夕刊)杉田清作。(朝刊)能伸文夫。(營業)加東源吾。(販賣)森川榮一。(廣告)上田一明。(東京支局)鈴木繁次郎。(大阪支局)金井勝三郎。(社員)三十一名。(工場員)六十二名。(機械)輪轉機マリノニ式一。活字鑄造機、ステロ、寫真版整備。(活字)七半、十五字、百四十五行、十二段。一ヶ月一圓。(廣告料)普通三十錢乃至六十錢、特別面五割増。(兼營)樺太の代表的印刷業樺太印刷合資會社。  
樺太版の公布式指定登載、登記公告掲載紙。  
六年十二月より朝夕刊八頁發行。  
全島の通信網完備と共に北海道へ進出せんとする計畫あり。  
樺太萬朝報 豊原町東三條南八丁目。創刊昭和三年十月。個人經營。一萬五千圓。夕刊四頁。(部數)六年九月現在二、五〇〇部。(社主)佐々木慶一郎。(社長)同。(主幹)三木茂。(主筆)同。(編輯)同。(營業)遠藤定

明。(社員)二十二名。(工場員)十二名。(機械)平盤二。ステロ有り。(活字)八ボ、十四字、八行、十二段。一ヶ月五十錢。(兼營)各社印刷物。  
樺太中央新聞 豊原町東一條南二丁目。創刊大正七年四月三日。個人經營。夕刊四頁。(版數)一。(附錄)一。(部數)六年八月三十日現在三、二六七部。(社長)米良雅樂繁。(支配人)清水義介。(編輯)小林源吉。(營業)支配人兼任。(廣告)若崎松三。(東京支局)宇野米雄。(機械)平盤二。ステロ設備あり。(活字)八半、十三字、百二十行、十二段。一ヶ月八十錢。(廣告料)一圓。  
北陽新聞 豊原町東三條南七丁目。創刊昭和四年。個人經營。二萬圓。夕刊四頁。(社長)近藤角治。(機械)平盤二。(活字)舊、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)一圓。  
大北新報 大泊町本町東二條北一丁目。創刊大正十三年十一月三日。個人經營。八萬圓。夕刊四頁。(社主)中村正次郎。(社長)同。(營業)邊見純至。(機

械)ロール二。活字鑄造機、ステロ、寫真テック版の設備あり。

(活字)七半、十五字、百四十一行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)八十錢。

大泊毎日新聞 大泊町字本町

西二條南三丁目二。創刊大正十二年十月十五日。個人經營。七千圓。夕刊四頁。(版數)一。(部數)六年九月二十日現在三千五百部。(社主)井田良三。(社長)同。(主筆)佐藤至孝。(編輯)澁川伸。(營業)加藤清藏。(東京支局)淺井信明。(社員)十一名。(工場員)十四名。(機械)平盤二。ロール足踏一。ステロ設備有り。(活字)九ボ、十二字、八十五行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通一圓、特別面一圓五十錢。

樺太民友新聞 大泊本町西一

條南六ノ二八。(電)四六九。創刊大正三年八月十三日。合資。五萬圓。政友系。夕刊四頁。(部數)七年一月一日現在二千五百。(社主)沙海助二郎。(社長)同。(編輯)黒澤章。(營業)高山三千夫。(東京支局)日比野良三。(大

阪支局)松下兵馬。(社員)廿五

名。(工場員)十二名。(機械)平盤一。(活字)八半、十三字、八十五行、十二段。一ヶ月一圓。

大樺太新聞 大泊町榮町大通

番地外。創刊昭和三年三月十八日。朝刊四頁。(社長)藤田章督。南一丁目二。創刊昭和四年。(社長)赤井鐵藏。

樺太中日新聞 大泊町西一條

一丁目二。創刊昭和四年。(社長)豊守貞。

樺太時事新聞 真岡港山

手町二。(電)三三六、三〇二、六二二。創刊明治四十年十一月。個人經營。十五萬圓。朝刊四頁。(社主)栗岡巳八。(社長)同。(副社長)長井準太郎。(編輯)社長兼任。(政治)間瀬喜一。(社會)岩下貞雄。(營業)井上三男。(廣告)吹越貫一。(販賣)横山稔。(東京支局)古川文次郎。(社員)二十八名。(工場員)十九名。(機械)TKS式輪轉機一、四六版一。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七半、十五字、百四十五行、十二段。一ヶ月

月一圓。(廣告料)普通六十錢。特別五割増。

樺太北進 樺太北進新聞社發行

真岡港。(電)七三〇。創刊大正十五年一月一日。個人經營。夕刊四頁。(部數)七年現在二千枚。(社主)川崎和一郎。(社長)同。(專務)佐藤慶治。(編輯)川崎和一郎。(營業)佐藤慶治。(社員)七名。(工場員)八名。(機械)四六版十六頁平盤一。(活字)九ボ、十二字、七十三行、十二段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普通八十錢、特別面三割増。

北洋タイムス 真岡町石濱五

丁目五。創刊昭和五年。(社長)山野隼人。  
惠須取毎日新聞 惠須取町本

會)小池隆治。(營業)西谷彰。

(販賣)同。(廣告)金成峯。(東京支局)原田操治。(社員)十二名。(工場員)十五名。(機械)平盤ロール十六面一、菊八頁一、鉛版鑄造機一。(活字)九ボ、十二字、八十行、十三段。一ヶ月一圓。(廣告料)普通一圓、場所指定倍額、特別面三圓。(兼營)八年度には創刊五週年記念號發行、記念事業舉行、夕刊發行社屋新築等の計畫あり。

樺太報知新聞 惠須取町。(電)

二二〇。創刊大正十五年三月十五日。個人經營。二萬五千圓。朝刊四頁。(版數)一。(部數)七年三月末日現在七千部。(社主)柳田十郎。(社長)同。(編輯)坂元實。(營業)坂元直哉。(社員)十八名。(工場員)四名。(機械)四六平盤一。ステロあり。(活字)八半、十三字、七十五行、十二段。一ヶ月一圓。

新樺太 (第二西海新報の改題)

(樺太西海新報の經營)惠須取町本町。創刊大正十五年十一月一日。朝刊四頁。(社長)坂井イシ。

(機械)平盤一。(活字)九ボ、十  
二段。一ヶ月一圓。(廣告料)一  
圓。

■七年第二西海新報を改題す。  
樺太タイムス 落合町山通二

八。創刊大正十一年五月。個人  
經營。五萬圓。夕刊四頁。(部數)  
六年八月卅一日現在四千八百部  
(社長)中山吉藏。(社員)二十名。  
(工場員)二十五名。(機械)平盤  
二、菊八一。ステロあり。(活字)  
八ボ、十四字、百二十行、十二  
段。一ヶ月五十錢。(廣告料)普  
通八十錢、場所指定特別面二圓。  
(兼管)印刷業。

落合日報 落合町中通一一九。  
創刊昭和五年。(社長)元間榮太  
郎。

樺太新聞 本斗郡本斗町大通八  
ノ五。(電)一四一、六七。創刊  
大正七年八月十日。合資。五萬  
圓。夕刊四頁。(附録)月曜婦人  
子供頁二頁。(社主)吉澤福治。  
(社長)同。(總務)吉澤恕一郎。  
(理事)吉澤鐵男。(主筆)吉澤想  
一郎。(編輯)吉岡三芳。(政經)  
鈴木清吉。(社會)平井桃太郎。  
(企畫)吉澤輝子。(外交)徳田敏

吉。(營業)淺見卓爾。(會計)田  
邊俊吾。(發送)安江喜市。(外  
交)吉澤禮子。(東京支局)赤松  
彦太郎。(大阪支局)島田善策。  
(社員)二十一名。(工場員)十八  
名。(機械)四六版三十二頁平盤  
一、同十六頁一、三々版六頁一。  
ステロ四六版十六頁一。(活字)  
九ボ、十二字、七十四行、十二  
段。一ヶ月一圓。(廣告料)普通  
一圓、場所指定一圓三十錢、特  
別面一圓五十錢。

樺太西海新報 泊居町南本町  
六丁目。創刊大正八年一月一日。

個人經營。三萬圓。民政黨。朝  
刊四頁。(社長)田山英次郎。(編  
輯)安藤與一。(營業)櫻井秀三  
郎。(機械)四六六頁一、三三  
判一、手フット二。ステロあり。  
(活字)九ボ、十二字、七十二行、  
十二段。一ヶ月一圓。(廣告料)  
一圓。(兼管)印刷部、新樺太。

■七年、創刊十五周年を迎ふ。  
樺太日報 泊居町本町。創刊昭  
和三年十二月二十六日。夕刊四  
頁。(部數)七年現在二千百。(社  
主)鈴木清二。(社長)同。(東  
京支局)淺山正義。(社員)六名。

(工場員)十一名。(機械)平盤二。  
(活字)九ボ、十二字、七十八行、  
十二段。一ヶ月九十錢。

樺太毎日新聞 知取町濱町。  
創刊大正十五年十月二十四日。

個人經營。夕刊四頁。(版數)一。  
(部數)六年九月十五日現在二千  
五百部。(社主)田中直長。(社  
長)同。(支配人)佐々木隆吾。  
(編輯)安田長一郎。(警局)表喜  
一。(東京支局)小松吉太郎。  
(機械)ロール二。ステロ有り。  
(活字)七半、十四字、八十八行、  
十三段。一ヶ月八十錢。(廣告料)  
普通一圓、場所指定五割増、特  
別面二圓。(兼管)映畫館。  
■七年七月一日より七半、十三  
段となる。

東樺日日新聞 知取町幸町二  
丁目。(電)四一六、二六九。創  
刊大正十五年一月一日。個人經  
營。二萬圓。夕刊四頁。(版數)  
一。(社主)一柳直一。(社長)同。  
(主幹)佐藤一良。(主筆)一柳直  
一。(編輯)藤川聰憲。(政經)大  
塚喜悅。(社會)下山義勝。(營  
業)渡邊覺見。(廣告)黒井清藏。  
(販賣)細谷貞三。(社員)十七

名。(工場員)十八名。(機械)平  
盤十六頁一。活字鑄造機一。  
ステロ一。(活字)七半、十四字、  
百四十四行、十三段。一ヶ月五  
十錢。(廣告料)普通三十錢、場  
所指定五割増、特別面十割増。  
樺太敷香時報 敷香町宮通南  
三丁目二十。(電)四一、二二二。  
創刊大正十五年五月一日。個人  
經營。二萬圓。朝刊四頁。(版數)  
一。(部數)七年現在二、〇〇〇。  
(社主)尾崎重直。(社長)同。(主  
筆)佐藤克巳。(編輯)同。(經  
濟)久保田武男。(營業)小林一  
義。(會計)津田吉治。(東京支  
局)小出秀二。(社員)十二名。  
(工場員)二十二名。(機械)四六  
版平盤一、號外用一。活字鑄造  
機一、ステロ一。(活字)七半、  
十五字、八十三行、十二段。一  
ヶ月八十錢。(廣告料)普通八十  
錢、場所指定一割増、特別面二  
割増。

■樺太年鑑(昭和六年より毎年  
刊行)  
■七年一月二十八日金社屋を燒  
失したが一日も休刊せず、新活  
字購入まで謄寫版印刷を以つて

速報し四月八日より舊態に復  
す。

敷香新聞 敷香町小松通北三丁  
目五。創刊昭和四年。(社長)乳  
井善藏。(編輯)伊藤康太郎。(活  
字)九ボ。

■從來ラヂオ、ニュース本位の  
謄寫版であつたが七年八月一日  
より活字紙となる。

樺太新報 野田郡野田町大通四  
丁目七。(電)一六四。創刊大正  
十一年二月二十一日。個人經營。  
二萬五千圓。朝刊四頁。(社主)  
西田馨。(社長)同。(主筆)同。  
(編輯)川崎勇治。(營業)中村世  
之介。(社員)十一名。(機械)四  
六十六頁掛ロール一、美濃一枚  
掛ハンド一。(活字)十一字、八  
分組九十行、十二段。一ヶ月五  
十錢。(廣告料)普通五十錢、場  
所指定一圓、特別面一圓五十錢。

### (三) 臺灣

▲人、口……四、五九四、一六一  
▲世帯數……八〇九、〇七六  
本島人の新聞を購讀するものは

極めて少數だから、これは殆んど  
問題でなく、約二十萬の内人が  
対象となる。而して此處では永ら  
く一市一紙許可主義が取られて居  
り、爲めに全島を通じて四日刊紙  
が發行されてゐるに過ぎなかつた  
が、昭和七年に至り、本島人を背  
景とする週刊臺灣民報が日刊臺灣  
新民報として登場したので、漸く  
五新聞となつた。日刊紙は總督府  
の御用紙的色彩濃厚なる點に於て  
總て其撥を一つにし、臺灣新民報  
が出現するまでは、政黨的に又は  
階級的に勢力の分野を異にする處  
がなかつた。從來の日刊紙中では  
臺灣日日新報が最も有力とされ、  
臺南新報これにつぐ。又日刊紙が  
達し、中には經世新報などの如く、  
販賣部數一萬數千と稱するものさ  
へある。

臺灣日日新報 臺北市榮  
町四丁目三十二。(電)三八〇〇。  
創刊明治三十一年五月。(株式)

一百万圓。朝刊八頁、夕刊四頁。  
(版數)二。(附録)臺灣總督府々  
報、臺北州報、臺北市報、臺日  
グラフ。(地方版)一。(社長)河

村徹。(支配人)長谷理教。(主  
筆)大澤貞吉。(編輯)同。(政  
治發漢文)同。(整理兼社會)鈴  
木幸藏。(經濟)杉野嘉助。(校  
正)大澤榮之進。(警局)長谷理  
教。(新聞課)同。(印刷兼販賣  
課)瀧川首。(會計課)伊藤道三。  
(工場長)清水梅太郎。(東京支  
局)永井省三。(大阪支局)入員  
良郎。(社員)二六七名。(工場  
員)二六六名。(機械)輪轉機三。  
活版印刷機一〇、石版印刷機一  
二、グラビア印刷機二、オフセ  
ット印刷機一。活字鑄造機、ス  
テロ、寫眞版設備あり。(活字)  
七ボ、十五字、一五五行、十三  
段。一ヶ月一圓三十五錢。(廣告  
料)普通八十錢、場所指定一圓  
五十錢、特別面一圓二十錢。(兼  
管)活版、石版、寫眞版、亞鉛  
版、オフセット、活字鑄造、和  
洋紙印刷材料販賣、圖書出版、  
活動寫眞撮影並に映寫。

■東京書籍商組合の指定紙。

臺灣新民報 臺北市末廣  
町五ノ八。(電)一〇一五、三八  
七九、四一一。創刊大正九年  
七月十六日。株式。三十六萬二

千五百圓。朝刊八頁。(版數)一。  
(專務)羅萬俔。(主筆)林呈祿。  
(編輯)同。(編輯總務兼整理兼  
學藝)黃周。(編輯總務兼整理兼  
政治)吳三連。(社會)黃呈聰。  
(經濟)陳逢源。(調査)黃登洲。  
(警局)羅萬俔。(販賣)阮朝日。  
(廣告)陳燕南。(會計)林煥清。  
(庶務兼文書課長)黃洪炎。(東京  
支局)通信部長森岩吉。(廣告部  
長)祖上祐三。(大阪支局)浮田金  
次。(社員)本社一四六名、地方  
一三九名。(工場員)八〇名。(機  
械)マリノニ輪轉機一、手廻鑄  
造機二、ステロ設備完全、寫眞版  
設備は大阪小四六より最新式の  
一切を購入。(活字)七ボ、十五字  
一五五行、十三段。一ヶ月一圓。  
(廣告料)普通八十錢、場所指定  
一圓五十錢、特別面一圓二十錢。  
■本紙は從來週刊紙として大正  
九年より發行し來りたるも昭和  
七年四月十五日より臺灣當局の  
許可を得て日刊發行に改め目下  
發行部數三萬、四百五十萬臺灣  
民衆の支持する唯一の臺灣人本  
位の言論機關として前途洋々た  
るものあり。

### 臺南新報

臺南市本町三丁目二三四(電)二二、二二二、六四四、七八一、九九〇。創刊明治三十二年。株式。十萬圓。朝刊八頁、夕刊四頁。(版數)一。(社長)富地近思。(副社長)宮本一學。(支配人)田中政太郎。(主筆)中村事。(編輯)同。(社會)室谷信次郎。(速記)石原俊二。(政治)宮下良夫。(經濟)田里維章。(廣告)安井俊之。(庶務)新井勝藏。(會計)田部理三。(工務)奥田捐吉。(東京支局)大西隆之助。(大阪支局)辻覺次郎。(社員)一〇八名。(工場員)一〇八名。(機械)石川式輪轉一、津田式輪轉色刷一、各種平盤二〇、活字鑄造機三、寫眞製版機二、ステロ設備あり。(活字)七ボ、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月一圓三十五錢。(廣告料)

### 臺灣新報

臺中市明治町一ノ五。(電)二〇、二〇〇、一〇三。創刊明治三十四年五月一日。株式。二萬圓。朝刊八頁、夕刊四頁。(版數)一。(地方版)新竹版(二頁)。(部數)昭和七年九月一日現在一五、〇〇〇。(社長)松岡富雄。(支配人)坂本登。(編輯)日高茂。(營局)坂本登。(東京支局)德富迪。(大阪支局)萩原一雄。(社員)七十二名。(工場員)百三十名。(機械)輪轉機二、平盤九。活字鑄造機、ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七ボ、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月一圓三十五錢。(廣告料)普通八十錢、場所指定一圓二十錢、特別面一圓六十錢。(兼營)普通印刷、製本、活字販賣、寫眞撮影。

### (三)朝鮮

人口……二、〇七、九六九  
世帯數……三、九七、七三三

朝鮮の新聞界は邦字新聞と朝鮮新聞の二つに分れ、前者は主として約四十萬の内地人を目標とし、後者は朝鮮人大家を相手としてゐる。而して邦字新聞は數が多く諺字新聞は數が少ないので、前者の遣り惡いのに比して後者はやゝ遣り易い譯である。たゞ朝鮮人經營の諺字新聞は發行禁止を受けること屢々で、そこに經營者の惱みがある。

朝鮮の新聞中心地は京城を以て第一とし、次は釜山、大邱等である。京城日報は總督府の機關紙として臺灣日日、滿洲日報などと共に我國植民地に於ける代表的新聞に屬し、別に諺字紙の毎日申報、英字紙のセウプレス兼營してゐる。而して今までの滿洲日報など

### 京城日報

京城府太平通一丁目三一。(電)光化門四〇〇一四〇四、七〇四、二五〇三。(創刊)明治三十九年九月一日。合資會社。五十萬圓。朝刊八頁、夕刊四頁。(副社長)中尾龍夫。(支配人)中野繁夫。(主筆)桑原磊三。(編輯)同。(理事)東京支社佐藤巖。(大阪支局)兒島吉治。(機械)R.T.S折疊式輪轉機一、T.H.S式輪轉一、マリノニ式輪轉機二、平盤四。池貝式活字鑄造機、ステロ、寫眞設備あり。(活字)七ボ、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月一圓。(廣告料)普通一圓三十錢。場所

### 朝鮮新聞

指定冊錢増。(兼業)毎日申報(朝鮮語)及びセウプレス(英字)。昭和五年二月十二日より資本金を五十萬圓に増加し、セウプレス社を合併し、毎日申報を八頁に増頁した。

七年七月下旬より五十日間城東順慶院一萬六千坪に滿蒙博覽會を催した。

同年十月小松謙次郎君が社長に内定したが赴任の途中病歿した。

京城府太平通二丁目一五。(電)本局三三一六三三、一八、八五六、一〇七〇。創刊明治二十一年四月三日。株式。三十萬圓。朝刊六頁、夕刊四頁。(附録)月曜附録。(社長)牧山耕藏。(副社長)權藤四郎介。(常務)太田幸郎、關原二男。(主筆)同。(編輯)和田重義。(編輯)永森稔。(政治)荒卷豊一郎。(經濟)東條哲士。(社會)野崎眞三。(通信)廣幡謙太郎。(學藝)松村正彦。(廣告)石田福市。(販賣次長)關猛虎。(外交)江藤徳衛。(經理)西村廣行。(寫眞次長)田端元國。(東京支社)關原

### 朝鮮商工新聞

京城府黃金町二ノ一九九。(電)本局一一八、一五八一、四五四〇、四五五〇。創刊大正九年十一月。個人經營。二十萬圓。夕刊四頁。(版數)一。(部數)七年九月一日現在一六、三〇〇部。(社長)齋藤五吉。(主筆)同。(編輯)波邊四朗。(經濟)加藤清吉。(整理)日野原淑。(營局)松山操。(外交)益野小市。(專賣所長)横山博至。(廣告)小林浩爾。(庶務局)皆川留作。(工務局)木林浩爾。(東京支社)鯉島宗也。(大阪支社)西池末彦。(社員)五〇名(支局を合ます)。(工場)四八名。(機械)マリノニ式輪轉機一、平盤三、活字鑄造機三。ステロ、寫眞版設備あり。(活字)七半、一四字、一四五行、十三段。一箇

### 朝鮮日日新聞

京城府黃金町二ノ一九九。(電)本局一一八、一五八一、四五四〇、四五五〇。創刊大正九年七月一日。個人經營。十五萬圓。夕刊四頁。(版數)二。(部數)七年九月一日現在一五、〇〇〇部。(社長)齋藤五吉。(主筆)同。(編輯)波邊四朗。(經濟)加藤清吉。(整理)日野原淑。(營局)松山操。(外交)光田幸作。(專賣所長)横山博至。(廣告)小林浩爾。(庶務局)皆川留作。(工務局)小林浩爾。(東京支社)鯉島宗也。(大阪支社)西池末彦。(社員)四八名(支局を合ます)。(工場)四八名。(機械)朝鮮商工新聞に同じ。(活字)七半、一四字、一四五行、一三段。一箇月五十錢。(廣告料)普通一圓三十錢、場所指定二圓六十錢、特別面二圓六十錢。

### 每日申報

京城府太平通一丁目三一。(電)光化門二三〇〇一三〇四、六一五、三七二。創刊大正九年三月。組合。七十萬圓。夕刊八頁。(附録)農民讀本其他。(地方版)全鮮十三道版、時々三百六十餘郡紹介版等。(部數)六年十月三十日現在十萬部。(社長)安在鴻。(編輯)韓基岳。(編

### 朝鮮日報

京城府堅志洞。(電)光化門二三〇〇一三〇四、六一五、三七二。創刊大正九年三月。組合。七十萬圓。夕刊八頁。(附録)農民讀本其他。(地方版)全鮮十三道版、時々三百六十餘郡紹介版等。(部數)六年十月三十日現在十萬部。(社長)安在鴻。(編輯)韓基岳。(編

部)李瑛根。(政治)同。(社會)金基鎮。(經濟)韓基岳。(地方)李時院。(學藝)安錫柱。(調査)李如星。(營局)李昇復。(營部)李源永。(工務局)朴昌根。(廣告)李昇復。(販賣)金敬英。(庶務)李圭英。(東京支局)金容采。(大阪支局)李鎬泰。(社員)八十四名。(工場員)六十名。(機械)折式輪轉機二、金津式二、平盤二、活字鑄造機五。寫真版設備あり。(活字)七・七五、十四字、百四十二行、十三段。一ヶ月一圓。(廣告料)普通一圓二十錢、場所指定三割増、特別面二圓。七年中發行權問題に絡んで内輪採めの爲め休刊した。

東亞日報

(鮮文)京城府光化門通一三九。(電)一九〇〇—一九〇四、五二九、七三〇。創刊大正九年四月一日。株式。七十萬圓。夕刊八頁。(版數)三。(地方版)中央、西北、西南。(社長)宋鎮禹。(副社長)張德秀。(營局)梁源模。(編局)李光洙。(編局次長)薛義模。(政治)鞠琦烈。(經濟)徐椿。(地方)朴瓊熙。(社會)玄鎮健。(調査)金佑杓。

中央日報

(鮮文)京城府堅志洞六〇。(電)光化門二五二、二五六七。創刊大正十五年十一月十五日。個人經營。二十萬圓。夕刊六頁。(社長)盧正一。(政治)裴成龍。(學藝)朴英熙。(地方)柳光烈。(社會)朴八陽。(庶務)權憲吉。(會計課)金英濟。(機械)マリノニ式輪轉機一、平盤一。活字鑄造機、ステロあり。(活字)七・七五、十四字、百三十行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通一圓、特別面二圓。

前名を中外日報と云ひ株式組織の處昭和六年九月二日解散となり現社長の經營に移り、社名題號を變更す。

民衆新聞

(鮮文、國文)京城府太平道二の三六六。創刊昭和五年二月十日。國民協會の機關紙。夕刊四頁。(社長)金錫泰。(主筆)吳台煥。(編輯)李義用。(營業)金錫晉。(活字)九ボ、七段。一ヶ月三十錢。(廣告料)五十錢。セウル・プレス。(英字)京城日報社の經營)京城府太平道一丁目三一。創刊明治三十九年十二月。合資。五十萬圓。朝刊四頁。(附録)日曜附録。(支配人)中野繁夫。(整理)小宮山陸三郎。(東京支社)佐藤巖。(大阪支社)兒島吉治。(機械)平盤二。寫真版設備あり。六段。一ヶ月一圓。昭和五年二月十一日より京城日報社の兼營に移る。

釜山日報

釜山大倉町。(電)二〇〇一—二〇〇五、四〇九、四三〇、一一〇〇。創刊明治三十八年二月一日。株式。二十五萬圓。朝刊六頁、夕刊四頁。(社長)芥川浩。(副社長、編局)

朝鮮時報

釜山府西町四丁目六。創刊明治二十五年十二月五日。合資。十萬圓。夕刊四頁。(地方版)京城、大邱、麗水、新義州。(社長)今川廣吉。(主筆)清水雲治。(編輯)同。(營業)同。(東京支局)宮本正義。(大阪支

局)松本三郎。(機械)輪轉機一、平盤二。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七・七五、十五字、百四十五行、十二段。一ヶ月六十錢。(廣告料)普通一圓、場所指定一圓五十錢、特別面二圓。

平壤每日新聞

平壤府紅梅町一。創刊大正九年四月十日。組合。三十二萬圓。夕刊四頁。(版數)一。(地方版)毎月五回以上黃海版(四頁)發行。(部數)六年九月一日現在五千八百三十七部。(社長)大橋恒藏。(支配人)佐々木鐵藏。(主幹)森幸次郎。(編局)同。(編輯)片野字一。(營局)支配人兼務。(東京支局)岩瀨太平。(大阪支局)松本三郎。(社員)四十三名。(工場員)二十三名。(機械)マリノニ式輪轉機一、十六頁平盤一。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七・七五、十五字、百四十行、十二段。一ヶ月七十錢。(廣告料)普通最高七十錢、最低十錢、場所指定一圓、特別面最高一圓、最低五十錢。(兼營)代理部。

朝鮮每日新聞

仁川府濱町。創刊大正十年八月一日。個人經營。二十萬圓。夕刊六頁。(社長)後藤連平。(主筆)前田力。(編輯)米原精一。(營業)平野達也。(廣告)德永貞一。(機械)津田式輪轉一、平盤二。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)八半、十五字、百四十二行、十二段。一ヶ月七十錢。(廣告料)一圓三十錢。

朝鮮民報

大邱府東雲町。(電)一四九、二四九、七四九、八四九。創刊明治三十八年三月十六日。個人經營。朝刊四頁、夕刊四頁。(版數)三。(地方版)慶南、忠清、道内。(社長)河井戸四雄。(總務)野坂茂一。(支配人)衛藤勇。(編輯)砂田辰一。(取材)有村順高。(編輯)杉田善治。(寫真)半木德雄。(營局)衛藤勇。(廣告)原辰助。(販賣)衛藤勇。(事業)伊藤文質。(東京支局)今井淺南。(大阪支局)竹田津吾一。(社員)五十二名。(工場員)四十六名。(機械)金津式輪轉機二、活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七ボ、

十五字、百五十六行、十三段。一ヶ月九十錢。(廣告料)普通一圓三十錢、場所指定二割増、特別面五割増。

大邱日報

大邱東城町三丁目。創刊昭和三年十月一日。株式。三萬五千圓。朝刊八頁(社長)河谷靜夫。(編輯)島本勸。(營業)小林秀雄。(東京支局)岩瀨太平。(大阪支局)木谷要吉。(社員)六十五名。(工場員)四十七名。(機械)輪轉機一、平盤印刷機一。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七半、十五字、十二段。一ヶ月八十錢。(廣告料)普通一圓、特別二圓。

南鮮經濟日報

大邱府京町一丁目三十四。(電)六二八。創刊大正十三年十二月二十七日。日刊四頁。(部數)昭和七年十二月末日現在三千部。(社長)韓翼東。(主幹)渡中兼男。(營業)李興魯。(社員)十三名。(工場員)六名。(機械)平盤一。(活字)舊、十一字、六十行、十段。一ヶ月五十

錢。(廣告料)普通三錢。昭和七年三月を以て社の營業方針に大刷新を加へ陣容を又一變し當分稍々消極的方針に準據することとなり爾後順調なる營業を繼續し居れり。

西鮮日報

鎮南浦漢頭里三九。(電)代表五一。創刊大正十二年。個人經營。十萬圓。夕刊四頁。(版數)二。(附録)經濟版、週間讀物。(地方版)黃海々西、海州、沙里院、平北、諺文。(部數)七年九月十日現在八千部(社長)長谷川照雄。(社長)同。(副社長)森岡二三。(支配人)石川喜久。(主幹)田口斌。(編局)秋山照滿。(外事)高月哲。(經濟)林耕一。(營局)西澤稷。(外交)重松安紀。(廣告)同。(工務)塚本吾一。(地方)姜濤。(東京支局)鹽田信太郎。(大阪支局)浮田金次。(社員)二十五名。(工場員)三十名。(機械)輪轉機一、平盤一。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七・七五、十四字、百三十七行、十三段。一ヶ月七十錢。(廣告料)普通一圓、場所指定一圓五十錢、

特別面二圓。(兼管)代理部。  
木浦新報 木浦仲町一ノ四。  
創刊明治三十二年六月十六日。  
株式五萬圓。朝刊四頁。(部數)  
六年九月十五日現在五千八百部  
(社長)福田有造。(主幹)山本精  
一。(編輯)西村滿藏。(管局)山  
本精一。(廣告)佐藤喜四太。(販  
賣)大島皓輔。(大阪支局)竹田  
津吾一。(社員)廿五名。(工場  
員)四十名。(機械)十六頁ロ  
ル二。ステロ、寫眞版設備あり。  
(活字)七ボ、十五字、九十八行、  
十三段。一ヶ月九十錢。(廣告料)  
一圓。

光州日報 (木浦新報の姉妹紙)  
光州郡光州邑東門通。創刊明治  
四十二年四月。株式五萬圓。  
朝刊四頁。(社長)福田有造。(主  
筆)鹿野秀三。(活字)七・七五、  
十三段。一ヶ月五十錢。  
■七年二月二十日工場より發火  
し消失したが本館は免かれた。  
群山日報 全羅北道群山府錦

町九。創刊明治三十九年三月。  
個人經營。十萬圓。夕刊四頁。  
(社主)高洲規。(社長)同。(主  
筆)秋山忠三郎。(管部)堀川五  
郎。(廣告)水口祐之。(社員)二  
十六名。(工場員)二十一名。(機  
械)平盤三。活字鑄造機、ステ  
ロ、寫眞版設備あり。(活字)九  
ボ、十三字、百二十行、十二段。  
一ヶ月一圓。(廣告料)五錢。場  
所指定一割増、特別面一圓。  
全北日報 全州大正町一丁目。  
創刊明治三十八年二月。個人經  
營。朝刊四頁。(社長)松波千海。  
(編輯)木下孝。(管部)安部可  
真。(機械)平盤二。(活字)七半、  
十二段。一ヶ月一圓。(廣告料)  
一圓。

東光新聞 (國文、鮮文) 全州  
大正町。創刊大正九年。個人經  
營。朝刊小型四頁。(社長)松波  
千海。(編輯)金峻植。(管部)馬  
學鎮。(機械)平盤二。(活字)七  
半、九段。一ヶ月五十錢。(廣告  
料)一圓。  
南鮮日報 馬山府都町二の三。  
創刊明治四十年十月一日。共同  
經營。三萬圓。夕刊四頁。(社長)

北鮮時事新報 咸興府雲  
興里。明治四十一年十二月。個  
人經營。十萬圓。夕刊六頁。附  
錄)四六倍判型日曜附録十六頁  
を發刊。(社主)畑本逸平。(社  
長)同。(編輯)森當夫。(營業)  
八谷賢次。(東京支局)柳澤憲治。  
(大阪支局)永田格太郎。(社員)  
二十八名。(工場員)三十七名。  
(機械)津田製作所製輪轉機一。  
(活字)八ボ、十三字、八十行、  
十二段。一ヶ月一圓。(廣告料)  
普通一圓、記事割込二圓、特別  
指定三圓。

北鮮日報 清津府敷島町十  
一。創刊明治四十年八月一日。  
合名。五萬圓。朝刊四頁。(社主)  
岡本常次郎。(社長)同。(編輯)  
山下正夫。(營業)川島信男。(社  
員)三十七名。(工場員)三十二  
名。(機械)マリノニ式八頁輪轉  
機一、平盤二。ステロ、寫眞版  
設備あり。(活字)七・七五、十三  
段。一ヶ月九十錢。(廣告料)普  
通一圓。(兼管)代理部。  
北鮮日日新聞 羅南邑生駒町。  
創刊大正九年七月十日。匿名組  
合。五萬圓。朝刊四頁。夕刊二

小川好藏。(主筆)高橋武雄。(編  
輯)高須信三。(營業)高橋武雄。  
(機械)輪轉機一、平盤一。(活  
字)七半、十五字、十二段。一  
ヶ月六十錢。(廣告料)一圓。  
朝鮮中央新聞 (湖南日  
報の改題) 大田春日町一丁目五  
五。(電)一〇〇、三〇〇。創刊  
明治四十二年八月九日。個人經  
營。十萬圓。朝刊四頁。(地方版)  
忠北、京城通信。(社主)丸山虎  
之助。(社長)同。(秘書)青山  
忠。(編輯)坂本昌道。(外交)中  
村六一郎。(管局)安齋精剛。(營  
業)郭誥洙。(東京支局)三枝嶺  
三郎。(大阪支局)西池末彦。(社  
員)十五名。(工場員)二十七名。  
(機械)マリノニ式輪轉機一、  
平盤一、印刷專門平盤四。活字  
鑄造機、ステロ、寫眞版設備完  
備しあり。一ヶ月八十錢。(廣告  
料)普通一圓、場所指定一圓五  
十錢。(兼管)道報印刷、一般印  
刷物。  
■七年湖南日報を朝鮮中央新聞  
と改題す。  
■無休刊、組織の變更、紙面の  
擴張、活字購入の計畫あり。

鴨江日報

新義州(電)三〇。  
三、五二四。創刊明治四十年四  
月。株式五萬圓。夕刊四頁。版  
數)二。(部數)七年九月三十日現  
在七千部。(社長)加藤鎮治郎。  
(副社長)神保信吉。(專務)小川  
延吉。(支配人)渡邊眞一郎。(主  
筆)小川延吉。(編輯)渡邊眞一  
郎。(營業)岡木茂。(社員)二十  
五名。(工場員)四十三名。(機  
械)佛國製マリノニ式輪轉機一。  
活字鑄造機、ステロ、寫眞版設  
備あり。(活字)七ボ、十五字、百  
三十五行、十三段。一ヶ月八十  
錢。(廣告料)普通八十錢、場所  
指定倍額、特別面三倍。x  
元山毎日新聞 元山府幸町。  
創刊明治四十二年一月一日。個

頁。(部數)六年八月末日現在三  
千三百部。(社長)三上新。(編  
輯)河村英夫。(營業)同。(廣  
告)佐分左内。(東京支局)佐藤  
要。(大阪支局)竹田津吾一。(社  
員)十三名。(工場員)二十二名。  
(機械)平盤三。寫眞設備あり。  
(活字)七半、十四字、百三十行、  
十三段。一ヶ月九十錢。(廣告料)  
九十錢。  
人經營。十三萬圓。朝刊四頁、  
夕刊二頁。(版數)二。(地方版)  
咸興、咸北、江原。(部數)六年  
九月一日現在一萬二千四百部。  
(社主)西田常三郎。(社長)同。  
(支配人)土屋幹夫。(主筆)川西  
爲美。(編輯)同。(管局)土屋幹  
夫。(廣告)瀨良仙太郎。(社員)  
六十一名。(工場員)四十名。(機  
械)平盤六。活字鑄造機、ステ  
ロ、寫眞版設備あり。(活字)七  
半、十五字、百〇八行、十二段。  
一ヶ月九十錢。(廣告料)普通一  
圓、場所指定二圓、特別面二圓。  
(兼管)生命保險及火災保險代理  
業。

滿洲國

在滿邦人經營の諸新聞は、その  
邦文紙たるは漢文紙たるを問は  
ず、滿洲事變につく滿洲國の建立  
によつて、内地の新聞以上に重大  
なる使命を課せられた。即ち彼等  
の報道態度は、一方には國際的注  
目の的となり、他方には支那系住  
民に對してよき指導者たらねばな

らず、更に又、滿洲國の建國成る  
や、官民の融和と制度組織の完成  
の爲めに、輿論の指導、民論の統  
制に努力し、場當りの營業政策を  
廢して、敢然新聞本來の使命の爲  
めに戦つたのである。その偉大な  
功績は没する事が出来ない。  
昭和七年八月末の調査によれば  
關東州及び滿鐵附屬地内の人口は  
合計百二十九萬九千〇六十六人  
内日本人二十三萬五千七百五十九  
人、鮮人二萬四千五百〇二人であ  
る。日本人は勿論滿鐵附屬地外に  
も住んで居り、邦人新聞は専らそ  
れ等の邦人を目標とするのである  
が、漢文紙は滿洲國人大衆を目標  
とし、その範圍は今や頗る廣大な  
ものとなつた。  
新聞中心地の第一は大連市で居  
住邦人約八萬、此處に邦字新聞二  
種、漢字新聞三種、英字新聞一種が  
あり、邦字紙の滿洲日報と大連新  
聞は滿洲に於ける代表的新聞であ  
つて、前者は昭和二年十一月遼東  
新報と合併し、昭和五年秋創立二  
十五周年を迎へ、壯大なる新社屋を  
竣工した。滿鐵の機關紙である爲  
め、政黨に累される事多く、新聞

本來の使命の上からその獨立を希  
望されてゐる。滿日に對して大連  
新聞は民間勢力を代表し、殊に昭  
和五年以來大いに積極策を樹て、  
驚くべき活躍振りを示すに至つ  
た。漢字紙三紙はそれらの立場  
を有するが、殊に滿洲報は奉天の  
盛京時報と共に斷然優勢の位置に  
あり、支那人に對する我國の言論  
機關として重要視されてゐる。  
新聞の第二中心地は奉天で居住  
邦人約二萬人、南滿洲の中樞地と  
して此處に四種の邦字紙と一種の  
漢字新聞とがある。漢字紙の盛京  
時報は前述の如く優勢であるが、  
邦字紙の方は餘り盛んだとは言は  
れぬ。次に第三中心地として新京  
がある。此處は今の處まで  
特記する程ではないが、將來大連  
につく重要中心地となる事明白で  
ある。  
移入紙は何と云つても大朝、大  
毎で、地元新聞の脅威であり、福  
岡日日も撫順方面へかけて可也に  
入つてゐる。  
次に大連新聞社の報告によれば  
昭和七年度上半期の大連港に於け  
る貿易額は、輸出一億六千萬圓、

輸入八千萬圓で、前年に較べ輸出四十八パーセント、輸入五十九パーセントの激増であるといふ。今後滿洲國の整備に伴ひ、滿洲の新聞界も此の調子で隆盛に趣くであらう。

滿洲日報

大連市東公園町三。 (電)四六八五、外十四本。創刊明治三十八年十月廿五日。株式。七十五萬圓。朝刊八頁、夕刊四頁。(版數)三。(附錄)日曜附錄、滿日通報月一回。(社長)松山忠二郎。(主筆)細野繁勝。(編輯)橋本喜代治。(管局)佐賀秀雄。(管局次長)高橋三郎。(販賣兼庶務)本村武盛。(廣告)鶴木常治。(會計)鈴木昇。(事業)高橋三郎。(印刷所)長田覺治。(作業部長)吉妻力松。(東京支社)井上正明。(大阪支社)天谷深吉。(機械)滿日式超高速度輪轉機一、輪轉機三、外國製平盤機八、內國製平盤機一三、最新式オフセット四六全列機一、鑄造機六、ステロ四。寫真版設備有り。(活字)七ボ、十五字、百五十五行、十三段。一

ヶ月一圓二十錢。(廣告料)普通一圓三十錢、特別面二圓六十錢、(兼營)奉天に於て奉天滿洲日報の發行を爲す、印刷所の兼營を爲し最新式オフセット四六全列の設備を爲し、滿鮮に於て第一位を占む。 七年三月營業局に調査部を新設し廣告主の爲めに滿蒙新資源の開發内地商品の販路擴張に資する事とした。 滿洲事變勃發と共に活躍目覺しく、七年三月には從來の二十九支局を擴張して七新支局を設け、更に長春に長春版發行の權利を獲得した。 七年七月二十五日滿日調査通報第一號を發行す。 同九月高橋三郎君の入社營業局長兼調査部長となる。 七年九月四日より日曜附録を二頁追加し四頁とした。

性確成。(常務)前川良三。(編輯)實性確成。(編輯)原一六。(論說)大内四郎。(整理)堤治三郎。(整理次長)垣崎茂一。(政治)三浦正作。(社會)同。(經濟)岸永虎吉。(通信)長谷川良之助。(校正)土肥聰。(家庭)演藝主任)西村文之助。(寫真)製版主任)林隆太郎。(管局)前川良三。(管部)下村豊吉。(廣告)田中富藏。(販賣)今崎九十郎。(經理)本間又吉。(工務局)三井萬吉。(工場長)關根義三。(東京支社)前川良三。(大阪支社)福井兼。(社員)百五十七名。(工場)七十四名。(機械)色刷折式高速機一、內國製輪轉機三、平盤六、鑄造機三、ステロ二、寫真銅版二。凸版設備一臺あり。(活字)七ボ、十五字、百五十六行、十三段。一ヶ月一圓二十錢。(廣告料)普通一圓三十錢、特別面二圓六十錢。 七年五月十日第三回廣告祭を催す。 同五月十六日編輯長原一六、論說部長大内四郎君以下幹部の異動を行つた。

滿洲日報

(漢文紙)大連市常盤町二九三十一。(電)四〇三四、七五一三、二二八二。創刊大正十一年七月廿三日。個人經營。四十萬圓。朝刊十頁。(版數)二。(附錄)星期副刊。(社主)西片朝三。(社長)同。(支配人)橋本喜一。(主筆)久留宗一。(主筆)金念會。(編輯次長)楊華亭。(東京支局)清瀨邦弘。(大阪支局)鶴岡宇一郎。(社員)百四十名。(工場)四十名。(機械)マリノニ式印刷輪轉機二。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備有り。(活字)十ボ、十二字、百十行、十二段。一ヶ月現大洋一元三〇。(廣告料)普通一圓、場所指定加倍、特別面二元。 大連電氣遊園地前に新築の社屋は工費十萬圓で六階建八百餘坪、其三、四、五階全部は大連常

同七月より九月六日までサンマーガーデンを設け盛況。 同九月初川常務の名で滿洲最近の經濟事情につき關係方面に報告した。 奉天、新京支社新築並に地方廣發行の計畫あり。

大連新聞

大連市飛驒町六七。 (電)六三七八、三三一八、七八一六、四九〇七、五五〇〇、五五三六。創刊大正九年五月五日。株式。十四萬圓。朝刊八頁、夕刊四頁。(版數)三。(社長)實

味萬之助。(編輯)小谷忠義。(政治)野田涼。(社會)小濱新。(經濟)藤田數馬。(地方)池田行夫。(學藝)加藤齡明。(校正)楠本幸界。(管局)尾本捨次郎。(廣告)本間基市。(外交)光岡道憲。(庶務)藤岡初市。(事業)高味(兼任)。(工務)井手清。(寫真)趙子鎮。(東京支局)渡邊義二。(大阪支局)深田龜太郎。(社員)二十八名。(工場)五十三名。(機械)マリノニ式輪轉一、平盤三。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備有り。(活字)七ボ、十五字、百五十五行、十三段。一ヶ月一圓二十錢。(廣告料)普通一圓、特別面一圓五十錢。 七年五月一日より夕刊二百増頁して六頁となる。 同八月一日より更に夕刊二頁増頁して朝刊四頁夕刊八頁の子二頁となる。

同夕刊六頁を朝夕刊八頁に改め販賣政策の大改革を斷行す。 奉天滿洲日報 (奉天日日新聞の改題) (滿洲日報の經營) 奉天住吉町七。創刊明治四十一年十二月十日。朝刊八頁。(機械)八頁掛輪轉機一。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七、七五、百三十七行、十三段。一ヶ月九十錢。(廣告料)七十錢。

泰東日報

設見本市場として開放さる。(漢文紙)大連市東町。 (電)八〇九一、八〇九二、八〇九三、八〇九四、八〇九五。創刊明治四十二年十一月三日。朝刊八頁。(版數)三。(部數)七年十月七日現在二萬八千部。(社長)阿部眞言。(主幹)柳町精。(編輯)橋川凌。(管局)代理)木下卯一。(東京支局)齋藤松三。(大阪支局)永嶺恒。(社員)三十二名。(工場)四十名。(機械)マリノニ一、活字鑄造機一。ステロ、寫真版設備。(活字)九ボ、十三字、百五十行、十二段。一ヶ月大洋一元三角。(廣告料)普通一元、場所指定倍額、特別面二倍。

關東報

(漢字紙)大連市大黒町二九。創刊大正八年十一月三日。個人經營。十萬圓。朝刊八頁。(部數)六年四月一日現在五千部。(社主)永田善三郎。(社長)市川年房。(主筆)王字衡。(編輯)同。(營業)末増一郎。(東京支局)南勝。(社員)五十五名。(工場)三十名。(機械)平盤四。活字鑄造、ステロ設備有り。(活字)十ボ、十四字、百十三行、

十段。一ヶ月銀一圓十錢。(廣告料)普通五十錢、場所指定一圓、特別面隨時協定。 マンチユリヤ・デーリー・ニウス (英文紙)大連市淡路町七。(電)三七七三、二二七一六。創刊明治四十一年。個人經營。夕刊六頁。(附錄)月刊附錄。(部數)七年九月一日現在一、九〇〇(社主)濱村善吉。(社長)同。(主筆)同。(編輯)柳澤柳太郎。(管部)千藤良一郎。(社員)三十一名。(工場)十五名。(機械)十六頁平盤印刷機二、八頁一、六頁一。(活字)九ボ、一ヶ月一圓。 月刊附録を發行し、國際的に我對滿活動施設の實際を宣傳す。 在滿最完備の歐文印刷部を有し、各方面の印刷注文を受けつつあり。

奉天每日新聞 奉天十間房。(電)二〇一七、三三二六。三四五六。創刊明治四十年七月。個人經營。二十萬圓。朝刊四頁、夕刊八頁。(版數)二。(附錄)サンデー奉天。(社主)松宮翠子。(支配人)尾本捨次郎。(理事)高

奉天新聞 奉天琴平町一三。(電)三三五九、二二八五。創刊大正六年九月一日。個人經營。十萬圓。朝刊四頁、夕刊四頁。(社長)石田武亥。(副社長)佐々木孝三郎。(主幹)小笠原俊三。(編

奉天滿洲日報

同夕刊六頁を朝夕刊八頁に改め販賣政策の大改革を斷行す。 奉天滿洲日報 (奉天日日新聞の改題) (滿洲日報の經營) 奉天住吉町七。創刊明治四十一年十二月十日。朝刊八頁。(機械)八頁掛輪轉機一。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)七、七五、百三十七行、十三段。一ヶ月九十錢。(廣告料)七十錢。



七年一月より新職制を布き經營の全般は滿洲日報營業局長の手に移つた。

大滿蒙

同六月一日より二頁を増加す大滿蒙新聞社發行。奉天派速通四三。(電)四三二〇。創刊昭和七年九月十八日。朝刊四頁、夕刊四頁。個人經營。二十萬圓。(社長)大石隆基。(編局)尾崎剛。(整理)石黒覺治。(社會)林四郎。(政經)尾崎剛。(營業)皆川秀孝。(東京支局)藤井眞澄。(大阪支局)四條七郎。(社員)四十六名。(工場員)四十二名。(機械)輪轉一。(活字)七半、十五字、十三段。(廣告料)普通一圓五角、七月十八日。創刊東京支社。聯合内信局の石黒覺治君整理部長となる。

盛京時報

(漢文紙)奉天陽町九。(電)二〇二二、三二八二。創刊明治三十九年十月。株式、三十五萬圓(全額拂込)。朝刊八頁。(社長)染谷保藏。(主筆)菊池貞二。(編局)大石智郎。(東京支局)松本七五郎。(大阪支局)瀬戸保太郎。(社員)二十八

名。(工場員)百十名。(機械)マリンニ輪轉機一、東京機械同一。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備あり。(活字)九ボ、十五字、百十五行、十二段。一ヶ月現存一元三角。(廣告料)普通一圓、場所指定五割増、特別面普通面ノ二倍。(兼營)哈爾濱「大北新聞」を北滿版として發行す。前社長佐原篤介君七年七月七日逝去、享年五十九。國事務取締役染谷保藏君後任社長となる。

長春實業新聞

長春永樂町四丁目一。(電)三三〇〇、三二二五。創刊大正九年十二月十五日。工場財團。五萬圓、夕刊四頁。(附錄)長春取引日報發刊。(部數)七年九月一日三千部。(代表者)染谷保藏。(編輯)十河榮忠。(幹部)谷啓二郎。(東京支局)松本七五郎。(大阪支局)瀬戸保太郎。(社員)八名。(工場員)十四名。(機械)十六頁平盤一。ステロあり。(活字)八半、十三字、百二十行、十二段。一ヶ月八十錢。(廣告料)普通六十錢、特別面一圓二十錢。

新京日報

(北滿日報の改題)長春中央通一。創刊明治四十二年一月一日。個人經營。八萬圓。夕刊四頁。(社長)箱田琢磨。(主幹)泉康治。(編輯)針谷彌一。郎。(機械)平盤一。(活字)舊、十二段。一ヶ月八十錢。(廣告料)五十錢。七年九月十八日より新京日報と改題す。

國境毎日新聞

(安東時事新報の改題)滿洲國安東縣。(電)七三〇、九〇一。創刊昭和三年一月一日。個人經營。夕刊四頁。(社長)吉永成一。(編局)六權義次。(營業)青木雄三郎。(東京支局)松本七五郎。(大阪支局)竹田津吾一。(社員)本社勤務社員十二名。(工場員)十六名。(機械)平盤二。(活字)七半、十五字、十二段。一ヶ月九十錢。

安東新報

安東縣五番通。創刊明治三十九年十月十七日。個人經營。五萬圓。朝刊四頁。(社長)川俣篤。(編輯)綿貫秀誠。(營業)社長兼務。(社員)二十名。(工場員)十五名。(機械)平盤一。(活字)七、七五、十五字、

中華民國

上海每日新聞

上海湯恩路一號。(電)四二二九四、四二二九三。創刊大正七年。株式。銀七萬弗。朝刊八頁、夕刊四頁。(部數)七年一月一日現在七千部。(社長)深町作次。(編局)社長兼任。(社會)名越常祇。(政治)中村農夫。(營業)社長兼任。(廣告)大島居武彦。(代理、地方)駒井朝一。(販賣)藤尾三郎。(東京支局)佐野博章。(大阪支局)矢野林。(社員)四十五名。(工場員)六十五名。(機械)マリノニ式輪轉機二、柏原式平盤一、上野式平盤一。字母整備、活字鑄造機一式、寫真製版機一式、鉛版鑄造機一式。(活字)七、七五、十四字、百四十行、十三段。一ヶ月銀一弗五十仙。(廣告料)普通銀七十仙、特別面銀一弗五十仙。

上海日報

上海白保羅路三十四號。(電)四六五〇八、四六五〇九。個人經營。七萬元。朝刊八頁、夕刊四頁。(社長)波多博。(編局)赤星爲光、瀧田峰太郎。

海外

中華民國、南洋、南北亞米利加等各地に發行される日刊邦字新聞及び邦人經營の日刊新聞の主なるものを次に紹介す。

十五錢。(廣告料)普通三十錢、特別面四十錢。(兼營)活版印刷業。

四洮新聞

四平街附屬地南四條路。創刊大正九年八月十八日。個人經營。二萬五千圓。朝刊小型四頁。(社長)櫻井教輔。(編輯)石本力藏。(機械)平盤一臺。(活字)舊、八段。一ヶ月五十錢。(廣告料)五十錢。

安奉每日新聞

滿洲國本港湖石山町。(電)一一一。創刊大正十五年九月廿一日。個人經營。三千圓。夕刊四頁。(版數)一。(部數)七年九月十日現在五〇〇。(社長)伊藤唯熊。(主幹)宮崎義友(一步)。(營業)河原儀三郎。(社員)五名。(工場員)九名。(機械)平盤一。(活字)舊、十二字、四十五行、八段。一ヶ月五十錢。(廣告料)五十錢、特別面臨機見積。

七年度内に七ボ活字に更改、八年度中に普通四頁に擴張計畫あり。

哈爾濱日日新聞

哈爾濱埠頭區一面街二一。創刊大正十一年。株式。朝刊四頁。(編輯)藏土延

鐵嶺時報

鐵嶺敷島町三丁目。(電)四一六。創刊明治四十四年八月一日。個人經營。一萬五千圓。朝刊四頁。(部數)七年現在八〇〇。(社主)西尾信。(社長)同。(主筆)本多正。(編輯)同。(營業)阿部萬吉。(社員)四名。(工場員)十名。(機械)十六頁平盤二、四頁平盤一。(活字)十二字、五十五行、十段。一ヶ月七

(政治)日高清磨。 (社會)三宅儀明。(經濟)濱田峰太郎。(校正)中尾一貫。(警備)佐竹秀穂。(廣告)安部博之。(販賣)佐竹秀穂。(會計)波多收。(發送)袁志明。(東京支局)松本七五郎。(大阪支局)金井勝三郎。(社員)日本人三十名。中國人二名。(工場員)日本人一名。中國人四名。(機械)輪轉機一、印刷平盤三。活字鑄造機、ステロ、寫真版設備有り。(活字)七半、十四字、百四十行、十三段。一ヶ月銀一弗五十仙。(廣告料)普通銀七十仙、特別面銀一弗二十仙。(兼營)調査編纂部、代理部、調査編纂部に於て一九三一年中國年鑑編纂發行。

上海事變に際しては事變誌「上海事變」を出版、第八版一萬二千部を發賣せり。

一九三二—三年の中國年鑑は昭和七年十月一日出版。

上海日日新聞 上海乍浦路一〇二。創刊大正三年十月。個人經營。十萬弗。朝刊十頁乃至八頁、夕刊四頁。(社長)宮地貫道。(編輯)友永健吾。(營業)石川源

治。(機械)輪轉一、平盤一。(活字)七、七五、十五字、十三段。一ヶ月一弗五十仙。(廣告料)七十仙。

天津日日新聞 天津日本租界旭街。(電)二〇四八九。創刊大正六年十月卅日。個人經營。銀五萬弗。朝刊四頁、夕刊四頁。(地方版)北京版、北京新聞。(部數)昭和七年八月卅一日現在二六〇〇部。(社長)森川昭太。(支長)同。(副社長)永瀬三吾。(支配人)黒川重幸。(名譽)橋樑。(政治)的場三郎。(社會)大川眞一。(經濟)藤江輝雄。(支那)渡島英夫。(警備)黒川重幸。(廣告)小篠一三。(外交)栗原朴。(北京支局)坂本音吉。(社員)日本人十四名。中國人十三名。(工場員)中國人職工三十八名。(機械)平盤印刷機二、同手引一、同足踏一。活字鑄造機、ステロ設備有り。(活字)九、十三字、百十行、十二段。一ヶ月金一圓三十錢、銀一弗七十仙。(廣告料)普通五十仙、場所指定一行一弗五十仙。(兼營)北京新聞。

天津日本總領事館並に月本居

留民團の公布式機關新聞なり。

天津日報 天津日本租界福島街。創刊明治四十三年一月。合名。朝刊六頁、夕刊四頁。(社長)眞藤泰生。(副社長)金田一良三。(機械)平盤二臺。(活字)七半、十五字、百四十行、十二段。一ヶ月一弗三十仙。(廣告料)五十仙。

新支那 北平東城大甜水井十號。創刊明治四十四年三月一日。個人經營。朝刊四頁。(社長)安藤萬吉。(編輯)豊岡捨松。(機械)ロール二臺。(活字)九、十三字、十二段。一ヶ月一弗。

北京新報 (京津日日新聞の北京版)北京東城五老胡同十五。(電)東局一五六。創刊大正十二年八月三十一日。個人經營。朝刊四頁。(社長)森川昭太。(機械)平盤三。(活字)九、十二字、七十五行、十一段。一ヶ月一弗。(廣告料)五十仙。

青島新報 青島中山路。(電)二〇六三、二三五六、二一五三。創刊大正四年一月。朝刊六頁。(社長)小谷節夫。(總務)久滋寛一。(編輯)難波紋一。(販賣)神

野良隆。(東京支局)松本七五郎。(大阪支局)金中勝三郎。(機械)輪轉一臺、平盤一。(活字)七半、十五字、百四十行、十二段。一ヶ月一弗二十仙。(廣告料)八十五仙。(兼營)大青島報。

夕刊山東新報 青島根遠路十一號。(電)三八七四、四八二二。四一六。創刊昭和三年六月。個人經營。十萬圓。夕刊四頁。(部數)七年現在二千部。(社長)吉木周治。(支長)長谷川清。(主幹)同。(編輯)吉岡鹿造。(營業)宮崎良藏。(東京支局)平岩曼三郎。(社員)日本人十二名。中國人十五名。(工場員)四十名。(機械)平盤二。(活字)七、七五、十五字、七十五行、十二段。一ヶ月一圓。

六年十一月第一回滿洲軍慰問使として慰問袋七千個を持つて長谷川主幹渡滿、第二回慰問使として落語家我朝を七年九月四日渡滿さす。

七年秋「山東に於ける邦人の平和的經濟發展並親和策」と題する懸賞論文を募集す賞金一等二百圓、二等百圓、三等五十圓。

十月三十日締切。

大青島報 (漢文紙)(青島新報社の經營)青島中山路。創刊大正四年一月。朝刊八頁。(社長)小谷節夫。(編輯)須藤勇雄。(活字)九、十五字、百二十行、十段。一ヶ月銀一元。

閩報 (漢文紙)福州南臺泛船浦。創刊明治三十一年十二月。夕刊八頁。(社長)中曾根武男。(編輯)同。(營業)芳賀弘毅。(機械)平盤三、輪轉一。(活字)舊、十五字、九十八行、八段。一ヶ月一圓。(廣告料)十五仙。(兼營)福州時報。

福州時報 (閩報社の經營)福州南臺泛船浦。創刊大正七年八月。朝刊二頁。(社長)中曾根武男。(活字)舊五、十五字、九十八行、八段。一ヶ月一圓。

香港日報 香港モリソン、ヒルロード五六。創刊明治四十年九月。個人經營。二萬弗。朝刊四頁。(社長)井手元一。(主筆)平尾久則。(編輯)野津眞一。(營業)田中三之助。(機械)平盤三臺。(活字)舊、十四字、九段。一ヶ月一弗。(廣告料)五十仙。

漢口日日新報 漢口日本租界中街一三三。創刊大正七年。合資。朝刊四頁。(社長)宇都宮五郎。(主筆)同。(編輯)内田佐和吉。(機械)平盤一。(活字)七、七五、十二段。一ヶ月銀一弗。(廣告料)銀四角。

南洋振興日報 サイパン島。創刊昭和四年三月十八日。個人經營。一萬五千圓。朝刊四頁。(社長)新堀朝功。(編輯)内藤武猪郎。(營業)近藤三男。(機械)平盤一。(活字)九、八段。一ヶ月六十錢。

南洋日日新報 サイパン島北ガラパン二丁目。創刊昭和六年十月五日。株式。四千圓。朝刊四頁。(社長)仲本與正。(主筆)志村秀吉。(編輯)吉田美英。(營業)志村秀吉。(機械)平盤二。(活字)八段。一ヶ月五十錢。(廣告料)十錢。

海峽植民地 南洋日日新聞 新嘉坡ビクトリア街五〇。創刊大正三年四月。

組合。夕刊四頁。(社長)古藤秀三。(營業)手塚貞吉。(機械)平盤一臺。(活字)八半、十五字、十一段。(廣告料)五十仙。

瓜哇 瓜哇日報 バタビヤ市ロアマラカ街六。創刊大正九年十月。個人經營。八萬圓。夕刊四頁。(社長)齋藤正男。(副社長)松原勉。(營業)木野岡次郎。(機械)平盤一。(活字)九、十三字、六十四行、十二段。一ヶ月二盾五十仙。(廣告料)五十仙。

加奈陀 加奈陀日日新聞 晚香坡メイン街一一八。創刊大正十一年。夕刊八頁。(社長)鈴木重三。(編輯)杉山定香。(營業)古川繁雄。(機械)平盤一臺。(活字)九、十五字、百〇五行、十段。一ヶ月六十五仙。(廣告料)十五仙。

大陸日報 晚香坡東カドバ街二一五。創刊明治四十年六月。株式。夕刊八頁。(社長)山崎寧。(機械)平盤二臺。(活字)九、十五字、百〇五行、十段。一ヶ月

月七十五仙。(廣告料)十仙。

日刊民衆 晚香坡。日刊四頁。

北米合衆國 羅府新報 羅府北ロスアンゼルス一〇四。創刊明治三十七年。株式。五萬弗。夕刊十二頁。(社長)井上昌。(營業)駒井豊策。(機械)輪轉一臺。(活字)舊、十二字、百十二行、十二段。一ヶ月一弗。(廣告料)一時一弗。

七年二月中旬より夕刊八頁を十二頁となし日曜は十八頁となる。

同三月日支問題英文號を發行し全米に撒布す。

羅府日米新聞 日本新聞社發行。羅府ジャクソン街三七。創刊大正十一年三月。個人經營。二十萬弗。夕刊八頁。(社長)安孫子久太郎。(主筆)島内良延。(編輯)熊野御堂好文。(營業)石橋義雄。(廣告)谷野湖幸。(機械)輪轉一。(活字)舊、十二字、十二段。一ヶ月一弗。(廣告料)七十五仙。

新世界 新世界新聞社發行。桑港ケリー街一〇六〇。創刊明

### 全國新聞紙數 (府縣別)

—昭和七年九月末調—

種別	總數		有保證金新聞紙		無保證金新聞紙	
	刊	日	上	下	上	下
合計	10,768	1,133	4,144	6,624	2,023	8,601
前年比	增	增	增	增	減	增
同月比	增	增	增	增	減	增
北海道	4,450	33	1,915	2,535	1	1,914
東北道	2,433	33	1,041	1,392	1	1,391
関東道	2,433	33	1,041	1,392	1	1,391
中部道	1,417	33	615	802	1	801
近畿道	1,417	33	615	802	1	801
四國道	1,417	33	615	802	1	801
九州道	1,417	33	615	802	1	801
山梨	1	1	1	1	1	1
静岡	1	1	1	1	1	1
愛知	1	1	1	1	1	1
三重	1	1	1	1	1	1
奈良	1	1	1	1	1	1
和歌山	1	1	1	1	1	1
徳島	1	1	1	1	1	1
香川	1	1	1	1	1	1
愛媛	1	1	1	1	1	1
高知	1	1	1	1	1	1
福岡	1	1	1	1	1	1
佐賀	1	1	1	1	1	1
熊本	1	1	1	1	1	1
鹿兒島	1	1	1	1	1	1
沖縄	1	1	1	1	1	1

治二十七年。株式。五萬弗。朝刊八頁。(社長)阿部豊治。(主筆)二宮利作。(編輯)三原時信。(支配人)山縣繁三。(活字)九ボ、十四字、百十行、十段。一ヶ月一弗。(廣告料)二十仙。

**日米新聞** 桑港エリス街六五〇。創刊明治三十二年。個人經營。二十五萬弗。朝刊八頁。(社長)安孫子久太郎。(營業)原信太郎。(編輯)四至本八郎。(廣告)竹本清藏。(機械)輪轉一。平盤一。(活字)九ボ、十四字、百二十七行、十二段。一ヶ月一弗。(廣告料)一吋一弗。

**櫻府日報** 櫻府エム街三一八。創刊明治四十一年七月。個人經營。夕刊四頁。(社長)沖健二。(營業)兒玉節。(活字)舊、十四字、六十行、十段。一ヶ月一弗。(廣告料)一吋一弗。

**大北日報** 沙市メーン街二一

四。創刊明治四十一年七月。個人經營。夕刊八頁。(社長)竹内幸次郎。(主筆)川尻慶太郎。(營業)堀内重利。(活字)舊、十四字、十段。月八十五仙。(廣告料)三十仙。

**北米時事** 沙市五番街二一五。創刊明治三十九年九月。株式。三萬弗。夕刊八頁。(社長)有馬純清。(營業)宮内平。(機械)平盤一、輪轉一。(活字)舊、十四字、十段。一ヶ月八十五仙。(廣告料)七仙。

**ユタ日報** ソットレイキ西セントテンブル街。創刊大正三年十一月。個人經營。夕刊四頁(社長)寺澤野夫。(機械)平盤一。(活字)舊、十四字、六十七行、十段。一ヶ月六十五仙。

**南沿岸時報** 加州タミナル島ツメ街六四二。創刊一九二〇年。合資。三萬弗。日刊八頁。(社長)平賀重昌。(編輯)竹内幸輔。(營業)濱口平三郎。(廣告)原乙治。(機械)輪轉一、平盤二。(活字)舊、九段。一ヶ月一弗五十仙。(廣告料)二十五仙。

**布哇** 創刊明治二十八年十月。株式。十萬圓。朝刊二十頁。夕刊十四頁。(社長)相賀安太郎。(營業)河本勝一。(編輯)深海庄一。(東京支局)平山長佐久。(大阪支局)木谷要吉。(機械)輪轉一、平盤十二。活字鑄造機、ステロ、寫真版あり。(活字)九ボ、十三字、百十四行、十二段。月一弗。(廣告料)十三仙。

**布哇報知** ホノルル市クキン街。創刊大正十二年二月。個人經營。夕刊十二頁。(社長)牧野金三郎。(主筆)寺崎定助。(機械)輪轉一、平盤五。(活字)九ボ、十二段。月一弗。(廣告料)六仙五。

**布哇每日新聞** ヒロ、フナハワイ街。創刊明治四十二年。個人。夕刊八頁。(社長)徳城信二。(主筆)大久保源一。(機械)平盤一。(活字)舊、十段。一ヶ月七十五仙。

**墨西哥** メヒコ新報 墨西哥共和國メキシコ市。個人經營。朝刊八頁。(社長)瀧込太郎。(機械)平盤一。(活字)九ボ、八段。一ヶ月六十仙。

**南米** 伯刺西爾時報 ブラジル、サンパウロ。個人經營。日刊十頁。(社長)黒石登作。(活字)九ボ、八段。

# 横濱貿易新報

帝國の國際的大支關である  
 港都横濱の姿は精緻且つ  
 的確に横濱貿易新報紙上に  
 映寫せられてゐる

◆ ◆ ◆  
 國際都市なるが故に貿易の  
 二字を冠するも事實は  
 大横濱を中心とする地方色  
 鮮かな新聞である

◆ ◆ ◆  
 讀者は十萬に過ぎざるも  
 青年之を喜び婦人之を樂しみ  
 一般讀者之に信頼する所  
 正に其誇りである



YOKOHAMA BOEKI SHINPO



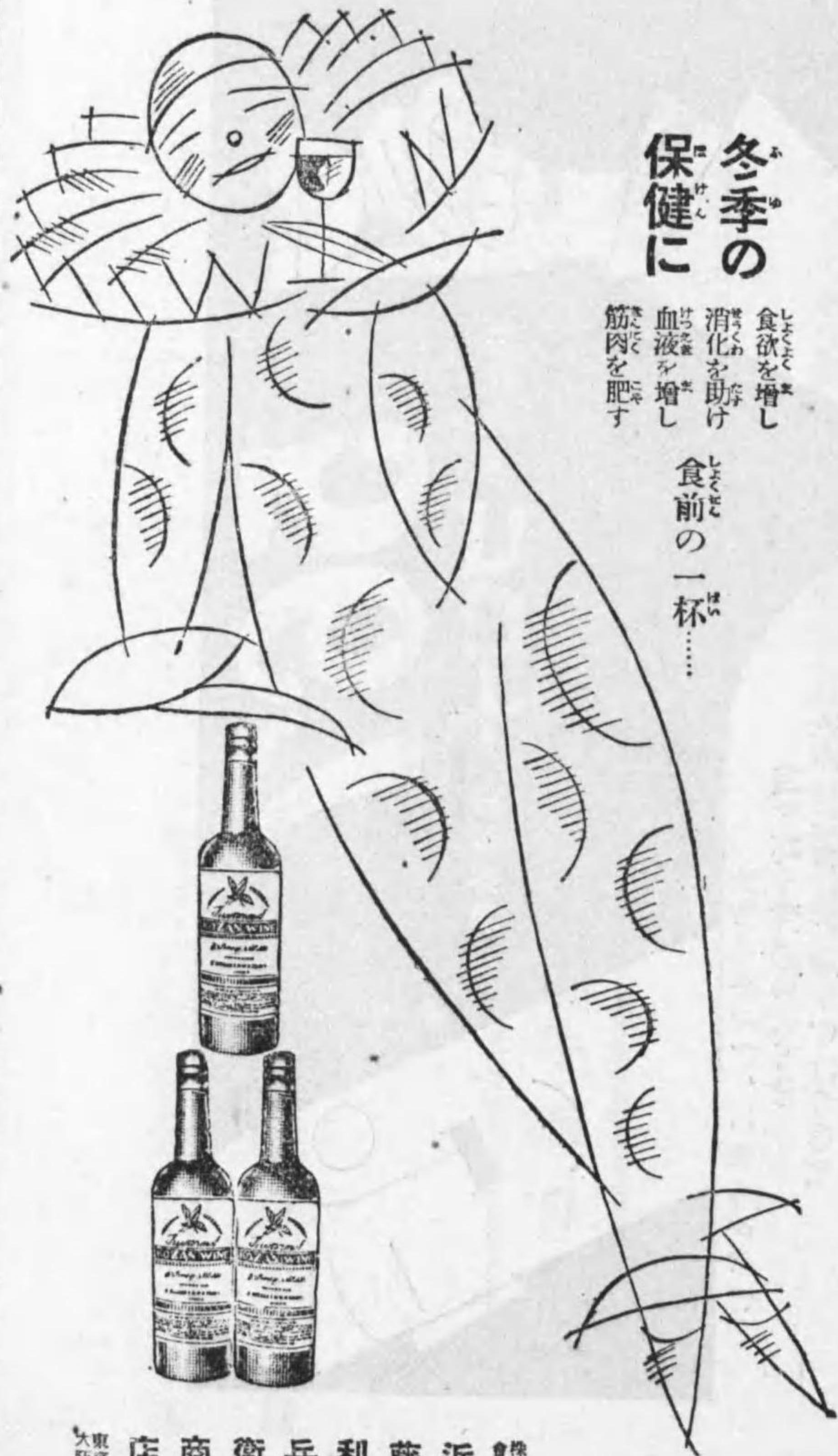
## ハチ 蜂ブドウ酒 シム

おしくつ……  
 じよつたなる

冬季の  
 保健に

食欲を増し  
 消化を助け  
 血液を増し  
 筋肉を肥す

食前の一杯……



大東 店商衛兵利藤近 社



皇道精神に立つ國家意識の最強示  
 社會惡への徹底抗爭と社會正義の擁護

夕刊 帝國

正午版 日刊

發行所 東京市京橋區銀座西七ノ五

電話代表銀座四三三一番

スポーツに (ビタミンB)  
の世界的始祖  
**オリザニン**

オリザニン(ビタミンB)は心臓力を強め  
疲労を防ぎ又その回復を迅速ならしむる  
効果顯著なるを知られスポーツマン間  
に盛んに推奨せらるゝに至れり

最も服用に便なるオリザニン錠あり  
参考文献及詳細説明書送呈

打撲と  
捻挫に  
**アンチルゲン**

使用簡易・效力顯著  
その傷、患部に厚く塗布します、軽度のもの  
は一回の貼用で、高度なものも数回の貼  
用交換で良轉痛を取ると云はれてゐます。  
包装 一版 100瓦入 500瓦入の二種

世界的強力消化素  
**タカデアスターゼ**

消化不良に因する總ての胃腸疾患並に消化の催進  
によつて栄養を増進せしむる要ある凡ての疾患に  
應用せられ比類なき卓效あるを認めらる、  
タカデアスターゼは單なる澱粉、消化酵素にあらずして  
實に蛋白、脂肪其他多種多様の消化酵素を含有す  
説明書送呈、 粉末、錠劑、強壯酒等あり  
東京室町 三共株式会社 大阪・東北・福岡

飲み易い肝油

**三共肝乳** 【特許】

成長期の虚弱兒童に無二の滋養劑なり

さわやかなり香り  
心地良き酸味  
兒童も喜んで服用す、

東京・室町  
250瓦入 500瓦入  
**三共株式会社**

旅行に

**オキシフル錠**

隨意に希望するオキシフルを得べし  
本錠1個を水100瓦中に溶解すれば十倍  
オキシフル溶液となる………  
歯牙の保健に……口臭の制止と清  
淨に……咽喉疾患時の含嗽に………  
一版 60錠入

版・方 地

- 四國版 (香川、愛媛、徳島、高知縣)
- 綜合版 (鳥取、島根縣)
- 藝備版 (廣島縣)
- 兵庫版 (兵庫縣)
- 美州新報 (美 作)
- 大廣島 (廣島市)
- 姉妹紙 山陰毎日新聞 (米子市)



頁二十夕朝

常に社會・教育・産業・政治・經濟等凡ゆる地方文  
化の開發に、啓蒙に努力し來つた我社は今や中國・  
四國第一の民衆紙として不拔の基礎を確立した。

岡 山 市  
**社報民國中** 株式會社

社 支 京 東

地番四目丁八町挽木區橋京市京東  
番二四——番九三三二座銀話電

不偏不黨

中央線を西すれば

# 山梨日日新聞

絶對多數の讀者を有する本紙は常に最高最大の廣告効果を伴ふ

發行所

甲府市百石町

山梨日日新聞社

振替東京一〇一七〇番

電話 四四八八 四四八八 三三三三 三三三三

明色美顏

白粉本舖

株式會社

## 桃谷順天館

大阪東京

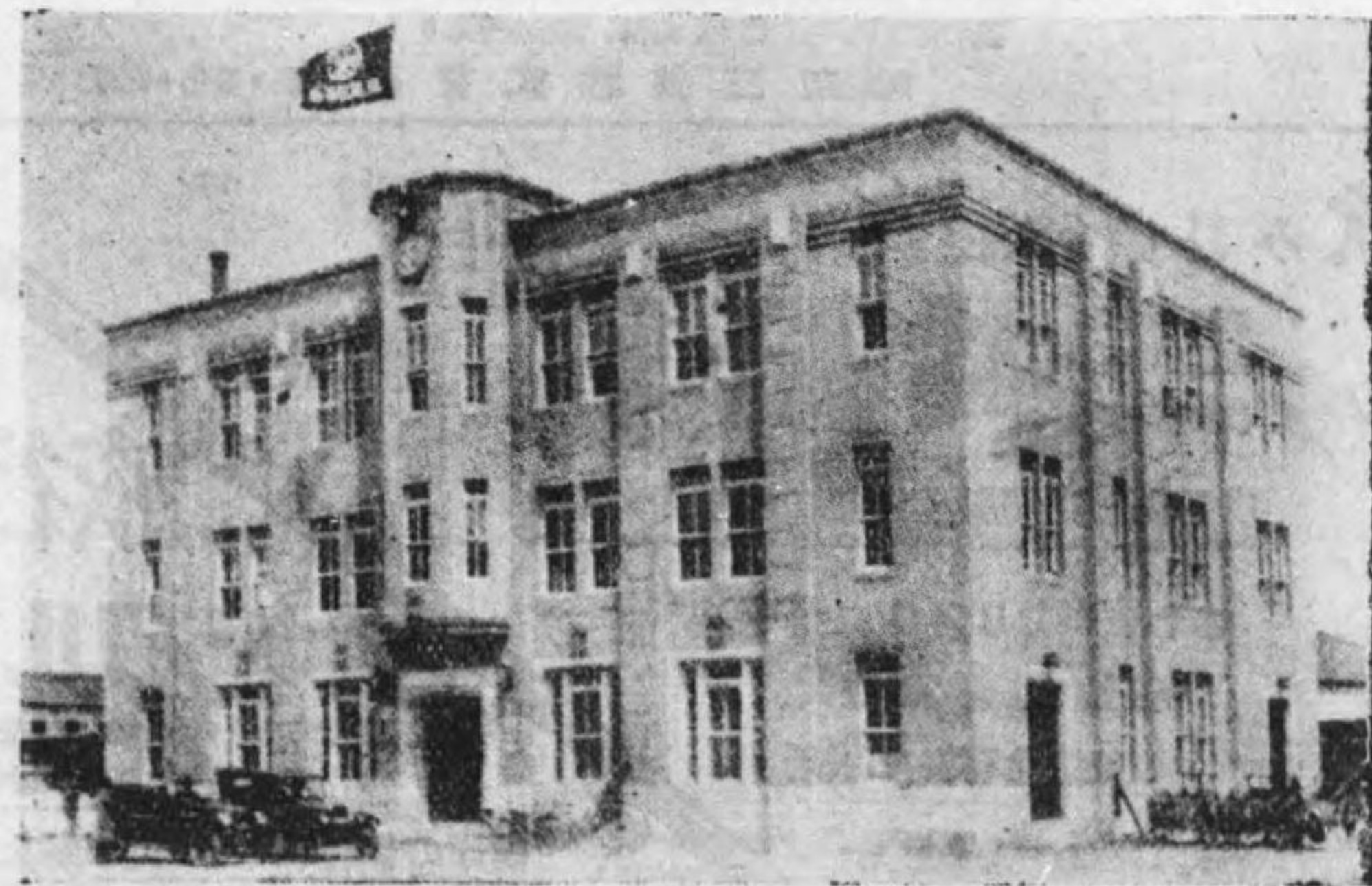
大阪市港區市岡元町五丁目  
東京市日本橋區本町二丁目

凡てに於て朝鮮を代表する



朝鮮文新聞の最大權威

朝鮮文新聞の最大權威



(東亞日報本社)

# 宇津救命丸

生れた

時から

## 育兒日記

愛する吾兒の記録  
慈愛深き母の道しるべ  
美装四六判  
二百四十頁

お腹を傷めた時も  
お風を召した時も  
疳やむしけの時も  
胎毒で困った時も

いつでも宇津救命丸を  
お吞ませになるのが  
最も賢明な育兒法です

カン・ムシケ・日咳・ママヒ・ヒキツ  
ク・胎毒・下熱・ハシカ・夜泣・消化  
不良の青便虚弱小兒の強健化等に  
(注) 二十錠・三十錠・五十錠  
一圓・二圓・三圓・五圓十圓



贈呈方 一圓以上の宇津救命丸御  
買求めに對し一冊宛進呈  
最寄り薬店にて御請求下さい。  
品切の際は特費元へ爲替又は振  
替にて乞細註文。



### 「育兒日記」の必要

此育兒日記は愛兒の發育状態を便利に記入出  
来るもので、探録の「毎月の標準健康兒統計」  
と相俟つて吾兒の發育状態の正當か否かを見  
る事が出来ます。更に此育兒日記は妊娠から  
出産育兒上の凡て、互つて懇切な注意や研究  
の結果等を付してありますから子を持つ母親  
には誠に重寶極まるもので是非共一冊を備へ  
て育兒の萬全を期して下さい。

非賣品故絶対に分譲致しません

元賣發

東京日本橋區本町二丁目  
玉置合名會社  
振替東京七一番

- 一、全國日刊通信一覽
- 二、廣告代理業一覽
- 三、東京地方支局一覽
- 四、在阪全國支局一覽
- 五、製作材料供給業一覽
- 六、全國主要廣告主一覽
- 七、新聞關係諸機關一覽
- 八、全國學生新聞一覽
- 九、東西各社職別全社員表  
別表、三十三社幹部表

## 第三篇 一覽





東京大阪三十三新聞通信(及廣告)社幹部表

(昭和七年十二月現在)

新聞社

東京の部

二六新報社
編輯局長兼社會部長 山田 馨
政治部長 金岡 淺次郎
營業局長 小林 良二
廣告部長 馬立 豊

日本新聞社

社長 藤 森 勇
主筆 若宮 卯之助
編輯局長 藤井 尚治
文藝部長 小佐井 清平
政治部長 小松 光男
社會部長 石川 龍星
經濟部長 五百住 彪夫
整理部長 吉田 要人
營業局長兼廣告部長 小林 三太郎
同次長兼經理部長 齋藤 瀧雄
販賣部長 柴田 正象
代理部首席 茅野 要之助
工場長 齋藤 金次郎

報知新聞社

取締役社長 野間 清治
同 副社長 寺田 四郎
同 工務局長 三木 七郎
同 監査役 須崎 芳三郎
同 顧問 赤石 喜平
總務局長 大隈 信常
庶務局長 中村 唯一
會計部長 戸田 傳四郎
用度部長 佐野 悟一
安信部長 瀨利 武吉
編輯局長兼調查部長 廣田 四郎
編輯局相談役 野村 長一

東京日日新聞社

取締役社長 本山 彦一
同 副社長 岡 元亮
專務取締役 城戸 元亮
取締役主筆 高石 眞五郎
同 營業局理事兼廣告事務 吉武 鶴次郎
監理 吉武 鶴次郎
取締役編輯局長 奧村 信太郎
同 編輯局長 桐島 像一
同 編輯局長 岡崎 鴻吉
同 監査役 井上 豊米
同 同 大久保 周
同 同 中里 弘多
同 同 小泉 進作
同 同 羽野 秀介

東京朝日新聞社

取締役社長 村山 龍平
取締役會長兼專務取締役 上野 精一
取締役副社長 下村 宏
專務取締役 小西 勝一
取締役 村山 長舉
同 同 高 原 操
同 同 營業局長兼印刷局長 石井 光次郎
同 同 編輯局長 緒方 竹虎
同 同 同 辰井 梅吉
同 同 同 岡野 義之助
同 同 同 原田 棟一郎

東京夕刊新報社

社長 中島 鐵哉
政治部長 小林 信一
營業局長兼廣告部長 田村 然一
同 同 同 堀川 勝造
同 同 同 堀川 守利
同 同 同 堀川 正次郎
同 同 同 堀川 正太郎
同 同 同 堀川 正三郎

中央新聞社

取締役社長 堀川 勝造
同 編輯局長 堀川 守利
同 監査役 堀川 正次郎
同 同 堀川 正太郎
同 同 堀川 正三郎
同 同 堀川 正四郎
同 同 堀川 正五郎
同 同 堀川 正六郎
同 同 堀川 正七郎
同 同 堀川 正八郎
同 同 堀川 正九郎
同 同 堀川 正十郎

帝國新報社

社長 網 福藏
編輯局長 網 武治
營業部長 網 賢松
廣告部長 網 賢松
會計部長 網 賢松
印刷部長 網 賢松
活版部長 網 賢松
技術部長 網 賢松
電氣課長 網 賢松

夕刊帝國新聞社

常務理事兼總務局長 渡邊 剛
同 同 井上 清
同 同 高杉 京演
同 同 正 富 曉
同 同 藤江 實

國民新聞社

副社長 山根 貞治郎
主筆 五來 欣造
編輯局長兼市內部長兼地 千原 文英
同次長兼兼理部長 田原 茂作
整理部次長 齊藤 忠雄
寫真課長 齋藤 種臣
校正課長 楓井 金之助
政治部長兼兼理部長 長谷川 光太郎

婦人每日新聞社

社長 恒任 寅男
副社長 久留島 武彦
常務取締役會計部長 永吉 六郎
主幹 河口 愛子
編輯局長 人見 直善
整理部長 淺田 政一郎
同 同 同 淺田 義太郎
同 同 同 筒井 巳野吉
同 同 同 好川 芳彦
同 同 同 恒任 孝生

帝都日日新聞社

社長兼主筆 野依 秀市
編輯局長 大友 温
營業部長兼兼理部長 佐野 完
廣告部長 池部 馨
會計部長 池部 馨
印刷部長 池部 馨
活版部長 池部 馨
技術部長 池部 馨
電氣課長 池部 馨

博報堂

取締役社長 瀨木 博尚
同 同 瀨木 照信
同 同 瀨木 照信
同 同 瀨木 照信
同 同 瀨木 照信
同 同 瀨木 照信
同 同 瀨木 照信
同 同 瀨木 照信
同 同 瀨木 照信
同 同 瀨木 照信

新報聯合社

取締役社長 岩永 祐吉
同 同 岩永 祐吉
同 同 岩永 祐吉
同 同 岩永 祐吉
同 同 岩永 祐吉
同 同 岩永 祐吉
同 同 岩永 祐吉
同 同 岩永 祐吉
同 同 岩永 祐吉
同 同 岩永 祐吉

通信社及廣告代理業

社長兼總務部長 光永 星郎
同 同 光永 星郎
同 同 光永 星郎
同 同 光永 星郎
同 同 光永 星郎
同 同 光永 星郎
同 同 光永 星郎
同 同 光永 星郎
同 同 光永 星郎
同 同 光永 星郎

日本電報通信社

同 同 光永 星郎
同 同 光永 星郎
同 同 光永 星郎
同 同 光永 星郎
同 同 光永 星郎
同 同 光永 星郎
同 同 光永 星郎
同 同 光永 星郎
同 同 光永 星郎
同 同 光永 星郎







現在サンデー特輯號一萬部。(契約)東京各日刊紙及び地方有力紙。(社主)大竹文輔。(社長)尾池義雄。(副社長)大竹文輔。(顧問)伯爵大木喜福、男爵奈良原三次。(相談役)福島太郎。(主幹)野口昂。(理事)木幡敏、山田徹之。(編輯)山田徹之。(營業)木幡敏。(廣告)同。(通信部)全國飛行聯隊及び飛行場所在地二十二ヶ所。(社員)四十名。一ヶ月百圓。(特設)全國民間飛行場と特約通信連絡用飛行機の活用。(兼營)調査部、廣告部、出版部、代理部。

■遠隔地所在の新聞社に對する寫真空輪サービス用飛行機の整備及空中時事寫真攝影開始並に原稿空輪請負の計畫あり。

**日本演藝通信** 京橋區銀座西五丁目五。(電)銀座二六六八。創立大正十二年十月一日。個人經營。(種類)演藝、映畫、音樂、演藝。(回数)一回。(社主)丸山耕。(社長)同。(編輯)松野信太郎。(支局)一。(社員)十五名。一ヶ月百圓。

ノ内仲通十號館。創立明治三十四年七月一日。株式、百萬圓。(種類)政治、經濟、社會、其他一般。(回数)數回。(社長)光永星郎。(常務)上田碩三、光永眞三、能島進。(取締役)松野鶴平、永江眞郷。(監査役)曾我祐邦、原田徳次郎、中根榮。(總務)光永星郎。(通信)上田碩三。(營業)光永眞三。(支局)三十五。(特設)東京福岡間専用電話、同報電話、飛行機、電送寫真。(兼營)廣告代理業。

■七月六月十四日より福岡より寫真電送開始さる。

■同七年事業課を新設し従来の特別通信係、出版、企劃係を之れに一括す。

■同九月十日京橋區銀座西七の一の舊敷地に地鎮祭を行ふ、新社屋は八年早々新築に着手の豫定で、地下二階地上八階、總建坪千七百六十坪、總鐵筋コンクリート建、八年十一月竣工の豫定。

**日本實業興信新報** 日本實業興信所發行。京橋區橫町三の五。(電)京橋二五一五、二五三

一。(創立)明治三十九年二月十一日。合名。六萬圓。(種類)全國諸官衙内務關係事業報道並に政治經濟。(社長)清水潔。(支局)十三。(社員)五十餘名。一ヶ月一圓。(兼營)書籍雜誌發行。

**日刊第三通信** 麹町區三年町二。

**日刊興藝通信** 京橋區築地三の八。(電)京二一五、二一六。創立昭和七年八月七日。個人經營。(種類)演藝、映畫、其他一般。(回数)一回。(部數)七年現在五〇〇。(契約)三〇社。(社主)片野茂。(編輯)下平融。(支局)一。(社員)九名。一ヶ月五十圓。

**日刊寫真通信** 寫真通信社發行。京橋區銀座西五ノ二。(電)銀座四五三、九三三。創立明治廿八年五月五日。合名。五萬圓。(契約)八十三。(社長)福澤七五郎。(支配人)林友三郎。(編輯)間宮三男也。(社員)二十三名。一ヶ月三十五圓。(特設)寫真製版。(兼營)製版印刷。

**日刊新聞合同通信** 新聞合同通信社發行。芝區田村町十六。

(電)代表芝二三一五。創立大正十五年九月十五日。個人經營。三萬圓。(種類)政治、經濟、商況、社會一般(但し經濟中心)。(回数)三回乃至五回。(部數)昭和七年十月現在會社銀行八十四。(契約)五十六。(社主)古森貞久。(社長)同。(主幹)梓本誠一。(理事)芥川國雄、島原重行、廣田繁。(編輯)古森貞久、廣田繁。(營業)芥川國雄。(廣告)同。(支局)植民地十一ヶ所、内地七ヶ所。(社員)廿九名。一ヶ月一圓。(特設)植民地研究所、海外經濟研究會。(兼營)圖書出版業。浩進社を傍系社とす。

■七年六月十九日臺灣始政第三十七年記念を期し拓務省、臺灣總督府後援にて「臺灣の夕」を第一回朝日講堂に開會、第二回を七月九日日比谷公會堂に開催せり。

■同十一月一日日本財界檢討號を發行。

**保險日日通信** 保險と銀行社發行。本郷區湯島一丁目九。(電)下谷二六二。創立明治四十二年九月十日。合資。十萬圓。(種類)

保險に關する記事。(回数)日刊。(部數)七年十月現在一萬三千。(社長)鈴木啓次。(主筆)持田浩。(編輯)辻長次郎。(營業)木村半山。(生命保險部長)渡邊武。(損害保險部數)森田嘉助。(支局)十二。(社員)三十二名。一ヶ月一圓。

**豐國通信** 京橋區銀座五ノ四。(電)銀座一三七七、一三七八。創立明治二十二年二月。個人經營。二十萬圓。(種類)保險並に政治經濟一般。(回数)一回。(契約)東京日刊新聞及各保險會社。(社主)谷口武雄。(支配人)神林増治。(編輯)中村耕造。(營業)神林増治。(社員)三十五名。一ヶ月一圓。(兼營)廣告代理業。

**東邦通信** 神田區表猿樂町四。

**東海通信** 京橋區南大工町八。

**東洋通信** 芝區兼房町二二葉ビル。創立明治四十一年十一月。個人。(社主)成田榮信。(社長)同。(副社長)結城榮吉。

**東洋經濟通信** 麹町區丸の内有樂町二ノ七。(電)丸の内一六七八、一〇二八。創刊昭和五年三月。(社長)小川清舟。(編輯)

清水千藏。(兼營)廣告代理業。

**東洋公益通信** 京橋區銀座西二丁目一。創立大正六年六月六日。個人經營。(種類)政治、經濟、社會。(社長)古谷慶作。(主幹)渡邊長敏。一ヶ月二百圓。(兼營)廣告代理業。

**東亞通信** 麻布區籠筒町二九。(社長)濱田良。(兼營)廣告代理業。

**東京米報** 深川區佐賀町一ノ卅。(電)本所六〇一。(創立)明治十八年五月廿日。匿名組合。(部數)昭和七年十月五日現在五六〇〇。(社主)梅原保。(社長)同。(主幹)市野富藏。(編輯)同。(營業)後藤齊治。(廣告)岡本鐵雄。(社員)五名。一ヶ月卅七錢。(特設)工場。(兼營)印刷業。

**東京米穀取引所公報** 東京米穀商品取引所。日本橋區觸鼓町一ノ二。創立大正十一年十二月。

**東京通信** 京橋區橫町三丁目一。(電)京橋六四七。創立明治廿年。合資。七萬圓。(種類)政治、經濟、社會、其他一般。(回数)三回。(社長)箕浦多一。(專務)佐藤藤一。(主幹)西

哲。(兼營)廣告代理業。

**東京興信所報** 東京興信所發行。日本橋區坂本町四三。

**東京商業興信所報** 東京商業興信所發行。麹町區有樂町二ノ四。

**東京時事通信** 神田區美土代町一ノ三。(電)神田三〇一八、六二九。創立大正三年。株式。十萬圓。(社長)山本學。(編輯)大瀨安二。(營業)浦田武男。(廣告)松本岩雄。

**特別通信** 芝區琴平町二虎之門會館。(電)芝二三六〇。創立大正十一年十二月廿日。個人經營。(種類)政治、經濟、社會、外交、特殊通信。(回数)一。(部數)七年十月現在二百二十二。(契約)三十二。(社主)木含幾三郎。(專務)井澤眞之助。(主幹)片岡鶴洲。(編輯)木含幾三郎。(營業)井澤眞之助。(廣告)同。(支局)一。一ヶ月甲種百圓。乙種五十圓。(兼營)月刊雜誌政界往來。

**獨立通信** 京橋區橫町三ノ三七。

**千代田通信** 小石川區西江戸川町一八。(電)小石川二九

六九。創立大正二年。個人經營。(種類)宮内省、樞密院その他一般。(回数)四乃至五回。(契約)東京及地方三十餘社。(社主)桑野正夫。(社長)同。(支局)四。(社員)二十四名。

■姉妹社に聯合演藝通信社あり

**朝野通信** 麹町區内幸町一ノ五。(電)銀座四六〇〇。創立明治三十九年二月十三日。個人經營。政友會。(種類)政治、法律、經濟、工業、其他。(回数)三回。(社主)土居貞彌。(社長)同。(專務)金子四郎。(理事)吾妻俊雄。(編輯)金子四郎。(社員)七名。一ヶ月一圓。

**中央通信** 京橋區銀座西七丁目五。(電)銀座八三七、八三八、一一七五、四四〇二、四四〇七。創立明治四十五年一月。匿名。(種類)一般通信、特別原稿通信、漫畫通信。(契約)六十五。(社主)福澤義男。(社長)同。(副社長)宮澤源三郎。(主幹)井上明夫。(理事)布屋徹吉、淺田源一。(編輯)井上明夫。(營業)安田彦三郎。(廣告)黑崎雅雄。(社員)三十五名。一ヶ月百圓。(特設)

教育映畫映寫設備。
姉妹社に廣告代理業正路喜社あり。

晝夜通信

京橋區銀座西八ノ一
(電)銀座一六二、一六三。創立
大正六年九月。株式。十萬圓。
(種類)政治、經濟、社會。(回
數)四回。(社長)植村嘉三郎。
(取締役)溝口信、山田嘉右衛門。
(監査役)植村新之助。(主幹)村
田靜。(營業)黒瀬仁策。(社員)
四十餘名。(契約)市内新聞、地
方十五社。(兼營)廣告代理業及
出版業。

大日本通信

芝區今入町
(電)銀座一七六、四〇〇
七。創立大正六年十二月五日。
個人經營。十五萬圓。(種類)政
治、經濟、社會等。(回数)五回。
(社主)多田滿長。(社長)同。(編
輯)八田泰輔。(廣告)多田實。
(社員)三十五名。一ヶ月百圓。
(兼營)廣告代理業、印刷業。

聯合通信

新聞聯合社發行。
京橋區銀座西八丁目九。(電)代
表銀座二二二。創立大正十五
年五月一日。新聞組合。(種類)

内外政治、社會、經濟、商況、
其他一般。(回数)數回。(組合
社)三十三社。(契約新聞)八十
六社。(專務理事)岩永裕吉。(總
支配人)古野伊之助。(理事)中
村唯一、岡崎鴻吉、緒方竹虎、
築田欽次郎、河野三通士、下村
宏、伊藤正徳、座間勝平、平野
文安、和田恒彦、野中楠吉、高
見章夫、河野二郎、小坂武雄、
山田金次郎。(外信局長)相良左。
(内信局長)高井信義。(經濟局
長)古野伊之助。(聯絡局長)鷹
嘴壽。(業務局長)不破瑛磨太。

政治經濟部擴張の立案中。
(電)銀座一七六、四〇〇
七。創立大正六年十二月五日。
個人經營。十五萬圓。(種類)政
治、經濟、社會等。(回数)五回。
(社主)多田滿長。(社長)同。(編
輯)八田泰輔。(廣告)多田實。
(社員)三十五名。一ヶ月百圓。
(兼營)廣告代理業、印刷業。

聯合演藝通信

本社小石川區
西江戸川町一八。(電)小石川二

國際探訪通信

麴町區永田町
一ノ三〇。(電)銀座二三九、三
六八八。創立大正十五年十月廿
七日。個人經營。五萬圓。(種類)
人事、政治、經濟、社會問題。
國際關係、時事問題。(回数)一
回乃至三回。(部數)七年九月卅
日現在三二〇。(契約)百十五社。
(社長)瀨尾榮太郎。(顧問)石浦
謙二郎。(編輯)阪下芳彦。(支
局)十五。(社員)百二十名。一
ヶ月三十圓。(特設)探訪部、出
版部、調停部、社會部。

國際映畫通信

京橋區銀座一
ノ五銀座一七三三三號。(電)七
四二二。創立大正十三年。匿名。
五萬圓。(種類)映畫を中心とし
て一般娛樂、藝術、文化。(發行)
一回及號外。(契約)六〇社。(社
主)市川彩。(社長)同。(編輯)
三橋哲夫。(支局)五。(社員)廿
五名。(特設)映畫ニュース攝影
班。(兼營)事業部、出版部、サ
イオース部。

英文通信

京橋區銀座西五丁
目。創立明治三十九年九月。個
人經營。(種類)英文外交、政治、
經濟。(社長)望月清侯。

帝國通信

京橋區銀座西五ノ
二。(電)銀座四三五六一七。創
立明治二十四年。株式。五十萬
圓。(種類)内外事情一切。(回
數)數回。
四年三月二十八日、東京區裁
判所から破産を宣告さる。
四年四月合資組織により徳成
虎男君等業務を繼續、四年十月
強制和議成立、五年九月大野敬
吉君株式合資帝通社長に就任。
其後變遷を経て菊池三郎君の
經營にあつた同社は七年八月一
日元太陽生命庶務課長豊島三郎
君を迎へ合資會社となる。

帝國興信日報

帝國興信
所發行。京橋區新富町一丁目。
(電)京橋三一八一三三。一八六。
創立明治卅三年三月三日。株式。
五十萬圓。(種類)經濟界狀勢。
(回数)日刊。(社長)後藤武夫。
(取締役)平松莊一、前田昌徳、
宮崎亨、中山賢一、奥石正義、
中村房太郎、芳井直利。(監査役)
後藤タマ、藤田守一。(理事)取
締役兼任。(編輯)伊藤祐逸。(營
業)藤田守一。(廣告)同。(支局)
五十九。(社員)一千名。一ヶ年

九二九。編輯所京橋區銀座西八
丁目、新聞聯合社内。(電)銀座
二二二。匿名組合。(種類)演
藝界、映畫界、音樂界その他藝
界一般のもの。(回数)數回。(契
約)東京及地方四十餘。(社長)
桑野正夫。(專務)立花寛一。(社
員)二十二名。

内外通信

本社は東京演藝通信社及京都
の内外演藝通信社の通信發行に
關する諸種の機構と新聞聯合社
の演藝部とを昭和七年十月一日
より合併したるものにして、編
輯所は新聞聯合社内置き本社
は小石川區西江戸川町に置く。
(電)神田二、四〇〇一四〇
〇五迄。創立明治四十三年八月
一日。株式。五十萬圓。(種類)
政治、經濟、學藝、家庭。(回数)
一回。(部數)七年十月八日現在
四五〇。(契約)三〇〇。(社長)
瀨木博尚。(專務)四條照信。(常
務)山縣章。(取締役)瀨木博信、
瀨木博政。(監査役)島田和三郎。
(理事)大久保勝弘。(編輯)手島
益雄。(社員)七十名。一ヶ月一
百圓。(兼營)廣告取次業博報堂。

亞細亞通信

京橋區銀座五丁
目四。創立大正八年九月。合資。
七千五百圓。(種類)政治、經濟、
教育、社會一般。(社長)辻村與
三郎。一ヶ月五十圓。(兼營)寫
真通信、印畫、銅版、紙型、鉛
版。

愛國通信

麴町區内幸町一丁目
五。(電)三五九〇一一。創立大
正二年十月卅一日。個人經營。
五萬圓。(社長)吉田文外。(顧
問)田村全宣。(社員)十名。(兼
營)廣告代理業。

共同通信

京橋區銀座西四丁目
五。創立大正十五年十一月五日。
個人經營。(種類)政治、經濟、
社會、學術其他一般。(回数)二
回以上。(社長)中村龍三。一ヶ
月百圓。

明治通信

麻布區霞町四。創立
明治三十三年。個人經營。(社長)
綾部勉。
芝區南佐久間町二ノ
一。(電)芝二五一〇。創立大正
十四年六月五日。民政黨。(種類)

民衆通信

内外調査通信 麴町八丁目廿
三。(電)九段二三〇八。創立明
治三十七年六月一日。匿名組合。
一萬圓。(回数)一。(社長)關安
之助。

無線時事通信

麴町區丸
ノ内時事新報社内。創立昭和四
年。株式。四萬圓。時事系重役。海
上船舶の通信を一手に供給す。

毎夕通信

神田區小川町四一。
(電)神田三〇三五。創立明治三
十七年。株式。五萬圓。(種類)
政治、經濟、社會、皇室並に國
防各般。(回数)日刊。(社主)丹
野虎吉。(社長)同。(取締役)阪
田武勇、丹野庄太、加藤忠四郎。
(理事)津本義雄。(編輯)中村次
兵衛。(營業)小野寺文雄。(社
員)三十二名。一ヶ月百圓。

婦女通信

牛込區市ヶ谷田町。
(電)半込三二二〇。創立明治四
十五年六月。個人經營。一萬圓。
(回数)二回以上。(部數)昭和七
年十月七日現在六十八。(契約)
通信社廿五。(社主)佐藤順造。
(社長)同。(編輯)石井彰。(社員)
七名。一ヶ月五十圓。(特設)人
事調査部。結婚紹介部。

新聞記事一般

(回数)六回以上。
(部數)七年十月十日現在六百七
十五部。(契約)三百二十七部。
(主幹)竹本治三郎。(理事)七名。
(編輯)東舜英。(支局)三。(社員)
十八名。(兼營)廣告代理業。

商業通信

日本橋區堀切町一ノ
七。(電)茅場一七二。創立大正
八年八月十五日。株式。十萬圓。
(種類)相場通信、其他通信事業。
(契約)七。(社長)平井文三。(常
務)加賀卯之吉、服部順之助。
(取締役)川上彦太郎。(監査役)
岡島政藏、大野善三郎。(編輯)
中村久一。(支局)十。(社員)四
十五名。一ヶ月三十圓。

昭和通信

東京學藝通信社發
行。本郷區新花町三十四。(電)
小石川四一六一。創立明治四十
五年四月五日。個人經營。(種類)
文藝、婦人、家庭。(回数)一回。
(契約)二百二十社。(社主)池田
憲之助。(社長)同。(副社長)池
田均。(編輯)池田憲之助。(營
業)池田均。(特設)寫真製版部、
活版部、ステレオ部、活字鑄造
部。(兼營)日刊寫真通信、寫真
製版、活字販賣、印刷インキ販

實、日刊漫畫通信、中古印刷機  
械賣買。  
 ■契約新聞社に對しポイント活  
字各種の無料供給印刷インキの  
毎月無料供給等のサービスを行  
なす。  
 ■七年新に事業部を開設して新  
聞社に對し中古印刷機械買入の  
幹旋を開始し好評を博す。

**新聞研究所報** 新聞研究  
所發行。京橋區銀座西三ノ三。  
 (電)京橋二二二五。創立大正九  
年九月。個人經營。(種類)新聞開  
係事項を中心として其他一般。  
 (所長)永代静雄。(主幹)光用穆。  
 (理事)中村勝治。(編輯)中村勝  
治。(社員)十八名。(支局)二。(契  
約)全國主要新聞通信廣告代理  
業者及廣告主其他。(兼營)宣傳  
顧問局、月刊「新聞及新聞記者」、  
月刊「新聞大學講義録」、年刊「日  
本新聞年鑑」、供給部、廣告代理  
事務其他。  
 ■昭和二年四月我國最初の新聞  
學校「日本新聞學院」を創立管理  
し三年四月約四十名の第一回卒  
業生を出す。  
 ■五年十二月「昭和新聞名家録」

自由通信

發行。  
 京橋區銀座西三  
 ノ一。(電)京橋二四二、二四八、  
 二四九、四四〇八、五七〇〇、  
 四五三〇。創立明治三十二年二  
 月十一日。個人經營。政友會。  
 (回数)毎日三回乃至四回。(契  
約)東京外各地方百六十。(社長)  
 小高長三郎。(相談役)勝田主計、  
 小久保喜七。(主幹)岡田巖。(編  
 輯)石崎健司。(外交)井上平太  
 郎。(庶務)三村秀吉。(印刷)齋  
 藤幸次郎。(廣告)金子録郎。(支  
 局)一。(社員)四十五人。(特設)  
 印刷出版。(兼營)廣告代理業。  
**政治經濟通信** 芝區南佐久間  
 町一ノ五〇。(電)代表芝二二七  
 〇。創立大正十三年二月二十日。  
 個人經營。主として床次竹二郎  
 氏の政見を支持す。(種類)政治  
 經濟を主とし其他萬般に亘る。  
 (回数)市内版及地方版、特約社  
 には電報電話通信をなす。(契  
 約)内國及植民地に亘り百五十  
 社。(顧問)床次竹二郎。(社長)  
 里見謹吾。(副社長)里見敬三。  
 (理事)守屋源次郎、川村源市、  
 大場英十郎、吉田博光。(編輯)

二、地方

大阪

**日本労働通信** 労働問題研究  
會發行。北區宗是町十、中之島  
 ビル。創立昭和三年二月一日。  
 合議制。(種類)國內に於ける社  
 會運動、労働事情、争議その他新  
 興運動一斑。(主幹)吉川武男。  
 (主幹)長尾桃郎。(編輯)同。(支  
 局)五。(社員)十二名。一ヶ月  
 五圓。  
**日本經濟通信** 西區阿波座中  
 通一ノ一二。(社長)村井佐吉。  
**日本合同通信** 東區備後町二  
 丁目一二。(電)代表本町一四四  
 五。創立明治四十一年三月十六  
 日。個人經營。十五萬圓。(回数)

日刊。(部數)七年十月十日現在  
 一萬五百部。(契約)百四十社。  
 (社主)飯田賢。(社長)同。(主  
 幹)阪下繁太郎。(理事)長谷川  
 文三郎、森元彌、津村繁次、西  
 森敏男、瀧澤岳洋。(營業)中田  
 政治。(支局)六。(社員)百三十  
 五名。一ヶ月五十圓。  
 ■日本經濟基本統計表、經濟論  
 集、金融發達史等を發行す。

日本綿業通信

東區北久太郎  
 町三丁目三品ビル。創立大正二  
 年一月八日。個人經營。(社主)  
 木谷勝郎。(社長)同。一ヶ月五  
 圓。

日刊聯合通信

聯合通信社發  
 行。南區南炭屋町一八。(電)六  
 五二二。創立大正九年十一月十  
 一日。個人經營。(種類)一般經  
 濟其他。(回数)日刊。(部數)昭  
 和七年十月一日現在約二千三百  
 部。(契約)二十一。(社主)江川  
 仁三郎。(社長)同。(支配人)江  
 川月一。(理事)高橋正之助。(編  
 輯)江川仁三郎。(營業)阪田傳  
 藏。(支局)三。(社員)十四名。  
 一ヶ月一圓。(特設)社會見學。  
 (兼營)印刷。

日刊教育通信

教育之日本社  
 發行。東區幸相山町一五三。(電)  
 東一三一五、六二九八。創立昭  
 和五年七月一日。(種類)教育時  
 事問題の報道。(回数)一回。(部  
 數)昭和七年十月八日現在五千  
 部。(社主)富岡秀耀。(社長)同。  
 (主幹)富岡勝。(理事)大津安二  
 郎。(編輯)川西安一。(營業)大  
 津安二郎。(廣告)青木二郎。(支  
 局)東京、京都、神戸。(社員)  
 四三名。一ヶ月五十錢。

紙型鉛版製版機一式

**大阪三商報** 東區北久太郎町  
 三。大阪三品取引所内。(電)船  
 一八二一。創立昭和三年五月一  
 日。共同資本。六千圓。(種類)  
 大阪三品取引所公報。(回数)一  
 回。(販賣)昭和七年九月末日現  
 在六、八五〇枚。(代表者)堅田米  
 造。(編輯)同。(廣告)土屋土。  
 (社員)十二名(工場共)。一ヶ月  
 三圓。  
 ■株式會社大阪三品取引所公報  
 にして、綿糸布商況に關する一  
 切の報道を爲す。  
**大阪共通** 大阪共同通信社發行

大阪新鮮物産日報

西區幸  
 町一ノ八。(社長)高井保太郎。  
**大阪砂糖日報** 南區鹽町通五。  
 (電)船場四三二五。創立大正九  
 年五月七日。個人經營。二萬圓。  
 (種類)内外糖界事情及會社關係  
 糖業方面一切。(回数)日刊二版。  
 (部數)七年十月五日現在二千部  
 (社主)廣山敏康。(社長)同。編  
 輯)楠照道。(營業)松尾豊。(廣  
 告)同。(社員)十一名。一ヶ月  
 六圓。六ヶ月三十圓。(兼營)印  
 刷。

大阪商通

北區堂島中一ノ二  
 六。(社長)石橋久吉。  
**大阪肥料新聞** 西區靱上通二  
 丁目二一。(電)土佐堀五二。創立  
 大正七年五月。大正十四年五月  
 組織題名變更。個人經營。(種類)  
 肥料及飼料。(回数)一回大祭日  
 曝休刊。(社主)澁谷覺藏。(社  
 員)五名。一ヶ月一圓五十錢。  
 ■順次關係近き諸商品市況を掲  
 載し純然たる商業新聞と爲さん  
 計畫あり。

聯合通信

新聞聯合社發行  
 (大阪支社)北區中之島二丁目二  
 十五。創立大正十五年五月一日。  
 組合。(種類)内外信、廣告、寫  
 眞、演藝等。(事務)岩永裕吉。  
 設備其他本社と同じ。  
**藥石日報** 西區江戸堀下通三丁  
 目三五。(電)土佐堀五〇五〇。  
 創立大正五年。株式。十萬圓。  
 (種類)一般時事は主として化學  
 工業藥業方面。(部數)七年十月  
 十五日現在二萬三千部。(社長)  
 安東忠治郎。(事務)安東長義。  
 (取締役)小西喜兵衛、宗田新次  
 郎、伊藤千太郎。(監査役)白岩  
 深藏、松田卯三松。(編輯)三ツ  
 橋邦治郎。(營業)久保壽。(廣告)  
 小川信造。(支局)三。(社員)七  
 十名。一ヶ月八十錢。

皇國日報

(大阪ニユースの改  
 題)北區會根崎上三の一。(電)

大阪電報通信

(日本電  
 報通信社の分身)北區中之島二  
 ノ二〇。(電)本局一九八、六〇  
 三、一五、二〇〇二、三九二〇、  
 五五一六、九一四、五六〇〇、  
 二〇〇二。(社長)能島進。(庶  
 務課)澤邊保雄。(會計課)每木  
 一八。(通信)潮海秀之助。(編  
 輯)染井左門。(營業)能島進。  
 (特設)東京福岡間専用電話、電  
 送寫眞、寫眞製版、凸版製版、

中央聯合通信

西淀川區浦江  
 町中一ノ三六。(社長)西森猪師  
 男。

大商日報

大阪商事株式會社發  
 行。東區高岩橋三丁目七。(電)  
 本局四三三三、四三三九、四二  
 〇〇一四二〇九、東京専用五八  
 〇〇、五八〇一。  
 ■本日報は本社に現物中値表に

皇國日報

(大阪ニユースの改  
 題)北區會根崎上三の一。(電)



北二四六一。(創立)大正十四年二月十一日。個人經營。一萬圓。(種類)國體主義宣揚、經濟、社會一般通報。(回数)一回。(社主)木村準治。(社長)同。(理事)入田祐種、杉山行望、中武榮之助。(編輯)小西白花。(營業)入田祐種。(廣告)杉山行望。(支局)二。(社員)十數名。一ヶ月五十錢。

七年二月十一日に中央公會堂に改題記念、思想善導講演會を開く。

大日本國防黨組織計畫中。

毎日通信 此花區上福島北三ノ一八一。

帝國興信日報 帝國興信所大阪支店發行。西區江戶堀一丁目。創立明治三十三年三月。株式。五十萬圓。(社長)後藤武夫。

有價證券市場日報 東區今橋二ノ一。(社長)小川清次。

商業興信所日報 (信用告知業附屬機關)商業興信所發行。東區北濱三丁目七。創立明治三十一年十一月。株式。四十萬圓。(種類)財界事項。(回数)一回。(社長)代表取締役所長)阿部直躬。(支所)五ヶ所。(出張所)三十ヶ所。

信用告知業を主とす。

昭和七年五月二十三日元合名會社なりしを株式會社に組織變更す。

信用交換所日報 信用交換所大阪局發行。東區備後町二ノ一。(電)本町一五二〇。創立明治四十一年十一月。個人經營。(種類)維織商工業者を専門とせる調査機關にして、之等營業者の信用狀態其他財政界及經濟界事項。(部數)昭和七年九月三十日現在三、五二〇部。(社長)中原實。(支局)五。(社員)九十名。一ヶ年三十圓。

人絹協會ニユース 西區土佐堀通り一ノ一。(社長)阿部正文。

日本經濟通信 日本經濟通信社京都局發行。下京區烏丸通佛光寺上ル。(電)一八八三、一八八四、三七四〇、四九四〇、五九二八。創立大正十一年八月。個人經營。(種類)海外經濟事情

並に市場狀況の通信。(回数)五回。(部數)昭和七年十月一日現在一〇一二。(社主)山岡米造。(社長)同。(社員)十五名。一ヶ月五圓。

日本電報通信 日本電報通信社京都支局の發行。上京區樺木町通り烏丸西入養安町。(社長)光永星郎。(支局長)青島秀徳。(社員)六名。

東亞通信社 中京區仲町竹屋町北入。創立大正十四年四月十日。(種類)日刊新聞記事の全般に亘る。(契約)三十七社。(社長)石子基二。(主幹)青木政和。(支局)三。一ヶ月五十圓。(特設)寫眞、電信。(兼營)月刊雜誌發行。

中外通信 京都市衣棚下立賣北。(電)西陣二三八六。創立大正十年十二月。匿名組合。五萬圓。政友會。(種類)政治、經濟、美術、文藝、社會。(發行)三便制度。(契約)五十四社。(社主)八木敏一。(社長)同。(主幹)山田天外。(理事)中久保耕太郎。(編輯)山田天外。(支局)五。(社員)三十七名。一ヶ月百圓。(兼

營)雜誌出版。

聯合演藝通信 (内外演藝通信の改題)聯合演藝通信京都支局發行。上京區北野消防署横。創立昭和四年十二月。個人經營。(種類)演藝映畫一般。(回数)數回。(社長)桑野正夫。

關西通信 京都市吉田下阿達町一四。(電)上八六七、八六八。創立昭和六年十二月十五日。個人經營。(種類)宗教、美術、教育、府市政其他一般記事。(回数)二回。(社主)辻本光楠。(社長)關戶利國。(支配人)村橋矢須比古。(編輯)奥村霧海。(營業)森本豊次郎。(社員)十五名。一ヶ月五十圓。(兼營)週刊「關西小國民」。

京津土木建築通信 京都市寺町通丸太町上ル東入。(電)上四九一九。創立大正十五年十月。新日本國民同盟。(部數)七年現在三百部。(社長)常田俊雄。(社員)五名。一ヶ月一圓。

京都通信 左京區岡崎東天王町七一。(電)上三三四五、四一五

七。創立昭和四年七月二十三日。個人經營。(回数)一回。(契約)十五社。(社主)坪田光藏。(社長)同。(編輯)飯内和十郎。(社員)十七名。一ヶ月五十圓。

當社は通信開始午前九時より十時までにて尙宿直を置き終夜各社との連絡をとる、殊に電報通信社との契約をなして京都の出來事を擔當す。近く宗教通信及寫眞通信の企あり。

都通信 御幸町三條。創立大正七年五月一日。個人經營。十萬圓。(回数)二回。(契約)百十五。(社主)松田作太郎。(社長)同。(編輯)光峰滋。(營業)大石富四郎。(廣告)同。(支局)十。(購讀料)五十圓。

昭和通信 京都市中京區中町竹屋町上東丸町二六七。(社長)松井福次郎。

社會通信 京都市上京區吉田下大路町四五。(社長)岸田義和。

二一四、二五〇一。(社長)光永星郎。(支局長)鹿子木日出雄。(社員)二十一名。(特設)電送寫眞。

支局開設二十五周年を記念すべく六年十月二十一日より一週間中部日本新聞博覽會を開催し

名古屋通信 名古屋市中區新榮町二丁目。(電)中五六。創立大正四年三月一日。(回数)一回。(部數)七年九月三十日現在五十部餘。(契約)市内新聞近縣日刊新聞。(社長)後藤清文。(副社長)田端才二。(編輯)橋本介二。(廣告)川本善雄。(支局)一。(社員)三十四名。(特設)製版部有り。

六年十一月新社屋に移轉營業す。

愛知通信 名古屋市中區石町三ノ一五。(電)代表東五三三九。創立大正十年四月十三日。個人經營。(種類)政治、經濟、社會、教育、其他。(回数)二回。(社主)小田莊二。(社長)同。(副社長)小田邦夫。(支配人)梅村喜六。(編輯)龜田了介。(營業)淺川與

三郎。(支局)八。(社員)二十三名。一ヶ月二十圓。(特設)辯論部、出版部。(兼營)名古屋日日新聞。

共同通信 名古屋市中區矢場町電車通り。創立大正七年十月五日。合資。三萬圓。(發行)一回若くは二回。(契約)五十八社。(社長)松原繁吉。(編輯)笹尾武。(營業)窪田捨五郎。(支局)十二。(社員)三十二名。一ヶ月二十圓。(特設)圖案。(兼營)廣告代理業。

横濱通信 横濱市中區太田町五ノ六七。(電)本局四一三、四八〇一。創立明治三十年四月二日。合資。三萬圓。(種類)政治、經濟、社會、運動、其他一般商況。(回数)十回。(部數)昭和七年九月三十日現在四百八十。(契約)四十。(社長)日比野澄。(副社長)日比野申。(主幹)沖野小志馬。(編輯)菊地源助。(營業)福井鬼重。(廣告)小山幹。(支局)六。(社員)五十七名。一ヶ月三十圓以上二百圓。

京濱通信 横濱市中區眞砂町二

ノ一五。創立大正十三年二月四日。個人經營。(種類)政治、經濟、社會部其他新聞一般通信。(發行)數回。(社主)柏崎米吉。(社長)同。(理事)中村萬吉。(編輯)工藤茂雄。(營業)森金市。(廣告)安藤通隆。一ヶ月三十圓。

岐 阜

日刊愛岐通信 愛岐通信社發行。岐阜市司町五二。昭和四年八月創立。昭和四年九月一日創刊。個人經營。(種類)新聞通信、出版通信、町村通信、商工通信、學事通信、其他六種。(回数)二回又は三回。(契約)十二社。(社主)寺澤初太郎。(社長)同。(支局)三。(社員)八名。一ヶ月契約A五十圓、B十五圓、C五圓、D三圓、E一圓。(兼營)調査、出版。

内國通信 岐阜市美江寺町廿九。(電)一二六〇。創立明治三十六年八月十日。個人經營。(種類)特別通信(隱寫)、普通通信(活版、新聞型)。(回数)特別通信一日三回。普通通信月四回。(販賣)昭和七年十月現在特別通

名古屋

日本電報通信 日本電報通信社名古屋支局發行。名古屋市中區南伊勢町一ノ七。(電)中二五

信百廿部。普通通信千八百部。  
 (契約)十五社。(社主)小島長  
 淵。(社長)同。(編輯)長谷川清。  
 (營業)小島米子。(廣告)野中國  
 次郎。(社員)十二名。一ヶ月特  
 別十五圓。普通十五錢。(兼營)  
 一般印刷及官衙指定書類簿册販  
 賣、文藝雜誌其他二三機關雜誌  
 發行。

濃飛通信 岐阜市端詰町。(電)  
 三〇八六。創立昭和四年十月十  
 二日。個人經營。(種類)政治、  
 經濟、社會、文藝。(回数)二回。  
 (契約)二〇。(社主)原篤三。  
 (社長)同。(主幹)白木定七。(編  
 輯)高橋純孝。(營業)原篤三。  
 (支局)二。(社員)六名。一ヶ月  
 二十五圓。(兼營)雜誌發行。

岐阜新報 岐阜市木造町。(社  
 長)水野後八。  
 大垣通信 大垣市番組町。(社  
 長)下地嘉助。  
 飛驒通信 岐阜縣高山町。(社  
 長)野阪賢一郎。

其他各地

武州經濟通信 川越市四九八。  
 (社長)熊谷保。  
 信濃共同通信 南信中央新聞  
 社發行。松本市地藏清水八。創  
 立大正十一年一月三十日。個人  
 經營。(社主)松下善一郎。(社  
 長)松下麗洋。(支局)三。(社員)  
 二十八名。一ヶ月六十錢。(兼營)  
 雜誌月刊信濃時報發行。  
 日刊新紀州 和歌山市道場町  
 六八。(電)和歌山二七二七。創  
 立昭和五年一月十一日。個人經  
 營。五千圓。(回数)朝一回(部  
 數)昭和七年十月一日現在五千  
 部。(社主)竹內幹人。(主幹)同。  
 (編輯)杉昭。(營業)桃川惠洋。  
 (廣告)同。(支局)二。(社員)八  
 名。一ヶ月三十錢。(特設)寫真  
 銅版の通信部併置。  
 昭和八年一月紙面増大を實行  
 に決す。  
 日刊日本新聞通信 滋賀日  
 日通信社發行。大津市高見町二  
 三。(電)六二一、六四九。創立  
 昭和三年二月十一日。個人經營。  
 三萬圓。(種類)政治、經濟、社會、  
 勞働、宗教、文學、映畫、外國  
 ニュース。(回数)四回。(部數)  
 〇。市川肇。

昭和七年十月一日現在六四〇。  
 (契約)一七三。(社長)矢尾喜三  
 郎。(主幹)元持佐太郎。(編輯)  
 中村松太郎。(營業)秋岡清太郎。  
 (廣告)宮城一之進。(支局)十六。  
 (社員)六十五名(各通信員共)。  
 一ヶ月二十圓。(兼營)新聞雜誌  
 廣告代理、速記、翻譯。  
 創刊五週年記念として七年六  
 月より日本新聞通信「大衆版」  
 (雜誌)月一回を併發行せり。  
 本社の増資(合資會社)社屋の  
 改築の計畫あり。  
 商業通信 下關市西之端町三  
 〇。市川肇。

樺太新聞年鑑編輯中。  
 樺太興信所報 大泊町本町西  
 一條南五丁目。創立大正十四年  
 十二月。(社長)中島金治。  
 帝國興信所樺太特報 樺太  
 大泊町本町東二條。創立大正十  
 四年三月。(社長)内田隆三。  
 朝鮮  
 日本電報通信 日本電報通信  
 社京城支局發行。京城府明治町  
 一ノ六四。(社長)光永星郎。(支  
 局長)齋豐三郎。(支局員)十一  
 名。  
 日刊大陸 (大陸通信の改題)  
 京城黃金町二ノ一四八。(電)本  
 局五八二。創立大正九年二月二  
 十日。二萬五千圓。(種類)時事  
 一般。(回数)一回。(部數)七年  
 十月十日現在三、八〇〇。(社主)  
 井上收。(社長)同。(副社長)北  
 川吉昭。(主幹)春日井喜太郎。  
 (編輯)社長兼務。(營業)同。(廣  
 告)同。(支局)六。(社員)四十  
 八名。一ヶ月五十錢。  
 通信と稱するも、菊四倍四頁  
 活版印刷にて朝鮮にては通稱  
 赤新聞(赤紙使用)と稱さる。

東亞電報通信 京城府太平通  
 二ノ一一五。(社長)貴田忠衛。  
 朝鮮通信 京城太平通二。創立  
 大正十五年五月十五日。個人經  
 營。(種類)朝鮮及朝鮮民族研究  
 に必要な事項の報道。(回数)  
 一回。(社主)伊藤卯三郎。(社  
 長)同。(支局)十二。一ヶ月五  
 圓。(兼營)朝鮮語獎勵出版。

朝鮮經濟日報 京城長谷川町  
 一〇一。創立大正九年三月十日。  
 個人經營。二萬圓。(種類)一般  
 經濟報道。(回数)二回。(契約)  
 全國、朝鮮、滿洲。(社主)小野  
 久太郎。(社長)同。(支局)一三。  
 (社員)三十二名。

帝國通信 京城南大門通。(社  
 長)山添昇。  
 商業通信 日本商業通信社發  
 行。京城府長谷川町一一六。(電)  
 代表本局一七〇三。創立大正九  
 年八月一日。合資。十萬圓。(種  
 類)一般經濟時事並に相場通信。  
 (發行)三回。(副社長)山本滋雄。  
 (理事)渡部二三、平手謙一、井  
 口陸造。(總務兼通信)山本滋雄。  
 (營業)渡部二三。(主幹)宮崎義  
 男。(大阪支局)赤星勝夫。(社

滿洲

員)百二十九名。(特設)京城、  
 仁川間私設專用電話一回線、私  
 設電報發受局名認可、新聞豫約  
 通話連絡大阪、下關外十五ヶ所、  
 七年四月日刊「朝鮮米肥日報」  
 を創刊す。  
 日本電報通信 日本電報通信  
 社大連支局發行。大連市大山路  
 八五。(社長)光永星郎。(支局  
 長)吉川義章。(社員)五名。  
 日滿通信 大連市佐渡町一。(社  
 長)津上善七。  
 聯合通信 新聞聯合社大連支  
 局。大連市。創立大正十五年五  
 月一日。組合。(種類)新聞通信  
 及經濟通信。(回数)日五。(專  
 務)岩永祐吉。(支局長)長澤千  
 代造。(新聞編輯長)長澤千代造。  
 (支局員)九名。

帝國通信 大連帝國通信社發  
 行。大連市信濃町三一。(電)四  
 〇〇〇、四〇〇一、八二六二。  
 八二六三。創立大正十四年。個  
 人經營。(種類)政治、社會、經  
 濟。(回数)數回。(社長)山口  
 忠三。(副社長)五十崎正大。(編

輯)橫澤宏。(支局)滿洲内各地。  
 (兼營)出版、廣告取扱。  
 電通 日本電報通信社滿洲支社。  
 奉天木曾町六。(電)三三六八、  
 三三六四。創立大正十四年四月  
 十五日。株式。百萬圓。(種類)  
 日文通信。漢文通信。(回数)三  
 回。(契約)十。(社長)光永星郎。  
 (支局長)大西秀治。一ヶ月五十  
 圓。

奉天電報通信 奉天浪速通三  
 八。創立大正十一年七月一日。  
 (種類)政治、經濟、社會記事。  
 (發行)二回。(社長)渡邊義一。  
 (支局)五。(社員)七名。(兼營)  
 商事部、奉信公司。

聯合通信 新聞聯合社奉天支局  
 發行。奉天淀川町七。(回数)數  
 回。(支局長)佐藤善雄。  
 滿洲通信 奉天信濃町二三。(社  
 長)武内忠次郎。  
 問島通信 問島龍井市。(電)五  
 二。創立大正十四年九月二十九  
 日。合資。(社主)史廷鉉。(社  
 長)同。(常務)安昌萬。(支配人)  
 史六鉉。(編輯)李鎮鼎。(社員)  
 十五名。一ヶ月七錢。



**折込廣告社** 神田區多町一ノ二。(社長)東庄吉。(種目)折込ポスター取扱。(兼營)ビヤホール。確報堂 芝區南佐久間町二ノ一八。(電)芝一八四九。創立大正二年。(社長)上山銳彦。(種目)賣藥及聯合廣告。

**よろづ通信社** 京橋區銀座西。創立大正九年四月。(社長)高橋鐵之助。(種目)遊覽。案内廣告。

**よろづ宣傳社** 日本橋區箱崎町二ノ四。創立昭和二年五月。(社長)小島啓邦。(種目)案内廣告。

**吉川世民社** 小石川八千代町三十三。(電)小石川一三二。二九〇。三一三七。五五一三。(支店)神田四〇七七。八一五。(所屬)一致會。創立明治四十四年。(社長)吉川守國。(種目)案内廣告。(得意)電話、貸金、地所家屋、看護婦、雜件、日常廣告全般、得意三千餘。(取引)主として東京の日刊新聞。(兼營)思想雜誌、勞農、全國俸給者組合。

ノ五。

**大日本通信社** 芝區今入町十。(電)銀座一七六。四〇〇七。創立大正六年十二月。個人經營。十二萬圓。(社長)多田滿長。(主幹)八田泰輔。(廣告)多田實。(支局)二。(種目)一般。(取引)全國新聞。(兼營)印刷事業、日刊大日本通信發行。

**大同通信社** (政治經濟通信社の廣告部) 京橋區銀座西六丁目二。(電)銀座四三〇二。(所屬)東京廣告協會。(社主)川村源市。(取引)東京大阪新聞其他地方全部。(特設)通信部日刊政治經濟通信。(兼營)河合洋行。

**太平洋廣告取扱社** 麹町區内山下町一丁目一。(電)銀座一五七一。二三三〇。四七四〇。創立明治廿三年十一月。株式。十七萬圓。(社長)ビエダブリュ・フライシヤ。(取締役)ウイルフリッド・フライシヤ。ビー、ビー、フライシヤ。(監査役)井手武雄。(支配人)ゼー、アール・ヤング。(幹部)小林市太郎。鈴木虎若。(支局)橫濱、神戸、大阪。(種目)輸出入品其

他。(取引)全國新聞雜誌。(兼營)ジャパン、アドヴァタイザー其他。  
**宗田組** 麹町區内幸町一ノ五。(所屬)東京新聞廣告協會。創立大正八年。個人經營。(社主)宗田新一郎。  
**内外廣告社** 麹町區丸ノ内三。菱仲九號館ノ二。(電)丸ノ内四〇三。四七三三。創立昭和元年。(種目)案内。  
**内外宣傳通信社** 芝區日蔭町一ノ一。創立昭和四年五月十六日。個人經營。三萬圓。(社主)小倉一男。(種目)案内廣告。  
**上田三交社** 麹町區有樂町二ノ七。(電)丸ノ内九三六。四九一三。創立大正九年五月。個人經營。(社長)上田龜吉。(社員)五名。  
**山元新光社** 下谷區上野町二ノ一四。(社主)山元國三。(種目)案内廣告。  
**馬淵商會** 京橋區北橋町一。(社長)馬淵豊吉。  
■七年七月國光社は新聞聯合廣告部に合併され馬淵商會として獨立す。

ノ五。

**萬勉通信社** 芝區愛宕町一ノ三五。(電)芝二四二〇。二七一。創立大正五年。個人經營。(社長)清水萬太郎(高島改)。(種目)賣藥、化粧品、書籍、食料品。(取引)一般。  
**萬年社支店** 京橋區銀座一丁目。(電)京橋三五三六。八。創立明治二十三年六月。株式。百萬圓。(社長)高木貞衛。(東京支店)長中川秀吉。

**萬來社** 京橋區京橋二ノ一。創立昭和七年。  
■時事新報大東京版の廣告を一手に扱ふ。  
**萬歲社** 品川區五反田六丁目。(電)高輪五二二。創立大正四年十一月三日。個人經營。(社主)佐藤四一郎。(營業)鈴木愛三。

**萬世通信社** 神田區淡路町一ノ一。(種目)案内廣告。  
**京華社支店** 麹町區丸ノ内三號二十一號。創立明治二十三年一月。(社長)後川晴之助。(東京支店)池田一藏。

**小山船廣社** 淺草區向柳原一ノ一七。(電)淺草六六八〇。(所屬)日本廣告協會。創立明治二十年。(社長)小山幾三。(社員)十名。(種目)屋外廣告其他。  
**弘報堂** 京橋區銀座西五丁目三。(電)銀座二〇八三(四)。三二〇一。(所屬)協同會。(創立)明治十九年。株式。二十萬圓。(社長)江藤甚三郎。(取締役)江藤直輔。江藤直三。横井忠國。(監査役)花房政秀。(外務第一課長)遠山源太郎。(調査主任)水野旗郎。(元方課長)吉原直之助。(主計課長)鈴木彦四郎。(庶務課長)矢頭勘一。(得意)博文館、東京火災、野田醬油、早大出版部、第一生命、帝國生命、千代田生命、三井生命、第一銀行、三菱銀行、三井銀行、人肥、興銀、勸銀、三井信託、東京電氣、近藤利兵衛商店、小網商店、大日本ビル、郵船、新橋演舞場、東洋拓殖、高島屋、平尾贊平、松屋、其他著名銀行會社等、東京瓦斯、鐘紡。(取引)全國著名新聞雜誌社。  
■七年待遇問題から内紛があつたが九月十四日解決した。

**弘報堂** 京橋區銀座西五丁目三。日

本廣告協會員。(社長)堀田峻二郎。

交詢社、各株式店、米穀取引員、山一證券、等々其他七百餘。

**結城盛報社** 本郷區元町二の七二。(電)小石川〇四〇九。四八〇五。一五九五。五九八〇。二五九五。(所屬)一致會。創立大正十二年十月十五日。株式。十萬圓。(社長)結城長治。(監査役)伊藤榮助。(支配人)田岡彦一。(大阪出張所主任)中村彦三郎。(種目)案内廣告。一年間抜總行數約八十五萬行。(兼營)年史刊行會。  
■七年十月一日大東京市併合祝賀に市電氣局の花電車に協賛し祝賀電車を運轉す。  
■八年十月には創業十周年を記念するため社屋新築の計畫あり日下設計準備中。

**正路喜社** 京橋區銀座西七丁目五。(電)銀座八三七。八三八。一一七五。四四〇二。四四〇七。創立明治二十年十月。株式。

本廣告協會員。(社長)堀田峻二郎。  
**廣報通信社** 芝區柴井町十一。(電)芝二三七二。創立明治四十四年。個人經營。(社主)長瀬伸三郎。  
**廣告社** 京橋區銀座西五の五。三八八八。(所屬)協同會。創立二十一年五月。個人經營。(社長)湯澤精司。(副社長)湯澤清。(支配人)同。(幹部)渡邊久二郎。佐藤良哉。木村政雄。長倉繁雄。内山敏雄。(社員)四十餘名。(種目)一般。(取引)全般。(兼營)日刊日本產婦通信發行。  
**告天社** 麹町區内幸町二ノ三。ダイヤモンド社内。(電)銀座四一五五(三)。一六六〇。(所屬)東京廣告協會。木曜會交渉中。創立大正十三年三月。個人經營。(社主)富永良太郎。(副社長)富永和夫。(支配人)岩井芳雄。(社員)十一名。(種目)食料品、株米、百貨店、雜報、會社ハツ。(得意)國分商店、明治製菓、松屋、カルピス、中央製菓、玉塚商店、川島屋、ダイヤモンド、

愛國通信社 麹町區内幸町一丁目五。(電)銀座三五九〇。一。創立大正二年十月三十一日。個人經營。五萬圓。(社長)吉田文外。(顧問)田村全宣。(種目)官廳會社及個人。(取引)東京大阪及各地有力新聞雜誌。  
**三芳社** 神田區堅大工町三。(社長)粕谷芳之助。(種目)案内廣告。  
**魁通信社** 神田區錦町。(社長)等々力一郎。(種目)案内。  
**金蘭社** 神田區錦町二ノ三。(社長)笠間平右衛門。(種目)書籍及學校。

明信社 芝區芝口二ノ一八。創立大正八年四月。合資。三萬圓。(代表社員)井上信吉。(社員)十名。(種目)活動寫眞、雜。  
**時生通信社** 四谷區谷町一ノ十。五。(電)四谷三〇八七。(社長)山崎幸作。(廣告)酒井範雄。  
**正路喜社** 京橋區銀座西七丁目五。(電)銀座八三七。八三八。一一七五。四四〇二。四四〇七。創立明治二十年十月。株式。

■七年待遇問題から内紛があつたが九月十四日解決した。

五十萬圓。(取締役)長尾三郎、布屋徹吉。(取締役)安田彦三郎、淺田源一。(監査役)福澤義男、宮澤源三郎、黒崎雅雄。

七年九月サーウイヌ部を新設し花王石鹼意匠部の長岡逸郎君入社擔任す。

**新聞研究所**

京橋區銀座西三丁目三。(電)京橋二二二五。

創立大正九年九月。個人經營。

(社長)永代靜雄。(主幹)光用穆。(理事)中村勝治、山田惣太郎。(社員)十八名。(支局)二。(得意)新廣告主の開拓。(取引)新聞各紙。(特設)文案圖案製作、調査部、代理部、供給部。(兼營)日刊通信、月刊新聞及新聞記者、月刊新聞大學講義、宣傳顧問局。

**新聞聯合社廣告部**

京橋區銀座西八ノ九。(電)代表銀座二二二一(五)。

創立昭和六年十二月一日。(部長)不破瑛磨太。(庶務課長)石井衛太。(中央課長)木村哲二。(地方課長)栗田貞一郎。(全部員)四十名。(種目)銀行、會社、百貨店、賣藥、化粧品、演藝物、食料品其他官

廳物。(得意)一流廣告主全部約三〇〇。(取引)全國各新聞、主要雜誌、官報、業界雜誌等。

昭和六年十二月廣告聯合社の業務を繼承して廣告部を設置し昭和七年七月株式會社(國光社舊國交通信社)の業務を合併す。

七年八月後藤庄太郎君弘報堂を退き新聞聯合廣告部に入る。

同九月職制を改め中央、地方、庶務會計の三課を設け、各課長を任命し、後藤庄太郎君は外勤主任となつた。

**自由通信社**

京橋區銀座西三丁目一。(電)京橋二四二、二四八、四五三〇、四四〇八、二四九、五七〇〇。

創立明治三十二年二月十一日。個人經營。(社長)小高長三郎。(相談役)勝田主計、小久保喜七。(主幹)岡田巽。(營業)金子録朗。(編輯)石崎健司。(外交)井上平太郎。(庶務)三村秀吉。(印刷)齋藤幸次郎。(臺灣支局長)久我戀正。(支局)一。(社員)四十五名。(種目)新聞廣告其他一般。(得意)日本銀行、日本勸業銀行、日本興業銀行、其他銀行會社官省、商店五百二

**二、地方**

**大阪**

**日本電報通信社支局**

大阪電報通信社内。大阪電通の機能によつて營業す。

**日本弘業通信社支店** 大阪市東區堂島中一ノ八。(電)北一一三、八一八〇。

創立明治二十八年十月。(社長)與田富藏。(支社長)中島常太郎。

**第一廣告社**

大阪市東區今橋二ノ二五。(電)本局二八二六、三一六〇、五六一一。(所屬)水曜會。創立大正十三年十月。個人經營。(社長)岡田辰次郎。(支配人)岩本周平。(社員)三十二名。(支局)二。(種目)諸新聞廣告。(得意)今津化學研究所、武田長兵衛、大同生命保險株式會社、日本生命保險株式會社、三國セルロイド株式會社、松下電氣器具製作所外二十四。

**做蟻社**

大阪市西區京町堀通二ノ五。(電)土佐堀二三二七、三三五三、四五六四、七一七。創立明治卅年。個人經營。十萬圓。(社長)金子音次郎。(社員)十數名。

**大阪電報通信社**

大阪市北區中之島二丁目二〇。(電)本局五五五六、九一四、一九八、六〇三、二〇〇二、三九二〇、外二本。創立明治三十九年四月。日本電報通信社分身。株式。一百萬圓。(社長)能島進。(營業)同。(特設)東京福岡間專用電話、電送寫眞、寫眞、凸版、製版、紙型、鉛版製版。(兼營)寫眞版、凸版、木版、紙型。

(特設)組版、紙型、鉛版製作。

**浪華廣告社** 大阪市北區堂北町三六。(電)北六〇九一。

創立昭和二年。個人經營。(社長)新井軍次。

**萬年社**

大阪市東區高麗橋五ノ三五。(電)本局六九〇、六九一、六九二、四二七〇、四二七一。

創立明治廿三年六月一日。株式。一百萬圓。(社長)高木貞衛。(專務)中川謙三。(取締役)米澤熊之進、栗原伸、中川靜、中川秀吉。(監査役)吉川三夫。(營業)中川謙三。(支店長)東京、中川秀吉、京都、栗原伸。(支店)二。(社員)一八四名。(種目)新聞、雜誌。(特設)圖案、文案作成、市場調査、出版、印刷、製版、紙型製作、活字鑄造。(兼營)火災保險代理業。

日本廣告年鑑、廣告論叢發行、講演會開催。

**京華社支店**

大阪東區北濱四丁目。(電)本局三七五、一六、三七五〇一。

創立明治三十四年一月二十七日。株式。五十萬圓。(社長)後川晴之助。(支店長)山本林之助。

**旭廣告社** 大阪市東區瓦町

三丁目。(所屬)水曜會。株式。五十萬圓。(社長)與野幾次郎。(取締)與野信一、木村德太郎、藤本田時、三橋銀之介。(監査)與野正一。(種目)新聞、官報、雜誌。

**金水堂**

大阪市東區平野町二丁目三二。(電)本局一五一四、五六五〇。

創立明治廿八年三月。個人經營。(社主)福井健造。(支配人)土川末次郎。(種目)新藥類、醫師、辯護士、諸會社。(得意)武長、鹽野義等道修町方面。

(取引)全國日刊新聞。

**新興社** 大阪市北區堂島中一ノ二五。(電)北七七八、三六二。

(所屬)水曜會。創立大正十二年十月一日。合資會社。五萬圓。(社長)倉光喜代藏。(支配人)大竹又次郎。

**京都**

**萬年社支店**

京都市堺町三條上。(電)本局二八一、二八二、二二八五。

(社長)高木貞衛。(支店長)栗原伸。(兼營)火災保險。

**京華社** 京都市三條通烏丸

**名古屋**

**日本電報通信社支局**

名古屋市中區南伊勢町一ノ七。(電)二五〇一、二五一、一四。

創立明治三十九年四月。株式。百萬圓。(支局長)鹿子木日出雄。(社員)二十一名。(種目)一般。(取引)全國新聞雜誌。(特設)電送寫眞。

**中京通信社** 名古屋市中區丸田町。創立大正二年六月。個人經營。

(社長)水野日出夫。(支配人)木村勝下。(社員)二十三名。(種目)銀行、會社、商店、官廳。(取引)官報、全國新聞雜誌。(特設)代理部。

**名古屋通信社**

名古屋市中區新榮町二丁目。(電)中局五六。

創立明治二十年。(社長)後藤清文。(副社長)田端才二。(營業)川本善雄。(岐阜支局)岡田嘉十郎。(支局)一。(社員)三十四名。(種目)新聞、雜誌、電車廣告。(取引)市内新聞其他。(特設)製版設備あり。

六年十一月新社屋に移轉營業す。

**京華社支店** 名古屋市廣小路住友ビル。(支店長心得)五辻一郎。

**共同通信社**

名古屋市中區矢場町(電車通り)。(所屬)名古屋廣告協會。創立大正七年十月。合資。三萬圓。(社長)松原繁吉。(營業)窪田拾三郎。(支局)十二。(社員)三十二名。(種目)新聞、電車、電柱、湯屋、理髮店、乗合バス内廣告。(取引)名古屋新聞、新愛知、名古屋毎日新聞、愛知

新聞、其他全國新聞雜誌。(特設圖案部。(兼管)日刊共同通信。

神戸

勉強社 神戸市神戸區榮町五丁目。(電)元町三一六五。創立明治二十七年。個人經營。(社長)向井長兵衛。(幹部)白紙源四郎。(得意)日本銀行、丸善菓子、後藤デシ、鐵道局、内務省。

東洋廣告取次社

神戸市浪花町十四。(電)三宮九八一、二九八四。創立明治四十年。(社長)ドーグラス、エム、ヤング。(東京支局長)伊藤吉太郎。(支局長)三。(倫敦支局長)エス、エチ、バイウオーター。

太陽廣告社

神戸市神戸區北長狹通五丁目七六ノ三。(電)元町一三六九。創立大正十一年五月。(社長)藤見淺一。

京華社支店

神戸市榮町五丁目。

文信社

神戸市神田町四七八。(電)元町三三七〇。創立大正五年。個人經營。(社長)文谷利恭。一年間取扱總行數約五萬行。

福岡

川丈廣告部 福岡市東中洲町五七。創立大正元年。合名。十萬圓。(社長)長尾實吉。(支配人)緒方煤鳥。

横濱

横濱通信社 横濱市中區太田町五丁目六七。(電)四一三、(2)四八〇一。創立明治三十年四月二日。(合資)三萬圓。(社長)日比野淨。(副社長)日比野申。(營業)福井鬼重。(主幹)沖野小志馬。(經濟)菊地源助。(廣告)小山幹。(支局)東京、大阪、神戸、福井、金澤、鯖江。(社員)五十名。(得意)各會社、銀行、病院、百貨店及一般。(取引)全國新聞。官報。(兼管)日刊通信發行。

表覽一局支社聞新地方地京東在

在東京地方新聞社支局一覽表

次は昭和七年十一月現在に於ける在東京全國新聞社支局表である配列の順序は大阪、關東、東北と大體地方別によるが不同の處もある。

社名	所在地	電話番号	主任氏名
大阪朝日新聞	麹町區有樂町二ノ三	九 一三一	天野 四郎
大阪毎日新聞	麹町區有樂町一ノ一	九 三二一	古賀 文雄
關西中央新聞	大津ビル内	銀 一〇〇六	渡邊 陸
夕刊大阪新聞	麹町區内幸町大阪ビル	銀 五一八一	早島 喜一
大阪今日新聞	京橋區銀座西六ノ六	銀 一五五六	佐久間新吾
大阪朝報	芝區新錢座町一	芝 三〇一二	祖上 祐三
南嶽時事新聞	京橋區銀座六交詢ビル	銀 四八四〇	酒井 謙吉
大阪時事新報	京橋區銀座西六ノ六	銀 一五五六	太田卯藤治
小倉新報	數寄屋館		
大阪中外商業	日本橋區北島町一丁目	茅 二五一	瀧藤鹿之輔
大阪日新新聞	京橋區銀座西六ノ四	銀 一八〇六	秋元 忠
關西日新報	京橋區銀座西七ノ五	銀 四〇九八	宇都宮白清
大阪萬朝報	京橋區銀座西七ノ五	銀 四〇九八	宇都宮白清
山梨時報			
名古屋民報	日本橋區本町楓河岸	茅 三五七七	大竹 文輔
大正日新	十三號地		
大阪經濟	京橋區橫町二ノ五		久野 一雄
每朝新報社	日黒區下日黒二七		藤野 優
多摩日日	銀座西八ノ五	銀 六六八	村上 博保

支局名	所在地	電話番号	主任氏名
横濱貿易新報	京橋區銀座西三ノ三	京 一三二二	廣瀨 保吉
山梨新報	四谷區篔簹町三五	四谷 三九一〇	中田 清
房總新報	四谷區元町五九	四谷 九五二	多田 一郎
關東新報	小石川區大塚仲町三六		奥宮 謙介
關西新報	府下大井町四四三三		
北關新報	事務所 京橋區銀座四ノ五、三原ビル	京 六五八九	青山 晴一
羽後新報	京橋區銀座五ノ四	銀 一六七〇	巽斗 勝文
上野新報	芝區愛宕町一ノ二九	二四二〇	高島萬太郎
大毛新報	神田區五軒町一	七三九一	鳴原 完
上野新報	淀橋區下戸塚町一丁	目 三〇四	九八
千葉新報	芝區新橋二丁目三六	目 三〇四	岩立慶三郎
信濃新報	芝區新橋二丁目三六	目 三〇四	岩立慶三郎
常陸新報	神田區表神保町一〇	神 一八五	近藤 弘文
武州新報	荒川區日暮里渡邊町一〇三五	下 七八五〇	堂島 正助
新武州新報	京橋區銀座六ノ四	銀 三五七三	橋本滿次郎
新武州新報	京橋區銀座西六ノ六	銀 一五五六	稻垣四方雄
新武州新報	數寄屋館		
新武州新報	四谷荒木町二七とノ		
新武州新報	四谷六四四一		宮本甚之助
新武州新報	京橋區銀座西五ノ一	銀 九八七	三瓶 仙輔

この机の上にも  
在る インキ!!  
どこの市街や村  
でも一番よく  
賣れて居る  
インキ!!

ライティング  
キーンイノキ

東京第一のキーンイ工場  
本 篠崎キーンイ製造株式会社 東京







在阪全國新聞支局聯盟員一覽

次は昭和七年五月一日現在に於ける在阪全國新聞支局聯盟員の一覽表である。配列の順序は大體支局主任のイロハ順による。社數百九十一社、人員九十一名。

幹事

(イロハ順) 松林喜八郎、松島直養、藤井信二郎、木暮仁輔、天谷深吉

Table listing newspaper names, addresses, and names of members across various regions like 高知, 仙臺, 信濃, etc.

Table listing newspaper names and member names for regions such as 大分, 中津, 朝日, 門司, etc.

Table listing newspaper names and member names for regions such as 神戶, 下野, 中國, etc.

Table listing newspaper names and member names for regions such as 中國, 新報, 函館, etc.



二百萬圓。(供給先)朝日、日々、國定及中等教科書用紙、其他一般出版雜誌等。(沿革)明治廿三年十一月三日創業、大正七年三月株式に組織變更。

樺太工業株式會社

樺太泊居郡泊居町(資本金)七千萬圓。(社長)大川平三郎。(管)大川義雄。(社員)約八百名。(職工)約三千八百名。(營業科目)紙類紙料の製造販賣等。(製産高)紙二億封度、バルブ四萬五千噸。(供給先)内地、滿鮮及支那方面。(沿革)大正二年十二月資本金二百萬圓を以て創立以來十有五年工場の増築擴張と相並んで樺太紙料、樺太炭礦、武藏製紙及最近九州、中央、中之島三製紙會社の合併等に因り愈々社業の規模を宏大ならしむると共に資本金をも前掲の如く増加せり。

一ノ一三。(營業科目)洋紙一般。大同洋紙店 京橋區銀座西三の四。(營業科目)洋紙一般。中井洋紙店 日本橋區室町三の四。(營業科目)洋紙一般。富士製紙株式會社 京橋區三十間堀一ノ一。(資本金)七七、七〇〇、〇〇〇圓。(社長)大川平三郎。(社員)千三百餘名。(職工)約七千名。(營業科目)洋紙類紙料一切の販賣等。(製産高)年額約五億六千萬封度。(供給先)内地滿鮮支那方面。(設備)工場靜岡四、兵庫京都和歌山各一、東京府下三、北海道四、樺太二の十六工場を有し、資本金と製紙高の大なる日本一である。(沿革)創立明治廿三年一月。七年秋王子、樺工と三社合併案成る。

池貝鐵工所 芝區三國四町二。(資本金)六百萬圓。(專務取締役社長)池貝庄太郎。(社員)技術員及事務員一七五名。(職工)六五七名。(營業科目)新聞社用高速度輪轉機並に各種高級印刷機械、工業機械、工具、内燃機關。(販賣高)五百十萬圓。(供給先)諸官省、官公立諸學校、新聞社、印刷所、鑄山、鐵工所、造船所、製紙所、支那及歐洲諸國。(特設)設置機械四五〇臺。使用原動機六五一馬力。(沿革)明治二十五年池貝庄太郎個人經營創業。同三十九年合資に、大正二年株式に改む、大正十五年十月印刷機部を設置す。

日新堂インキ製造所 京橋區木挽町二ノ六。(電)京橋一九一六、七三六三。(代表者)井崎精三郎。(工場長)野川新藏。(技師長)村上義比古。(従業員)三十二名。(營業科目)新聞用高速度インキ、各種印刷インキ。(製産高)四十五萬噸。(供給先)内閣印刷局、報知、讀賣、其他市内外印刷業者。(沿革)大正元年十一月先代井崎皆吉創業以來二十餘年工場を葛飾區本町に置き支店を名古屋、大連に、出張所を京城、小倉、甲府、山形市に置く。六年末葛飾區南綾瀨町堀切に一千七百餘坪を買収新工場建築の豫定にて目下土木請負業大内組をして土地土盛中。

印刷機械

共同洋紙株式會社 麴町區八重洲町一ノ一。(資本金)五百萬圓。(社長)藤原銀次郎。(營業科目)新聞用紙。(供給先)内地滿鮮新聞社。(沿革)大正十五年六月創立。

川島洋紙店

日本橋區小傳馬町一ノ九。(電)浪花五一八〇一三。(營業科目)洋紙一般。株式。百萬圓。(社長)川島庄之助。

柏原洋紙店

京橋區南傳馬町

印字 諸母 東京母型製造所 小石川區諏訪町五三。(電)小石川二〇六九。個人經營。五千圓。(社長)下宮上。(従業員)十五名。(營業科目)活版母型。(製産高)十五萬圓。(供給先)各新聞社並印刷活版業。(沿革)明治四十五年故父末吉九州福岡に字母店開業、大正十三年上京現在に至る、昭和七年六月十二日末吉の死後亡父の業を繼承。

字母長

小石川區關口水道町六一。(電)牛込一四二一。(代表者)小倉長三郎。(營業科目)新聞用專門母型及活字。(供給先)内地一般、滿鮮、香港、ハワイ等。

字母宗商店

牛込區山吹町一六〇。個人經營。(代表者)小倉宗吉。(従業員)三十名。(營業科目)字母、活字、活字鑄造機其他。(産額)五萬圓。(供給先)全國新聞社各印刷雜誌業。(沿革)大正二年創業。

昌榮堂活版印刷製造所

小石川區關口町一。個人經營。(代表者)草間昌三。(従業員)三十名。(營業科目)字母製造販賣卸賣。(販賣高)五萬圓。(沿革)大

梅澤インキ製造會社

大阪市北區芝田町五二。

山本榮次郎商店

山本新聞インキ工場、大阪市此花區恩貴島南町。(電)土佐堀三四五九。株式。百五十萬圓。(社長)山本榮次郎。(新聞インキ專務)山本忠次郎。(従業員)百二十名。(製産高)新聞インキ二百萬ポンド。(供給先)大阪毎日、讀賣。(沿革)印刷材料開店明治十六年、一般印刷インキ製造明治三十四年、新聞インキ製造昭和四年十二月

帝國インキ製造所

芝區三田南寺町十五。(電)三田三二一、六八五。合資。五十萬圓。(社長)龜岡豊二。(支配人)高岡和吉。(營業)河瀬安廣。(販賣)高田嘉喜千。(従業員)五十二名。(營業科目)新聞インキ並各種印刷インキ諸材料。(製産高)五百萬噸。(供給先)東京市内並に地方全國新聞社及各種印刷所。(特設)常時貯藏高一百萬噸。(沿革)明治三十一年一月創業本邦新聞

篠崎インキ製造所

本所區綠町三丁目六番地。株式。十五萬圓。(社長)篠崎又兵衛。(常務)篠崎清三郎。(支配人)權田昇平。(従業員)百八十名。(營業科目)ライトインキ、チャンピオンインキ、其他事務及特殊インキの製造販賣。(販賣高)二百五十萬圓。(供給先)内地一般及東洋各地。(沿革)明治十七年創立。

求林堂

京橋區築地二ノ六。(支店)福岡市博多倉元町。個人經營。(代表者)西川忠幸。(支配人)馬場喜久松。(従業員)百名。(營業科目)印刷用インキ並印刷諸材料、諸機械、手漉紙輸出製造販賣。(製産高)二百萬封度。(供給先)内地、臺灣、樺太、滿鮮各新聞社。印刷業者、官公署。(沿革)明治十五年創業。

諸星千代吉商店

橫濱市中區久保町一一七。(電)長者町一一八五、三三七。株式。三十萬圓(拂込済)。(社長)諸星千代吉。(常務)宮永梅三。(取締役)東京支店長)中村良太郎。(專務)小島龜三郎、諸星四郎。(營業)安田憲。(従業員)七十八名。(營業科目)各種印刷用インキ製造。(製産高)百五十萬噸。(供給先)全國新聞社、印刷業者、支那、印度、南洋(輸出)。(特設)新聞インキの自動製造。(沿革)明治二十四年創業、東京、大阪、名古屋、上海、奉天に支店設置、工場は橫濱工場保土ヶ谷工場の二ヶ所あり、昭和六年にて滿四十年になりしを以て諸星千代吉個人組織を同族の株式會社に變更し益々事業の發展を企畫す。

東京母型製造所

小石川區諏訪町五三。(電)小石川二〇六九。個人經營。五千圓。(社長)下宮上。(従業員)十五名。(營業科目)活版母型。(製産高)十五萬圓。(供給先)各新聞社並印刷活版業。(沿革)明治四十五年故父末吉九州福岡に字母店開業、大正十三年上京現在に至る、昭和七年六月十二日末吉の死後亡父の業を繼承。

正三年創業。

### 活字

#### 東京築地活版製造所

東京市京橋區築地三ノ十。(電)京橋二八五七七、三七一。株式。六十萬圓。(社長)松田精一。(支那部)松田一郎、吉雄永壽。(支配人)秋山常介。(従業員)三百四十一名。(營業科目)活版、印刷機械及印刷材料、并各種印刷。(販賣高)五十五萬三千八百二十三圓。(供給先)全国各地新聞社及印刷所、米、英、獨、支那、南洋方面。(特設)活字は精良なる彫刻機械を設備し優秀なる熟練技工を有す。(沿革)嘉永の初年本木昌造翁我が邦に於て始めて活字鑄造事業を創始し明治六年七月當地に工場を移し今日に至る。

關近く十四段制採用の氣運あるより率先之れが研究に従事す、又メートル法實施に伴ひ活字規格の統一を促すと共にメートルに準據したる新活字の製作を完成せり。

#### 戸田活版製造所

(明勝堂) 神田區旅籠町三ノ一。個人經營。(資本金)十萬圓。(代表者)戸田喜三郎。(従業員)三十名。(營業科目)活字一切新聞工場使用附屬品一切。(販賣高)十萬圓。(供給先)全國、主として市内新聞社。東北信越方面の新聞印刷業者。(沿革)大正元年創立。

#### 藤田活版製造所

(明品舎) 神田區連雀町一八。(電)神田四六一。(工場)七二六。個人經營。(代表者)藤田茂一郎。(従業員)二十五名。(營業科目)活字一切、新聞社工場附屬品等。(供給先)新聞並印刷業。(沿革)明治四十二年創業。

#### 江川活版製造所

日本橋區綱敷町一ノ三。合資會社。十萬圓。(代表者)深町貞次郎。(従業員)三十五名。(營業科目)活字一切。新聞社工場附屬品一切。(供給先)新聞社及印刷業者。(沿革)明治三十二年創業。

#### 共同印刷株式會社

小石川區久堅町一〇八。(電)小石川八二一八六、九三二一九三四、九六八、一一二八、一三九九、二九

七一。株式。三百萬圓全額拂込。

(取締役社長)大橋光吉。(常務)君島潔、大橋勇吉、吉谷專吉。(監査役)太田馬太郎、武藤安五郎。(營業)大橋松雄。(従業員)二千餘名。(營業科目)各種一般印刷業、活字鑄造販賣業、各種製本業。(製産高)五百萬圓。(供給先)一般出版業者、諸官省官衙、各新聞社、百貨店、銀行會社。(沿革)明治二十九年十一月故大橋佐平翁博文館の自家出版物印刷の目的にて京橋竹川町に工場を創む、當時印刷機六臺、職工六十餘人、三十一年十一月現在の地に移轉轉進社工場と稱す。三十八年四月工場擴張博文館印刷所と改稱、大正十四年十二月精美堂を合併し現名となる現在工場敷地一萬二千坪、工場建物四十棟、職工一千五百名

敷地五八七坪六階建(延坪三、三二七坪)鐵骨コンクリート第三號館の工を起し七年十月落成目下機械据付中。

昭和七年二月製本工場として敷地四九七坪三階建(延坪一四、

六二坪)鐵骨コンクリート第四號館の工を起し七年十月落成目下機械据付中。

民友社鑄造部 京橋區銀座西八丁目五。五萬圓。(代表者)渡邊宗七。(従業員)十五名。(營業科目)ポインント式活字。其他一般活字、附屬品。(供給先)各地新聞社、印刷所。(沿革)明治卅六年の創業。

秀英舎 牛込區市ヶ谷加賀町一ノ二。株式。四百萬圓。(社長)杉山義雄。(專務)佐久間衛治。(營業)高木島三。(社員)三百名。(従業員)一、三〇〇名。(營業科目)活字活版附屬品及紙型鉛版製造販賣、活版凸版寫真版一切、各種印刷物。(産額)年約四百萬圓。(供給先)官公署、各新聞雜誌社、會社商店全國滿鮮地方。(沿革)明治九年十月佐久間貞一、保田久成の發起にて創業、爾來漸進的に資本を増加し、大正十四年四月資本を四百萬圓とす、十五年九月約八千坪の永久的工場設備をなし、大量製産と同時に美術的高級品製作の施設を完備し、綜合印刷所を實現せり、秀

業科目)紙型用地紙、輪轉用刷張紙、雁皮紙。(産額)十萬圓。(供給先)各新聞社出版業者大商店等。(沿革)明治十九年創業。

英會とは勝伯が將來英國の右に秀でよと命名せるところ。

### 活字鑄造機械

#### 日本タイプライター株式會社

タイプライター課東京市京橋區京橋一ノ三。(電)京自四一六一至四一六四。モノタイプ鑄造機課芝區三田豊岡町一。(電)三田一九七九、一五七三。株式。二百萬圓。(專務)柳田又一。(支配人)川畑光志。(營業)タイプライター課橋利雄、モノタイプ鑄造機課川畑光志。(廣告)タイプライター課橋利雄、モノタイプ鑄造機課川畑光志。(従業員)社員百二十名、職工百名。(營業科目)邦文タイプライター複式金額番號タイプライター、邦文モノタイプ、萬能鑄造機ロータープリント、及び附屬品。(製産高)二百萬圓。(供給先)官廳、大學、銀行會社、新聞社、支那、滿洲、米國其他。(沿革)大正四年杉本京太氏により發明完成、日本書字機商會として會社を設立、大正六年日本タ

イライター株式會社と改稱、會社組織とし現在に至る。

複式金額番號タイプライターを發賣、官廳年度末に當り百數十臺納入。

#### 林榮社

東京市澁谷區中通一丁目十五。(電)青山二八六三。個人經營。十萬圓。(社長)林榮三。(工場主任)津田藤吉。(技師)物部延太郎、山田正榮。(營業)林榮三。(従業員)五十名。(營業科目)萬年自働鑄造機、萬年活字、萬年字母、以上すべて專賣特許。(販賣高)約十萬圓。(供給先)全國新聞社及印刷業者。(沿革)大正十四年特許萬年活字發賣開始、昭和三年特許萬年自働鑄造機發賣開始、昭和六年特許萬年字母發賣開始。

### 紙型及地紙

與村製紙場 小石川區音羽町五ノ二。個人經營。(代表者)與村金一。(従業員)三十五名。(營

#### 萬谷商店

京橋區築地二ノ十一。(電)京橋五七七四。個人經營。(代表者)萬谷音次郎。(従業員)十五名。(營業科目)紙型材料、印刷材料、軟實地金其他附屬品。(供給先)東京地方各新聞社。

#### 福田工業研究所

大阪市東淀川區十三南之町七〇三。工場東淀川區堀上町一五六。個人經營。(代表者)福田寅治。(従業員)九名。(營業科目)壓搾式印刷用紙型版原紙、スピード紙型原紙。(製産高)一ヶ月一萬五千

枚。年額十八萬枚。(販賣高)年額五萬圓内外。(供給先)新聞社側、九州日日新聞、朝鮮民報、北海道日新聞、旭川新聞其他印刷業者。(東京)共同印刷、日清印刷、内閣印刷局、秀英舎、杏林舎。(大阪)中安製版印刷所、日本ノート用品會社、鹿田印刷所其他。(名古屋)一誠社、弘文堂。(京都)松崎印刷所、内外出版印刷會社其他、北海道、埼玉、静岡、愛知、岐阜、岡山、徳島、廣島、關東州、上海等の大印刷工場、並製版業者。(沿革)軟式紙型(ドライマツト)の研究に着手せしは大正八年頃にして邦文漢字に適用せる紙型原紙としての確なるものを發見せしは大正十一年なり日本政府の專賣特許を得たるは大正十四年にして現在の研究工場を建築したるは昭和元年なり何人の使用にも適當と認めたる自信ある製品を得るに至りたるは昭和二年末にして現在にては全国各地の印刷業者の認識を得たり昭和五年度に於て從來の新聞製版の規模擴大し(二尺三寸、一尺七寸)の大

版を製造する機械設備を完了し、現に需要者の要求を満たしつつあり。

### 廣告用紙型及鉛版

**竹中紙型鉛版業所** 麴町區有樂町二ノ七。(電)丸の内四七三〇。(代表者)竹中榮次郎。(従業員)十二名。(營業科目)紙型鉛版製造。(製産高)一萬圓。(供給先)廣告主。(創業)大正十二年一月一日。

**長瀬製版所** 神田町今川小路二丁目一。(電)九段二九四、三〇六二。合資。二萬四千圓。(社長)長瀬直次郎。(従業員)三十八名。(沿革)創業明治四十三年。  
**日本橋區龜島町一ノ四** 日本橋工場電話茅場町一六五七、小石川區關口水道町四六小石川工場電話牛込五三二六。

**十一屋製版所** 京橋區銀座西二ノ五。(電)京橋二四一六、五六八二、六六二七。個人經營。  
**十萬圓**。(社長)齋藤橋之助。(支配人)岡田儀作。(營業)大橋喜

義。(従業員)四十三名。(營業科目)寫眞製版、電氣銅版、鉛版、鉛鉛凸版。(製産高)八萬五千圓。(供給先)三越、長瀬花王、資生堂、富山房、平尾、中山太陽堂、井筒香油、明治書院、東京電氣、服部時計店、森永、明治製菓、ユニオンビール、日本ビール鐵泉、帝國生命。(特設)十三段制七ポイント及び新活字組版部新設。(沿革)明治四十三年創業。

### 製版(寫眞、凸版)

**井澤寫眞製版所** 京橋區桶町三〇。個人經營。(代表者)井澤善也。(従業員)五〇名。(營業科目)寫眞製版一般並攝影。(製産高)二萬圓。(供給先)出版業及新聞其他印刷關係。(特設)寫眞平版及び特許單式印刷の第二工場を川崎に有す。(沿革)大正元年創業。  
**日本電報通信社寫眞課** 麴町區丸ノ内二ノ八。(支局)大阪市北區中之島二丁目。株式。百萬圓。(社長)光永星郎。(寫眞課長)安田禎文。(従業員)四十

五名。(營業科目)寫眞通信一般家庭寫眞人物寫眞調査、活動寫眞、エアープラッシュ、其他製版全般。(特設)外國寫眞通信の設備あり。(供給先)全國新聞雜誌、諸官署、米、獨、英、佛、波蘭、丁抹、瑞典。(沿革)大正八年日本電通社大阪支局内に寫眞課を設置し其後大正十一年五月東京本社にも設け今や全國的に活動しつつあり。

**辻村製版所** 京橋區銀座五丁目四。合資。三萬圓。(社長)辻村與三郎。(幹部)青木想一、小椋力知。(従業員)三十五名。(營業科目)寫眞銅版、鉛鉛凸版、原色版グラビヤ製版印刷。(販賣高)七萬圓。(供給先)講談社、婦女界、陸軍省、内務省。(特設)内外名士及風景寫眞供給、其他新聞雜誌及印刷業者。(沿革)明治三十八年九月開業今日に至る。開業當時には斯業者間には晝間ののみ作業し來りたるも本所に於ては我國初めて電光の作用に依り晝夜製版に従事して時事問題の寫眞を新聞紙上に掲載するを得て賞讃を得たり。

■昭和五年十二月二十五日鐵筋コンクリート六層竣功補設設備を成し大々的擴張をなす、工費十五萬圓。

**長瀬製版所支店** 神田區今川小路二ノ一。(廣告用紙型及鉛版の部にあり)

**間澤製版所** 本所區綠町三ノ二七。

**安藤製版所** 麴町區有樂町一ノ一四。

**明治製版所** 京橋區銀座西三ノ三。(電)京橋四五四五。個人經營。(代表者)川田左門次。(従業員)三十名。(營業科目)寫眞銅版、鉛鉛凸版寫眞攝影等。(製産高)五萬圓。(供給先)新聞雜誌印刷社。(沿革)明治廿八年創業。

**新聞聯合社寫眞部** 京橋區銀座西八ノ九。(電)銀座代表二一〇一。組合組織。(代表者)岩永祐吉。(寫眞部長)不動健治。(従業員)三十五名。(營業科目)寫眞通信專業。(販賣高)約十五萬圓。(供給先)内地及全世界主要新聞通信社約二百社。(特設)世界各地に特約通信員囑託を置

■七年大阪寫眞部に於て日刊を以て獨立に寫眞通信を發刊す。

### 木版

**堀野精美堂** 京橋區銀座西六丁目。  
**勉強堂** 京橋區銀座西三ノ三。(電)京橋三七六七。(營業科目)木版、金版。(代表者)奥田滋二。(従業員)五人。(製産高)八千圓。(供給先)資生堂、帝國地方行政學會、ダイヤモンド、帝國法規出版株式會社、其他。

**東山堂彫刻所** 京橋區銀座西二ノ五。  
**小倉木版所** 神田區神保町十。

### 寫眞機械及寫眞製版機

**オリエンタル寫眞工業株式會社** 淀橋區西落合二丁目六六〇。(電)大塚三四二五―一七。株式。一百五十萬圓。(社長)菊地東洋。(營業)安藤國之助。(廣

告)木村專一。(従業員)二百五十名。(營業科目)寫眞用乾板、印畫紙、藥品、器具。(供給先)全國營業寫眞師、陸海軍、各官廳寫眞部、一般寫眞愛好家。(特設)會社工場の敷地内は庭園化しあり。(沿革)大正八年創業關東大震災より販賣高増進して先づ印畫紙の輸入を防壁し今乾板の輸入を防壁しつつあり。圖次はフィルム製造に着手する計畫あり。

**小西六本店** 日本橋區室町三丁目三。(電)日本橋一六六〇―四、二六五六、二六五七。合資。二百萬圓。(代表者)杉浦六左衛門、杉浦千之助。(營業科目)寫眞器械。(製産高)三百萬圓。

**淺沼商會** 日本橋區室町三丁目。(電)日本橋五四九、五五〇、一九〇〇―一。合資。(代表者)淺沼治。(支配人)菅保男。(廣告)村井小七郎。(従業員)一百名。(營業科目)寫眞機械、寫眞製版機械、活動寫眞機械、X光線寫眞機械、理科學應用寫眞機械、航空寫眞機械、以上各種材

料、寫眞工業藥品、劇毒物藥品、望遠鏡、双眼鏡、度量衡、計量器。(供給先)宮内省、海軍省、諸官省、各大學及全國病院、學校。(特設)全國各地小賣商へ卸賣。(沿革)明治四年創業。  
■支店大阪市南區順慶町四丁目(電)船場九〇五、一九〇五、一三九六。  
■工場東京市外小松川町下平井(電)墨田八七二。

### 腐蝕機械

**吉松貞彌商店** 大森區上池上町小池下。(電)荏原三七八一。個人經營。(代表者)吉松貞彌。(従業員)二名。(營業科目)新案特許吉松式腐蝕機械、專賣特許サンコールドエナメル、ウバクロムコロゾオンエマルション販賣。(製産高)腐蝕機械二十臺。(供給先)東京日日、東京大阪兩朝日、其他内地、朝鮮、滿洲、臺灣、所在の新聞社並に著名なる製版工場。(沿革)創業昭和二年五月。

■昭和七年九月百臺突破記念と

して値下斷行並に新普及機を發賣す。

### グラビヤ印刷

**日清印刷株式會社** 牛込區榎町七。(電)牛込二四四〇。株式。二百萬圓。(社長)市島謙吉。(常務)平野登美夫。(取締役)竹内喜太郎。(従業員)一千名。(營業科目)印刷、製本。(製産高)二百五十萬圓。(供給先)出版業、雜誌社。(沿革)明治四十年四月創立、大正十一年倍額増資して百萬圓更に昭和三年倍額増資して二百萬圓とす。

**大江印刷株式會社** 麻布區筈町八一。株式。二十萬圓。(社長)杉村武重。(副社長)大江恒吉。(營業)取締役土尾屋英。(従業員)百五十名。(販賣高)六十萬圓。(沿革)明治二十四年創立、大正六年株式會社に改む。  
**第一グラビヤ印刷株式會社** 澁谷町向山七〇。株式。十萬圓。(社長)佐々木啓次。(專務)佐々木啓次。(取締役)工場長)持永家貞。(營業)渡邊房雄。

(従業員)三十二名。(營業科目)グラビア製版印刷、並に印刷一般の業務。(販賣高)十五萬圓内外。(供給先)新聞社、雜誌社、各デパートメントストア、各商店。(沿革)大正十三年創立。

**共同印刷株式會社** 小石川區久堅町一〇八。(活字の部にあり)

**輪轉機用白羅紗  
ローラー其他**

**長澤商店** 京橋區五郎兵衛町五。合資會社三萬圓。(代表者)村松政治郎。(従業員)十五名。(營業科目)輪轉機用白羅紗、印刷用羅紗毛布、フェルト各種及加工品。(沿革)大正三年創立し同十二年三月合資組織に更む輪轉機用羅紗類を専門に供給せる最初にしてフェルト業も始祖なり。

**金陽社** 品川區東大崎五丁目三三四。(電)高輪一五一五。株式。十五萬圓拂込済。(専務取締役)山本魁介。(外主要幹部)古野重次郎、宮地光雄、長里豊。(營業)

長里豊。(工務)古野重次郎。(従業員)三十二名。(營業科目)專賣特許第八七七〇號耐油性ゴムローラー及ゴム製品、專賣特許第六二一〇號耐熱性膠ローラー及其材料。(製産高)十八萬圓。(供給先)全國印刷所、内地臺灣朝鮮及滿洲各新聞社、諸官廳印刷部。(特設)特許原料の製造並にグラインダー特別施設。(沿革)大正十三年十二月合資會社金陽社工業所創立(資本金五萬圓)、昭和五年十一月資本金を十五萬圓に増資し株式會社に組織變更し名稱を株式會社金陽社と改む。

■七年本社及工場に移轉併合並に大阪グラインダー工場を開設す。

■各種印刷機用押用布並にオフセットゴムの研究製作をなし此種舶來品の防遏を期す。

■シングルトン、ペンダ商社印刷材料部 横濱市中區山下町九六番(電)本局一〇五八。株式。百七十萬圓。(社長)ジー・エヌ・ブロックハースト。(副社長)シー・イー・エメリー。(販

賣)本間榮一。(會計)松枝濱次郎。(従業員)二十五名。(營業科目)高速用エナメル並護謄ブランケット、マリノニ機及一般印刷用ブランケット、白羅紗、其他機械類。(供給先)全國的。

(沿革)明治三十年一月の創業。■本店は英國倫敦市ロンドンウォールに在り横濱は支店なり。

**全國主要廣告主一覽**

一、本表は全國に於ける主要廣告主を其の廣告の品目種類に従つて分類した一覽表である。表の諸項目は一々廣告主について問合せたものであるが、締切期日までに回答を得なかつた分は手許の材料によつた。

一、各店配列の順序はイロハ順、一、各店の記述は大體次の順による。(括弧内の文字はそれの略稱)

**記述の順序**

商店名、所在地、東京は東京市を略す、電話番号(電)、營業科目又は商品名、組織別、資本金、代表者、支配人、營業部長(營業)、廣告部長(廣告)、外主要幹部、一ヶ年の新聞廣告費概算(新聞廣告費)、其他廣告費概算(外廣告費)、使用新聞名又其紙數、以上各紙の一ヶ月總契約行數(又は段數)、廣告取扱先(廣告取扱又は代理店)、創業沿革及び特別設備(特設)、其他。

有以外の特殊事項も必要に応じて記入す、不明又は不用と認むるものは記入せず。

**藥品の部**

**猪飼藥房** 大阪市西區江戸堀南通二丁目二八。賣藥製造販賣。(支配人)山田藤太郎。(營業部

長)久山藤七。(使用新聞)大朝、大毎、新愛知、名古屋、大時。(代理店)電通、萬年社、旭廣告、弘業通信。

**伊藤千太郎商店** 大阪市道修町三。眼鏡肝油。

**今津化學研究所** 大阪市西淀川區大仁本町三丁目。(電)土三

一二、六〇六七。イマツ蠅取粉、殺蟲劑、芳香油、蚊取線香、株式。三十萬圓。(代表取締役)今津一郎。(支配人)永江千代吉。(營業)渡邊吉人。(廣告)梶田和一。(新聞廣告費)約三十萬圓。其他約五萬圓。(使用新聞)大阪朝日、東京日日、大阪毎日、東京朝日、外地方紙百五十以上。(行數)一ヶ月三千行。(代理業)京華社、第一廣告社、大阪電通、旭廣告外二、三。(沿革)創業大正十四年合名會社なりしを、昭和七年十月十四日株式會社に組織變更し捲土重來を期し、八年度より大活動の豫定。

**バイエル・マイステルチウス藥品合名會社** 麴町區丸の内二ノ六。八重洲ビル。アダリン其他。

**原澤水銀研究所** 芝區高輪北町一七。コロイゲン。

**橋本健藏藥房** 麴町區九段坂下二ノ四〇。ピポリ製造元。(代表者)橋本健藏。(代理店)電通、豊國。

**橋本製藥株式會社** 京橋區築地二丁目。醫藥、賣藥。(代表者)橋本德次郎。(代理店)電通。

**日本放射製藥會社** 大阪市北區曾根崎町。ラヂオカルク本舖。(代表者)平尾幸太郎。(代理店)直接、第一廣告社。

**日本藥品洋行** 大阪市東區伏見町三。柏木ヂヤスターゼ、ネオピリン、柏木體溫計販賣元。(代表者)森下卯三郎。(代理店)旭廣告、電通。

**日本沃度株式會社** 京橋區京橋一丁目。

**日東化學研究所** 芝區三田通新町十三。ケンゴール。■姉妹機關に文化榮養研究所あり。

**鳥居商店** 日本橋區岩附町三。コロンエキス、グラビン、ダイモール、カルニン。(代表者)鳥居幸一郎。(廣告)林四郎。

**東海貿易合名會社** 京橋區銀座西三ノ二。ソリバット、ノボピン、其他。

**東京藥院** 芝區田村町六十七。(電)芝一八七四。皮膚病藥、ム水、毛生劑フミナイン。個人

經營。(代表者)横出政五郎。(支配人)山岸順三郎。(廣告)同。  
 (新聞廣告費)五萬圓(昭和七年度豫算)。其他五千圓。(昭和七年度豫算)。(使用新聞)百七十紙。(契約行數)季節に於て異なり。四、五、六、七、八、九、一頁、他月は半頁。(廣告取扱)電通、豊國廣告社、萬年社、博報堂等あれ共多くは直接取引なり。  
 昭和七年度は不況を見越して廣告費に大削減を加へたり。

**東京新療法研究所** 芝區神谷町十八。(電)芝三三三一。醫療器械、藥品、個人經營。(代表者)久留宮留三郎。(支配人)坂本五郎。(大阪支店)水上文藏。

(新聞廣告費)十萬圓、其他一萬五千圓。(使用新聞)全國にて約八十紙。(廣告取扱)電通、新聞聯合。(沿革)大正三年創業、大正九年資本金五十萬圓拂込金十五萬圓の株式組織となす、大正十一年更に個人經營に改め今日に及ぶ。

大阪支店、大阪市北區堂島堂ビル四階。(電)北八二六八番。  
**友田合資會社** 日本橋區本町

四ノ一三。フアゴール、ウラルゴール、オトスプレロール、フキン、オレキシン、其他。(代表者)友田貞吉。(廣告)小林亥六。  
**丁子堂** 京橋區銀座西三丁目一。藥種貿易、賣藥製造販賣、強性強腦劑トツカピン、ち疾薬ヒツト其他。合資會社。(代表者)菅波龜吉。(廣告)菅波公正。(代理店)電通、萬年、大同、昭和。オセロ洋行 京橋區銀座一ノ七。強壯劑オセロ、オセロ特減膏其他。(代表者)中島虎男。(新聞廣告費)六十萬圓。(代理店)豊國、電通。

**小川歩哨堂藥局本店** 荒川區日暮里町二丁目九一。(電)下谷六八一五。製藥貿易商、個人經營。(代表者)藥劑師小川友三。(營業)齋藤平吉。(新聞廣告費)三萬圓、其他三千圓。(使用新聞)大阪毎日、大阪朝日、東京日日外數十紙。(段數)隨時掲載。(廣告取扱)廣告社。(沿革)大正十三年六月開業本年に至る。

最近一ケ年間は専ら滿洲に出す、次ぎの計畫は新案特許、尿道座藥「オガタアゲン」の大發

展(花柳病新藥)。  
**小川研究所** 神田區表神保町一〇。マーシー、オプトロール販賣元。(代表者)小川龜重。(代理店)廣告社。

**大木合名會社** 神田區鍋町二六。大木五藏圓、神靈水、一般の賣藥。(代表者)大木健治。(代理店)萬年、博報堂、電通、其他。  
**太田信義藥房** 小石川區米川下町五九。「太田胃散」發賣元。(代表者)太田信義。

**尾村商店** 大阪市東區南本町四。香雲散、顯効丸、セモリ販賣元。(代表者)尾村茂三郎。(代理店)電通、弘報堂、旭廣告、萬年社。

**近江セールズ** 滋賀縣八幡町。製藥、賣藥、メンソレータム。(代表者)吉田悅藏。  
 六年七月鐵筋コンクリート三階建の社屋を新設した。

**和光堂** 神田區鍛冶町九。滋養食料品賣藥製造販賣。株式。(資本金)百萬圓。(代表者)大賀鑑二。(支配人)進藤隆一。(營業)永田鏡二。(廣告)更級征夫。(使用新聞)五十餘紙。(代理店)五

店。  
**渡邊妙布** 麻布區霞町。賣藥、製藥。

**河合洋行** 本郷區菊坂町五十。海貨來、安來散、パウル氏散。個人經營。(代表者)川村源市。(新聞廣告費)二十萬圓。(使用新聞)全國一般。(契約行數)三十段乃至六段。(代理店)大同通信。  
**金田商店** 京橋區橫町。アル

**田邊五兵衛商店** 大阪市東區道修町三丁目二一。(電)本局六〇一、六〇二、二七六二、二八〇一、四六一九。藥品貿易卸商。一、四六一九。藥品貿易卸商。エビオス、アトフアン、ヂウカ

ルチン、ツルヂアスターゼ等新藥發賣。個人經營。(代表者)田邊五兵衛。(支配人)足立義雄。(營業)第一部長篠田拓、次長鈴木衛、第二部長片山竹市、次長久保佐一郎、第三部長上島繁光、次長片岡嘉太郎。(廣告兼貿易)島居由太郎。(主任)梶野政治郎。(使用新聞)六十紙、外に雜誌三十數種、醫學雜誌五十二種。(段數)不定。(廣告取扱)電通、弘

業通信、旭廣告、青年社、弘知社。(沿革)創業未詳約百五十年前。洋藥の輸入、洋藥の製造に先鞭をつけ斯業の發展に貢献す。製藥工場三。販路全國の主要藥店(何れも卸商)。  
 大日本麥酒株式會社製造のエビオスの發賣を引受け異常の賣行普及を見る。エビオスの徹底的普及を計る。

**田邊元三郎商店** 日本橋區本町二丁目七。(電)日本橋自三〇六六至三〇六九。藥品一般。株式。三百萬圓、拂込八十五萬圓。(代表者)田邊金次郎。(廣告)内藤豊治。

**大日本除虫粉株式會社** 大阪市西區土佐堀三丁目二九。除蟲菊輸出、金鳥かとり線香、金鳥除蟲粉、金鳥薄荷腦油、樟腦、ベルメル。株式。百五十萬圓。(代表者)上山勘太郎。(廣告)寺田晴三。(新聞廣告費)二十五萬圓。(使用新聞)全國各新聞約三百二十紙。(契約行數)五千行最低一千行。(代理店)直註文、電通、萬年、京華、旭廣告。

**大正製藥所** 小石川區關口町

旭廣告、京華社、電通。

**泰昌製藥株式會社** 日本橋區室町二丁目二二共ビルヂング

(電)日本橋三九八。藥品、賣藥、滋養劑、化粧品。株式。三十萬圓。(代表者)福井藤吉。  
**谷回春堂** 大阪市東區伏見町二丁目。一般賣藥業。(代表者)谷始太郎。(使用新聞)大朝、大毎等八十五紙。(代理店)萬年社、旭廣告、京華社、電通。

**高橋盛大堂** 神田區柳町四。

清快丸、トリート、賣藥一般。(代表者)高橋卯之輔。(使用新聞)全國有力紙。  
**高木藥品部** 日本橋區元大阪町八。清輝湯、清心丹販賣元。(代表者)高木與兵衛。(代理店)電通其他。

**玉置文治郎** 日本橋區橫山町三ノ一五。(電)浪花二七、五五、二〇三、五一〇。個人經營。(支配人)玉置忠雄。(營業)松田金之助。(廣告)二村米右。(外幹部)岩崎善吉。(新聞廣告費)十二萬圓、看板外二萬圓。(使用新聞)全國各地の一流新聞。(契約行數)一ページ。(廣告取扱)直接。(沿革)明治三十九年、年商

内高百五十萬圓、使用人四十名、取引先全國各地市内一帶。  
**玉置合名會社** 東京市日本橋區瀨戸物町。ヨード水、腦鼻液、理研ピタミンA、妙布、外三十餘種。(代表者)玉置金八。  
 七年一月より理化學工業のグイタミンAを委任販賣する事となる。

**武田長兵衛商店** 大阪市東區

道修町二丁目。藥種貿易、日本藥局方藥品並に新藥新製劑、賣藥の製造と販賣。株式。五百三十萬圓(全額拂込済)。(社長)武田長兵衛。(專務取締役)竹田義藏。(廣告)同。(使用新聞)約百紙。(代理店)金水堂、旭廣告、大阪電通、合同通信。

**竹村製劑所** 大阪市南久太郎町堺筋。リベール。

**丹平商會** 大阪市南區順慶町四丁目。健腦丸、ナイス、アスタ1、其他數十種。(代表者)森平兵衛。  
 六年秋より酵母から精製した強壯劑イーストを發賣す。  
**津村敬天堂** 豊島區池袋七三三。製藥、賣藥。(代表者)津村嘉吉。

**津村順天堂** 日本橋區通四ノ七。中將湯、童丸、ツムラ體溫計。(代表者)津村重舍。(廣告)清水。  
 七年九月津村重舍君多額議員改選に立候補し再選した。  
**坪井活力商會** 京橋區五郎兵衛町五。活力素、レソール。(代表者)坪井善治。

成毛英之助商店

日本橋區本石町三丁目九。藥種貿易商。殺鼠劑猫イラズ本舖、染毛劑わかやなぎ。個人經營。(店主)成毛英之助。(支配人)齋藤顯録。(廣告)同。(部員)成毛勇之助。(使用新聞)日本全國。(代理店)中外通信社、正路喜社、直接もあり。

中村瀧商店

日本橋區本町三丁目五番地二。(電)日本橋八六九、三五六〇、三五六一。藥品問屋業。株式。一百萬圓。(代表者)中村瀧次郎。(廣告費概算)二萬圓程度。

中村信治

小石川區武島町三三。賣藥、プロトン。

中南定太郎

京橋區銀座西二ノ三。レーベン、賣藥。

南信堂新藥店

麻布區斧町一七三。アンチペリベリン、ワカ末。(代表者)宮崎三治郎。無量壽藥園 小石川區下宮坂町二〇。タラコン湯、ぜんそく湯、其他賣藥一般。(代表者)石塚吉藏。

八木合名會社

芝區櫻田備前町五。快淋湯。

山田安民藥房

大阪市東區南久寶寺町二。賣藥、胃活、胃活錠、ロート目藥。(代表者)山田安民。

山崎帝國堂

神田區花房町二。毒掃丸本舖、一般賣藥。(代表者)山崎嘉太郎。(代理店)萬年社、電通、博報堂。

山彥除蟲菊株式會社

本社和歌山縣有田郡保田村、營業所大阪南區東清水町。(電)大阪南四〇九六。ライオン蚊取線香、除蟲粉、除蟲菊製品の製造販賣。株式。五十萬圓。(代表者)上山甚太郎。(營業)松本平次。(廣告)同。(新聞廣告費)二萬圓。其他一萬圓。(使用新聞)大朝、大毎、東日、讀賣、小樽、河北、新報、新愛知、福日、中民、山陽、日出、京城、釜山、滿日、臺日、臺南等。(契約行數)夏季三ヶ月乃至六ヶ月五百行乃至千行。(廣告取扱)京華社、萬年社、新興社。(沿革)明治三十年創業山彥製粉工場、大正七年組織變更。

安川晃榮堂

日本橋區上橫町三。安川コロダイン、猿馬印し

もやけ藥販賣元

(代表者)安川榮次郎。(代理店)電通、弘報堂、萬年社。

間部醫天堂

牛込區袋町五。文化榮養研究所 芝區三田通新町十三。姉妹機關に日東藥化學研究所あり。

藤井得三郎商店

神田區豐島町三〇。(電)浪花九二〇、八〇五。龍角散本舖。株式。五十萬圓。佛達濟。(代表者)藤井米次郎。(新聞廣告費)十二萬圓。其他一萬五千圓。(使用新聞)全國八十九紙。(契約行數)四千行—二千行。(廣告取扱)電通、博報堂、豐國、弘業社、京華社、聯合、弘報堂、正路喜社。

藤澤友吉商店

大阪市東區道修町二丁目一。補血強壯劑ブルトーゼ、蠅蟲驅除藥マクニン、其他化學製藥多數。個人經營。(代表者)藤澤友之助。(支配人)原田藤太郎。(營業)堀井友三郎。(廣告)藤澤友之助。(廣告部員)二十五名。

小松善一郎藥房

京橋區本材木町三ノ二六。小松の藥其他數種。(代表者)玉木源一郎。小菅商店藥品部 芝區芝口一丁目復舊ビル。ラボカ。

後藤デシン本舖

神戸市葺合區八雲通四丁目一。(電)葺合三一。アシン、オйкаルビン「ゴト」(消毒藥)。株式。二十萬圓。(代表者)後藤鐵二郎。(支配人)京田幾藏。(新聞廣告費)七千五百圓。

小林大藥房

大阪市西區京町堀二丁目。(電)土佐堀五〇。賣藥製造及問屋業。株式。五十萬圓。(代表者)小林吉太郎。(支配人)二宮慎。(廣告)同。(新聞廣告費)三萬五千圓。其他五千圓。(新聞)五十紙。(廣告取扱)本社直接の外、電通、合同、旭、萬年。(沿革)明治二十三年創業。

小林勝行

日本橋區岩附町。一般賣藥、製藥。

小西新兵衛商店

日本橋區本町三。一般賣藥。

米邊遊より歸朝す

行主白井米次郎君七年九月歐米邊遊より歸朝す。

小西新兵衛商店

日本橋區本町三。一般賣藥。

小松善一郎藥房

京橋區本材木町三ノ二六。小松の藥其他數種。(代表者)玉木源一郎。小菅商店藥品部 芝區芝口一丁目復舊ビル。ラボカ。

後藤デシン本舖

神戸市葺合區八雲通四丁目一。(電)葺合三一。アシン、オйкаルビン「ゴト」(消毒藥)。株式。二十萬圓。(代表者)後藤鐵二郎。(支配人)京田幾藏。(新聞廣告費)七千五百圓。

四萬五千圓。其他廣告費三萬圓。(使用新聞)約二百卅新聞。(雜誌共)。(廣告取扱)京華社外。(沿革)明治三十四年より四十五年迄臺灣總督府專賣局製品全國一手賣捌人、明治四十五年より製造販賣を認可され今日に至る榮養と育兒の會 芝區大門際。わかもと、其他。

■博仁房株式會社の改名。

駒場洋藥所 澁谷區櫻丘十六。製藥、賣藥。

アルゼールトミー會社 赤坂區青山北町五丁目。製藥、賣藥。

アルス 神田區今川小路。(代表者)北原鐵雄。ザニタース、其他。

■出版業を兼營す。

安住大藥房 大阪市淀川區大仁町一三。安住除蟲粉、安住蚊取線香。(代表者)安住伊三郎。

有田ドラッグ會社 大阪市東區内本町二丁目三七。(電)東九五。賣藥業。個人經營。(代表者)有田音松。(支配人)有田二郎。(營業)同。(廣告)井川廣文。(工場長)瀧澤芳治郎。(庶務)土屋朋士。(新聞廣告費)四十萬圓。其他十五萬圓。(使用新聞)大朝、大毎、東日、東朝、報知、其他全國紙。(契約行數)約三頁。(廣告取扱)新興社、旭廣告、合同通信社。(沿革)創業明治三十七年。(特設)チェーンストアー全國及海外約六百餘。

青木寫山堂 大阪市西區阿河座上通一ノ十。賣藥。

鮑研究所 神奈川縣大磯驛前通り。

荒川長太郎合名會社 名古屋市東區京町二丁目。(電)東一三七、五一〇四、工場東一五七九。藥種貿易商、ノーション本舖。合名會社。五十萬圓。(代表者)荒川長太郎。(支配人)加藤鐵次郎。(藥種部)西川雪藏。(製劑部)桑山季也。(廣告)鈴木勇一。(使用新聞)全國二百紙。

淺田館本舖 神田區鍛冶町七。「淺田館」其他賣藥業。(代表者)堀内伊太郎。

齋藤滿平藥局 麴町區麴町三ノ九。(電)九段六〇八、一八八六。製劑、賣藥、化粧品。(代表者)齋藤實。(新聞廣告費)二萬

五千圓。其他一萬五千圓。(使地新聞)主として東京、大阪の數紙、地方二三紙。

濟生堂製藥所 京橋區築地橋ビレー一番地。

西養寺 廣島縣豐田郡忠海町四七六四。療養湯發賣元。(代表者)若林豊圓。

里村三治商店 日本橋區本町三丁目十一。テツゾール。個人經營。(代理店)電通。

三共株式會社 日本橋區室町三丁目十。醫療用藥品及衛生材料一般、化粧品類、工業、農業、醸造及理化學用藥品、醫療器械、ベークライト類等。株式。一千二百萬圓。(社長)藤原又策。(營業第一部長)藤原又策。(同第二)古田宗二郎。(同第三)福井源二郎。(廣告課長)菊池武一。(廣告部員)係主任小林友藏外八名。(新聞廣告費概算)三十萬圓。(其他)十萬圓。(使用新聞)東京十六社、大阪五社、地方百十社。(契約行數)東京及大阪七段以上二十五段、地方約一頁見當。(代理店)電通、豐國、弘報堂、弘業社、萬年、京華、正路喜社、聯

合、全國通信等。

參天堂株式會社 大阪市東區北濱一丁目二三。(電)本局一〇四、一二〇五、五五八五。大學目藥、ヘブリン丸、健通丸、參天セキ藥、サンテ。株式。一百萬圓。(代表者)三田忠幸。(沿革)明治二十二年田口謙吉の個人經營として創業、大正四年田口謙吉を代表社員とする資本金二十萬圓の合資會社に變更、大正十四年三田忠幸を社長とする資本金一百萬圓の株式會社となし今日に至る。

笹岡省三藥房 京橋區新榮町四ノ一。命の母本舖。(代表者)笹岡省三。

喜谷市郎右衛門商店 京橋區大鋸町四。喜谷實母散。個人經營。(代表者)喜谷市郎右衛門。(代理店)電通、博報堂其他。

金星商店 芝區櫻田本郷町十。賣藥。

明光社 麴町區元園町一ノ五一。賣藥。

明正製藥會社 日本橋區川瀬石町十一。淋病藥「ツヨール」「ツヨリン」本舖。(代表者)神原



常吉。(代理店)電通。

三田村商店 神田區和泉町一。

製藥、賣藥。

峰岸淋丹本家 日本橋區通三

丁目六の五。

柴崎仁壽堂 本郷區眞砂町九。

ヘルニーベン、ネオセーピン、セ

ーピン發賣元。(代表者)柴崎豊。

鹽野義商店 大阪府東區道修

町三丁目十二。藥種製造貿易商。

資本金三百萬圓。(取締役社長)

鹽野義三郎。(總務部長取締役)

小川保二郎。(營業部長取締役)

家城惣次郎。(廣告部員)私市八

三郎。(使用新聞)中央有力紙ほ

か全國地方紙計約一〇〇種。(代

理店)在阪扱店五。

■宣傳を必要とする新藥の製造

發賣に對しては一般大衆よりも

醫藥業者に向つてその大半を

爲す故新聞廣告を利用するはそ

の一小部分にすぎず。

■昭和六年大衆向藥品としての

ボンボリン(水蟲治療劑)の廣告

にはその藥品の性質上新聞その

他を多く利用したり。

篠原寶命堂 東京府下南品川

八九九。婦人藥保命湯、保命球、

齒痛頭痛藥、ホケン散。個人經

營。(店主)篠原久五郎。(廣告

部員)二名。(新聞廣告費)十二

萬圓。(其他)二萬圓。(使用新

聞)大毎、大朝、東日、東朝、國

民、毎夕、新愛知、福日、北海

タイムス、小樽、その他八十六

社。(契約段數)十四段より三十

段迄。(代理店)全部直接。近年

の廣告史)創業以來新聞廣告而

已にて立ち、雜誌廣告せず。(次

の新計畫)醫藥、新藥の製造に

着手し別名を旭製藥所と稱し着

著歩を進めつゝあり。

守隨商店 日本橋區本石町四

ノ三六。製藥、賣藥。

春泉堂 神田區北神保町十一。

製藥、一般賣藥。

順和公司 大阪府東區清水谷

四ノ町三六五。胃腸藥アイフ、

ハロー、清血丸。(代表者)谷口

作治郎。(代理店)旭廣告、新興

社。

順天堂藥院 日黒區下目黒三

丁目四四。製藥、賣藥。

師岡天然堂 神田區末廣町十

九。(電)下谷一二三。賣藥。個

人經營。(代表者)師岡花枝。(新

### 化粧品部の部

伊東胡蝶園 麻布區本村町一四

五。御園白粉外化粧品一般。(代

表者)伊東榮。(廣告)翌月九一。

井田京榮堂 本所區林町。メ

ヌマ化粧品製造所。個人商店。

(代表者)井田友平。(支配人)井

田良平。(新聞廣告費)二十萬圓。

(使用新聞)全國五十紙。(代理

店)正路喜社、廣告社、電通、

廣告聯合。

■六年十一月二十四日本所林町

の新社屋成り東京會館に披露宴

を張る。

井筒屋香油店 日本橋區堺町

九。「のづ」油)發賣元、其他香

油一般。(代表者)金原己三郎。

(廣告)服部榮次郎。

磯野化學研究所 小石川區西

丸町一ノ一〇。ドン白粉本舗。

(代表者)磯野吉夫。(代理店)弘

業通信、其他。

白美化粧品研究所 京橋區

築地。白美白粉。

ニシキ美容術研究所 大阪

市東區博勞町二ノ二三。美容研

### 化粧品一般。

究、化粧品一般。

日本化粧品製造株式會社

大阪府東區三津屋町三六二

カザリン化粧品。株式。五萬圓。

(代表者)市川肇。(廣告主任)小

島和泉、外二名。(使用新聞)大

朝外約三十社。(契約行數)一千

行。(代表店)新聞合同通信社。

堀越嘉太郎 神田區柳原川岸

一四。ホーカイ化粧品一般。(代

表者)堀越嘉太郎。

ベルベツト石鹼株式會社

(營業所)大阪府北區中之島二ノ

二五江商ビル内。(出張所)東京

市麹町區丸之内一ノ一帝國生命

館内。化粧入浴ベルベツト石鹼

外十四種。(洗濯用、工業用、消

毒用)。株式。百五十八萬五千

圓。(社長)小曾根貞松。(常務)

堤彦一。(販賣)片山直亮。(廣

告)藤原太一。(廣告部員)三名。

(新聞廣告費)十二萬圓。(使用

新聞)大朝、大毎外六十種。(契

約段數)各紙七段。(代理店)萬

年、京華、正路喜社、合同通信

社、弘業通信社、新興社、大阪

電通。

リーガル商會 日本橋區本町。

大江藥學研究所 大阪府東

區道修町三。化粧品一般。

大崎組 大阪府東區安土町四丁

目。金鶴香水、化粧品一般。(代

表者)大井房三。

高橋東洋堂 牛込區五軒町

二一。

中山太陽堂 大阪府浪速區水

崎町。クラブ化粧品、家庭石鹼、

ブラトン文具。(代表者)中山

太一。(廣告)永原。

■七年四月東京支店長坂本榮次

郎君休職となる。

宇野達商店 大阪府東區南久

寶寺町三。風鳥化粧料本舗。

野村外吉商店 大阪府南區鹽

野二丁目。金鶴ボマード、香油、

洗粉、其他。(代表者)野村外吉。

(代理店)電通、京華、旭廣告、

新興社、萬年。

久保政吉商店 本郷區本郷二

三。(電)小石川四五四〇。一三

五二。ウテナ化粧品製造。個人

經營。(代表者)久保政吉。(使

用新聞)月に依り増減あり。(廣

告取扱)電通、萬年社、弘業社、

弘信社、信賴社。

花王石鹼株式會社社長瀨商

會 日本橋區馬喰町二ノ十二。

花王石鹼、ホーム石鹼、ツバメ

石鹼、月星グリセリン、花王粉

石鹼、月星洗濯石鹼、花王水石

鹼、月星印食料椰子油。

(資本金)三百萬圓。(社長)長瀬

富郎。(總支配人)矢野正世。(使

用新聞)全國新聞中の有力紙。

■七年二月社員採用試験を行つ

た。

熊谷本店 大阪府東區南久寶寺

町一丁目。クリノール本舗、化

粧品一般。

柳屋本店 日本橋區通二丁目。

(電)二〇一。化粧品。個人經營。

(店主)外池五郎三郎。(新聞廣

告費)二萬五千圓。其他二萬圓。

(使用新聞)東日、東朝、報知、

讀賣、大毎。(契約行數)五百行

以上。(廣告取扱)正路喜社、萬

年社。(沿革)創業天正十年(約

三百四十年前)。

山吉商店 本所區淺草驛前。君

が代。

山田商店 豊島區高田町。ゾー

シンコナ石鹼。

山岸三之助商店 日本橋區

馬喰町四ノ二二。千代田香油、

千代田ボマード、千代田すみれ

油、千代田花はけり香油、千代

田クリーム等。(代表者)山岸三

之助。

安永舎 ヘチマコロン製造元。

(廣告)松田十九二。

■七年七月前新愛知の松田十九

二君廣告部長となる。

丸見屋商店 日本橋區米澤町

三ノ五。ミツワ石鹼、サーワ白

粉、其他新劑滋養品。個人經營。

(代表者)三輪善兵衛。(支配人)

波多海藏。(營業)松永宇吉。(廣

告)藤田篤。(廣告部員)十五名。

(使用新聞)東西代表紙他百九十

社。(契約行數)最高百五十段よ

り最少三十段。(代理店)主とし

て直接取引。

■米澤町三の五に新店舗成り六

年十二月二日移轉した。

■六年秋より從來の廣告政策を

一變し大新聞集注主義を取り補

助紙に制限を加ふ。

松澤常吉商店 神田區新石町

一〇。松澤ホーサン、ボイス、

其他。(代表者)松澤常吉。(代

理店)萬年社。

小林商店 本所區鷹橋一丁目。

ライオン商磨、ライオン齒磨子、株式。二百萬圓。(社長)小林富次郎。(廣告)武川藤重。(代理店)電通、全國通信、京華、萬年、旭廣告其他。

**小林商店大阪支店** 大阪市東區博愛町。ライオン齒磨、ライオン齒磨子。(支店長)山崎麻吉。

**合同油脂グリセリン會社** 麴町永樂町一ノ二。油脂製造業、レコード石鹼。(代表者)長崎英造。(代理店)電通。

**安藤井筒堂** 日本橋區觸發町三ノ五。オリヂナル香水、カオール、安福石鹼。(代表者)安藤金平。

**天野源七商店** 日本橋區橫山町一丁目。各有名化粧品代理販賣、ヘチマコロン發賣元。個人經營。(代表者)天野源七。(新聞廣告費)十七萬圓。(使用新聞)東京市內十新聞、大阪五新聞、名古屋三新聞、各地有力紙全部にて約百五十新聞。(契約段數)都會地新聞一頁、地方二流紙半頁。(代理店)正路喜社、電通。

**淺井石鹼店** 日本橋區馬喰町

二。鶴の卵化粧石鹼、洗濯石鹼、浮石鹼、製造販賣。(代表者)方波見正吉。

**佐々木商店** 京橋區銀座一ノ九。美人かつら、ボンビアン本舖。

**極光商會** 東京市神田區猿樂町二ノ十一。化粧品一般。

**資生堂** 京橋區銀座八丁目一。(電)銀座五四二〇一五。香水、化粧品、石鹼、商磨。株式。一百七十五萬圓。(代表者)福原信三。(專務取締役)松本昇。(廣告)高木量。(新聞廣告費)約十萬圓、其他約十五萬圓。(使用新聞)主要紙約三十紙、臨時紙五十紙。(契約行數)十段乃至十八段。(廣告取扱)豐國、萬年、正路喜社、電通。(沿革)明治五年現營業地に開業、明治二十五年我國最初の練商磨を製造發賣、爾後各種化粧品、石鹼等を製造、大正十二年チエインストアー組織を創始、定價販賣を勵行。

七年資生堂クレモリン、資生堂銀座石鹼の製造、新發賣。

マネキンガールの街頭行進宣傳、映畫應用美容演其他の計

大朝、東日、東朝、外全國有數新聞。(代理店)電通。

**日本佛教新聞社** 神田區今川小路二の二。(電)九段三八一。

一。新聞發行と佛教書出版。個人經營。五萬圓。(代表者)眞繼義太郎。(支配人)眞繼義人。(營業)濱崎貞雄。(廣告)杉木有二。(新聞廣告費)一萬圓、其他二千圓。(使用新聞)大朝、東朝、讀賣及自社發行の日本佛教新聞。(契約行數)約二千段。(廣告取扱)電通。(沿革)大正十一年二月紀元節創刊。

七年月刊「佛教之日本」及び週刊「宗教傳播通信」を創刊す。

**日本國民社** 麴町區丸ノ内海上ビル新館五階。雜誌日本國民發行。(代表者)伊東阪二。

**日本評論社** 麴町區丸ノ内二ノ一八昭和ビル。(電)丸ノ内四一三一四一三四。出版、經濟往來、法律時報發行。株式。(代表者)鈴木利貞。(使用廣告費)十五萬圓。(使用新聞)東朝、東日、時事、讀賣、中外商業、大朝、大毎、地方有力紙。(廣告取扱)博報堂。

圖書の部

**井上英語學校** 麴町區富士見町四ノ十一。通信教授業。株式。七萬圓。(代表者)柴山格太郎。(廣告部員)一名。(新聞廣告費)三萬六千圓。(使用新聞)大阪、東京朝日毎日(四社)、地方十社其他若干。(代理店)電通、東京地方、萬年社(大阪)。

逐年行數を増加しつゝあり。

**岩波書店** 神田區一ツ橋通町。雜誌「思想」「生活者」及各種書籍出版。(代表者)岩波茂雄。

**磯部甲陽堂** 日本橋區本町四丁目二。(電)浪花六九五。圖書出版。個人經營。(代理店)博報堂。

**郁文堂書店** 本郷區森川町八〇。書籍出版、合資會社。五萬圓。(代表者)大井久五郎、田中房次郎、高橋竹次郎、布利幡兼雄。(新聞廣告費)六千圓、其他二千圓。(使用新聞)東朝、東日。(代理店)博報堂。

**六合館書店** 日本橋區數寄屋屋町。書籍出版及取次卸業。(廣

畫あり。

**柴仁商店** 神戸市多聞町六。柴仁石鹼、シバニ石鹼。(代表者)柴仁三郎。

**尙美堂** 麻布區霞町一。アイス洗粉、マスター化粧品本舖。(代表者)坂本一郎。(代理店)正路喜社及び直接。

**平尾贊平商店** 日本橋區馬喰町一丁目六。化粧品製造販賣。株式。一百二十五萬圓。(代表者)平尾贊平。(支配人)平尾喜三郎、平尾太郎。(廣告)支配人兼任。(使用新聞)百三十社。(代理店)直接又は代理店數店。

近年の廣告史、新聞、雜誌、ホスター、ネオン、ホロー鐵板全國數十萬貼付、電柱廣告等。

チタニウムの新製品メリー白粉を六年十一月より發賣す。

**桃谷順天館** 大阪市港區市岡町六八一。美顔白粉、白色美顔水、美顔クリーム、美顔クリム、其他化粧品一般。(代表者)桃谷順一。(廣告)永野隆太郎。

七年二月廣告部長に永野隆太郎君就任し楠本政太郎君は販賣部長となる。

**培風館** 神田區錦町一ノ六。教科書、一般圖書出版。

**白楊社** 神田區美土代町二ノ一。圖書出版。(代表者)中村徳二郎。(代理店)博報堂。

**白水社** 神田區小川町三〇。(電)神田三五九八。出版及佛蘭西圖書輸入。株式。二十萬圓。(代表者)福岡清。(支配人)寺村五一。(使用廣告費)一萬圓、其他二千圓。(使用新聞)東朝、東日、讀賣、大朝、大毎。(廣告取扱)博報堂。

**博文館** 日本橋區本石町。各種圖書並に雜誌數種出版發行。(代表者)大橋勇吉。

**二松堂** 神田區錦町一ノ十六。(電)神田一四一〇。圖書出版。個人經營。(代表者)宮下軍平。(使用廣告費)一萬五千圓。(廣告取扱)博報堂、電通。

**日本通信大學法制學會** 日本橋區濱町二ノ一四。(新大橋際)「普通文官養成講義」及月刊雜誌「法制」其他一般圖書刊行。(代表者)澤野民治。(營業)加藤熊太郎。(廣告)小西忠雄。(廣告部員)三名。(使用新聞)大毎、

大朝、東日、東朝、外全國有數新聞。(代理店)電通。

**日本佛教新聞社** 神田區今川小路二の二。(電)九段三八一。

一。新聞發行と佛教書出版。個人經營。五萬圓。(代表者)眞繼義太郎。(支配人)眞繼義人。(營業)濱崎貞雄。(廣告)杉木有二。(新聞廣告費)一萬圓、其他二千圓。(使用新聞)大朝、東朝、讀賣及自社發行の日本佛教新聞。(契約行數)約二千段。(廣告取扱)電通。(沿革)大正十一年二月紀元節創刊。

七年月刊「佛教之日本」及び週刊「宗教傳播通信」を創刊す。

**日本國民社** 麴町區丸ノ内海上ビル新館五階。雜誌日本國民發行。(代表者)伊東阪二。

**日本評論社** 麴町區丸ノ内二ノ一八昭和ビル。(電)丸ノ内四一三一四一三四。出版、經濟往來、法律時報發行。株式。(代表者)鈴木利貞。(使用廣告費)十五萬圓。(使用新聞)東朝、東日、時事、讀賣、中外商業、大朝、大毎、地方有力紙。(廣告取扱)博報堂。

七年「經濟往來」更生的大躍進をなす。

「農村更生叢書」全五十卷の刊行の管。

**北隆館** 京橋區銀座西五。圖書雜誌大取次。

七年三月四日倉庫の一部類焼し損害二萬圓。

**寶文館** 日本橋區本銀町三ノ一四。教育圖書出版並に雜誌「令女界」「少女界」「若草」發行。(代表者)大葉久吉。

**平凡社** 日本橋區吳服橋。出版。株式(代表者)社長下中彌三郎。(支配人)加藤雄策。(廣告)清水泰夫。(部員)三名。(新聞廣告費)四十八萬圓、其他十萬圓。(使用新聞)東日、東朝、大朝、大毎、報知、國民、讀賣、都、中外、其他二十紙。(廣告計畫の大小により五十社まで使用するこゝとあり)(契約段數)不定四十段乃至五十段。(代理店)博報堂、弘業社、直接扱。

**丙午出版社** 小石川區原町六。書籍出版。個人經營。(代表者)高島米峰。(新聞廣告費)一萬圓以內(使用新聞)東朝、東日、大

每、大朝、讀賣、報知、其他地方新聞中第一流のもの。(代理店)豐國通信、萬年社。

**東方書院** 神田區一ツ橋通二。圖書出版。

**東洋經濟新報社** 日本橋區本石町三丁目二。(電)日本橋八一三、一四八七、二七八五。週刊東洋經濟新報其他圖書出版。株式。十萬圓。(代表者)石橋堪山。(營業)神原周平。(廣告)神原周平。(新聞廣告費)六萬圓、六萬五千圓。(使用新聞)大阪、朝日、毎日、東京朝日、日々、時事、中外、讀賣、國民、都、報知、其他地方有力紙十數社。(廣告取扱)博報堂、電通。(沿革)明治廿八年十一月創刊中途一回の休刊もなし。

昭和六年七月頃より社樓上に經濟俱樂部を開設し既に會員滿員にて入會拒絶の盛況を見る。

**東京堂** 神田區錦町三ノ一八。(電)神田八八五、三〇六〇、一三、三九九二、四四四五〇、四四六〇。書籍雜誌元取次並に出版業。株式。二百萬圓。(代表者)大野孫平。(支配人)赤長坂

助。(營業)同。(廣告)增山新一。  
 (使用新聞)大朝、大毎、東朝、東日、讀賣、報知、其他。(廣告)取  
 報)博報堂。  
**東京開成館** 小石川區小日向水道町八四。圖書出版。  
**東京出版協會** 神田區小川町四十。(電)神田九三〇。會員組織。(代表者)會長目黒甚七。(使用新聞)本會指定新聞十八新聞。(沿革)大正三年十月創立、爾來今日に至る。  
**同文館** 神田區表神保町二。書籍出版、雜誌「企業と社會」。(代表者)田中六藏。  
**同人社** 神田區駿河臺西紅梅町七。圖書雜誌出版。匿名組合。十萬圓。(代表者)大島秀雄。(支配人)平方嘉門。(廣告)森田國男。(廣告部員)二名。(新聞廣告)五千圓、其他二千圓。(使用新聞)東朝、讀賣、大毎、大朝。(契約行數)新刊の都合で一定せず。(代理店)博報堂。  
**千倉書房** 京橋第一相互館内。(電)京橋二八一、二一八七、三七一六。出版業。個人經營。(代表者)千倉費。(新聞廣告)二  
 十萬圓内外、其他二萬圓内外。  
 (使用新聞)大朝、大毎、東日、中外、報知、時事、讀賣、九日、福日、外十社。(廣告)取報、新興社外直接取引。(沿革)昭和四年四月三日創業。  
**中央公論社** 麴町區丸九ビル。雜誌「中央公論」婦人公論「圖書出版」。(代表者)島中雄三。  
**中文館書店** 牛込區辨天町一七四。圖書出版。  
**中興館** 神田區表神保町十。(電)神田一二三五。圖書雜誌出版業。個人經營。十萬圓。(代表者)矢島一三。(廣告)齊藤義雄。(新聞廣告)一千圓、其他五千圓。(使用新聞)東朝、東日、讀賣、大朝、大毎、外地方新聞。(廣告)取報)博報堂。(沿革)大正二年創業。  
**忠誠堂** 神田區一ツ橋通三〇教育會館。圖書出版及印刷業。個人經營。(使用新聞)全國諸新聞。(代理店)博報堂、電通、新聞社直接等。  
**立命館出版部** 京橋區銀座西二。圖書出版。  
**林平書店** 日本橋區吳服橋二丁目。(電)日本橋七七六、七七七。書籍出版及販賣業。株式。十五萬圓。(代表者)林義七。(支配人兼營業)林武次。(廣告)加藤治助。  
**隆文館** 本郷區眞砂町。圖書出版。  
**岡書院** 神田區北甲賀町四。圖書出版。  
**大畑書店** 神田區一ツ橋通三十。教育會館内。圖書出版。  
**大倉書店** 日本橋區南茅場町。辭典教科書其他圖書出版。(代表者)大倉保五郎。  
**大阪屋號書店** 日本橋區吳服町二丁目五。(支店)大連、旅順、奉天、京城。圖書出版滿鮮臺支榷卸賣業。合名會社。十萬圓。(代表者)濱井松之助。(支配人)百合野惣壽。(營業)同。(廣告)長野重治。(同部員)落合德三。(新聞廣告)三萬五千圓、其他三百圓。(使用新聞)東朝、東日、時事、讀賣、中外、報知、大毎、大朝、新愛知、名古屋、新每、北海タイムス、小樽、河北、信每、中國新、福日、京日、滿日、大連、臺日等。(代理店)博報堂。  
**早稻田大學出版部** 淀橋區戸塚町一ノ五八。各種講義錄及法律、政治、經濟、文學に關する圖書出版。(代表者)市島謙吉。(代理店)電通。  
**早稻田泰文社** 牛込區鶴卷町。圖書出版。  
**改造社** 芝區愛宕下町。月刊雜誌「改造」社會科學「自然科學」「婦人世界」及び政治、社會、經濟、思想、各種の書籍出版。(代表者)山本實彦。(廣告)平田。六年十二月より婦人世界を續刊す。  
**刀江書院** 神田區駿河臺ニコライ下。圖書出版。(代表者)尾高豊作。  
**學習社** 神田區通神保町一。(電)神田一一二六。出版業。株式。五十萬圓。(代表者)西村辰五郎。  
**金刺書店** 神田今小路一ノ五。圖書出版。(代表者)金刺源治。  
**考へ方研究社** 神田區錦町三ノ九。圖書出版。(代表者)藤森

良藏。(代理店)博報堂。  
**巖松堂書店** 神田區中猿樂町一。圖書出版販賣、卸小賣。株式。五十萬圓。(代表者)波多野重太郎。(支配人)藤田知治。(廣告部員)平林敏滋。(代理店)博報堂。  
**養賢堂** 麴町區元園町一ノ七。農學、工學、理學等の科學書出版、月刊雜誌「農業及園藝」其他の學術雜誌刊行。個人經營。(代表者)及川伍三治。(廣告部員)一名。(新聞廣告)一萬四千圓、其他六千圓。(使用新聞)東京市六社、大阪市二社、其他地方新聞十社乃至二十社。(代理店)博報堂、電通其他二三社。  
**吉川弘文館** 京橋區鈴木町一。圖書出版。  
**タイムス出版社** 麴町區有樂町二丁目四。圖書出版、國際パフレット、通信發行。株式。二萬五千圓。(代表者)小野俊一。(營業)林泰。(廣告)小野英作。(新聞廣告)一萬二千圓、其他五千圓。(使用新聞)東朝、東日、大朝、大毎其他。(代理店)電通、博報堂。  
**ダイヤモンド社** 麴町區内幸町二ノ三。ダイヤモンド雜誌、同日報、ダイヤモンドレポート、其他經濟單行本。(代表者)石山賢吉。(廣告)富永良太郎。(廣告部員)十名。(新聞廣告)二萬四千圓餘。(使用新聞)時事、中外、東朝、東日、報知、大朝、大毎、新湯時事。(代理店)告天社。  
**第一書房** 麴町區一番町五。個人經營。(代表者)長谷川巳之吉。(新聞廣告)三萬圓。(使用新聞)東朝、讀賣、大朝。(代理店)博報堂。  
**大日本圖書株式會社** 京橋區銀座一ノ二二。中等教科書、參考書、研究書。(代表者)杉山常次郎。  
**大日本國民中學會** 神田區駿河臺袋町一六。講義錄發行。(代表者)河野正義。  
**大日本工業學會** 小石川區丸山町一。工業講習錄發行、工業圖書出版。合資。五萬圓。(代表者)鈴木力。(新聞廣告)五千圓。(使用新聞)東京新聞三社、大阪新聞一社、地方十五社、外  
 雜誌其他十社見當。(代理店)電通、内外通信。  
**大日本雄辯會講談社** 本郷區駒込坂下町四八。(電)小石川自八〇八〇、至八〇九四。(營業科目)月刊雜誌「雄辯」、講談俱樂部、少年俱樂部、現代、婦人俱樂部、少女俱樂部、キング、幼年俱樂部、富士。單行本約三百種。全集「修養全集、講談全集、落語全集、喜劇全集、評判講談全集、少年少女教育講談全集。代理部、どりのこの、パミール、イノール、トランシ、療眼器、プレヴロール、其他キングレコード數百種。個人經營。(代表者)野間清治。(營業)赤石喜平。(廣告)赤石喜平。(編輯長)淵田忠良。(會計部長)高木義賢、長谷川卓郎、館内元。(新聞廣告)三百萬圓、其他百萬圓。(使用新聞)全國全紙、諸外國邦字新聞殆全部、外字新聞若干。(契約行數)多きは二十頁餘、少きは二頁位。(廣告)取報)電通、博報堂、正路喜社、萬年社、弘業通信、外敷社。(沿革)明治四十三年二月十一日創めて雜誌「雄辯」を發

大光館書店 神田區中猿樂町一七。圖書出版。個人經營。(代表者)増田好雄。(新聞廣告費)七千圓。(代理店)博報堂。

大明堂 神田區小川町三七。圖書出版。

玉井清文堂 神田區表神保町一〇。圖書出版。(代表者)玉井清五郎。

玉川學園出版部 東京府南多摩郡町田町。圖書出版。

創元社 芝區二本榎西町二。(大阪市西區榎上通一)圖書出版。

叢文閣 麴町區四番町九。圖書出版。(支配人)岡杉夫。(營業)西村達雄。(廣告)岡杉夫。(部員)二名。(新聞廣告費)一萬三千圓。(使用新聞)東朝、東日、大朝、大朝其他。(代理店)正路喜社、博報堂。

年史刊行會 本郷區元町二丁目七七。(電)小石川五九八〇。「年史」。個人經營。(代表者)結城長治。(主幹)高野武二。(廣告取扱)結城盛報社。(沿革)昭和三年以來每年「年史」を繼續刊行。

仁賢良。(廣告)佐藤恒民。(沿革)明治四十一年一月創立。武俠社 芝區南佐久間町二ノ一。圖書雜誌發行。(社長)柳沼。姊妹社に東京社あり。六年九月柳沼武俠社々長東京社々長となる。

文藝春秋社 麴町區内幸町一ノ三。大阪ビルヂング四階。(電)銀座八四九、一七二、二八三、二四八七。(營業科目)雜誌文藝春秋、婦人サロン、オノル讀物發行。株式。五萬圓。(代表者)菊池寛。(支配人)成瀬正義。(廣告)専務佐々木茂索。(新聞廣告費)十三萬圓、其他廣告費三萬圓。(使用新聞)東京八社、大阪三社、地方十三社。(廣告取扱)電通及博報堂。六年十二月二十二日創刊十週年記念會を開催。

古今書院 淀橋區西大久保四五九。圖書出版。(代表者)橋本福松。

弘道館 神田區上神保町十一。(電)九段一三六八、一三六九。圖書出版業。株式。十萬圓。(代表者)辻本卯爲。(新聞廣告費)三萬圓。

内外書籍株式會社 小石川區竹早町三二。圖書出版。

南北書院 麴町區下二番町七〇。圖書出版。

南洋協會 麴町區丸ノ内仲通リ十四號。圖書出版。

南光社 神田區猿樂町二。圖書出版。

内田老鶴圃 日本橋區大傳馬町二ノ一六。圖書出版。(代表者)内田作藏。

科學知識普及會 麴町區丸ノ内仲通十號館。圖書出版。(代表者)高松豊吉。(代理店)博報堂。

山田自動車會社 神田區北神保町四。自動車並に附屬品一般、自動車に關する圖書出版を主とす。

野球界社 牛込區若宮町三八。野球界發行。(社長)横井春雄。丸善株式會社 日本橋區通二丁目。(電)日本橋(代表番號)二二二、二二一。(營業科目)海外書籍新聞雜誌の輸入販賣、出版、文具、洋物雜貨の輸入、製造販賣。株式。三百三十萬圓。(代表者)山崎信興。(専務)八田

興文社 日本橋區馬喰町二ノ一。文藝書籍出版。(代表者)堀四郎。厚生閣書店 麴町區下六番町四八。(電)九段三二一八。圖書出版。個人經營。(代表者)岡本正一。(營業)平井正路。(廣告)前本一男。廣告費概算二萬圓。(廣告取扱)博報堂、電通。

國民圖書株式會社 麴町區内幸町一丁目六。圖書出版。株式。五十萬圓。(代表者)中塚榮次郎。(代理店)博報堂。國民文庫刊行會 神田區小川町一。圖書出版。七年八月事業閉鎖、全員解雇。丁未出版社 麴町區平河町四ノ一三。圖書出版。個人經營。

帝國地方行政學會 京橋區銀座西七丁目。雜誌、講義錄其他、圖書出版。

鐵塔書院 神田區一ツ橋通九。圖書出版。

天業民報社 下谷區上野櫻木町一。新聞及書籍發行。

天人社 神田區神保町一〇。(代

庄治。(廣告)齋藤哲郎。(使用新聞)東朝、東日、時事、讀賣、報知、國民、中外、都、大朝、大毎、京都日出、同日々、福日、九日報、新愛知、名古屋、河北、北タイ、小樽、等を主とし其外全國にて五十餘紙。(廣告取扱)正路喜社、電通、京華社、外。

經濟知識社 麴町區丸ノ内。丸ビル三四八。雜誌發行。警醒社 京橋區末挽町五丁目四。圖書出版業。株式。十五萬圓。(代表者)橋井鶴次郎。(廣告)同。(新聞廣告費)二千圓、其他六百圓。(代理店)博報堂及新聞社廣告部直接。

研究社 麴町區富士見町六丁目。(電)九段四〇二、四〇三。出版印刷。株式。百萬圓。(代表者)小酒井五一郎。(支配人)佐藤文二。(營業)同。

富山房 神田區通神保町九。出版業。合資。六十萬圓。(代表者)坂本嘉治馬。(支配人)生沼大造。(廣告)坂本守正。(廣告部員)太田武次郎。(使用新聞)東京、大阪各紙及地方紙約四十紙。(代理店)博報堂、電通。

婦女界社 麴町區永樂町九ビ

婦人之友社 豊島區雜司ヶ谷町一四八。(電)大塚三七一八、三七一九。婦人雜誌子供雜誌。(代表者)羽仁吉一。(支配人)羽

萬里閣 日本橋區吳服橋二ノ三。(電)日本橋二四三七。出版。合資。三萬圓。(代表者)小竹重雄。(支配人)八木澤清。(廣告)市川鏡造。(外幹部)小竹即一、高島末吉、松浦長治。(新聞廣告費)五萬圓。(使用新聞)東日、東朝、時事、大毎、大朝、讀賣、報知。(廣告取扱)博報堂。

朝日出版部 大阪朝日新聞社及東京朝日新聞社内。圖書出版。淺野書店 神田區小川町通小川町ビル。圖書出版。

サラリーマン社 京橋區寶町一丁目東京ビル。(電)京橋三七三九、六三八〇。大衆經濟雜誌「サラリーマン」、旬刊評論紙「時局新聞」發行。(代表者)長谷川國雄。(營業)兼松宏守。(使用新聞)東京朝日、東京日々、讀賣、時事、中外、大毎、大朝。(廣告取扱)博報堂。

七年「サラリーマン」創刊五周年記念の「時局新聞」創刊旬刊。八年には「時局新聞」八頁を週刊發行の豫定。

三省堂 神田區通神保町一。圖書出版。株式。百五十萬圓。(代表者)神保周藏。(支配人)永井茂彌。(營業)末次保。(廣告課)河西三吉。(使用新聞)東京大阪

十社、地方二十社、其他臨時。(代理店)博報堂、萬年社其他。山海堂出版部 神田區北神保町二一。書籍出版。個人經營。十萬圓。(店主)來島正時。(使用新聞)時事、報知、東朝、東日、大毎、大朝、其他。(代理店)博報堂。

共立社 神田區駿河臺南甲賀町四。圖書出版。

共生閣 神田區淡路町二ノ三。(電)神田四〇七五。(營業科目)社會科學及自然科學、圖書發行。個人經營。(代表者)藤岡淳吉。(沿革)昭和元年創立、資本金ナシ。處女出版十錢パンフレット、翌年早々レーニンの「國家と革命」にて三千圓儲け、一躍出版界に乗り出す、現在刊行部數二百五十點。昭和七年四月「史の唯物論」初版五千冊、發賣禁止となり全部押收され、害損五千圓、目下自然科學の一つとして「林學講座」全四卷一冊二圓刊行の準備中。

自己の機關誌以外廣告の必要を認めず、而かも三萬部賣りたるものザラにあり。

仁賢良。(廣告)佐藤恒民。(沿革)明治四十一年一月創立。武俠社 芝區南佐久間町二ノ一。圖書雜誌發行。(社長)柳沼。姊妹社に東京社あり。六年九月柳沼武俠社々長東京社々長となる。

文藝春秋社 麴町區内幸町一ノ三。大阪ビルヂング四階。(電)銀座八四九、一七二、二八三、二四八七。(營業科目)雜誌文藝春秋、婦人サロン、オノル讀物發行。株式。五萬圓。(代表者)菊池寛。(支配人)成瀬正義。(廣告)専務佐々木茂索。(新聞廣告費)十三萬圓、其他廣告費三萬圓。(使用新聞)東京八社、大阪三社、地方十三社。(廣告取扱)電通及博報堂。六年十二月二十二日創刊十週年記念會を開催。

古今書院 淀橋區西大久保四五九。圖書出版。(代表者)橋本福松。

弘道館 神田區上神保町十一。(電)九段一三六八、一三六九。圖書出版業。株式。十萬圓。(代表者)辻本卯爲。(新聞廣告費)三萬圓。

内外書籍株式會社 小石川區竹早町三二。圖書出版。

南北書院 麴町區下二番町七〇。圖書出版。

南洋協會 麴町區丸ノ内仲通リ十四號。圖書出版。

南光社 神田區猿樂町二。圖書出版。

内田老鶴圃 日本橋區大傳馬町二ノ一六。圖書出版。(代表者)内田作藏。

科學知識普及會 麴町區丸ノ内仲通十號館。圖書出版。(代表者)高松豊吉。(代理店)博報堂。

山田自動車會社 神田區北神保町四。自動車並に附屬品一般、自動車に關する圖書出版を主とす。

野球界社 牛込區若宮町三八。野球界發行。(社長)横井春雄。丸善株式會社 日本橋區通二丁目。(電)日本橋(代表番號)二二二、二二一。(營業科目)海外書籍新聞雜誌の輸入販賣、出版、文具、洋物雜貨の輸入、製造販賣。株式。三百三十萬圓。(代表者)山崎信興。(専務)八田

興文社 日本橋區馬喰町二ノ一。文藝書籍出版。(代表者)堀四郎。厚生閣書店 麴町區下六番町四八。(電)九段三二一八。圖書出版。個人經營。(代表者)岡本正一。(營業)平井正路。(廣告)前本一男。廣告費概算二萬圓。(廣告取扱)博報堂、電通。

國民圖書株式會社 麴町區内幸町一丁目六。圖書出版。株式。五十萬圓。(代表者)中塚榮次郎。(代理店)博報堂。國民文庫刊行會 神田區小川町一。圖書出版。七年八月事業閉鎖、全員解雇。丁未出版社 麴町區平河町四ノ一三。圖書出版。個人經營。

帝國地方行政學會 京橋區銀座西七丁目。雜誌、講義錄其他、圖書出版。

鐵塔書院 神田區一ツ橋通九。圖書出版。

天業民報社 下谷區上野櫻木町一。新聞及書籍發行。

天人社 神田區神保町一〇。(代

庄治。(廣告)齋藤哲郎。(使用新聞)東朝、東日、時事、讀賣、報知、國民、中外、都、大朝、大毎、京都日出、同日々、福日、九日報、新愛知、名古屋、河北、北タイ、小樽、等を主とし其外全國にて五十餘紙。(廣告取扱)正路喜社、電通、京華社、外。

經濟知識社 麴町區丸ノ内。丸ビル三四八。雜誌發行。警醒社 京橋區末挽町五丁目四。圖書出版業。株式。十五萬圓。(代表者)橋井鶴次郎。(廣告)同。(新聞廣告費)二千圓、其他六百圓。(代理店)博報堂及新聞社廣告部直接。

研究社 麴町區富士見町六丁目。(電)九段四〇二、四〇三。出版印刷。株式。百萬圓。(代表者)小酒井五一郎。(支配人)佐藤文二。(營業)同。

富山房 神田區通神保町九。出版業。合資。六十萬圓。(代表者)坂本嘉治馬。(支配人)生沼大造。(廣告)坂本守正。(廣告部員)太田武次郎。(使用新聞)東京、大阪各紙及地方紙約四十紙。(代理店)博報堂、電通。

婦女界社 麴町區永樂町九ビ

婦人之友社 豊島區雜司ヶ谷町一四八。(電)大塚三七一八、三七一九。婦人雜誌子供雜誌。(代表者)羽仁吉一。(支配人)羽

萬里閣 日本橋區吳服橋二ノ三。(電)日本橋二四三七。出版。合資。三萬圓。(代表者)小竹重雄。(支配人)八木澤清。(廣告)市川鏡造。(外幹部)小竹即一、高島末吉、松浦長治。(新聞廣告費)五萬圓。(使用新聞)東日、東朝、時事、大毎、大朝、讀賣、報知。(廣告取扱)博報堂。

朝日出版部 大阪朝日新聞社及東京朝日新聞社内。圖書出版。淺野書店 神田區小川町通小川町ビル。圖書出版。

サラリーマン社 京橋區寶町一丁目東京ビル。(電)京橋三七三九、六三八〇。大衆經濟雜誌「サラリーマン」、旬刊評論紙「時局新聞」發行。(代表者)長谷川國雄。(營業)兼松宏守。(使用新聞)東京朝日、東京日々、讀賣、時事、中外、大毎、大朝。(廣告取扱)博報堂。

七年「サラリーマン」創刊五周年記念の「時局新聞」創刊旬刊。八年には「時局新聞」八頁を週刊發行の豫定。

三省堂 神田區通神保町一。圖書出版。株式。百五十萬圓。(代表者)神保周藏。(支配人)永井茂彌。(營業)末次保。(廣告課)河西三吉。(使用新聞)東京大阪

十社、地方二十社、其他臨時。(代理店)博報堂、萬年社其他。山海堂出版部 神田區北神保町二一。書籍出版。個人經營。十萬圓。(店主)來島正時。(使用新聞)時事、報知、東朝、東日、大毎、大朝、其他。(代理店)博報堂。

共立社 神田區駿河臺南甲賀町四。圖書出版。

共生閣 神田區淡路町二ノ三。(電)神田四〇七五。(營業科目)社會科學及自然科學、圖書發行。個人經營。(代表者)藤岡淳吉。(沿革)昭和元年創立、資本金ナシ。處女出版十錢パンフレット、翌年早々レーニンの「國家と革命」にて三千圓儲け、一躍出版界に乗り出す、現在刊行部數二百五十點。昭和七年四月「史の唯物論」初版五千冊、發賣禁止となり全部押收され、害損五千圓、目下自然科學の一つとして「林學講座」全四卷一冊二圓刊行の準備中。

自己の機關誌以外廣告の必要を認めず、而かも三萬部賣りたるものザラにあり。

教育研究會

麹町區富士見町五ノ九。(電)九段七二七。(營業科目)中等教科書并に參考圖書出版。株式。十萬圓。(代表者)辻本經藏。(支配人)篠崎敏治。(營業)辻本經藏。(廣告)同。(新聞廣告費)六千圓。其他二千圓。(使用新聞)大阪、東京朝日、大阪毎日、東京日日、國民。(廣告取扱)内外通信。(沿革)辻本經藏の個人經營(創業大正十年)なりしもの昭和七年五月株式組織に改む。

協調會

(電)芝一三一一六。財團法人。(常務理事)吉田茂。(新聞廣告費)三千圓。(使用新聞)東日、東朝、大朝、大毎、等。(契約行數)二ヶ月は三段約二〇〇行、十ヶ月は二段約五〇〇行。(廣告取扱)博報堂。(沿革)大正八年十二月二十二日設立。

金港堂書籍株式會社

今川小路二。(電)三六一三、三四二四。(營業科目)出版書として中等教科書。株式。十萬圓。(代表者)原安三郎。(使用新聞)東京朝日、日々、讀賣、時事、(大阪)朝日、毎日。(月刊もの

方主なり)。(廣告取扱)萬歲社、大明通信社、一星社。

金星堂

神田區今川小路一ノ四。圖書出版。個人經營。(代表者)福岡益雄。(使用新聞)東西主要紙。(廣告取扱)博報堂。

有朋堂書店

神田區錦町一ノ一九。出版、辭典、參考書、教科書、有朋堂文庫、漢文叢書。(代表者)三浦理。

有斐閣

神田區一ツ橋通り五。法律、政治、經濟書籍。(代表者)江草重忠。

雄山閣

麹町區飯田町六ノ二三。圖書出版。(代表者)長坂金雄。

目黒書店

神田區南甲賀町五。(電)神田一〇五八、一〇五九。(營業科目)中等教科書、教育圖書出版。個人經營。(代表者)目黒甚七。(支配人)大澤吉直。(營業)目黒四郎。(廣告)小野宗治。(廣告取扱)博報堂。(沿革)明治廿三年創業。

昭和六年十一月雜誌「GOLF」

創刊、昭和七年十一月雜誌「道德教育」創刊。六年十月神田聖橋通りの新店舖落成移轉す。

明文堂

神田區錦町一。圖書出版。

明治書院

神田區錦町一丁目十。(電)神田一四一四、二六九五、二六九六。圖書出版販賣(中等教科書類及び參考書類)。株式。三十萬圓(拂込済)。(社長)三樹退三。(專務)森下松衛。(常務)三樹良知、三樹愛二。(廣告)三樹良知、文入宗義。(新聞廣告費)七萬圓。其他二萬圓。(使用新聞)東京大阪、名古屋は全部、その他地方は各地の主要なるもの。(廣告取扱)博報堂、電通、他は直接。(沿革)前社長三樹一平が明治二十九年に創立(個人にて)大正三年個人經營より株式組織に變更三樹一平社長たりしが大正十三年死去、現社長一平の長男。

民友社

京橋區銀座八丁目九。圖書出版。株式。五萬圓。(代表者)矢野國太郎。

四條書店

神田區駿河臺袋町一六。圖書出版。

至文堂

赤坂區傳馬町三ノ一〇。圖書出版。(代表者)伊藤正叟。

至誠堂書店

日本橋區本石町三ノ一四。一般書籍出版。(代表者)加島ユキ。

清水書店

神田區今川小路二ノ四。圖書出版。(代表者)葉多野太兵衛。(代理店)博報堂、正路喜社、日本弘業通信。

自強館書店

神田區錦町一丁目十二。書籍雜誌出版、販賣。個人經營。(代表者)伊東三郎。

事業之日本社

日本橋區吳服町二ノ三。雜誌事業之日本。個人經營。(代表者)小竹即一。(新聞廣告費)一萬圓内外。(使用新聞)東京五社、大阪二社。(代理店)博報堂。

實業之日本社

京橋區銀座西一丁目三。雜誌及圖書發行。株式。六十萬圓。(代表者)増田義一。(營業)小倉秀道。(廣告)池谷與一郎。(新聞廣告費)四十五萬圓。(使用新聞)約七十五新聞。

實業之世界社

芝區愛宕町三號を發行す。七年十月創刊三十五周年記念號を發行す。

三二。月刊實業之世界、日刊實業通信。個人經營。(社長)野依秀市。(新聞廣告費)五萬圓。(使用新聞)東日、中外、報知、國民、讀賣、福日、河北、大毎、名古屋、大分日、豊州。(代理店)博報堂。

書齋社

麻布區筈町一二六。出版業。(代表者)立川雷平。(支配人)小川治男。(新聞廣告費)三萬圓。(使用新聞)東朝、東日、大朝、大毎、報知、新愛知、福日、北海タイムス、臺日、京日。(代理店)博報堂。

小學館

神田區表神保町六。圖書出版。

裳華房

麹町區中六番町五四。(電)九段一〇一五。(營業科目)科學圖書出版。合名會社。八萬五千圓。(代表者)野口健吉。(廣告)藤崎四郎治。(新聞廣告費)二萬圓。其他二萬圓。(廣告取扱)博報堂。(沿革)明治廿八年創業(先代吉野兵作)に係る、大正十

進文館

小石川表町六七。(電)小石川四七九〇。(營業科目)受験就職に關する單行本及講義録個人經營。(代表者)鶴岡一雄。(新聞廣告費)新聞三萬圓。雜誌二萬圓。(使用新聞)東西七紙、

四年九月組織を法人に改め基礎の堅固を期す。

新潮社

半込區矢來町。(電)牛込八〇五一。書籍雜誌出版。個人經營。(代表者)佐藤義亮。(支配人)中根駒十郎。(廣告)佐藤義夫。(新聞廣告費)四十八萬圓。其他十二萬圓。(使用新聞)東京大阪の主力紙及び地方紙約百二十紙。(契約行數)四十段より十段位迄。(廣告取扱)博報堂、電報通信社、萬年社、正路喜社。(沿革)明治二十九年新聲社を創立、明治三十七年五月新潮社と改稱今日に至る。

人生創造社出版部

千葉市。圖書出版。(代表者)石丸梧平。主婦之友社。神田區駿河臺。(電)神田一六一六、四七八、四七九。出版業。主婦之友發行。株式。二百萬圓。(社長)取締役石川武美。(取締役)八代登。(廣告)同。(外幹部)相談役取締役齋藤藤次郎。事業部長取締役山内金三郎。監査役安河内治一郎。監査役久保三郎。(新聞廣告費)六十萬圓。其他二十萬圓。(使用新聞)大朝、大毎、東朝、東日以下百六十五社。(契約行數)約三十段。(廣告取扱)博報堂、電通、萬年社。

修文館

神田區表神保町二。(電)神田一三八七、一三八八。(代表者)鈴木種次郎。(使用新聞)東京及大阪各新聞、地方新聞も少々あり。

春陽堂

日本橋區通三丁目。(電)日本橋五一、六四一、三七八八。出版業。個人經營。(代表者)和田利彦。(營業)片岡重夫。(新聞廣告費)七萬圓。其他三萬圓。(使用新聞)東日、東朝、大毎、大朝、外全國各紙。(廣告取扱)博報堂。

春秋社

日本橋區吳服橋二丁目五。圖書出版業。株式。十萬圓。(代表者)神田豊穂。(支配人)草深熊一。(廣告)同。(新聞廣告費)十萬圓。其他三萬圓。(代理店)博報堂。

非凡閣

小石川區表町一〇九。森山書店。神田區小石川町ビル三〇六。圖書出版。

誠文堂

神田區錦町一ノ一。月刊雜誌商店界、科學畫報、無線と實驗、ゲーム、廣告界、子供の科學、實際園藝、家禽と家畜、スポーツその他九大豫約出版、十錢文庫、各叢書、一般出版。個人經營。(代表者)小川菊松。(營業)同。(廣告)倉本長治。(新聞廣告費)三萬圓。其他五千圓。(使用新聞)全國約五十社。(契

約行數)五千行以上。(代理店)博報堂、弘業通信、電通、正路喜社。

政界往來社 芝區本町二虎之門會館。(電)芝二三六〇。雜誌政界往來發行。個人經營。(代表者)木倉幾三郎。(支配人)井澤真之助。(營業)片岡鶴州。(廣告)同。(主なる編輯同人)坂口二郎、井上正明、井芹繼志、前田蓮山、櫻井敏三、鈴木憲久、小野謙一、大山覺成、松枝保二、田中朝志。(使用新聞)東朝、東日、大朝、大毎、讀賣、時事。(契約段數)普通號讀賣全二段、東日、東朝二千行内外、大朝、大毎百五十行。(廣告取扱)博報堂。(沿革)昭和五年八月一日創刊。

政教社 芝區南佐久間町二ノ一七。圖書出版。

成美堂 日本橋區通三丁目一ノ四。圖書出版。

崇文堂 神田表神保町二。圖書出版。(代表者)齋藤熊二郎。赤爐閣 神田區三崎町二ノ一。圖書出版。積善館 神田區今川小路三。(大阪)市南區安堂寺橋通三。圖書出版。

食料品の部

乾卵食料品株式會社 大阪市東區伏見町二丁目十八。ラクトーゲン其他の食料品。株式。一百萬圓。(取締役社長)乾卵兵衛。(支配人)竹村正男。(營業)同。(廣告)藤岡新一郎。(同部員)十五名。(新聞廣告)四十一萬圓位。(使用新聞)約八十紙。(代理店)直接、電通、新興社。今村製菓株式會社 芝區三田小山町二。(電)三田七五五、七五六。製菓業。株式。百二十五萬圓。(代表者)今村太平次。(專務)今村秀太郎。(廣告)大山

富太。(新聞廣告費)十五萬圓。(使用新聞)東京、大阪、地方新聞。(廣告取扱)實業聯合通信社。(沿革)明治三十八年春今村太平次開業大正七年十二月二十七日組織變更株式會社となる。從來主要製品たる水無給の賣行は景氣不景氣に影響なく所謂通リ物として旺盛、七年夏子供水無給を賣出す。石崎株式會社 大阪市東區平野町二丁目。澤の鶴醸造元。(代表者)石崎嘉兵衛。

日魯漁業株式會社 麴町區丸七ル階。鮭蟹罐詰、冷凍生鮭、新巻鮭、鹽鮭。株式。四千萬圓。(代表者)川上俊彦。(支配人)佐野滋。(營業)宮城敬。(廣告)同。(新聞廣告費)二十萬圓、其他八萬圓。外國五十萬圓。(東京)朝日、東日、報知、時事、國民、都、讀賣、中外、其他臨時。(地方)北海タイムス、河北、名古屋二紙、中國、福岡外約五十紙。一頁乃至二頁。(代理店)電通。日本麥酒鑛泉株式會社 京橋區銀座一ノ三。麥酒及清涼

飲料水製造及販賣、ユニオンビール、ユニオン黒ビール、カブトビール、三ツ矢サイダー、三ツ矢平野水、金線サイダー、其他。株式。二千萬圓。(社長)根津嘉一郎。(常務取締役)龜田寅吉。(支配人)田口邦重、福島茂富。(營業)兼務福島茂富。(廣告)松本伊勢之丞。(使用新聞)市内地方共一七〇紙。(代理店)電通、正路喜社、豐國、弘業社、京華社、東京帝國、旭廣告、廣告社、告天社。

日米水産會社 芝區芝浦町二ノ二。鱈の粕漬、ウイタミンA。(代表者)五十嵐兵助。(代理店)博報堂、馬淵商會。日清製油會社 京橋區鹽町二ノ四。製油一般。堀野本店 京都市堺町二條北入ル。堀野キシン正宗發賣元。本嘉納商店 京橋區西船場町一八。銘酒白鶴發賣元。(代理店)正路喜社、明進社。逸見山陽堂 日本橋區本町二丁目四番地ノ八。(電)浪花一三一、一三二。(營業科目)食料罐詰、煉乳、其他一般貯藏食品。

株式。五十萬圓。(專務取締役社長)逸見新吉。(營業)平田生三。(新聞廣告費)二萬五千圓、其他一萬三千五百圓。(使用新聞)東京、東日外十四新聞。地方、大毎外五十六新聞。(總契約行數)九千五百行。(廣告取扱)日本電報通信社、正路喜社、萬年社、八紘社。

豐島商店 神田區美土代町二ノ一。金婚正宗及白酒釀造元。(代表者)吉村政治郎。中央製菓會社 東京府下南葛飾郡砂沼兵線四三一。製菓一般。銚子醬油株式會社 千葉縣銚子町。ヒゲタ醬油製造販賣。(代表者)濱口吉兵衛。リグレー商會 京橋區金六町六ノ八。食料品一般。大倉恒吉商店 京都府下伏見市南濱町。清酒「月桂冠」釀造元。株式。(代表者)大倉恒吉。カルビス製造株式會社 澁谷區下澁谷一三八二。滋強飲料。カルビス、強壯劑カルビス肝油。(代表者)津下紋太郎。(廣告)井上。嘉納合名會社 大阪市東區橫

堀町一丁目。白鶴醸造發賣元。(代表者)嘉納治兵衛。

嘉納合名會社東京支店 京橋區采女町一四。銘酒白鶴發賣元。(代表者)山田定助。甲斐産商店 東京市外落合町下落合。大黒葡萄酒、マルニ印、ポトワイン、規那鐵サフラン葡萄酒、人參規那鐵葡萄酒、大黒ブランドー各發賣元。(代表者)宮崎光太郎。龜屋鶴五郎商店 京橋區竹川町一。ビータ、T.K.C.カクテル發賣元、食料品一般。(代表者)杉本鶴五郎。養命酒本舗出張所 澁谷町上通四ノ三六。大日本乳製品會社 日本橋區通リ日本橋ビル内、乳製品一般。大日本麥酒株式會社 目黒區目黒町三田二四七。エビスビール、サッポロビール、リボンシトロン、リボンラズベリー、リボンタンサン、ナポリン、モルトコーヒー釀造元。(代表者)馬越泰平。(廣告)小林武彦。太平洋貿易株式會社 麴町

區丸ビル四階。コーヒー及サンキスト果物罐詰其他。(代表者)新納吉太郎。(廣告)小林市太郎。

寶酒造會社 京都府伏見町。寶味淋及燒酎。(代表者)四方卯三郎。ネツスル・ミルク・フード 神戸市三宮局私書函四。乳製品食料品一般。野田醬油株式會社 (本社)千葉縣野田町。(出張所)日本橋區小網町四ノ一〇。キッコーマン醬油釀造。株式。三千萬圓。(代表者)茂木七左衛門。(廣告)福島一郎。(廣告部員)三名。(使用新聞)東京七紙、地方約三十紙。(代理店)萬年社、弘報堂。グニコ本舗株式會社江崎 大阪市西淀川區御幣島町五三。(電)土佐堀七六〇。株式。百萬圓。(代表者)江崎利一。(支配人)岸本龍郎。(廣告)兼任岸本龍郎。(東京支店長)江崎清六。(新聞廣告費)二十五萬圓、其他八萬圓。(使用新聞)三十八紙。(契約行數)千四百行。(廣告取扱)萬年社、電通、新興社、旭廣告、日本弘業、直接。(沿革)大正

九年四月三日合名會社江崎として創立、大阪市西區南堀江に工場を設け、グニコを製造し、大正十年二月十一日發賣、大正十三年十二月東淀川區豊崎町に移轉、昭和四年春工場建設起り、大阪市西淀川區御幣島町に、五千餘坪の敷地を買収し、其の建築を急ぎ昭和六年十二月新築全くなり、其の陣容を整備するに至る、年産九千三百萬箱従業員五百名。

柳屋商店 日本橋區通二の二〇。江戸の華其他食料品販賣。(代表者)外池誠一。山邑酒造株式會社 日本橋區吳服町。櫻正宗發賣元。(代表者)石野熊一郎。山邑酒造株式會社大阪支店 西區北堀江。清酒「櫻正宗」發賣元。(代表者)濱田萬次郎。山城製茶會社 京都府相樂郡上柏村野日向。各種製茶。(代表者)七條七之助。マンロー商會 日本橋區南茅場町七三。洋酒、食料品、罐詰、

練乳、菓子輸出入業。株式。五十萬圓。(社長)久保田金五郎。(支配人事務)藤谷嘉一郎。(廣告)同。(新聞廣告費)約四萬圓。(使用新聞)東日、朝日、時事、報知、國民、都、讀賣、毎夕、大毎、大朝、名古屋以東、東北、關東、甲信紙、北海道一流紙。(契約行數)市内半頁、地方半頁乃至一頁。(代理店)電通、正路喜社、豊國通信。

**升本白鷹商店** 麴町區永樂町丸ビル内。白鷹發賣元。

**古谷商店製菓工場** 札幌市苗穂町。製菓及食料品販賣。株式。百萬圓。(代表者)古谷辰四郎。

**壽屋** 大阪市東區住吉町五二。洋酒、食料品及齒磨類。株式。二百萬圓。(社長)鳥井信治郎。(廣告部員)七名。(使用新聞)全國約三百社。(代理店)全國知名取扱店全部。

■七年九月十日廣告部長岸本龍郎君退社した。

**甲州園ブドー商會** 牛込區市ヶ谷船河原町一二。葡萄、製菓一般。

**近藤利兵衛商店** 日本橋區本町四九。蜂ブドー酒、牛久糖、菊、キユーブ、グイタミン等。(代表者)近藤利兵衛。(廣告)草野豊。

**國分商店** 日本橋區通一ノ四。洋酒食料品。(代表者)國分勘兵衛。(代表店)電通、告天社。

**江井ヶ島酒造株式會社** 兵庫縣明石郡江井ヶ島。清酒、日本魂印、白玉ホワイトワイン、白玉燒酎、白玉味淋。株式。百五萬圓。(社長)下田豊太郎。(專務取締役)下田退三。(代理店)大阪京華社、旭廣告、東京博報堂。

**帝國ビール會社** 麴町區麴町一ノ一。サクラビール、ミヨシサイダー發賣元。(代表者)松村英次。(代理店)正路喜社、電通、萬年、京華。

**佐久間製菓株式會社** 豊島區池袋五七〇。サクマドロップ製造販賣。

**祭原商店** 大阪市東區安土町四丁目。和洋酒雜詰食料品商。株式。一百萬圓。(代表者)祭原邦太郎。(營業)比留田直次。(廣告)巽末信。(廣告部員)六名。(新聞廣告費)十七萬圓、其他一萬五千圓。(使用新聞)七十二紙。(契約行數)一千行。(代理店)大阪電通、新興社。

**キリンビール會社** 麴町丸ノ内一ノ一、八重洲ビル内。キリンビール發賣元。

**明治屋東京支店** 京橋區銀座二丁目二。(電)京橋三一五〇一五。(營業科目)和洋酒、食料品、洋食器、菓、化粧品。株式。五百萬圓。(取締役社長)磯野長藏。(取締役)相原理作。(沿革)明治十七年創業。

**明治製菓株式會社** 麴町區丸之内三丁目十。菓子及練乳。株式。五百萬圓。(社長)相馬半治。(營業)水野恭平。(廣告)同。(新聞廣告費)二十萬圓、其他三十萬圓。(使用新聞)全國七十五紙。(代理店)電通、東亞通信、萬年社、正路喜社、告天社、弘報堂。

**三井物産食料品部** 日本橋區本町二ノ一。食料品一般。(代表者)柳田健。

**森永製菓株式會社** 芝區田

町一丁目十二。食料品の製造と販賣、森永ミルクキャラメル、森永ミルクチョコレート、其他數百種。株式。一千五百萬圓。(代表者)森永太一郎。(專務)松崎半三郎。(常務)森永善吉。(廣告)小山政也。(使用新聞)東京、大阪、地方六十新聞。(契約行數)最高二頁半、最低半頁。(代理店)電通、京華、萬年、正路喜社、東亞通信。

■七年二月支那事變傷痍軍人後援會を設立し先づ一萬圓を陸軍省に提出す。

**鈴木洋酒店** 日本橋區本町三ノ四。洋酒、食料品。(代表者)大洞正次郎。(代理店)電通。

**鈴木商店** 京橋區實町一の七。味の素、澱粉、化學工業藥品、肥料。株式。一千一百萬圓。(社長)鈴木忠治。(專務)鈴木三郎助。(支配人)高梨新三郎。(廣告)高木清茂。(廣告部員)東京本社六、大阪支店五。

■七年三月先代三郎助君の一周忌に當り三十萬圓を學術研究費として學士院へ寄附す。

告費)三十五萬圓。(使用新聞)大阪朝日、大阪毎日其他。(廣告取扱)萬年、京華、電通。(沿革)創業永三年、當初伏見にて呉服を商ふ、享保十一年大阪店開業、享保十三年名古屋店開業、同十四年伏見より京都に移轉、元文三年江戸に支店開業、明治四十一年京都と分離して大阪店は株式合資會社となり神戸店開業、百貨店組織となる、大正五年株式會社となり、昭和六年七月再び京都、大阪、神戸三店を合併し株式會社大丸となる。

**高島屋吳服店** 京都市烏丸通り松原。百貨店。株式。七百萬圓。(代表者)飯田直次郎。(支配人)小澤直次郎。(營業)由良一郎。(廣告)兼門棟次郎。(使用新聞)(東京)東日、朝日、都、中外、報知、國民、時事、外五。(大阪)朝日、毎日、時事、朝報、日日、外一〇。(地方)日出、京都、日日、京華、外一五。(代理店)京華、萬年、外其他。

**高島屋** (大阪支店)大阪市南區長堀橋南詰。百貨店。株式。七百萬圓。(代表者)飯田新七。(支

### 服裝雜貨の部

**伊勢丹** 神田區旅籠町・四谷區新宿。百貨店。株式。二百萬圓。(代表者)小菅丹治。(營業)小菅千代市。(廣告)小沼昇。(部員)四名。(新聞廣告費)數萬圓。(代理店)正路喜社、廣告社、電通、國光社。

**服部時計店** 京橋區銀座座四丁目二。(電)京橋八二二、一三〇〇一三、一八〇〇、一八五〇、四六八〇。(營業科目)時計、蓄音器、裝身具、其他美術品製造販賣。株式。一千萬圓。(代表者)服部金太郎。(支配人)中川豊吉。(營業)同。(廣告)大塚英史。(使用新聞)東京紙全部、地方は各都市一紙づつ。(廣告取扱)電通、廣告社、正路喜社、弘報堂等。(沿革)明治十四年個人にて開業、明治廿五年時計製造工場精工舎を創立し、大正六年組織を變更して株式會社となす、現在一ヶ年の製産高は掛時計計九十萬個、腕時計及懐中時計計九十萬個を算す、豫て銀座四丁目

角に建築中なりし七階建の新店舗は二ヶ年の日子を要して七月六月落成に付七月六月十二日より右新館に移轉し、從來の商品の外に蓄音器レコード、陶器、漆器、革製品、玻璃製品等をも販賣す。

**西川商店** 日本橋區通一ノ七。(電)日本橋五七二一九。(營業科目)蚊帳、蒲團、麻糸布、モスリン、めいせん、子供用品。個人經營。(代表者)西川甚五郎。(社長)同。(營業)小西昇六。(廣告)同。(新聞廣告費)五萬圓、其他七萬圓以上。(使用新聞)都下各新聞、外全國各新聞。(廣告取扱)正路喜社。(沿革)永祿九年開業(三百六十七年前)。

**ほてい屋** 四谷區新宿。百貨店。鬼足袋工業株式會社 日本橋區大傳馬町一ノ二〇。鬼足袋、コ一天販賣。(代表者)寺田淳平。大丸 大阪市南區心齋橋筋一。(電)代表南八二。百貨店。株式。一千五百萬圓。(社長)下村正太郎。(專務)里見純吉。(取締役支配人)安田孝次郎。(宣傳部長副支配人)東條久壽馬。(新聞廣

告費)三十五萬圓。(使用新聞)大阪朝日、大阪毎日其他。(廣告取扱)萬年、京華、電通。(沿革)創業永三年、當初伏見にて呉服を商ふ、享保十一年大阪店開業、享保十三年名古屋店開業、同十四年伏見より京都に移轉、元文三年江戸に支店開業、明治四十一年京都と分離して大阪店は株式合資會社となり神戸店開業、百貨店組織となる、大正五年株式會社となり、昭和六年七月再び京都、大阪、神戸三店を合併し株式會社大丸となる。

**高島屋吳服店** 京都市烏丸通り松原。百貨店。株式。七百萬圓。(代表者)飯田直次郎。(支配人)小澤直次郎。(營業)由良一郎。(廣告)兼門棟次郎。(使用新聞)(東京)東日、朝日、都、中外、報知、國民、時事、外五。(大阪)朝日、毎日、時事、朝報、日日、外一〇。(地方)日出、京都、日日、京華、外一五。(代理店)京華、萬年、外其他。

**高島屋** (大阪支店)大阪市南區長堀橋南詰。百貨店。株式。七百萬圓。(代表者)飯田新七。(支

配人)川勝堅一。(營業)倉橋反四郎。(廣告)齊藤菊三。(使用新聞)大朝、大毎、時事、夕刊大阪其他二十餘。(代理店)萬年、旭廣告、電通、京華。

**高島屋** (東京支店)京橋區京橋一丁目。百貨店。

■七年九月宣傳部長木村宗一君歐米漫遊より歸る。

**つちや足袋大阪支店** 大阪府東區本町三丁目。つちや足袋、つちや地下足袋、製造販賣。(代表者)倉田恒輔。

**丸菱吳服店** 麴町區丸ノ内ビルヂング。百貨店。(代表者)美川多三郎。

**松屋吳服店** 京橋區銀座座三丁目。吳服雜貨一般。株式。五百萬圓。(營業)古屋晃道。(廣告)千秋直道。(使用新聞)市内十七新聞、地方新聞及英字新聞等。(代理店)八紘社、電通、博報堂、告天社、正路喜社。

■七年七月宣傳部長蓮田聖三郎君退き千秋直道君後任となる。

**松坂屋** (東京支店)下谷區上野廣小路町一。百貨店。株式。一千二百萬圓。(社長)伊藤治郎左

衛門。(專務)鬼頭幸七。(營業)取締役塚本幹三郎。(宣傳部長)久保田金徳。(新聞廣告費)七萬圓。其他八萬圓。(使用新聞)東京組合新聞全紙並地方有力紙。(契約行數)三千行又は二千行、一千行、五百行。(代理店)電通、正路喜社、豊國通信、國光通信。本社は名古屋市にあり。

松坂屋 (大阪支店)大阪市南區日本橋三丁目。百貨店。(代表者)鬼頭幸七。

萬崎洋服店 神田區神保町。洋服生地輸入販賣製造。株式。十萬圓。(代表者)萬崎與五左衛門。(新聞廣告費)二萬五千圓。(使用新聞)東朝、東日、時事、報知、毎夕、タイムス、其他。(代理店)正路喜社。

福助足袋 堺市安井町。福助足袋。株式。五百萬圓。(代表者)辻本豊三郎。(取締役)村田豊。(新聞廣告費)十八萬圓。其他十三萬圓。(使用新聞)九十五社。(契約行數)最高三十段。(代理店)旭廣告、電通、合同通信、

新興社、萬年社、弘業通信。天賞堂時計店 京橋區尾張町二ノ一。時計、寶玉貴金屬、美術品製造販賣。(廣告)松島英雄。美松 麴町區日比谷。百貨店。(廣告)平澤純。(代理店)正路喜社、廣告社。

三越 日本橋區室町一丁目。(電)日本橋三三一五。百貨店。株式。三千萬圓。(專務)中村利器太郎。(常務)北田内藏司。廣告(赤井松太郎。(外主要部)宗川保、加藤忠八。(使用新聞)東京市の組合新聞全部其他の刊報。(廣告取扱)電通、正路喜社、博報堂、廣告社、弘報堂等々。

三越大阪支店 大阪市東區高麗橋二丁目。(電)代表本局五五〇〇、五五〇〇、五五五〇、六〇〇一。百貨店。株式。三千萬圓。(大阪支店)竹内泰次。(廣告)白名民憲。(使用新聞)大朝、大毎、其他大阪市内日刊新聞。(廣告取扱)萬年社、電通、京華社。

白木屋 日本橋區通一丁目。百貨店。株式。千五百萬圓。(社長)大村彦一郎。(專務取締役)山田

忍三。(吳服部長)梅田建一郎。(雜貨部長)岡清藏。(總務部長)鏡山忠男。(廣告)足立恭三。(廣告部員)主任玉置晴雄外五名。(使用新聞)東京市内紙、稀に地方紙。(代理店)電通、豊國。百貨店として近年一頁を掲出したる嚙矢、値段表詳記を始む。昭和六年十月壹萬餘坪の新館竣工完成す。

日の本足袋 大阪市東區中濱町。日の本足袋、ヤマト足袋。(代表者)松並寅太郎。

イリス商會 麴町區有樂町一ノ一有樂ビル内。貿易商。代表者)ドクトル、ベツカー。

岩谷冷蔵株式會社 京橋區銀座一丁目三。岩谷冷蔵器、冷藏裝置、製氷裝置。株式。三十萬圓。(專務)長田源一。(支配人)守屋伯雄。(廣告)加奈田香。(使用新聞)東日、東朝、報知、時事、國民、都、中外、讀賣。

池貝鐵工所 芝區三田四國町二ノ一五。高田工作機械内燃機輪轉機械製作販賣。(代表者)池貝庄太郎。

ハイレ、ダビットソン 赤坂區溜池十二。自動車自轉車一般。

伴野文三郎商店 京橋區銀座八ノ二。(營業科目)パテーベロ、水道機、化粧品、洋酒、ゲルソ。個人經營。(代表者)伴野文三郎。(支配人)同。(代理)布施真。(新聞廣告費)約三萬圓。其他約六千圓。(使用新聞)東日、東朝、時に時事、報知、讀賣、中外、主要地方紙。(代理店)電通。

日本ポリドール蓄音器商會 大森區池上町。蓄音器、音譜販賣。

日本蓄音器商會東京支店

京橋區銀座一ノ三。蓄音機一般、日東レコード。(代表者)藤田忠一。(新聞廣告費)五萬圓。(使用新聞)東日、東朝、時事、報知、國民、地方有力紙。(代理店)電通。

日本タイプライター株式會社 京橋區京橋一ノ三。(電)京橋四一六一一四。(營業科目)邦文タイプライター、複式金額番號タイプライター、萬能鑄造機、邦文モノタイプ及び附屬商品類。株式。二百萬圓。(專務)柳田又一。(支配人)川畑光志。(營業)タイプライター課)橋本雄。(モノタイプ鑄造機)川畑光志。(廣告)營業部長兼任。(廣告費概算)二萬圓。(廣告取扱)電通、廣告社。(沿革)大正三年發明、大正四年日本書字機商會設立、大正七年株式組織に變更現在に至る。

日本フォード自動車株式會社 横濱市神奈川區守屋町。自動車製造。株式。八百萬圓。(支配人)ベンジャミン・コップ。(營業)稲田久作。(廣告)岡田保三郎。(使用新聞)全國有力新聞

四十種。(代理店)太平洋廣告社。

日本自動車株式會社 赤坂區溜池町三十。(電)赤坂一一〇一一一〇九。(營業科目)自動車、自動船、自動自轉車、飛行機、飛行船、材料及部分品、附屬品、諸油、塗料、機械器具、輸入、製造販賣、修理、塗替、中張、車室製作、自動車並自動船貨上、保管、運送請負、保險代理引受。株式。三百萬圓。(取締役社長)石澤愛三。(支配人)稻原啓三郎。(販賣)同。(宣傳)關谷四郎。(タイヤ部長)小川兼三(取締役)。(用品部長)五條道久。(工作部長)河本芳藏(以上參事)。(新聞廣告費)約三萬圓。其他一萬圓。(使用新聞)東朝、東日、時事、大朝、大毎、名古屋、新愛知、福日、報知其他。(廣告取扱)新聞聯合。(沿革)大倉喜七郎男の創立に係るもの。日本に於ける最古の販賣會社、諸官廳、軍部關係の特殊註文を多く引受く。

■傍系會社に中央自動車株式會社、日本モーターズ、昭和自動車株式會社、瑞穂自動車株式會社、大和商會あり。

■出張所 大阪、京都、名古屋、横濱、仙臺、新潟、廣島、福岡、松山、札幌、京城、臺北、奉天等。

日本ビクター蓄音器株式會社 横濱市神奈川區守屋町三丁目三四四二。(營業科目)蓄音機及レコード製造。(代表者)エチ・エレ・サマラー。(營業)エス・ラム。(廣告)峰村幸三。(使用新聞)主要新聞五十紙、外字新聞四紙。

日本ゼネラルモーターズ株式會社 大阪市大正區鶴町一丁目。(電)代表)櫻川四九一五。(營業科目)各種自動車製造販賣。株式。八百萬圓。(東務)アル・エー・メー。(工場長)アール・ジー・ジョーンズ。(販賣)ウィ・シー・ゲン。(廣告)チエームス・エヌ・パード。(專務補佐)エチ・エー・クエード、加藤直士。(財務)ダブリュ・エー・ラッツ。(使用新聞)全國有力新聞一般。(廣告取扱)萬年社。(沿革)昭和二年一月創業今日に至る。

■七年五月開業以來第五萬臺目の自動車を製出し祝賀會を催せり。

日米商店 京橋區銀座五丁目一。(電)銀座九〇九、九〇八。(營業科目)富士自轉車發賣元、其外自轉車及附屬品卸商。株式。二百萬圓。(代表者)岡崎久次郎。(支配人)守屋千里。本店は直接販賣に當らず。(總務部長)菅野健介。(使用新聞)全國。(廣告取扱)電通、廣告社、新聞聯合社、正路喜社、告天社、京華社。(沿革)創業卅五周年、東京に本店を置き、東京、大阪、名古屋、福岡、京城、臺北、六支店を有す。

■貿易部 通信販賣部等の確立を期す。

日米スター自動車株式會社 赤坂區溜池町二。自動車輸入。株式。五十萬圓。(代表者)相羽有。(新聞廣告費)六萬五千圓。其他三萬五千圓。東京各新聞、大阪朝日、大阪毎日、地方四十五種新聞。(代理店)電通、豊國通信。

日佛シトロエン自動車會



社 麴町區永田町一ノ三一。シト  
ロエン及附屬品の輸入販賣。(代  
表者)森四郎。  
堀井隆寫堂 神田區鍛冶町三。  
(電)神田四二二一六。(營業科  
目)堀井隆寫版一般輸出入業。  
(代表者)堀井新治郎。  
東邦商會 麴町區永樂町丸ビル。  
ダイセル・エンヂン其他機械、雜  
貨、輸出入。(代表者)藤村米造。  
千早商會 麴町區丸ビル七階。  
獨・英・米・佛機械類輸入販賣(代  
表者)高岸音次郎。  
千代田組 麴町區永樂町二ノ一。  
(營業科目)電機諸機械、工具、  
油類、セメント、金庫。(代表者)  
中上川三郎治。  
オリエンツ自動車商會 赤  
坂區溜池三一。オリエンツ其他  
自動車一般。  
大倉金庫本店 日本橋區本町  
四丁目十一。金庫製造業。(代表  
者)萩原彌吉。(代理店)豊國通  
信。  
川北電機企業社 大阪市旭  
區今福町二〇三。各種電機機器  
具製造、電氣土木工事設計監督  
請負、電氣企業投資。(代表者)岩

崎。  
竹内金庫店 日本橋區馬喰町  
二ノ一。竹内式金庫。(代表者)  
竹内太郎。  
ナシヨナル金録器 京橋區  
銀座三ノ一。(營業科目)金録器  
録器、會計器、統計器。(代表者)  
W.C.H.  
村上商店 大阪市西區西長堀  
北通二丁目十二。(電)新町一六  
三九、二五七二。金物商、建築  
金物、工具、ストロブ、其他。  
株式。七十萬圓。(代表者)門川  
正三。(支配人)野間芳太郎。  
宇都宮商店 大阪市東區淡路  
町一丁目。ライト體溫計、ザイ  
ベルト、顯微鏡、醫療器ゴム製  
品。(代表者)宇都宮宇作。  
久能木商店 日本橋區室町三  
ノ五。久能木式石油コンロ及吸  
入器其他。(代表者)久能木宇兵  
衛。  
黒澤商店 麴町區内幸町。  
八洲自動車株式會社 赤坂  
區山下。歐米自動車販賣(代  
表者)ゼームス・デイ・メーソン。  
(新聞廣告費)二萬六千圓。(使  
用新聞)時事、東日、東朝、報

知、讀賣、國民、中外、地方三  
十社。  
梁瀨自動車株式會社 京橋  
區南傳馬町二ノ十八。自動車販  
賣、修理、保管。株式。五百萬  
圓。(代表者)梁瀨長太郎。(支  
配人)大澤喜市。(營業)鈴木山  
五郎。(廣告)飯沼久三。(新聞  
廣告費)約十萬圓。(使用新聞)  
東朝、東日、時事、報知、大朝、  
大毎、外地方一流新聞三十社。  
(契約行數)約一千行。(代理店)  
弘報堂、太平洋廣告取扱社。  
山野樂器店 京橋區銀座四丁  
目。一般樂器レコード音譜。  
丸石商會 神田區今川橋。トラ  
イアンフ自動車、ダイヤモンド  
チェーン、ダンロップタイヤ、  
プリミヤ自轉車等數十種。(代  
表者)山口佐助。  
二葉屋株式會社 四谷區東  
信濃町十。輸出入業、インデア  
ン自動車並に附屬品。株式。  
五十萬圓。(代表者)猪俣泰作。  
(營業)猪俣秀一。(使用新聞)東  
日、東朝、大毎、大朝、時に時  
事新報。(代理店)電通。  
昭和三年頃よりあまり廣告せ

ず。  
コダックジャパンリミテ  
ッド 京橋區銀座西六丁目三。  
(電)銀座一一二四、一一二五。  
(營業科目)寫真機及感光材料一  
切。(代表者)アール・ビー・デマ  
リ。(支配人)同。(宣傳)福森  
憲一。(使用新聞)大朝、大毎、以  
外約三十紙。(廣告取扱)東洋廣  
告取次會社。(沿革)米國イリス  
トマンコダック會社が日本に於  
けるイリストマン製寫真材料愛  
用家及び材料商の爲めに設立し  
たる卸賣支社なり。  
六年一月より八月に至る八ヶ  
月間米國イリストマン本社主催  
二十萬圓の懸賞を以て全世界各  
國よりアマチュアの寫真を募集  
し、日本賞金は一萬圓を懸く、  
その規模に於いても、その賞金  
に於いても前代未聞の大懸賞を  
して絶大の人氣を博す。  
小西六本店 日本橋區本町二  
丁目十八。寫真器械材料。合資。  
二百萬圓。(代表者)杉浦六右衛  
門。(代理店)電通。  
合同蓄音器會社 京橋區銀  
座一ノ三。蓄音器及レコード。

葵自動車商會 赤坂區溜池町  
卅九。(電)赤坂一〇四〇一二。  
(營業科目)ナッシュ自動車輸入  
販賣。合資。五〇萬圓。(代表者)  
菅野利兵衛。(廣告)増澤頑(使  
用新聞)全國廿餘紙。(廣告取扱)  
博報堂外敷店。  
安全自動車會社 赤坂區赤坂  
見附。自動車一般販賣。  
淺沼商會 日本橋區本町二丁  
目十六。寫真機械、活動寫真機、  
理化學用機械、賣藥及製藥、度  
量衡。合資。五十萬圓。(代表者)  
淺沼治。(支配人)菅保男。(營  
業)加藤信夫。(廣告)寺井小七  
郎。(新聞廣告費)三千圓。(代  
理店)正路喜社。  
新聞の廣告掲載は仕入先にて  
當商會の名義を掲げて廣告す。  
佐倉金庫店 京橋區松屋町。  
高級金庫販賣。  
宮田製作所 東京府六郷町雜  
色。自轉車製造。合資。百二十  
萬圓。(代表者)宮田榮太郎。(廣  
告)大場惣太郎。(使用新聞)東  
京各新聞及大毎、大朝、臺灣、  
朝鮮、各新聞。(代理店)正路喜  
社其他直接。

七歐無線 麻布區車町三四。  
十字屋樂器店 京橋區銀座三  
ノ二。歐米樂器、蓄音器レコー  
ド、ラヂオ、樂器、樂書。(代表  
者)倉田繁太郎。  
日立製作所 麴町區丸ノ内二  
丁目十二。電氣機械器具、電線、  
其他一般機械器具機關車の製造  
販賣。株式。一千萬圓。(社長)  
小平浪平。  
森田製作所 大阪市港區池山  
町四ノ一。森田式消防用ガンソ  
ン自動車ポンプ、起重機、消火  
器、噴霧器、其他。(代表者)名  
和陽一郎。  
バラマウント映畫株式會  
社 麴町區内幸町大阪ビル内。  
日本活動寫真株式會社 麴  
町區永樂町。映畫製作並に外國  
映畫輸入、常設館經營。(代表  
者)根岸耕一。  
牧野プロダクション營業  
所 京都市御幸町御池。時代劇及  
現代劇の映畫製作。  
松竹合名會社 京橋區新富町六

ノ一〇。  
松竹キネマ株式會社 京橋  
區新富町。活動寫真フィルム製  
作及外國映畫輸入並に常設館經  
營。(代表者)大谷竹次郎。  
銀行會社の部  
日本勸業銀行 麴町區内山下  
町一丁目一。銀行業。株式。一  
億四百五十萬圓。(總裁)馬場鏡  
一。(新聞廣告費)七萬六千四百  
圓。其他一萬五千六百圓。(使用  
新聞)東朝外百六十二紙。(代理  
店)電通外八店。  
日本航空輸送株式會社 芝  
區櫻田本郷町七。(電)銀座四四  
〇五一六。(營業科目)定期航空  
遊覽飛行。株式。一千萬圓。(取  
締役社長)原邦造。(沿革)昭和  
三年十月創立。  
日本興業銀行 麴町區丸ノ内  
一ノ八。株式。五千萬圓。(代  
表者)結城豊太郎。  
遠山芳三商店 日本橋區坂本  
町五。株式仲買。  
千代田生命相互會社 京橋  
區南傳馬町二ノ一八。(社長)門

野幾之進。(專務)堀井卯之助。  
(庶務)植松義雄。(使用新聞)五  
十一。(代理店)八。  
第一相互生命保險會社 京  
橋區。(使用新聞)東日、東朝、  
大朝、大毎、時事、報知、國民、  
讀賣、中外、都、地方は河北、  
北越、新愛知、名古屋、中國、  
福日、北海ムス、小樽等六十紙。  
七年十一月年極廣告の契約を  
更新すべく入札を行った、參加  
代理店電通、聯合、正路喜社、  
博報堂、弘報堂、廣告社、京華、  
萬年、旭廣告、豊國、共益社、  
日本通信、愛國通信等。  
玉塚商店 日本橋區江戸橋一  
ノ五。(電)日本橋二〇一三三、  
三一二一九。有價證券賣買。  
株式。二百萬圓。(代表者)玉塚  
榮次郎。(廣告)渡邊胖吾。(使  
用新聞)全國主なる新聞。(代理  
店)一定せず。  
野村證券株式會社 大阪市  
東區安土町二。商券株式仲買。  
株式。一千萬圓。(代表者)廣岡  
吾吾。(使用新聞)大朝、大毎、  
大時、各地方出張所々在地の各  
紙。(代理店)萬年社。

山一證券會社

日本橋區兜町三。(代表者)杉野喜精。(新聞廣告費)一萬六千圓。(使用新聞)東京五大新聞、東洋經濟新報、ダイヤモンド。(代理店)電通。

安田銀行

麴町區永樂町一。一〇。株式。(代表者)安田善次郎。(新聞廣告費)二萬圓。(使用新聞)東京日刊新聞十六紙、經濟雜誌十數種。(代理店)廣告社、電通、帝通、博報堂、弘報堂、東京通信、自由通信、豐國通信。

藤本ビル

千代田信託會社。京橋區北橋町一八、千代田信託會社内。(代表者)大島三橋。(新聞廣告費)三萬圓。(使用新聞)東京日刊十六紙、經濟雜誌の主なもの。(代理店)電通、京華社、共益社、日本經濟通信社。

永樂商店

日本橋區兜町五。株式賣買。

帝國興信所

京橋區新富町一。三。(電)京橋三一八一六。(營業科目)信用告知。株式。五十萬圓拂込済。(代表者)後藤武夫。(支配人)藤田守一。(廣告)同。(理事長)平松莊一。(常任理事)前田昌徳。(新聞廣告費)三千圓。(使用新聞)東京朝日、東京日日、報知、時事、都、大朝、大毎其他。(契約行數)約五十行。(廣告取扱)電通、博報堂、其他。

明治生命保險株式會社

麴町區丸の内一丁目六。東京海上ビルヂング二階。生命保險業。株式。二百萬圓。(取締役會長)武市利美。(事務)藤田讓。

三井物産株式會社

日本橋區本町二丁目一。輸出入業、問屋業、船舶運輸業、造船業、埠頭事業。株式。一億圓。(代表者)三井守之助。

三井銀行

日本橋區駿河町一。株式。(代表者)三井源右衛門。(新聞廣告費)四萬八千圓。(使用新聞)東朝、東日、報知、中外、時事、經濟關係雜誌。(代理店)東京通信、電通。

三菱銀行

麴町區丸の内二丁目五。(電)丸の内代表二二三一一。二二四一。長距離代表二二三九。銀行業。株式。一億圓。(取締役會長)串田萬藏。(常務取締役)瀨下清、加藤武男、山室宗文。(本店營業)丸山英彌。

山本最商店

大阪市此花區吉野町二丁目一三。(電)土佐堀八一八、八一九、八三八。(營業科目)セクターストープ其他燃焼器具。個人營業。十五萬圓(代表者)山本最純。(營業)岩瀬正之助。(廣告)同。外主要幹部(工場長)澤山滿太郎。(庶務)富森實。(會計)澤田正次郎。(新聞廣告費)八千五百圓。其他三千二百圓。(使用新聞)大阪朝日、毎日、其他內地朝鮮滿洲支那地方紙。(廣告取扱)萬年社、電通。(沿革)大正五年三月創業。

小島ゴム工業株式會社

同。島區寺島町寺島一四〇五。ゴム細工業、代表商品、ハート美人(ゴマサック)。十四萬圓。(取締役)松岡鐵五郎。(支配人)同上。(新聞廣告費)約八千圓。(使用新聞)日本全國及朝鮮、滿洲の地方新聞並東京、大阪の新聞。

セーラー萬年筆飯田製作所

同。吳市濱量町十丁目七。(電)吳五六九。(營業科目)萬年筆、金ペン、インキ、其他文具類。株式。二十五萬圓全額拂込済。(代表者)飯田齊次郎、飯田久五郎。(支配人)白髮長三郎。(營業)三浦綱次郎。(廣告)中島四郎。(新聞廣告費)二萬圓。其他一萬圓。(使用新聞)大阪朝日、報知、時事、東京朝日、其他地方新聞。(契約行數)記事下又は中二段。(廣告取扱)萬年社、正路喜社。

美津濃運動用品株式會社

同。大阪市東區大川町二五。運動用品及服裝製造販賣。株式。五百萬圓。(代表者)水野利八。(廣告)中山政太郎。(使用新聞)大朝、大毎、東朝、東日、北海タイムス、河北、臺日等。

シモンズベッド販賣所

同。本所區糠篠崎インキ會社。本所區糠町三ノ六。チャンピオンインキ、ライトインキ製造元。株式。(代表者)篠崎又兵衛。(常務)篠崎

雜の部

伊東屋

京橋區銀座通り二丁目。和洋紙、文具一般。

細沼株式會社

日本橋區本町三の十一。サンエス萬年筆、サンエスインキ、サンエスクレヨン、クレパス。株式。三十七萬五千圓。(代表者)細沼淺四郎。(營業)藤谷義雄。(廣告)寺西憲一。(使用新聞)東朝、時事、大朝、其他地方新聞約三十社。(代理店)中外通信社。

東京ラヂオレーヤー株式會社

芝區宇田川町交叉點。ラヂオレーヤーエキスピン。株式。四十萬圓。(代表者)飯田敏文。(支配人)錦織千秋。(營業)西河當次郎。(廣告)大海正。(新聞廣告費)六千圓。其他三千圓。(使用新聞)東京大阪有力紙並に各地一流紙。(代理店)電通、但し大部分現在では直接。

東京農業園

同。神田區柳原。園藥用種子一切及家畜類の販賣。合資。(代表者)秋葉重吉。(廣告費)年額一萬圓。(代理店)廣

告聯合、豐國、全通其他。

東京電氣株式會社。川崎市堀川町七二。マツダ電球、積算電力計、電流制限器、配線、材料、配線器具、屋内照明器具、屋外照明器具、ラヂオ用機械器具、家庭用電氣器具、醫療用器械類、キバ體溫計等。株式。四千二百萬圓。(事務取締役社長)山口喜三郎。(營業)清水與七郎。(廣告)寺尾誠。(使用新聞)日本全國百新聞。(代理店)電通、正路喜社、弘報堂、豐國通信。

巴商會

同。神田區鍛冶町一九。巴風呂湯沸し職其他數種。(代表者)岡本利平。

オゾン商會

同。大阪市北區會根崎町上四丁目。オゾンバイブ。(代表者)植村勝介。(新聞廣告費)二萬圓。(使用新聞)大朝、大毎、東朝、東日、報知、每夕、神戶、家庭雜誌五種。(代理店)萬年社。

オキシヘーラー獎勵會

同。牛込區神樂町一丁目一。(營業科目)治療器オキシヘーラー。(代表者)矢部泰造。(營業)木村又四郎。(廣告)矢部泰造。(新聞

清三郎(支配人)榎田昇平。

同。新聞廣告費二萬八千圓。(使用新聞)大朝、東日、東朝、時事、地方新聞四十社、雜誌十數社。(代理店)直接及び正路喜社。

スワン萬年筆製作所

同。淺草區今戸町七。(代表者)伊藤農夫

廣告費(三萬圓)。(使用新聞)東日、東朝、時事、報知、讀賣、大朝、大毎、その他地方有力紙。(廣告取扱)豐國通信、電通。(沿革)大正三年創業。

大川吸入器本舖

日本橋區本銀町。大川吸入器。

並木製作所

京橋區南傳馬町三ノ三。萬年筆製作。(代表者)脇野菊次。

梅原インキ製造會社

大阪市市北區芝田町五二。新聞用インキ、印刷用各種。(代表者)西尾留三郎。

化學興業株式會社

本郷區上富士前町。各種化學藥品製造販賣。(代表者)永岡采里。

矢滿登商會

大阪市西區靉中通一丁目。(電)土三四五六。(營業科目)特許ハッキン懷爐。個人經營。十萬圓。(代表者)的場仁市。(新聞廣告費)四萬圓。其他二萬八千圓。(使用新聞)都市主要紙始め約六十新聞外雜誌廿五六社。(契約行數)十段以下三段の各種。(廣告取扱)旭廣告弘業社、電通、新興社等。

昭和七年度に於て從來の定價

同。

# 新聞關係諸機關一覽

一、本表は東京、大阪に於ける新聞關係諸機關の一覽表である。表の諸項目は一々其の機關について問合せたものであるが、中には締切期日までに回答を得なかつた爲め、手許の材料により記入した分も多少はある。

一、配列の順序は東京、大阪の二種に分ち、東京は總體的のもの外は更に編輯、營業、地方紙に等分ち其各をも出来るだけ更に分類してある。記述順序は左の如し。

- 一、會又は俱樂部名。
- 二、組織、目的。
- 三、沿革。
- 四、事務所所在地。
- 五、役員名。
- 六、會員名。

## 一、東京

**日本新聞協會** 日刊新聞社、通信社、及新聞廣告代理業に従事する者を以て組織し、専ら會員の親睦を旨とし、斯業の發達を計るを以て目的とす。  
(沿革)大正二年の創立に係り、元、新聞協會と稱す。毎年一回

大會を開き、昭和五年は東京に開催して長くも東久通宮裕彦王殿下を總裁に奉戴するの光榮を擔ふ。七年度は四月十八日より二十一日に亘る北陸地方に開催出席者百十三社百九十四名。(事務所)京橋區銀座四丁目信濃毎日新聞社支局内。(電話)京橋三六〇五、六七七四(總裁)大勳位東久通宮裕彦王殿下。(會長)清

浦奎吾。(名譽會員)清浦奎吾、床次竹二郎、徳富猪一郎、尾崎行雄、村山龍平、三宅雄二郎、本山彦一、大島宇吉、東武。(相談役)平野文安、下村宏、奥村信太郎、上野精一、城戸元亮、瀨木博尚、山田珠一、高木第四郎、高木貞衛、山本三朗、小山松壽、高木利太、高原操、野間清治、阿部良夫、兒玉實良、永江眞郷、安藤和風、福田英助、名取和作、小坂武雄、岡崎國臣、富地近思、湯澤精司、正力松太郎。(理事)長(光永星郎)。(理事)山口喜一、西澤圭、都築直三、築田欽次郎、江藤甚三郎、佐藤碧、原田徳次郎、河村徹、勝田重太郎、小柳調平、布屋徹吉、大宮伍三郎、伊藤正徳、松本整之亮、中村重惇、野中楠吉、山本實一、柿原政一郎。(監事)三木七郎、一力次郎、與田富藏。(評議員)鈴木要吉、長谷川淑夫、岡田義胤、大石泰正、寺澤元良、渡邊弘、丸山豊次郎、野口二郎、葭村喜三松、林政武、高木八良、今村七平、佐藤三郎、三宅馨、匹田銳吉、村山長舉、能島進、久下

豊忠、柿原政一郎、奥平稔、末光鐵之助、吉富寅太、木村清一、三好榮次郎、多田爲太郎、野中楠吉、橋田早苗、今井浩三、毛利保太郎、青木茂熊、長野潔、松岡富雄、牧山耕藏、吉武鶴次郎、松内則信、緒方竹虎、大島慶治郎、田中秋聲、木村政次郎、服部敬吉、篠原秀吉、田中清文、山田金次郎、廣井一、柏岡清勝、河村徹、山崎傳之助、大津征夫、上田碩三、宋鏡禹、申錫雨、中崎憲、松本整之亮、太刀川善吉、寺田四郎、寺島權藏、香川熊太郎、寶性確成、菊竹淳、山本慎平、松山忠二郎、中目元治、北尾清、續木壽三郎、宇野政行、川村直成、杉村廣太郎、山本實一、矢上以久三郎、一力五郎、津田武、中川秀吉、中村重惇、高橋嘉津美、伊藤正徳、勝部本右衛門、光永星郎、山口喜一、西澤圭、都築直三、築田欽次郎、江藤甚三郎、佐藤碧、原田徳次郎、三木七郎、勝田重太郎、進藤信義、小柳調平、布屋徹吉、森一兵、一力次郎、與田富藏、芥川浩、大宮伍三郎、河野二郎、

鈴木秀三郎、太田孝太郎。(廣告料不拂通知に關する委員)築田欽次郎、今村宗太郎、島田昇平、酒井謙吉、高木貞衛、重本長次郎、北村榮二郎、三木七郎、勝田重太郎、瀨木博尚。(用紙問題調査常任委員)築田欽次郎、福田英助、原田徳次郎、吉武鶴次郎、石井光次郎、岡田伊三郎、森一兵、一力次郎、小坂武雄、河村徹、山口喜一、田中秋聲、柿原政一郎、草野造。

新聞、平壤毎日新聞、東京朝日新聞、東京日日新聞(本山彦一、高木利太、吉武鶴次郎)、東京毎日新聞、東京毎夕新聞、東京大勢新聞、鳥取新報、土陽新聞、富山日報、富山タイムス、東京通信、徳島毎日新聞、徳島日日新聞、東奥日報、東亞日報、豐國通信、富山新報、中外商業新報(築田欽次郎、村上幸平)、中央新聞、千葉毎日新聞、中國日報、中國新聞、長春實業、朝鮮新聞(牧山耕藏、權藤四郎介)、朝鮮日報、朝鮮商工新聞、朝鮮日日新聞、朝鮮民報、朝鮮毎日新聞、朝鮮經濟日報、朝鮮通信、中國日日新聞、中外日報、大阪朝日新聞、大阪毎日新聞(本山彦一、奥村信太郎、松内則信、城戸元亮)、大阪新日報、大阪電報通信、大阪朝報、大分日日新聞、大分新聞、小樽新聞、小樽商業新聞、近江新報、岡山新聞、大牟田毎日新聞、鴨江日報、和歌山日日新聞、和歌山新報、關門日日新聞、河北新報、鹿兒島朝日新聞、鹿兒島新聞、樺太日日新聞、樺太時事新聞、海南新

聞、讀賣新聞、橫濱貿易新報、橫濱毎日新報、高田新聞、臺灣日日新報、臺南新報、高岡新聞、大連新聞、臺灣新聞、高田日報、大正日日新聞、宗谷新報、鶴岡日報、根室新聞、長野新聞、名古屋通信、名古屋毎日新聞、名古屋新聞(與良松三郎、森一兵)、長崎日日新聞、長崎新聞、南信日日新聞(林七六、三澤慶重)、内外通信(瀨木博尚、山形章)、南豫時事新聞、南信新聞、南信毎日新聞、室蘭毎日新聞、吳日日新聞、釧路新聞、群馬新聞、山形自由新聞、山形民報、山梨日日新聞、山梨毎日新聞、萬朝報、萬年社、滿洲日報、マンチユリア、テリニユニス、京城日報、釜山日日新聞、元山毎日新聞、福岡日日新聞、福岡民報、福岡民友新聞、福岡新聞、釜山日報、福井毎日新聞、福井新聞、國民新聞、弘報堂、神戸又新日報、神戸新聞、神戸日日新聞、廣告社、高知新聞、湖南日報、越佐新報、愛媛新報、江差新聞、旭廣告社、秋田魁新報、愛知新聞、旭川新聞、旭川毎日新聞、

山陽新報、山陰日日新聞、山陰新聞、酒田新聞、岐阜新聞、岐阜日日新聞、九州新聞、九州日日新聞、九州日報、京都日報、京都日日新聞、共同通信、夕刊大阪新聞、都新聞、宮崎新聞、時事新報、信濃毎日新聞、信濃日日新聞、信濃民報、信濃日報、信濃時事信報、松陽新報、正路喜社、下野新聞、下野日日新聞、静岡新報、静岡民友新聞、新愛知、上州新報、上毛新聞、常總新聞、自由通信、新發田新聞、四國民報、日出新聞、肥前日日新聞、門司新報、門司新聞、木浦新報、仙臺日日新聞、勢州毎日新聞、青島新報、盛京時報、セウルプレス、全北日報。

(乙種會員)中井川浩、佐々木次郎、後藤清郎、岩淵榮男、志田周三郎、森勇、松本英郎、高津清雄、松本治雄、平山長佐久、漆原一衛、佐藤勘三郎、北村温平、佐藤春雄、中根榮、安藤彪雄、勝木常雄、元永盛美、山口毅、栗原廣、木下源一郎、安田禎文、岩子龍太郎、小野田正、迫大平、丸山清作、藤澤民之助、

河崎義男、早川專一、鈴木東民、萩原忠三、吉岡憲之輔、宮澤芳洞、本田中、種田豐作、吉田秀雄、伊藤與一、野口義夫、石崎幸銀、中山昇、吉川義章、齋藤三郎、山川涉、鹿子木日出雄、福井輝三、山田市助、神子島梧郎、堀利勝、麻生林策、青島秀德、萩原久雄、櫻鐵三郎、岩崎小鹿、古川哲治、田中正治、淺海琴一、川崎新吉、山田毅城、坂口獻吉、井上敏行、與田進、伊藤晴吉、原三郎、青山融、萩原規矩男、酒井源次郎、杉山房吉、中島常太郎、鈴木悌三、小林茂、三木七郎、廣田四郎、齋藤久治、瀨利武吉、東富七、山口喜一、長内清、河合七郎、岡田次雄、瀨川山吾、高橋恒次郎、瀧本靜良、中堀末吉、西美藏、崎野平三、高木八良、淺野平成、櫻井兵五郎、得田孝二、武谷甚太郎、宮澤由三郎、飯尾次郎三郎、林繁、嵯峨保二、鴨居悠、今井德太郎、西方稻吉、鍋田祥平、中村勉彌、弘中武一、溝部啓三郎、西村藤夫、下村宏、石井光次郎、緒方竹虎、杉村廣太郎、美土路昌一、刀彌館正雄、志毛井確太郎、都築直三、野田武夫、島田昇平、遠藤次郎、相馬基、中川恒之、吉本重郷、神林増治、葭村喜三松、寺田仙之助、梅本繪吉、武田永孚、工藤規、西澤重藏、宮川善五郎、島田初太郎、眞島信茂、梁源模、申浩均、金箕範、佐藤三郎、明渡泰次郎、大谷浩、新關庄藏、波津久清、外狩顯章、佐藤新衛、月性登吉、田上市太郎、山本實一、田中秀二、林保登、山本正房、伊藤晉三郎、横田彌太郎、飛鳥江亮智、和田重義、野崎眞三、石丸務、今井淺南、今井雅四郎、鮫島宗也、有賀信一郎、三宅哲夫、安在鴻、韓基岳、金容采、十河榮忠、湛增庸一、大森豐吉、宮岸如空、押村獎、田中常人、重本長次郎、永原茂樹、伊藤貫一、佐藤碧、伊藤金次郎、宮本惣平、上野精一、村山長舉、北村榮二郎、潮海秀之助、平林虎男、澤邊保雄、藤井眞須男、春日中和、田代實助、松浦清平、竹田津吾一、矢上以久三郎、嘉納虎太郎、本田龍、盛田穰、加藤敏三郎、森下讀三、祖上祐三、戸田長次郎、喜多尾明昌、三井茂、一力五郎、赤坂敬止、大場駿、膽澤寛三、佐々木忠策、津田武、千知岩徳太郎、鯉坂貞盛、平井義彦、河内時申、加藤七五郎、河村峯太郎、末光一郎、西村市藏、河野馬喜佐、菅野福一、安滿長三郎、禪院美幸、長井準太郎、杉本善之助、土野長壽、古川文治郎、香川和男、武知勇記、今井喜藏、岩田四郎、松田源重、庄田良、小和田嘉一、三谷先見、高瀬正美、島津容、石原幸作、谷河梅人、大澤貞吉、永井省三、中柳勝次、入貝良郎、坂本登、徳富通、宮本一學、大西隆之助、前川良三、平野初之助、瀧澤文治郎、片田温一、目黒昇、花輪實、杉村乙次郎、梅田茂、大宮伍三郎、田端才二、瀧木博信、矢ヶ崎賢次、中山林圓、名取周平、木村昌弘、野村浩司、武市雄圖、赤松彦太郎、塚脇十三、庄司貞夫、遠藤岩吉、新關右衛門、渡部彦四郎、佐藤善吉、齋藤仁、清水富士平、中川謙三、米澤澤之進、栗原伸、中川靜、中川秀吉、吉田庄三郎、朴錫胤、金尙會、李益相、笠神志都延、佐藤巖、兒島吉治、原田徳次郎、齋田耕陽、大槻不二雄、菊竹淳、阿部暢太郎、黒田靜男、竹林巖、富永隆之、朝田弘、松尾協、角久雄、中目武功、古和田虎雄、三瓶仙輔、木暮仁輔、渡邊利正、山野秀一、高塚木二、永延清四郎、高橋武夫、堀克巳、浮田金次、青田憲次郎、布津純一、山下敏男、後藤庄太、湯澤清、高橋直通、中島成功、喜多源馬、栗尾結城、井上環、佐藤章、山城了、溝口正、和田恒彦、向井勘兵衛、加藤芳助、酒井謙吉、牧五郎、西谷嘉三郎、中村重博、皆川哲雄、武瑞祐吉、佐藤竹之助、井上勝太郎、昇秀雄、大森熊藏、小林幸太郎、野宮熊之進、須澤奇峯、杉山榮、松田卓、林原武雄、石橋文三郎、神原啓一、高木亮、林裕資、山田豊、中野泰介、今川英隆、松島直義、當本正藏、高橋嘉津美、青木九十六、關應陽、宮脇朝民、佐藤駒太郎、清水俊光、西尾孝一、木下章、福良虎雄、岡島義

郎、山本信博、伊藤正徳、三浦修治、勝部本右衛門、新井寛三、金田輝夫、西澤圭、三澤精英、大日方利雄、西澤登、中澤惇一郎、内堀良民、坂本令太郎、富田岩代、宮澤千秋、甲田逞、森岡重藏、岩下確爾、霜田義雄、竹腰茂喜、原貴雄、西村長次郎、若林五郎、佐藤外史、市川謙一郎、堀江三五郎、伊藤平治、金森鶴二、中村周一郎、安田彦三郎、淺田源一、宮澤源三郎、黒崎雅雄、福澤義雄、東泉庸、松村貫一、田邊信平、橋本滿次郎、野澤善三郎、新江寅、群司勘之助、酒井義徳、小川兼四郎、井出郷助、小林久七、萩原實、青野與右衛門、五味迪、野中芳藏、黒柳芳藏、井上忠太郎、江崎鏡兵衛、中谷清治、田中齋、岡田伊三郎、小原實、大島一郎、勝田重太郎、山浦貫一、山崎兼次郎、樋口清太郎、大澤米造、高島萬太郎、柳澤篁治、下村豊吉、山本清一、鹿野秀三、梅月貞、小原侃。(七年四月現在)

**春秋會** 新聞雜誌及通信記者の社交俱樂部。(沿革)明治四十一年の創立、會長に箕浦勝人氏を推し、次いで黒岩周六氏、添田壽一郎氏を経て現に中外商業新報社長兼田次郎君會長たり

(事務所) 中外商業新報社内。(幹事) 岡崎鴻吉、佐藤三郎。(幹事) 井上正明、寺田四郎、頭本元貞、服部健三、細野繁勝。(會計監督) 坪谷善四郎、光永星郎。(會員) (報知) 町田忠治、寺田四郎。(東京日日) 本山彦一、松内則信、城戸元亮、西村公明、岡崎鴻吉、奥村信太郎。(中外商業) 築田欽次郎、村上幸平、佐藤三郎、高木富五郎。(中央新聞) 前田蓮山。(讀賣) 柴田勝衛。(都) 福田英助、山本信博、大谷誠夫、服部健三、相原熊太郎。(時事新報) 後藤武男。(ジヤパンタイムス) 伊達源一郎、芝染太郎。(博文館) 坪谷善四郎。(日本新聞通信) 金子有隣。(電通) 光永星郎、上田碩三。(日本通信) 漆間眞學。(ヘラルド社) 頭本元貞。(外交時報) 半澤玉城。(富山房) 長谷川福平。(鐵道時報) 木下立安。(新聞研究所) 永代靜雄。(實業之日本) 増田義一。

**二十一日會** 新聞編輯に關する共同問題懇談のため日刊新聞社、通信社の編輯幹部にある有志を以て組織す。(沿革) 大正十五年四月二十一日發起人會を開き、會名、規約等を決定、翌五月十一日發會式を兼ねて第一回會合を催す、六月の第二回會合に於て會則を變更し、爾來毎月二十一日に例會を開くこととして今日に至る。(幹事) 三名輪番任期六ヶ月。(會員) (電通) 中根榮、上田碩三。(報知) 川口清榮、倉辻明義、寺田四郎、廣田四郎。(東日) 西村公明、奥村信太郎、永原茂樹、城戸元亮、岸井壽郎、杉山幹。(東朝) 緒方竹虎、美土路昌一、野村秀雄、鈴木文史朗。(中外商業) 大谷浩、高木富五郎、築田欽次郎、佐藤三郎。(讀賣) 山崎光次郎。(國民) 山根眞治郎、田原茂作、長谷川光太郎、五來欣造、千原文英。(都) 服部健三、渡部英夫、山本信博。(時事) 伊藤正徳、西澤英一、和田日出吉、森田久。(聯合) 岩永裕吉、高井信義、古野伊之助。(七年十一月現在)

**國際記者協會** 内外の新聞事業に關係あり若くは關係ありたる者を以て組織し、内外記者の親睦を謀り國際的知識の交換に資するを目的とす。(沿革) 本會の前身は國際新聞協會と稱したが大正十二年これを解散し組織を改めて改稱す。(事務所) 日本電報通信社内。(會長) 頭本元貞。(幹事) 伊藤正徳、岩永裕吉、上田碩三、杉村廣太郎。(評議員) 小松謙、村上幸平、不破瑛麿太、伊達源一郎、馬場恒吾、斯波貞吉、小村俊三郎、御手洗辰雄、早坂二郎、坂口二郎、稻原勝治。(會員) 百餘名。(最近の役員不明)

**新聞記者協會** 新聞通信記者を以て組織し、新聞通

信記者相互の親睦を圖り品性を陶冶し、其社會的地位の向上を期するを以つて目的とす。...

東京新聞通信聯盟

新聞社通信社にして東京に本社を有し滿二ヶ年以上繼續して業務を營む社の代表者及總會の推薦したるものを以つて組織し、...

新聞通信記者團體聯盟

昭和六年二十一年の俱樂部改革の時各俱樂部の橫斷的

同盟新聞記者俱樂部

帝國議會に關する議事其他の報道をなす全國日刊新聞社及通信社を以つて組織す。...

國際聯盟記者協會

日本の新聞とジュネーヴの國際聯盟事務局との聯絡を計ることを目的とす。...

永田俱樂部

首相官邸詰各社記者を以つて組織する、創立大正三年四月。...

(東京時事通信)大浪安二。(東京通信)橋本黎二。(東海通信)百武功。(東邦通信)矢田吉季。...

内閣記者會

都下四新聞社の内閣擔任記者團。(事務所)麴町區永田町二ノ一首相官邸内

竹修二、重信嵩雄(半年交代)。(會員)東朝)河野健治、細川隆元、田畑政治、磯野佑治、有竹修治、野田武雄、飯島保、羽田武嗣郎。...

霧俱樂部

新聞通信社の外務省記者團。(沿道)外に外政會ありしが解散して本俱樂部に合併す。...

櫻田俱樂部

日刊新聞通信社の民政黨擔任記者團。(事務所)麴町區内幸町民政黨本部内

(東京時事通信)大浪安二。(東京通信)矢田吉季。(東京通信)欠。(東京時事通信)大浪安二。...

山下俱樂部

政友會擔當新聞通信記者を以つて組織す。(沿革)元十日會と稱し昭和三年より現名となる。...

五百住彪夫、齋藤佐四郎。(二六)竹林虎之助。(電通)河崎義男、柳橋行一。(東日)高木徳、今尾登、高橋三治。(東京毎夕)金子憲太郎。(報知)猪股直二、岡崎博光。(東朝)細川隆元、壁谷裕之、田畑政治。(中外商業)秋尾廉、窪田傳一。(中央)別當好平、井上正雄。(讀賣)藤尾主計、白石重。(國民)山内一郎、中村英一。(萬朝)大島參朗。(都)木村儀兵衛、横田芳郎。(時事)岩田一、塚本壽一。(自由通信)森川不二男。(新聞聯合)山崎義人、大平安孝。(新愛知)山浦貫一。(七年十一月十一日現在)

### 宮内記者會

宮内省詰新聞記者會。前名坂下俱樂部。を改稱す。(事務所)宮内省内。(會員)電通)小寺信重、藤原繁太郎。(報知)大森浩。(東日)藤樫準二。(大毎)須田虎太郎。(東朝)岩田豊秋。(大朝)松上倫美。(東海)百武功。(千代田)田中徳。(中外)福田薫。(國民)楓井金之助。(愛通)永友宗正。(時事)山田寛司。(大時)片根信行。(新聞

聯合)藤井信次郎。(日通)齋藤義香。(毎夕通)中村治兵衛。(日本)佐伯矩夫。(都)横田市郎。(日本聯合)堀江増次郎。(新愛知)辰巳吉次。(名古屋)小松正巳。(七年十一月十日現在)

### 黒潮會

加盟新聞通信社を以つて組織し、取材の合理化を目的とす。(事務所)海軍省廳舎内(電話銀座五二〇〇)。(役員)幹事一名、任期二ヶ月、各會員交替。(會員)二六)柳迫國比古。(日本)欠。(報知)岡野茂雄。(名古屋報知)森徹夫。(東日)池松文雄。(大阪毎日)長瀧武。(英文東京日日)田村壽。(英文大阪毎日)欠。(西部毎日)高橋三治。(東京毎夕)欠。(東朝)欠。(大阪朝日)壁谷祐之。(九州朝日)本多助太郎。(朝鮮朝日)園田次郎。(東京夕刊)小林晋一。(中外商業)長谷川秀道。(讀賣)内田榮。(大阪讀賣)殿田孝次。(名古屋)山室次郎。(國民)直海善三。(都)坊秀雄。(時事)遠山淳。(大阪時事)松田義致。(九州時事)田沼征。(新愛知)山下重之。(北海タイムス)品川壽夫。(シヤバ

### 陸軍省記者俱樂部

陸軍に關する記事蒐集を目的とする記者會。(沿革)以前は北斗會の名稱を以て存在せしが一時俱樂部分裂の結果、大正十年五月辛酉俱樂部と稱し昭和七年更に現名に改稱す。(事務所)麹町區永田町陸軍省內。(會員)東朝)齊藤寅郎、高宮太平、藤井虎雄、久住悌三、北村源治。(東日)長瀧武、今尾登、若松宗一郎、吉井欣治、石橋恒喜、岡田益吉、大熊武雄。(報知)西村丁一、松山幸逸、出原忠夫、大森去。(讀賣)内田榮、神田孝一、鶴澤幸治、林田貞一。(時事)細越政夫、片根信行、川田秀穂。(國民)阿古島俊治、伊藤豊一。

### 西俱樂部

軍事警察擔當の東京市內發行日刊新聞記者を以つて組織し、軍事警察の報道及研究批判を目的とす。(事務所)麹町區大手町憲兵司令部內。(幹事)山崎榮岳、會計幹事石田周藏。(會員)日本)板折好一。(報知)大場格之介。(東日)三原信一、北岡徳太郎。(東朝)北村源次。(讀賣)清河政雄。(國民)美

和庸三。(都)山崎榮岳。(時事)石田周藏。(七年十月現在)

### 内政研究會

東京六紙、大阪二紙の記者を以つて組織し内政の研究及び會員相互の親睦を目的とす。大正七年の創立。(事務所)麹町區大手町内務省內。(幹事)二名三ヶ月交代。(會員)報知)佐々木丑藏、百武米義、伊豆忍。(東日)山本彦三郎、山田要、小林義郎、佐藤嘉四郎、永島峰男。(大毎)芥川壽作、武良順。(東朝)磯田薫一、徳山繁太、河野健治、長谷部忠。(大朝)宮崎小市、鈴木總二。(中外)岸本直行、角出正則。(國民)中村英一。(時事)木下信行、岩田一、伊藤博、荒木勝三。(七年十月現在)

### 内務記者會

都下及地方紙及通信社の内務省擔任記者團(事務所)内務省內。(幹事)二名三ヶ月交代。(會員)日本新聞)稻見大藏。(日本通信)水野源一郎。(弘業通信)抽水留治。(北海タイムス)欠。(東洋通信)小野克巳。(時事通信)本間郷平。(獨立通信)元木肇。(中央通信)井

### 北辰俱樂部

新聞界へスタートを共にした古い連中の社交機關。大正八年に内務省の社會部記者團として生れたのが始めて最初北辰會と稱し震災後現名となる。(事務所)麹町區大手町内務省內。(世話人)淺野豊。(會員)朝日)門田勳。(都)古澤磯次郎。(讀賣)岩田得三、神田孝一。(報知)森口筆次郎。(國民)鈴木龍二。(夕刊)勝川松次郎。(中央)船田順。(時事)京正義太郎、志田義信。(二六)金岡淺次郎。(聯合)淺野豊。(晝夜)植村嘉三郎。(帝通)藤村善吉。(毎夕)金子憲太郎。(毎日)西正

衛。(二六)佐藤光雄。(七年十月現在)

### 大手記者會

大正十五年十二月内務省記者會より分離す會員の親睦を目的とし、無規約總會滿場一致主義。(事務所)麹町區大手町内務省內。(幹事)一名二ヶ月交代。(會員)讀賣)池田邦夫、池田正之輔。(都)田代金宣。(新聞聯合)福田一、沼佐隆次。(電通)西村二郎、大塚嘉次。(福岡日日)柳橋行一。(七年十月現在)

### 内華俱樂部

日刊新聞及通信社の内務省擔任記者を以て組織し、報道の便宜と部員相互の向上親睦を目的とす。(沿革)元の社會部記者團城北會の分裂の結果昭和二年組織されたもの爾來政治部記者の會員も含む。(事務所)大手町内務省(電話九の内)一一二一一三九交換台連接省內一四三三。(幹事)吉村文男、岡延右衛門。(會員)日本新聞通信)園顯雄。(放送局)横山精。(毎夕)伊藤兵吉。(大東通信)石和田一彦。(内務通信)吉村文男。(やまと)木元幹三。(毎

### 竹橋俱樂部

日刊新聞通信記者を以て組織し文部行政の研究及會員相互の親睦向上を目的とす。(事務所)文部省內。(幹事)會計庶務の兩幹事を置き三ヶ月交代。(會員)電通)佐藤幸一郎。(日本弘業)佐藤定勝。(日本聯合)水上謙之。(内外通信)高麗芳野。(名古屋)山室二郎。(國民)青山二郎。(都)田代金宣、横田芳郎。(時事)田沼征、村田昇司、川田秀穂。(自由通信)石

**文部記者會** 文部省關係の主として社會部ニュースを取る記者團。大正九年創立。(事務所)文部省内。(會員)讀賣(木村正。(國民)小島靜三郎。(時事)堀正夫。(東京日日)高木秀夫。(報知)内山茂松。(中外商業)松井武夫。(日本)熊谷白。(都)福田恭助。(やまと)馬場常治。(每夕)田澤良夫。(七年十一月現在)

**大手俱樂部** 大藏省擔當別項會員五社よりなり、懇親を目的とす。(事務所)大手町大藏省内。(幹事)二名三ヶ月交代。(會員)朝日、國民、中外、報知、都。(六年十一月現在近況不明)

**財政研究者會** 大藏省擔當記者團。(事務所)大藏省内。電話丸の内九五、九六。(幹事)四名。(會員)(日本)五百住彪夫。(報知)赤松直昌、上田榮一、黒田力造。(中外)伊元富爾、奥山貞二郎、岸本直行。(讀賣)板津

直光、小林進一、鈴木公平、安田庄司。(名古屋)北井利雄。(每夕)入江部市。(國民)唐島基智三。(電通)波多尙、村田爲五郎、安武誠一。(東朝)長谷部忠、渡邊迪、有竹修二、香月保。(都)古川利雄。(時事)坂正逸、田沼征、川田秀穂。(聯合)山崎源太郎、吉岡繁喜。(東日)鹿喰清一、藤井泰一、西野入愛一、田部井俊夫、神田五雄、若松宗一郎、塚田一甫。(やまと)鹿島實。(七年十一月現在)

**財政俱樂部** 大藏省擔當の日刊新聞記者より成り當局との連絡を計り社員の親睦を旨とす。創立明治四十二年。(事務所)大手町大藏省内。(役員)手島益雄、柚木隆治。(會員)(二六)清水久行。(日本弘業通信)柚木隆治。(日本通信)水野源一郎。(日刊工業新聞)佐々木泰。(日本織物新聞)鈴木恭。(北海タイムス)菊地吉二郎。(東京通信)橋本黎二。(東京夕刊)鈴木正雄。(東京時事通信)帶刀要哉。(東洋通信)小野克己。(東京毎日新聞)長瀬七郎。(東京興信

**金融同志會** 各新聞通信社の金融記事擔當記者團。(事務所)日本銀行内(電話日本橋三二四一)。(幹事)三名三ヶ月交代。(會員)(東日)田川重盛、高島演。(國民)中山成基。(朝日)福井文雄、山田吉郎、藤田武雄。(讀賣)小林雄一、齋藤恒之助、戸田新一郎。(報知)西原熊市、中牟田庸三、中島徹三。(中外)藤島正道、山口進、北村忠夫。(都)清水元壽、佐久間豐三。(每夕)杉本昇、時事)木村禧八郎、奥野平、阿部康二。(電通)本多信治、東野、上野貞夫。(聯合)小野勝三郎、小松利一、瀧口義敏。(東京興信所)大辻全孝。(萬朝)常盤嘉一郎。(七年十一月現在)

**農政記者會** 都下日刊新聞通信社の農林省擔任記者團、農政、農林兩俱樂部の合併せるもの。(事務所)農林省内。(幹事)岡崎博光、香月保、中村德夫。(會員)(報知)山崎幸四郎、岡崎博光、横村三男、中島徹三。(朝日)香月保、本多助太郎、有竹修二、谷正守、鈴木總二。(讀賣)安田庄司、阿美謙平、二神基次、林田貞一、野間八十八。(國民)石川悌二郎。(日日)塚田一甫、鹿喰清一、宮崎健藏、山路通雄、蘇我四郎。(時事)川田秀穂、田沼征、瓜生倫政。(都)中村德夫、松江武夫。(中外商業)井上秀男。(電通)田村源治、森有義。(東京興信所)山越秀一。(豐國通信)中村耕造。(七年十一月十九日現在)

**瑞穂俱樂部** 農林省擔任記者團。(事務所)農林省内。(幹事)二名半年交代。(會員)聯合)淺野豐。(東日)岩崎榮。(北海タイムス)菊地吉次。(嶺新)多田大吉。(大東通信)岩田健吉。(名古屋)北井利雄。(時事)和田

**産業研究者會** 農林省擔任新聞通信記者團。會員相互の親睦を圖り農政及産業一般の意見の交換研究を目的とす。(沿革)大正九年頃の創立にかゝる。(事務所)農林省内。(幹事)二社三ヶ月交替。(會員)自由通信。新愛知。獨立通信。東京時事通信。每夕。民衆通信。萬朝。第三通信。日本新聞通信。日本聯合通信。日本通信。大日本通信。每夕通信。日本弘業通信。日本織物通信。東洋通信。大勢。以上各社。(七年十一月現在)

**采女會** 都下新聞通信社商工省擔任記者團。取材上の便宜並に會員相互の親睦を目的とす。(沿革)大正十四年九月の創立。(事務所)京橋區木挽町商工省内。(幹事)二名一ヶ月交替。(會員)(電通)村崎退介、東野。(報知)植木與市。(東日)蘇我四郎、若松宗一郎、藤井泰一、山地壽、鹿喰清一、武良積、塚田一甫。(東朝)本多助太郎。(中外)門田

**商工研究者會** 日刊新聞通信社商工省擔任記者團。農商務省が兩省に分立するに際し設立さる。(事務所)京橋區木挽町商工省内。(幹事)二名。三ヶ月交替。(會員)(日本通信)水野源一郎。(日本新聞通信)庄司寅男。(日刊工業)佐々木泰。(日本聯合通信)齋藤優哉。(東京時事通信)帶刀要哉。(獨立通信)中野佐助。(朝野通信)吾妻俊雄。(内外通信)瀬戸崎七之丞。(名古屋新聞)原廣治。(新愛知)鹽谷鬼子四郎。(自由通信)古原美雅。(日刊工業)伊藤了介。(日本織物)鈴木恭。(日本弘業通信)柚木隆治。(第三通信)松島羊一郎。(東京通信)松本黎二。(七年十一月現在)

**商工記者會** 商工省擔任記者團。(事務所)商工省内。(幹事)關達二。(會員)(東日)岩崎

**經濟記者俱樂部** 東京商工會議所擔任の日刊新聞及通信記者を以て組織し會員相互の親睦、研究、及び取材の共同、地位の向上を目的とす。(沿革)大正三年頃創立、經濟部の記者俱樂部として最も古く名譽ある歴史を有す。(事務所)麹町區丸の内馬場先門東京商工會議所内。(幹事)二名二ヶ月交替。(會員)(電通)田邊武夫。(報知)橋本俊郎。(東朝)岸勇夫。(東日)對馬好武。(時事)谷村澤吉。(中央)四野宮仲吉。(聯合)長谷部天信。(自由通信)河村俊藏。(讀賣)志賀重義。(都)佐々木格三。國民一ノ瀬信義。(中外商業)中田武夫。(七年十一月現在)

**兜俱樂部** 新聞記者、株式業者、取引所關係者の親睦會たりし舊兜會を變革し、單なる社交親睦機關たる記者俱樂部となりしもの。(事務所)日本橋區兜町東京株式取引所内。(電話)茅場町一四一三。(幹事)菊池太一。

**杉の森記者俱樂部** 都下九新聞系取引所諸記者

(常務)佐藤彦平、高山關治郎。(會員)(東日)佐藤彦平。(夕刊)目崎保雄。(商機)高山關治郎。(中外)菊池太一。井尻固。(萬朝)富岡林太郎。(讀賣)柏通明。(商通)服部順之助。(經濟)清田直吉。(報知)今村良祐。(每夕)須永茂吉。(電通)中馬李俊。(二六)菊地儀三郎。(大勢)吉井常太郎。(朝日)朝吹孫三郎。(國民)鈴木萬造。(時事)松村金助。(中央)桑野豐助。(七年十一月現在)

**瑞穂會** 東京米穀商品取引所關係各社記者團。相互の親睦を目的とす。(沿革)明治三十九年報知記者故北川幾之助氏外四名にて取引所内に組織せるもの。(事務所)日本橋區綱菱町一ノ二、米穀商品取引所内。(役員)電通、每夕、商機、商業。(會員)二六、電通、帝通、大勢、讀賣、每夕、萬朝、帝國興信、商通、財界、商業新聞、經濟、米報、米タイムス、商機。(以上各社より一二名宛)(七年十一月現在)

團。昭和七年の創立。取材上圓滑を期するを目的とす。(事務所)日本橋區堀留、東京第二部系取引所内。(會員)時事、東日、中外、報知、東朝、東夕、讀賣、やまと、國民、以上各社。(七年十月現在)

**商店記者クラブ** 都下新聞雜誌商店擔當記者を以てて昭和七年六月創立せるもの、商店研究並に親睦を目的とす。(事務所)神田區錦町商店界社内。(役員)友田健二郎、渡邊玄(但し半年ごとに廻持ち)。(會員)倉本長治、相原壽、福富恒樹、有賀祿郎、福井幸平、福島一郎、井關純、平林桂、高橋八郎、小林正秀、山田正治、池田三郎、植木與市、西川鋼藏、友田健二郎、渡邊玄。(七年十月現在)

**交通記者會** 鐵道省擔當政治經濟部記者を以て組織し、相互の親睦を圖るを目的とす。(事務所)丸の内鐵道省内。(電話丸の内一八八五)。(幹事)二名二ヶ月交替。(會員)(國民)一ノ瀬信義。(報知)山崎幸四郎。(東朝)大渡順二。(大毎)橋野克

顯一。(東每)瀨戸口寅雄。(每夕)相川善太郎、高野忠哲。(東朝)山田漸、進藤次郎。(東京夕刊)小保方淺次。(中央)阿部井英伍。(中外商業)高島直定、田邊秀。(讀賣)橋本康男、杉元重明。(國民)藥師寺庄之助。遠山寬。(都)青山與平。(時事)中島龜次郎、木村道夫。(電通)石渡安躬、松井善四郎。(晝夜通信)渡邊富之輔。(帝通)沖邑品吉。(聯合)瀧谷實、福井賢。(法律新聞)石井敬三郎。(法律新報)黒澤松次郎。(法律評論)高窪喜八郎。(日本興信)渡邊榮太郎。(東京興信)牧村良次。(帝國興信)圓部兆玄。(東京商業興信)島谷保治。(七年十一月現在)

**鐵道記者會** 日刊新聞通信社の記者を以てて組織し取材の便宜を目的とす。(沿革)十六年前の創立にかゝり元東鐵に俱樂部をおいたが震災後本省に移る。數次の變革あり昭和七年にも分裂したが、社會部記者團としては最も古い。(事務所)麹町區鐵道省内。(役員)内山小夜吉、河口豪。(會員)(讀賣)田邊則雄。(中央)玉川惠。(每夕)金子憲太郎。(大勢)松井政治。(萬朝)松本福次郎。(帝國新報)上野雅夫。(東每)蒲地侃。(共同)成澤貞行。(大同)石和田一彦。(日本通信)水野源一郎。(弘通)青山融。(第三通信)埼玉吉太郎。(二六)柳迫國比古。(中外)内山小夜吉。(帝通)河口豪。(七年十月現在)

**鐵道省記者俱樂部**

都下日刊新聞通信記者を以てて組織し取材を目的とす。昭和七年八月十五日舊鐵道記者會より分離創立す。(事務所)麹町區丸の内鐵道省内。(會員)(都)横田市治。(時事)堀正文。(聯合)細井吉造。(電通)瀨戸敦。(報知)森口筆次郎。(東朝)石尾市太郎。(東日)久我征一郎。(國民)大谷秀正。(日本)小松光男。(大朝)栗林貞一。(大毎)武良禎。(七年十一月現在)

**鐵道研究會** 鐵道記者團、鐵道を中心として我國の交通運輸問題を研究し、會の總意を關係當局に示すは勿論、以上問題を嚴正公平に報道するため、都下日刊新聞通信社代表記者を以て組織し、創立後既に十數年を経過する交通運輸界最古の記者團。(事務所)麹町區丸の内鐵道省内。(幹事)志賀岩夫。(會員)(東每)春口善吾。(萬朝)近江哲藏。(鐵道公論)平田健。(運輸日報)志賀岩夫。(東京時事通信)横山仁三。(運輸通信)徳安實藏。(東日)日高利一。(政治經濟通信)里見謹吾。(中央)四野宮仲

**鐵道記者俱樂部** 鐵道省出入記者團。(事務所)鐵道省内。(幹事)安藤杜志雄。(會員)(晝夜)安藤杜志雄。(東京夕刊)勝川松次郎。(千代田)水野清之。(七年十一月現在)

**司法記者會** 都下日刊新聞通信社の裁判所擔任記者團。取材と會員相互の親睦を目的とす。明治三十六年の創立。(事務所)大審院構内。(幹事)月番。(會員)やまと、横澤陸郎。(二六)鈴木正雄。(報知)柴田寛。(東日)安島譽、赤地幸亨、今吉

吉。(日本)五百住彪夫。(二六)木村與作。(七年十一月現在)

**鐵道記者同志會** 都下新聞通信政治經濟記者を以てて組織し、會員相互の親睦と交通行政に關する意見の交換研究の機關とす。(沿革)昭和二年九月の創立(一説には大正十四年九月)。(事務所)麹町區丸の内鐵道省内。(幹事)二名三ヶ月交替。(會員)毎夕、自由通信、帝國新報、東京夕刊、朝野通信、獨立通信、交通經濟社。(七年十一月現在)

**法政研究會** 都下日刊新聞記者を以て組織し、會員の親交と取材上の便宜を目的とす。(事務所)司法省内。(幹事)猪股直二(報知)。(會員)(中外)窪田傳一(東朝)濱田常二朗、河野健治(國民)三浦悅郎(報知)猪股直二(讀賣)永長與藤二(聯合)瀧谷實(電通)石渡安躬(都)横田俊郎(國民)遠山寬(東日)池松文雄、

田村壽(七年十一月現在)  
**日比谷記者會** 日刊新聞通信社の警視廳擔任社會部記者團。二十數年前の丸の内記者俱樂部を大正八年春組織を改む七年春四俱樂部に分裂す。(事務所)警視廳内。(會員)中央、萬朝、帝通、共通、日本新聞、二六、東每、やまと。(七年十一月現在)

**七社會** 警視廳擔任記者團、七年春日比谷記者會より分裂せるもの。(事務所)警視廳内。(幹事)二社一ヶ月交替。(會員)(國民)齋藤菊次郎、森勝治、柳谷靜一、武田尙昌、石井、鈴木英二、山本義仁。(時事)石田周藏、廣木新平、若月雄次郎、堤金指、能勢一男。(聯合)市川博慈、塚一生、小栗周三郎、松井。(中外)佐々木英夫、田中順之助。石井良一、鈴木孝夫。(朝日)伊集院兼雄、三浦守、戸叶武、石井勝視、島津彌六、加藤民平、石母田、松上倫美。(東日)楠本義郎、中山善三郎、池田菊太郎、江口榮治、村田忠一、大野木繁太郎、吉良武夫。(報知)山田壽

**警視廳記者俱樂部** 警視廳擔任記者團。昭和七年二月日比谷記者會より分裂せるもの。(事務所)警視廳内。(會員)(每夕)堤松太郎、菊池克己(晝夜)兒島正勝、山口宇江、河村儀彌。(東京夕刊)西澤武夫、伊藤淺治。(七年十一月現在)

**遞信記者俱樂部** 新聞通信省擔任記者團。(事務所)遞信省内。(幹事)三名。三ヶ月交替。(會員)(電通)泰嚴夫。(報知)芦田義雄。(豐國通信)中村耕造。(東洋通信)長谷川龍吾。

**拓務俱樂部** 都下日刊新聞通信社拓務省擔任記者團。昭和四年六月拓務省と共に創設。(事務所)麹町區西日比谷拓務省

蕨、大場格介、山岸達人、太田實。(七年十一月現在)  
**警視廳記者會** 警視廳擔任記者團。取材上の便宜と會員の親睦を目的とす。昭和七年二月十六日、日比谷記者會の分裂より中立的立場より讀賣、都兩社にて組織す。(事務所)櫻田門外警視廳一階。(幹事)高橋巍(會員)(讀賣)高橋巍、鈴木恒志、津田正房、瀧本潔、池田太郎、村田福治郎。(都)遠藤崎三、久保田佳太郎、奥澤順一郎、村山完。(七年十一月現在)

(東朝)大渡順二。(東日)内田國造。(獨立通信)元木肇。朝野通信)吾妻俊雄。(中外)長谷川秀道。(讀賣)新田唯一。(大毎)百武忠次。(大阪電通)村田爲五郎。(大朝)鈴木總二。(大阪時事)増田貞祐。(國民)東海林治助。(都)高橋武治。(時事)近藤安雄。(自由通信)古原義雅。(新聞聯合)内海朝次郎。(新愛知)鹽谷鬼子四郎。(七年十一月現在)

(東朝)大渡順二。(東日)内田國造。(獨立通信)元木肇。朝野通信)吾妻俊雄。(中外)長谷川秀道。(讀賣)新田唯一。(大毎)百武忠次。(大阪電通)村田爲五郎。(大朝)鈴木總二。(大阪時事)増田貞祐。(國民)東海林治助。(都)高橋武治。(時事)近藤安雄。(自由通信)古原義雅。(新聞聯合)内海朝次郎。(新愛知)鹽谷鬼子四郎。(七年十一月現在)



内。(幹事)二名。(會員)(電通)木村進。(日本通信)此經春也。(報知)松山幸逸、日野水清。東朝)村田武嗣郎。(東日)新井達夫、橋野克郎。(東京時事通信)大浪安二。(東邦通信)北崎房太郎。(中外)角出正則。(大朝)宮崎小市、山本秀正。(大毎)菊地三男、芥川壽作。(讀賣)永長與藤二、林泉。(國民)三浦悅郎。(都)角猪之助。(新聞聯合)市川太郎。(時事)大澤秀雄。(每夕)伊藤兵吉。(日本)欠。(七年十一月現在)

### 有樂俱樂部

東京府市政記者團。(沿革)故阿部浩府知事時代に設立され、武藏野俱樂部と稱す、後、有樂俱樂部と改名、更に都政記者會と改め、再び有樂俱樂部となり現在に及ぶ。(事務所)東京市役所内。(電丸の内)五一、一八一。(幹事)三社宛。二ヶ月交代。(會員)(二六)鈴木義雄。(報知)安田榮治。(日)一色直文。(毎日)長瀬七郎。(每夕)八江群市。(朝日)大澤曉一。(中央)米山義兄。(中外)出口辰夫。(萬朝)横山俊太郎。(讀

### 同氣俱樂部

報知、東日、東朝、中外四社の府市政擔任記者を以つて組織し、府市政の報道と會員相互の親睦を目的とす。創立大五十五年二月。(事務所)東京市役所内。(幹事)一名一ヶ月交替。(會員)政治部(報知)芦田義雄。(東京日日)山田要、山本彦三郎、廣瀬英太郎。(東京朝日)欠。(中外商業)長谷川秀道。地方部(報知)横村三男。(東京日日)住本利男。(東京朝日)神田茂。(七年十一月現在)

### 自治研究會

自治行政の研究報道を目的とす。(沿革)本會は遠く明治三十七、八年頃に基源を發し専ら硬派記者の集團なり、大正三年四月を以て始めて鍛冶橋俱樂部なる正式團體を形成したりしが、其後大正十一年三月現名に改稱す。(事務所)東京市役所内。電話市役所丸の内五一、五二一、府廳丸の内一

### 東京労働記者會

労働關係記者團。(事務所)芝區芝公園協同會館内。(電話)芝一三三。五。(幹事)二神基次。黒田力造。(會員)(電通)曾我祐久。(日本)朝倉滿。(報知)黒田力造、松山幸邊、出原忠夫。(東日)百武忠次、江口榮治、佐藤嘉四郎。(東京朝日)大渡順二、飯島保、門田勲。(東京毎日)西正衛。(每夕)菊地克巳。(中外)岡島章治。(讀賣)二神基次、神田孝一。(國民)阿子島俊治。(都)古澤磯次郎。(時事)大澤秀雄、笹本寅。(聯合)吉岡繁喜、小栗周三郎。(新愛知)山浦貫一。(七年十月現在)

### 學藝・スポーツ等

東京ラヂオ記者會

### 新聞學藝部記者會

主として文藝方面擔當記者を以つて組織す。目的は會員相互の親睦。創立昭和五年。(會員)(報

放送局擔任新聞通信記者團。放送解説及ニュース蒐集と會員相互の親睦を目的とす。(沿革)大正十四年放送局の開始と共に毎夕、讀賣、都其他數社を以て創設、今は十二社三十餘名の會員を有す。(事務所)芝區愛宕山放送局内。(役員)松山照夫、豊田立夫、遊佐淑三、津村秀剛。(會員)(電通)石川泰三。(二六)鈴木正雄、鈴木義雄。(東日)森川宗興、松浦良松、伊澤眞太郎、松浦年三郎。(東朝)妹尾太郎、末常卓郎、相島敏夫、津村秀剛、千田富士太郎。(東京每夕)村上泰二郎。(日刊ラヂオ)遊佐淑三、新井和平。(讀賣)松山照夫、鈴木榮助、吉本明光、梶原景浩。(國民)伊藤靜枝。(都)日色惠、田中劍喜智、船田公平。(時事)有賀長毅、豊田立夫、久武育朗。(聯合)増田壽郎。(中外商業)高島直定、足立忠。(七年十一月現在)

### 日本漫畫會

漫畫家の向上發展と親睦をはかる爲に東京漫畫會の解散後出來た會、毎年一回東京、大阪にて展覽會を開いて本年はその九回目。(事務所)豊島區巢鴨六丁目一、二九〇宮尾方。(會員)池部鈞、池田永一治、服部亮英、細木原青起、岡本一平、田中比左良、長崎拔天、名越國三郎、牛島一水、安本亮一、前川千帆、幸内純一、京谷金介、北澤樂天、水島爾保布、森島直造、代田收一、森山三郎、宮尾しげを、森火山、阪本牙城、山本李兵衛、前田邦坊、小林克巳、小野佐世男、三宅尙也。(七年十一月現在)

### 美術記者會

團體として

### 東京運動記者俱樂部

都下新聞雜誌通信社の運動擔任記者を以て組織す。(事務所)時事新報社運動部内。(幹事)山田時郎、森島直造、上野徳太郎、吉田威、小島敬三郎、白井正福、太田茂。(會友)弓館芳夫。(會員)(東朝)植村陸男、山田午郎、飛田忠明、小出秀世、河合勇、小高吉三郎、加納克亮、久保田高行、伊藤寛、佐藤俊太郎。(中外)福田薫、高島直定、高松茂。(二六)島上源四郎、鈴木正雄。(時事)森島直造、廣瀬謙三、宮島武夫、宮田勝喜。(中

存在せず。美術擔任記者は次の如し。(美術擔任者)(日本)京谷金介。(二六)鈴木正雄。(報知)内山茂松。(東朝)遠山孝。(日日)須田虎太郎。(東毎)高澤初風。(每夕)田澤良夫。(萬朝)石井文作。(讀賣)平林襄二。(中央)井上正雄。(夕刊)西嶋五一。(國民)小嶋靜三郎。(都)金井泰三郎。(時事)金行動。(中外)外狩顯章。(電通)曾我祐久。(聯合)長嶋又男。(七年十一月現在)

### 東京競馬記者俱樂部

各新聞社競馬擔任記者を以て組織し、會員相互の親睦を圖り馬事知識の涵養を目的とす。大正十二年競馬法の發布と共に帝國競馬記者俱樂部なるものを組織せるも後雜誌と分離し、新聞社のみ東京競馬記者俱樂部となす。(事務所)芝區新櫻田町二二帝國競馬協會内。(幹事)楠茂市、中澤忠一、植村嘉三郎。(會員)小島敬三郎(報知)、玉川惠(中央)、茂木幹雄(中外)、嶋澤幸治(讀賣)、安東富士夫(毎

### 運動寫眞クラブ

東京各新聞通信社の寫眞部を以つて

夕、中澤忠一(國民)、植村陸郎(朝日)、西島五一(東夕)、楠茂市(都)、石川泰三(電通)、欠(時事) 淺野豊(聯合)、植村嘉三郎(晝夜)、鈴木義雄(二六)、高橋謙(日)。(七年十一月現在)

**角力記者俱樂部** 會員の親睦を圖り角道を研究す。明治三十七年五月の創立。(事務所) 本所區東兩國相撲協會内。

(幹事) 伊藤繁太郎。(評議員) 玉川憲、大久保將吉、鈴木金助。(會員) 各新聞社及電通、帝通の相撲記者。(七年十一月現在)

**ナツクアウト俱樂部** 新聞雜誌拳闘擔當記者の親睦と研究を目的とす。(沿革) 昭和七年三月發會、毎月例会を開く、機關雜誌發行の計畫あり。(事務所) 京橋區銀座西八丁目都ビル、拳道社内。(會員) 秋山與志三、秋山慶幸、平澤雪村、石川輝、御藤納健、小島六郎、横尾俊彦、宮田勝善、宮島武夫、大橋篤三、磯崎昌雄、下田辰雄、鈴木中外、山田午郎、河石三省、堀場平八郎。(七年十一月現在)

**東京飛行記者俱樂部**

新聞雜誌社の航空記事擔任記者團。(事務所) 芝區櫻田本郷町飛行館内。(會員) (大朝) 石尾市太郎。(東日) 石橋恒喜。(中外) 内山小夜吉。(國民) 梶井金之助。(名古屋) 山室次郎。(都) 櫻村實。(晝夜通信) 河村儀彌。(航空時代) 道永悌三。(時事) 久芳開作。(東朝) 妹尾太郎。(電通) 曾我祐久。(讀賣) 鶴澤幸治。(大毎) 久我征一郎。(聯合) 森元治郎。(飛行) 北尾龜男。(報知)

**營業關係**

**日本廣告聯盟** 全國各地廣告團體を以て組織し、全國的共同利益擁護の爲め設立されたもので、萬國廣告聯盟に加入し世界的に進出し我國廣告界の向上を目的とす。(事務所) 東京市京橋區銀座西六丁目鍋町ビル日本廣告俱樂部内。(役員) 森平

**日本廣告俱樂部**

廣告に關係を有する事業の經營者、廣告實務の擔當者、及廣告に興味を有する個人及法人を以つて組織す。目的は會員相互の親睦を教うし廣告界の發展を圖るにある。即ち(一)會館を設備し會員の利用に供する(二)會員共同の利益に關する事項の調査研究

**日本廣告俱樂部**

をなし必要に應じて内外の廣告團體と連絡を圖る(三)講演會、講習會、談話會等を開催する事其他。(事務所) 東京市京橋區銀座西六丁目鍋町ビル。(理事長) 津村重會。(理事) 大葉久吉、勝田重太郎、津村岩吉、中川秀吉、内田好之輔、黒崎雅雄、矢野正世、山形章、松田源重、松宮三郎、藤田知治、郡山幸男、江藤甚三郎、赤石喜平。(會員) 伊藤豐太(合同蓄音器)、池田一藏(京華社)、池上彌市(久保田商店)、膽澤寛三(河北新報)、伊藤重治郎(立教大學)、板橋寛助(板橋日弘社)、石川文吾(商科大學)、一力次郎(河北新報)、石川寅吉(興文社)、井關十二郎(明治大學)、井上成意(カルピス)、蓮沼大三(常磐生命)、蓮田聖三郎(松屋)、林誠一郎(大日本麥酒)、橋本徳次郎(白美液)、濱口茂一(市田商店)、濱田四郎(前三越)、堀内伊太郎(淺田館)、堀儀三郎(みやこ染)、堀武雄(大木合名)、富永良太郎(告天社)、布屋徹吉(正路喜社)、大葉久吉(實文館)、大塚浩一(資生堂)、大塚

金吾(河北新報)、大仲博(笑話座)、大宮伍三郎(名古屋新聞)、大倉保五郎(大倉書店)、大野孫平(東京堂)、戸谷萬雷(銚子醬油)、小川友三(歩哨堂)、ワールト通信社、渡邊恒太郎(オリエンタル寫眞工業)、勝田重太郎(新愛知)、龜井豊治(三省堂)、川田佐門次(明治製版)、川崎新吉(新潟毎日)、加藤敏三郎(小樽新聞)、權田昇平(篠崎インキ)、吉武鶴次郎(大阪毎日)、横手政五郎(東京藥院)、吉谷專吉(博文館)、竹中余次郎(竹中製版)、高木長葉(資生堂)、高崎信太郎(松坂屋)、高嶋靖(アングラ社)、田中常人(中國民報)、田中輝(正輪社)、津村重會(津村順天堂)、津村岩吉(敬天堂)、塚本嘉次郎(塚本洋行)、堤亦三(臺灣放送協會)中島虎男(オセロ洋行)、中川秀吉(萬年社)、中西義二(小樽新聞)、中堀末吉(北海タイムス)、永井省三(臺灣日日)、長田源一(岩谷)、長瀬直次郎(長瀬製版)、中山豊三(中山太陽堂)、内田好之輔(報知)、白井米次郎(小林廣行)、内田誠(明治製菓)

成毛英之助(猫イラズ)、野島常次郎(廣告取次店)、野依秀市(實業ノ世界)、久保田金億(松坂屋)、黒崎雅雄(正路喜社)、栗尾結城(高知新聞)、熊谷敬一(オフレット)、久保正吉(ウテナ)、矢野正世(長瀬)、矢野松吉(國分商店)、山本昌一(前時事)、山崎信興(丸善)、山崎卓雄(國民)、山縣章(博報堂)、山下幸藏(かもめ圖案社)、山端祥玉(チーサーン)、高速度寫眞、安田彦三郎(正路喜社)、八代登(主婦之友)、山本治三郎(京華社)、松野喜内(慶應大學)、松田源重(横濱貿易)、松宮三郎(百貨店研究所)、松浦清平(大分新聞)、松田十九二(ヘチマコロン)、前川良三(大連新聞)、松崎兼松(滿鐵)、(滿洲日報東京支局)、藤田知治(斗南社)、藤井米次郎(龍角散)、福澤七五郎(日刊寫眞通信)、福澤義男(正路喜社)、福田金次郎(北陸館)、不破瑛磨太(新聞聯合)、福島一郎(野田醬油)、小林行昌(早稻田大學)、小林信司(ほてい)、小林三太郎(日本新聞)、小西六本店(寫眞材料

兵衛、能島進、加藤直士、村本福松、井岡大輔、山室宗親、楠本政太郎、(以上大阪)、高松定一、三浦一、淺野甚七、(以上名古屋)、丸岡才一、熊澤實一、(以上廣島)、青木外吉、(金城)、上田繁、(静岡)、長田義彦、津村重會、大葉久吉、松宮三郎、光永星郎、波多海藏、(以上東京)、河原田米八郎、(福岡)、永久義郎(京都)、岸本龍郎(大阪廣告研究會)、(會員) 大阪廣告協會、名古屋廣告協會、福岡廣告協會、吳屋廣告協會、京都廣告俱樂部、静岡實業協會、金城廣告協會、廣島廣告協會、日本廣告俱樂部、廣告談話會、別府廣告協會、大阪廣告研究俱樂部。總員約一千六百名。

**新聞廣告獎勵會** 新聞廣告の進歩發展を圖るを以て目的とす。(沿革) 日本電報通信社創立三十周年記念事業の一として組織し、昭和五年十一月十一日より翌六年十一月十日迄一ケ年間全國日刊新聞紙上に掲載されたる廣告を審査してその優秀なるものを表彰せしを、新聞廣告獎勵會の名稱を其儘引継ぎ毎年其事業を繼續する事となる。(事務所) 麴町區丸ノ内二ノ八日本電報通信社内。(役員) 未だ決定せず。(發起人) 波多海藏、神谷市太郎、高木清茂、中山豊三、草野豊、矢野正世、山梨政平、小山政也、菊池武一、光永眞三、平尾贊之輔。(七年十一月現在)

**廣告談話會** 廣告主並に代理業者を以て組織し廣告を研究し斯界の進歩發展を圖るを以つて目的とす。(事務所) 麴町區

丸の内二の八電通社内。(幹事) 寺尾誠、小瀬竹松、安藤金平、光永眞三。(會員)伊東胡蝶園、望月九一。(井田京榮堂)井田友平。(井筒屋)服部榮次郎。(放送協會)關東支部)苦米地實。(日活)佐久間梅雄。(日本ビクター)峰村幸三。(日蓄)伊藤豊太。(電通)光永星郎、光永眞三、木下源一郎、栗原廣、岩子龍太郎。(東京電氣)寺尾誠。(東京藥院)横田政五郎。(友田)小林亥六。(中央公論)島中雄作。(カルピス)井上成意。(大日本麥酒)小林武彦、林誠一郎。(高島屋)小瀬竹松、木村宗一。(田邊元三郎商店)内藤豊次。(津村敬天堂)津村岩吉。(中山太陽堂東京支店)中山豊三。(長瀬商會)秋元直。(並木製作所)小田島義。(ウテナ化粧料)久保政吉。(山邑酒造)淺野米穂。(ヤマサ醬油)外岡松五郎。(安永舎)安永了三。(丸見屋)波多海藏。(松屋)千秋直道。(松坂屋)高崎信太郎。(松本算笥店)松本朝之助。(丸之内會館)醬油)彌谷醇平。(丸之内會館)五百木竹四郎。(小林商店)神谷

市太郎、武川吉雄。(講談社)赤石喜平。(近藤商店)草野豊。(榮養と育兒の會)土屋健。(井筒堂)安藤金平。(三共)菊池武一、小林友藏。(麒麟麥酒)淺岡準平。(明治製菓)内田誠。(三越)赤井松太郎。(松竹)三島良藏。(白木屋)足立恭三。(尙美堂)坂本一郎。(資生堂)高木量。(平尾商店)平尾贊平。(森永)小山政也。(味の素)高木清茂。(七年十一月現在)

新聞社代理業

如月會 各社廣告部長の團體。昭和六年二月十九日復活す(幹事)任期六ヶ月。(會員)新田(東朝)、島田(東日)、皆川(報知)、三浦(時事)、小島(中外)、稻葉(讀賣)、安部(國民)、山名(都)。(七年十一月現在)

浪花會 大正九年一月大阪有力紙支局長と代理業務者の懇親を目的として生る。昭和六年秋季會に於て浪花會と合同し十日會を浪花會と改む。(役員)輪番二名宛半期交替幹事。(會員)大朝)天野四郎。(大毎)古賀文雄。

(大時)酒井謙吉。(大阪朝報)祖上祐三。(大阪夕刊)早島。(大阪日日)秋元忠。(大阪中外)瀧藤應之輔。(廣告社)湯澤清。(弘報堂)遠山源太郎。(正路喜社)宮澤源三郎。(萬年社)牧茂。(京華社)池田市藏。(七年十一月現在)

協同會

東京に於ける有力新聞廣告代理業者を以て組織し、親睦を旨とし、斯業の利益を擁護し其の進歩發達を計るを以て目的とす。(役員)常幹事(弘報堂)江藤。(廣告社)湯澤。(會員)博報堂)瀧木博尚。(日本弘業通信社)與田富藏。(電通)光永星郎。(萬年社)中川秀吉。(京華社)池田一藏。(弘報堂)江藤(正路喜社)布屋徹吉。(七年十一月現在)

東京新聞廣告協會

都下新聞廣告代理業者を以て組織し、事業の向上發展に資し會員相互の親睦を圖るを目的とす(沿革)大正十四年十二月故豐國通信社長谷新造氏の提唱により設立發起せられ、翌年四月創

若茶會

東京及地方紙出版廣告擔任外交團。一社より數名の會員もあり、總數約五十名の會員。博報堂中心の團體にして春秋二季大會を開く。(事務所)博

日本廣告協會

報社内。主として屋外廣告業者を會員とする團體。社団法人創立昭和五年十月。(事務所)京橋區銀座一丁目六、皆川ビル(電話)京橋六六一四(會長)堀田暖二郎。(相談役)三枝舉一郎。(理事長)龍瀨直藏。(理事)三十一名。監事十三名。(會員)百九十六名。(七年十一月現在)

廣告主

彌生會 東京大阪大廣告主の廣告部長團。(幹事)毎月輪番。(會員)波多(丸見屋)、神谷(ライオン)、高木(味の素)、草野(近藤)、長野(桃谷)、菊池(三共)、長瀬(花王)。

十日會

東京大阪に於ける有力化粧品廣告主側の廣告部長、同擔任者をもつて組織する社交團體。(事務所)月番幹事。(會員)波多(丸見屋)、長瀬(花王)、神谷(ライオン)、平尾(レイト)、中山(クラア)、安藤(井筒)、服部(井善)、長野(美顔水)。主として藥品、食糧

淡交會

品の都下廣告部長團。(幹事)毎月交替。(會員)小山(森永)、井上(カルピス)、玉置(同)、小林(友田)、内藤(田邊)、守隨(同)安永(安永舎)、津村(敬天堂)、井田(京榮堂)、久保(ウテナ)、相馬(ヤマサ)、福島(龜甲萬)。(七年十一月現在)

東京出版協會

東京市及近接郡部所在の圖書出版業者を以て組織し、會員の共同利福増進を圖るを目的とす。大正三年十月創立。(事務所)神田區小川町四十。(電話)神田九三〇(會長)目黒甚七。(評議員)二十五名。(會員)二百五十七名。

日本雜誌協會

雜誌發行者の團體。(事務所)神田區南甲賀町九。(會長)増田義一。(評議員)二十名二ヶ年交替。(會員)五百十五名。

東京書籍商組合

圖書出版販賣の向上を目的とす。創立明治二十年十一月六日。(事務所)神田區南甲賀町九。(社長)上原才一郎。(副社長)大葉久吉。(主事)小林善八。(會員)三千三百十人。(七年十一月現在)

販賣

昭和會

東京十五新聞社販賣部長を以て組織し、新聞販賣上必要なる打合せ協議を遂げ併せて會員間の懇親を厚くするを目的とす。(沿革)最初は和樂會と稱し大正十四年二月十日第一回總會を開く、其後一旦解散し再び本會を組織し昭和會と改稱す(事務所)常幹事制に就く該當社内におく。(幹事)二名、各社順次交代。(會員)東京十五新聞社販賣部長。(東朝)刀彌館。(東日)鹿倉。(報知)齋藤。(時事)小堀。(國民)沼。(中外)棟原。(讀賣)務台。(都)白井。(毎夕)塚越。(東朝)信太。(外五名)(七年十一月現在)

地方紙關係

全國新聞支局會 全國地方新聞社東京支局を以て組織し、全員共通の利益を増進し相互の親睦を圖るを目的とす。約二十年前に組織せらる。(事務所)芝區櫻川町七、九州新聞支社内。(電話)芝二〇六一。(役員)

(員)山田豊、渡部彦四郎、宮澤由三郎、河野馬喜佐、松島直養、堀克巳、大西隆之助。(會員)百〇九社。(函館毎日)漆原一衛。(函館新聞)北村温平。(北海道日)堂島松太郎。(北海タイムス)中堀末吉。(北門日報)原田三之丞。(小樽)加藤敏三郎。(旭川)西部健而。(岩手日報)岩淵榮男。(岩手毎日)佐野博敏。(日刊山形)富永利三郎。(東奥)藤田義一。(東北産業)原田三之丞。(河北)膽澤寛三。(山形新聞)渡部彦四郎。(福島民報)三瓶仙輔。(福島民友)武田喜久朗。(青森日報)藤野保三。(秋田旭)野崎作太郎。(秋田魁)井上勝太郎。酒田新聞)村瀬留次郎。(弘前新聞)原田柳二。(仙台日日)稻垣善次。(いばらき)近藤弘文。(上野新聞)堂島正助。(横濱貿易)廣瀬保吉。(横濱經濟)原田三之丞。(多摩日日)村上博保。(山梨民友)中田清。(山梨民報)三枝嶺三郎。(常總)藤川博正。(上州新報)水谷新次郎。(上毛)巖斗勝文。(下野日日)宮本甚之助。(下野新聞)橋本滿次郎。(伊勢

新聞、松本治雄。(新潟毎日)川崎新吉。(新潟新聞)坂口猷吉。(北陸タイムス)齋藤俊一。(北陸毎日)宮澤由三郎。(北國)吉藤初三郎。(北越新報)小野喜一。(富山日報)窪西敬二郎。(高岡新聞)篠木榮藏。(高田日報)石川敏夫。(長野新聞)山田不二夫。(名古屋毎日)佐久間東四郎。(名古屋)大宮伍三郎。(南信新聞)佐藤書行。(福井新聞)渡邊利正。(愛知新聞)村瀬留次郎。(佐渡日報)山崎且次。(岐阜日日)佐藤駒太郎。(静岡新聞)井上忠太郎。(信濃日報)小穴増人。(信濃毎日)西澤圭。(信濃民報)岩立慶三郎。(新愛知)勝田重太郎。(神戸又新)溝口正。(神戸)酒井謙吉。(京都日出)山口勳。(防長新聞)北村智好。(中國民報)田中常人。(中國新聞)飛鳥江亮智。(岡山日日)馬場幸次郎。(關門日日)河野馬喜佐。(吳日日)塚脇十三。(山陽)大内寛。(徳島毎日)前田亮。(海南)今井喜藏。(香川新聞)林省三。(南豫時事)祖上祐三。(高知)栗尾結城。(愛媛新報)佐野親弘。(四國民報)

松本七五郎。(日州)富松金三郎。(豊州新報)西村藤夫。(大分新聞)松浦清平。(小倉新報)太田卯藤治。(沖繩日日)青山晴一。(鹿兒島朝日)河内時中。(鹿兒島)渡邊政太郎。(長崎日日)里見謹吾。(長崎民友)三澤猛混。(九州日日)神原啓一。(九州日報)松島直義。(九州新聞)山田豊。(門司新報)船戸岩男。(平壤毎日)岩滿太平。(東亞日報)申浩均。(朝鮮日報)金容采(朝鮮毎日)木村松之助。(朝鮮民報)今井淺南。(朝鮮新聞)石丸務。(京城日報)佐藤巖。(釜山日報)堀克己。(奉天毎日)渡邊義二。(大連新聞)前川良三。(滿洲日報)井上正明。(臺灣日日)永井省三。(臺灣新聞)徳富迪。(臺南)大西隆之助。(樺太日日)鈴木繁次郎。(樺太毎日)小松吉太郎。(樺太時事)古川文次郎。(大北新聞)齋藤松三。(青島新報)松本七五郎。(日布時事)平山長佐久。(上海毎日)佐野博章。(日米新聞)鈴木喜一。(七年十月現在)

益を計るを目的とす。(沿襲)昭和七年二月十三日黒雅叙園に於て創立準備會を開き有志出席の下に之が協議を成し三月五日麻布南甫園に於て創立發會式を舉ぐ。(幹事)二名二ヶ月交替(會員)(河北新報)膽澤寛三。(秋田魁)井上勝太郎。(静岡新報)井上忠太郎。(下野新聞)橋本滿次郎。(信濃毎日)西澤圭。(新愛知)勝田重太郎。(新潟毎日)川崎新吉。(小樽新聞)加藤敏三郎。(北國新聞)吉藤初三郎。(北海タイムス)中堀末吉。(臺灣日日)永井省三。(大連新聞)前川良三。(東奥日報)藤田義一。(いばらき)近藤弘文。(九州日報)寺島三郎。(中國新聞)飛鳥江亮智。(福嶋民報)三瓶仙輔。(神戸又新)溝口正。(七年十一月現在)

新聞廣告研究會 在京地方新聞社員の有志を以て組織し、知識交換、研究の發表、實務の改善等によつて新聞廣告の合理化と品位の向上を目的とす(事務所)京橋區銀座西六の六關門日日支局内。(常任幹事)菅野福一、西部健而、(會計)松浦新八、井上忠太郎。(會員)井上忠太郎(静岡新報)、岩滿太平(平壤毎日)、池澤梅治(富山日報)、石川敏夫(高田日報)、稻垣善次(仙臺日日)、林雄三(釜山日報)、西部健而(旭川)、土井洋輔(滿洲日報)、當本正義(九州日報)、渡森金平(神戸又新)、渡邊義二(奉天毎日)、菅野福一(關門日日)、高橋克治(名古屋新聞)、田中正義(臺灣新聞)、瀧井營治(新潟新聞)、土橋三郎(北海タイムス)山崎且次(佐渡日報)、山田不二夫(長野新聞)、松浦信八(大分新聞)、藤野保三(青森日報)、小谷信夫(四國民報)、青山晴一(北信毎日)、寒川健一郎(静岡新聞)、坂本三男(岐阜日日)、三瓶馨夫(福島民報)、齋藤俊一(北海タイムス)、佐藤信(長崎新聞)、

五日會

相互親睦と共同の利

日本新聞聯盟

北海タイムス、河北新報、新愛知、福岡日日新聞、以上四社の編輯並に營業方面に關する共同機關。(沿革)昭和五年十一月創立。(事務所)京橋區西銀座六丁目交詢ビル内。(理事長)東武。(會員)聯盟四社。(七年十一月現在)

酒井金太郎(神戸新聞)。佐野博章(上海毎日)水野幸吉。(新愛知)鈴木良之助(山形新聞)(七年十月現在)

福貴會 地方新聞社員より成り大同通信社之れを後援す。目的は會員相互の親睦。(事務所)京橋區銀座西六の二大同通信社内。(電話銀座四三〇二)。(役員)川村源市(會長)西澤圭。(常任幹事)井上勝太郎(同)、中堀末吉(會計)。(會員)いばらき)近藤弘文。(伊勢新聞)松本治雄(岩手日報)岩淵榮男。(代理市來政尚)。(北國新聞)吉藤初三郎。(北海タイムス)中堀末吉。(北越新報)小野喜一。(豊州新報)西村藤夫。(東奥日報)藤田義一。(朝鮮新聞)石丸務。(中國民報)田中常人。(小樽新聞)加藤敏三郎。(河北新報)膽澤寛三。(神戸又新)松浦清平。(鹿兒島朝日)河内時中。(高知)栗尾結城。(臺南)大西隆之助。(滿洲日報)直居史郎。(福島新聞)瀧藤鹿之輔。(福岡日日)吉武龜次郎。(秋田魁)井上勝太郎。(九州新聞)山田豊。(新愛知)勝田重太郎。(信

濃毎日)西澤圭。(下野新聞)橋本滿次郎。(静岡新報)井上忠太郎。(政治經濟通信)里見謹吾。(七年十一月十日現在)

湯茶話會 廣告社を中心とする地方紙支局長の社交團體。昭和五年の創立。(事務所)京橋區銀座西五廣告社内。(會員)井上勝太郎(秋田魁)井上忠太郎(静岡新報)膽澤寛三(河北新報)今井喜藏(海南新聞)池澤梅治(富山日報)岩淵榮男(岩手日報)橋本滿次郎(下野新聞)原田徳次郎(福岡日日)林省三(山梨日日)西澤圭(信濃毎日)西村藤夫(豊川新報)堀克己(釜山日報)徳富迪(臺灣新聞)大西隆之助(臺南)大宮伍三郎(名古屋新聞)小野喜一(北越新報)渡邊彦四郎(山形)川崎新吉(新潟毎日)勝田重太郎(新愛知)河野馬喜佐(關門日日)加藤敏三郎(小樽新聞)河内時中(鹿兒島朝日)吉藤初三郎(北國新聞)田中常人(中國民報)永井省三(臺灣日日)中堀末吉(北海タイムス)直井史郎(滿州日報)漆原一衛(函館

毎日)殿斗勝文(上毛新聞)山田不二夫(長野)松浦清平(大分新聞)松本治雄(伊勢新聞)前川良三(大連新聞)前橋秋生(長崎日日)藤田義一(東奥日報)古川文次郎(因伯時報)神原啓一(九州日日)近藤弘文(いばらき)飛鳥江亮智(中國新聞)佐藤巖(京城日報)三瓶仙輔(福島民報)酒井謙吉(神戸新聞)佐藤駒太郎(岐阜日日)佐野親弘(愛媛新報)溝口正(神戸又新)。(七年十月現在)

八火會 電通を中心とする地方紙支局長の團體舊無名會の更生せるもの、創立昭和七年十二月の豫定。(事務所)電通社内。(幹事)七名、任期三ヶ月、但し七名中交互に三名四名残り、次回幹事に重任す。(會員)勸誘中。(七年十一月現在)

桐蔭會 地方新聞支局長八名にて組織し、親睦向上を目的とす。毎月一回例會を開く。(會員)川崎新吉、西澤圭、飛鳥江亮智、大宮伍三郎、勝田重太郎、佐藤巖、一力次郎、中堀末吉。(七年十一月現在)

不言會 地方新聞支局外交を會員とし、相互の交誼親睦を目的とす。昭和五年十一月發會毎年春秋二回總會を開く。(事務所)日本電報通信社内。(世話役)十名。毎年交替。(會員)七十八名。(六年現在近況不明)

地方新聞記者聯盟

地方紙東京支局通信部員を以つて組織し會員相互の親睦と通信上便宜を得るを目的とす。創立昭和七年九月十三日。(事務所)京橋區銀座西七丁目新愛知支社内。(幹事)名古屋。臺灣日日。滿洲日報。北海タイムス。新愛知。(會員)福日)橋本行一。(名古屋)原廣治、大島隆一、山室次郎。(臺日)中柳勝次。(臺灣)徳富迪。(臺南)松野勝義。(河北)大塚金吾。(京日)吉川兼光。(滿日)山田好光。(北海タイムス)品川壽夫。(小樽)多田太吉。(大連)石原由三郎、増田清一。(九日)松崎武雄。(岩手日報)齋藤忠雄。(新愛知)山下重之。(七年十月現在)